
岡崎市市民意識調査

報告書

令和4年3月

岡崎市

目次

・調査概要	1
1．調査目的	1
2．調査対象	1
3．調査方法	1
4．回収状況	1
5．調査期間	1
・調査結果	2
1．回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 職業	3
(4) 居住年数	3
(5) 同居している方の家族構成	4
(6) 同居している方の年齢	4
(7) 居住地域	5
2．岡崎のまちについて	6
3．市の取組みへの関心度・関与度	9
(1) 岡崎市の市政情報の収集・確認状況	9
(2) イベントや市民活動への参加状況	11
4．市の取組みについての評価	14
(1) 都市インフラ	14
(2) 防災・強靱化	29
(3) 環境・農山村	39
(4) 地域社会	44
(5) 保健・医療・福祉	51
(6) 子育て・男女共同参画	57
(7) 教育・文化	64
(8) 商業・観光	71
(9) 工業	77
(10) 行政・パートナーシップ	84
(12) 意見・要望	91
(13) 市の取組みについての評価満足度・重要度	93
・市民タイプ別分析	96
・自由回答分析	105

．調査概要

1．調査目的

令和3年度から始まった第7次岡崎市総合計画に基づく各分野の取組みを参考に市民意識を調査し、本市のまちづくりに反映させることを目的とする。

2．調査対象

岡崎市内に在住する18歳以上の市民 5,000人（住民基本台帳から無作為に抽出）

3．調査方法

アンケート調査

郵送により調査票を発送し、郵送またはWebにより回収

・郵送回収の場合・・・調査票用紙に記入いただき郵送で返送

・Web回収の場合・・・アンケート用URLにアクセスいただき、Web上でアンケートに回答

4．回収状況

発送数	回収数		回収率 (%)
	郵送	Web	
5,000	3,028	760	60.6%

Web回答は明らかに重複回答であると考えられるサンプルを除外して集計

5．調査期間

令和3年9月27日～令和3年10月24日

報告書の記述・集計・分析方法の注意点

- ・“n”は有効回答を指し、原則としてn数に対する比率を%表示（割合）で記している。
- ・（SA）は単一回答（Single Answer）、（MA）は複数回答（Multiple Answer）、（数量）は数量回答、（FA）は自由回答（Free Answer）。
- ・各質問項目では基本的に「不明・無回答」を含めた数値を母数として集計している。
- ・集計結果は、原則として小数点第2位以下を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある（その他、例えば、満足の合計値などが、本文や表中の集計と一致しない場合がある）。
- ・クロス集計について、表側項目のサンプル数が30サンプル未満の項目については、誤差が大きいため参考とする。
- ・報告書内の図表の網掛けについて

・・・全体より5%以上高い

・・・全体より5%以上低い

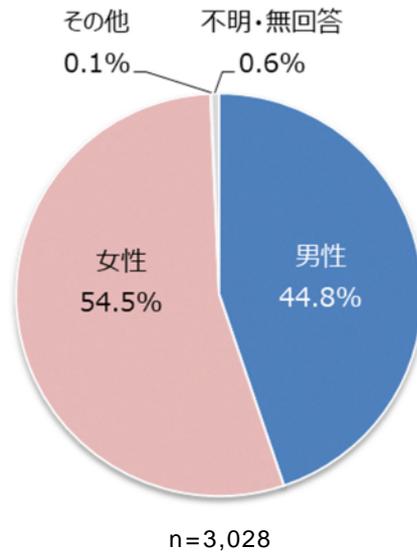
調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

問 1. 性別

図 1 回答者属性(性別)

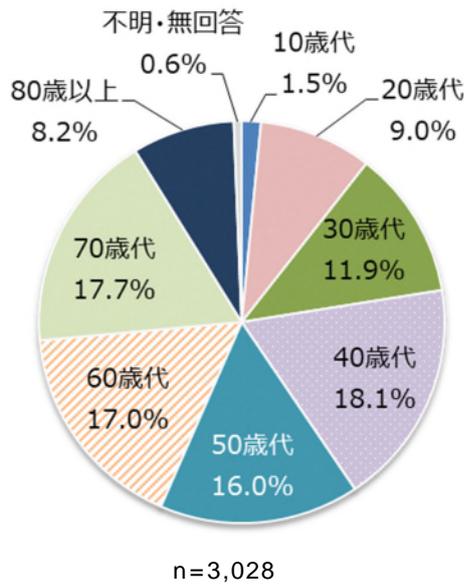


	n	%
男性	1358	44.8
女性	1649	54.5
その他	2	0.1
不明・無回答	19	0.6
全体	3028	100.0

(2) 年齢

問 2. 年齢

図 2 回答者属性(年代)

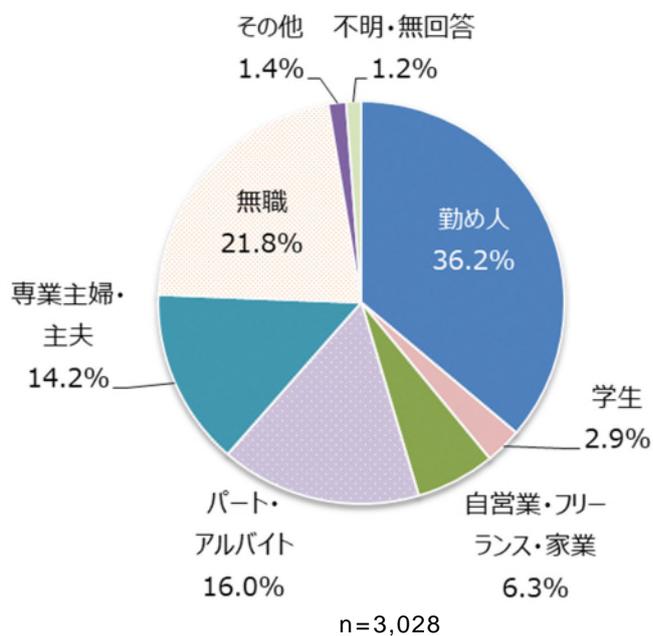


	n	%
10歳代	46	1.5
20歳代	273	9.0
30歳代	361	11.9
40歳代	549	18.1
50歳代	483	16.0
60歳代	515	17.0
70歳代	535	17.7
80歳以上	247	8.2
不明・無回答	19	0.6
全体	3028	100.0

(3) 職業

問 3.職業

図 3 回答者属性(職業)

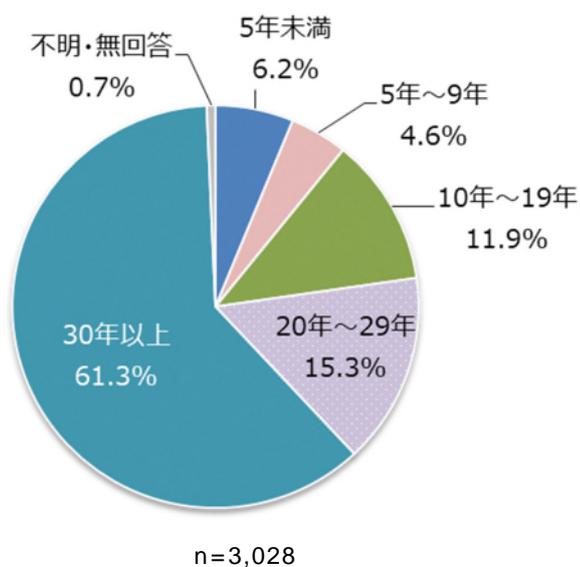


	n	%
勤め人	1096	36.2
学生	88	2.9
自営業・フリーランス・家業	192	6.3
パート・アルバイト	484	16.0
専業主婦・主夫	430	14.2
無職	659	21.8
その他	43	1.4
不明・無回答	36	1.2
全体	3,028	100.0

(4) 居住年数

問 4.岡崎市に住み始めて、何年になりますか。 ※一時的に岡崎市を離れた方は、通算の年数をお答えください。(SA)

図 4 回答者属性(居住年数)

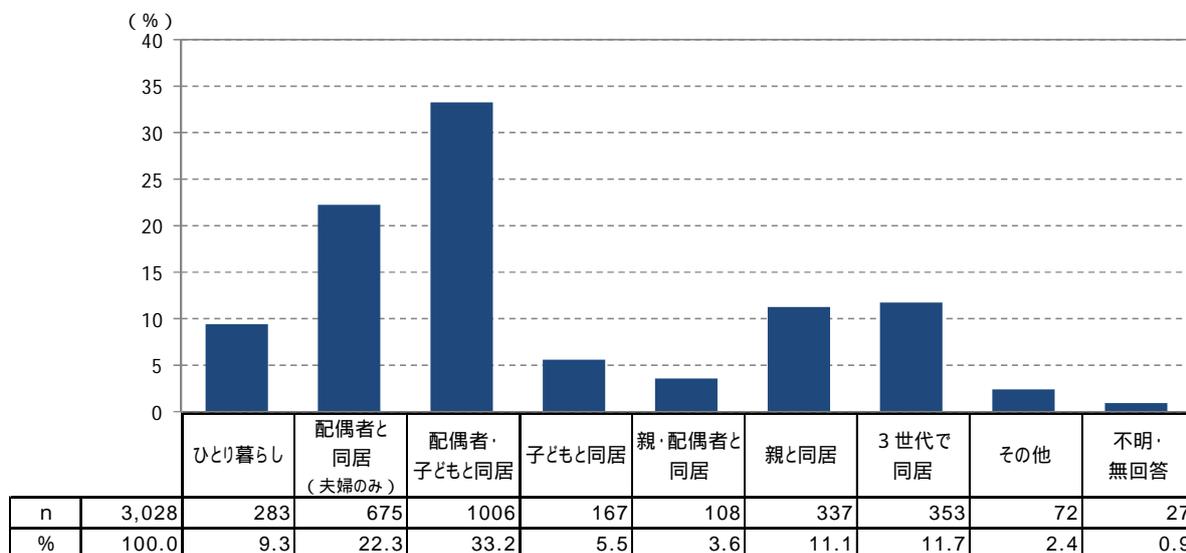


	n	%
5年未満	188	6.2
5年～9年	139	4.6
10年～19年	361	11.9
20年～29年	464	15.3
30年以上	1855	61.3
不明・無回答	21	0.7
全体	3,028	100.0

(5) 同居している方の家族構成

問 5. 同居している方の家族構成を1つお選びください。(SA)

図 5 回答者属性(同居家族構成)



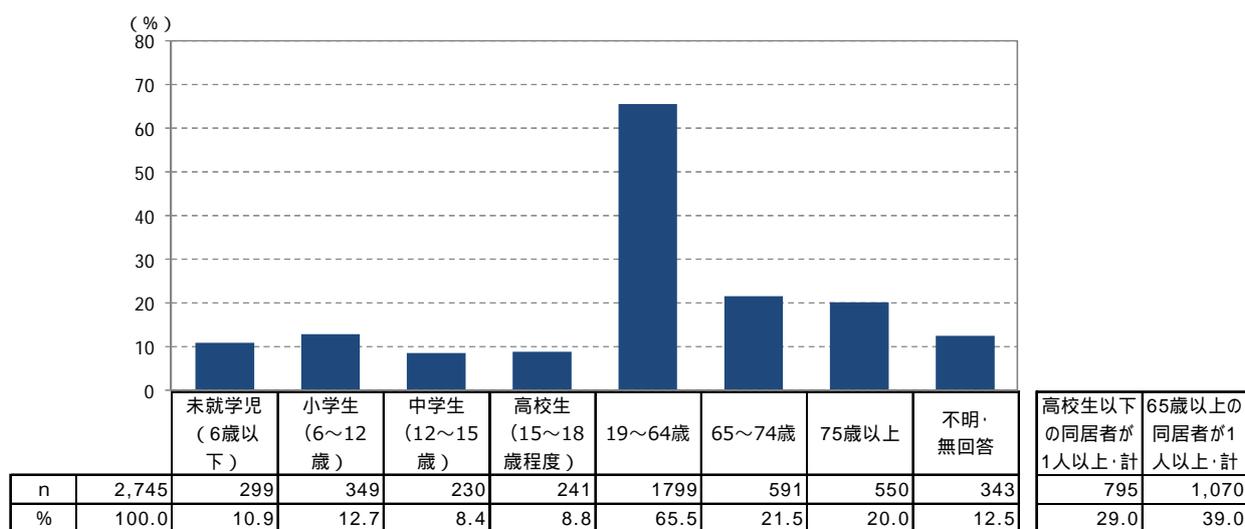
(6) 同居している方の年齢

問 6. あなたと一緒に住んでいる方(家族等)の年齢をお聞かせください。(あなた自身は含めないでください)

当てはまるもの全てをお選びください。(MA)

前問で「1.ひとり暮らし」と回答した方以外

図 6 回答者属性(同居している方の年齢)

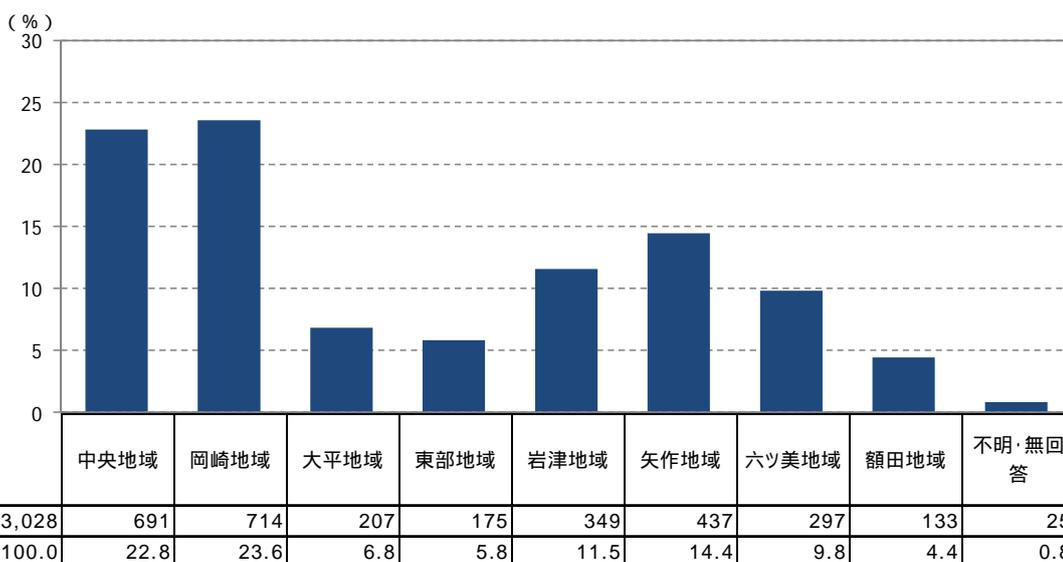
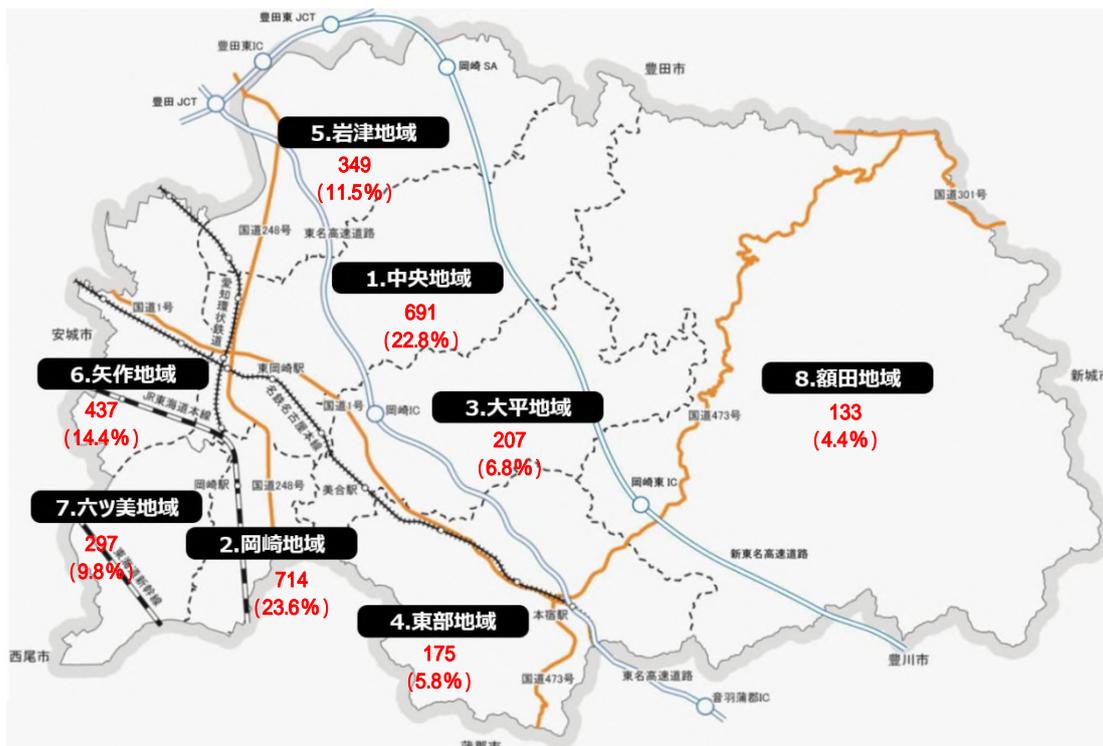


(7) 居住地域

問7. あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください。(SA)

アンケート回答者の居住地域は、「岡崎地域」(23.6%)、「中央地域」(22.8%)が多く、この2地域で46.4%を占めている。次いで、「矢作地域」(14.4%)、「岩津地域」(11.5%)が続いている。

図7 回答者属性(居住地域)



2. 岡崎のまちについて

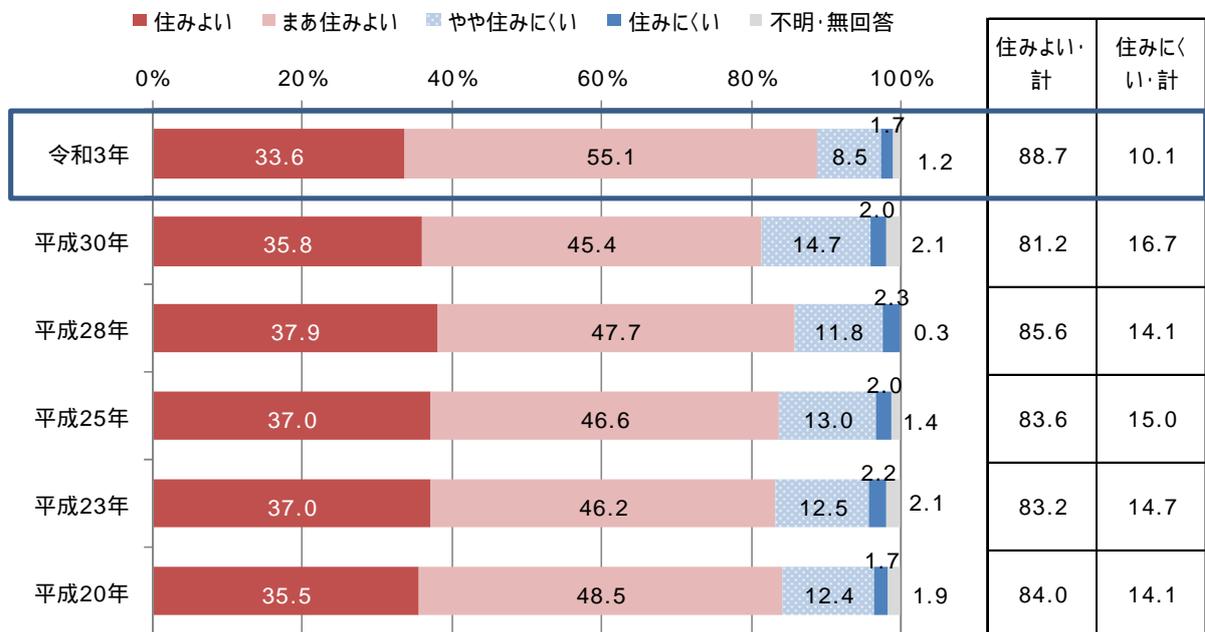
問 8. あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。(SA)

岡崎市を住みよいまちだと思うかを尋ねたところ、「住みよい」が 33.6%、「まあ住みよい」が 55.1%で合計 88.7%が岡崎市を住みよいまちであると評価している(市民の方の9割近くが住みよさについて肯定的な評価をしている)。

経年変化をみると、平成30年 令和3年では「住みよい」+「まあ住みよい」の合計が7.5%増加しており、また、近年まで最も高かった平成28年(85.6%)のスコアも上回っている。

図8 岡崎市を住みよいまちだと思うか(経年比較)

	全体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	不明・無回答
n	3,028	1,017	1,669	256	50	36
%	100.0	33.6	55.1	8.5	1.7	1.2



問 8. あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。(SA)

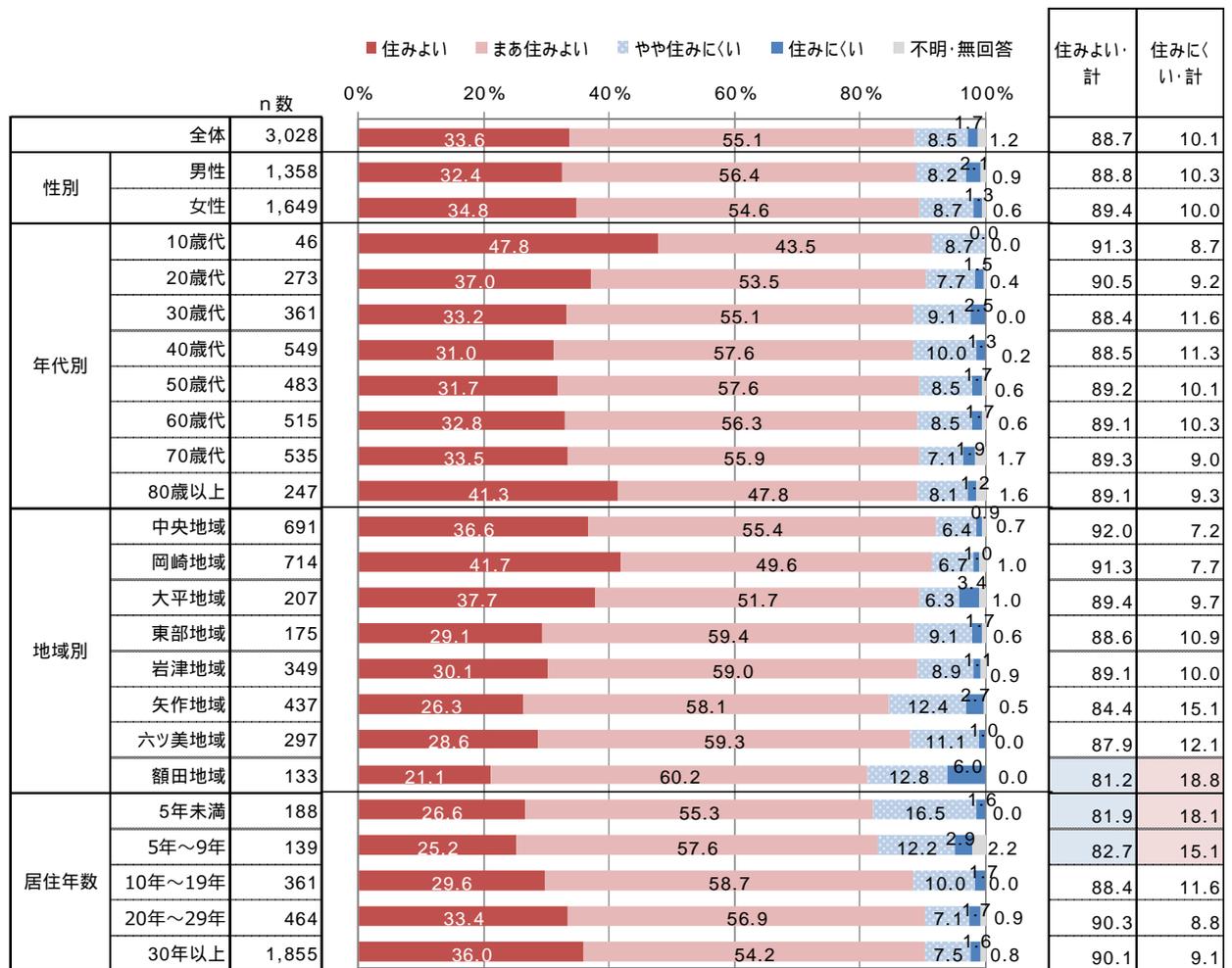
性別でみると、性別で岡崎市の住みよさの評価に傾向の違いは見られない。

年代別でみると、「住みよい」+「まあ住みよい」の合計はいずれの年代も9割前後で大きな差は見られないが、10代の「住みよい」が47.8%と他の年代と比較して特に高い。

地域別でみると、岡崎地域の「住みよい」が41.7%と他の地域と比較して特に高い。一方で、額田地域では「住みよい」+「まあ住みよい」の合計が81.2%と、他の地域と比較すると低く、「住みにくい」の合計がやや高い。

居住年数別でみると、居住年数が長い人ほど、住みよさに対する評価が高い傾向が見られる。

図9 岡崎市の住みよさ(性別・年代別・地域別・居住年数別)



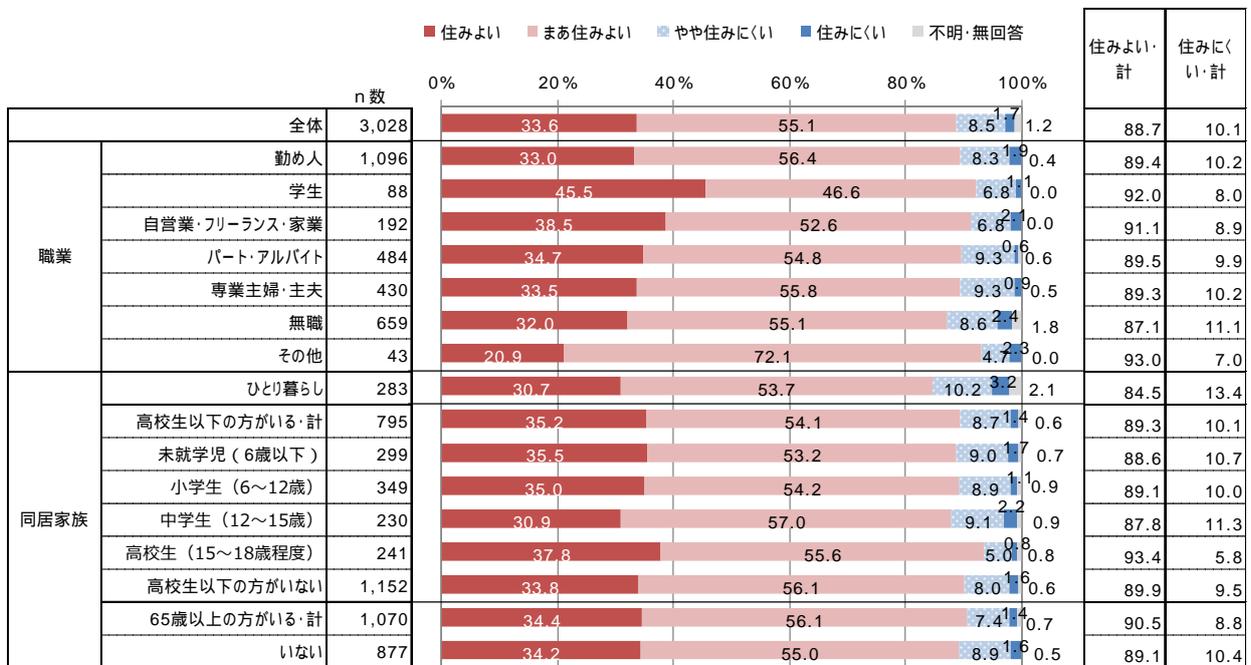
…全体より5%以上高い
 …全体より5%以上低い (以下同様)

問 8. あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。(SA)

岡崎市の住みよさについて職業別でみると、「住みよい」+「まあ住みよい」の合計は、いずれの職業も 9 割前後で大きな差は見られないが、学生の「住みよい」が 45.5%と他の年代と比較して特に高い(前項で 10 代の評価が高かった傾向に沿っている)。

同居家族別でみると、同居家族に高校生以下の方がいる人といない人、65 歳以上の方がいる人といない人で評価の差は見られない(子育て層、シニア層とも住みよいまちと評価されている)。ただし、ひとり暮らし(単身層)の評価がやや低い。

図 10 岡崎市の住みよさ(職業別・同居家族の年齢別)



※同居家族の年齢は複数回答項目のため合計値が全体を上回る(以下同様)

3. 市の取組みへの関心度・関与度

(1) 岡崎市の市政情報の収集・確認状況

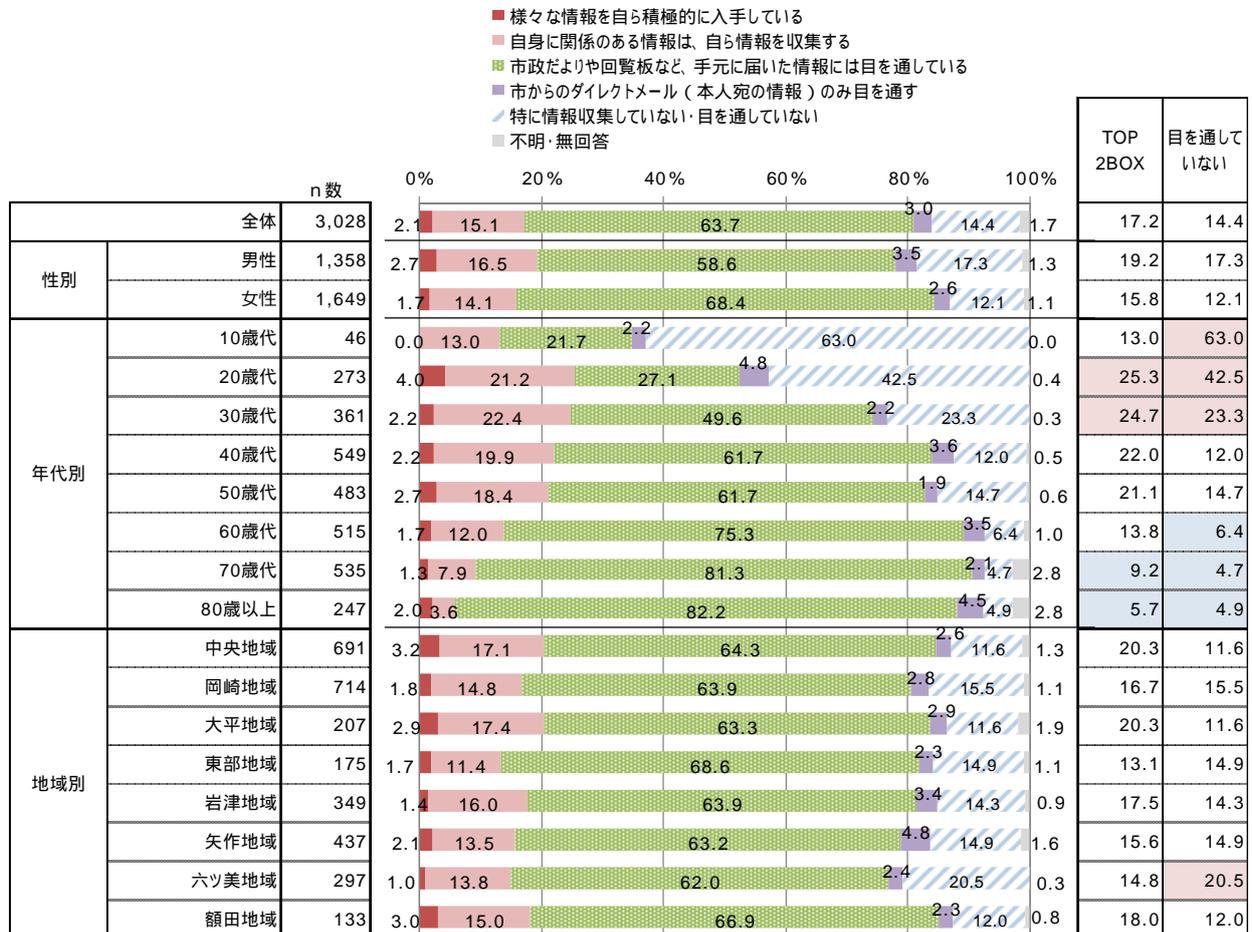
問 9. 岡崎市の市政情報の収集・確認の状況は、下記のうちどれに当てはまりますか。(SA)

岡崎市の市政情報の収集・確認の状況は、「手元に届いた情報には目を通している」が 63.7%と大半を占めている。「様々な情報を自ら積極的に入手している」が 2.1%、「自身に関係のある情報は、自ら情報を収集する」が 15.1%で、合計 17.2%が能動的に情報を収集している。

年代別でみると、20代～30代は、「様々な情報を自ら積極的に入手している」+「自身に関係のある情報は、自ら情報を収集する」など能動的に情報を収集している比率が 25%前後と他の年代と比較して高い一方で、「特に情報収集していない・目を通していない」比率も高い。また、60代以上など、年代が高い層ほど「手元に届いた情報には目を通している」人の比率が高く、能動的に情報を収集している人の比率が低い傾向が見られる。

地域別でみると、六ツ美地域で「特に情報収集していない・目を通していない」が 20.5%と他のエリアと比較すると高い。

図 11 岡崎市の市政情報の収集・確認状況(全体・性別・年代別・地域別)



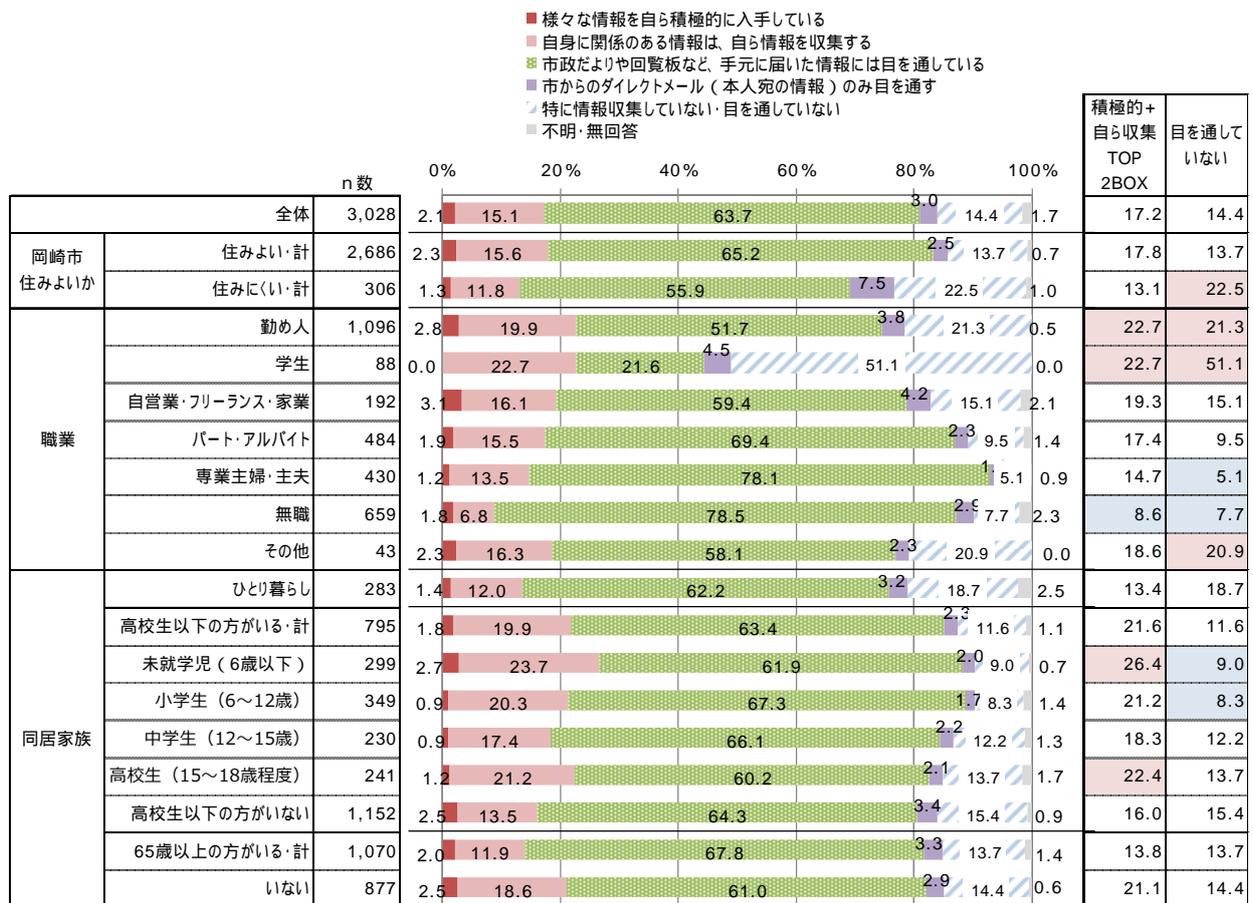
問 9.岡崎市の市政情報の収集・確認の状況は、下記のうちどれに当てはまりますか。(SA)

市政情報の収集・確認の状況について、住みよさに対する評価別で見ると、住みにくいと回答した人は「特に情報収集していない・目を通していない」の比率が 22.5%で、住みよいと回答した人(13.7%)と比較して高い。

職業別で見ると、勤め人、学生は、能動的に情報を収集している比率(TOP 2BOX)が比較的高い一方で、「目を通していない」比率も高い。

同居家族別で見ると、高校生以下の方がいる人(特に未就学児や高校生)では、能動的に情報を収集している比率(TOP 2BOX)が 21.6%で、高校生以下の子どもがない人(16.0%)と比べてやや高い。すなわち、子育て層は市の情報を能動的に収集している(情報ニーズが高い)人が多いと想定される。

図 12 岡崎市の市政情報の収集・確認状況(住みよさ別・職業別・同居家族別)



(2) イベントや市民活動への参加状況

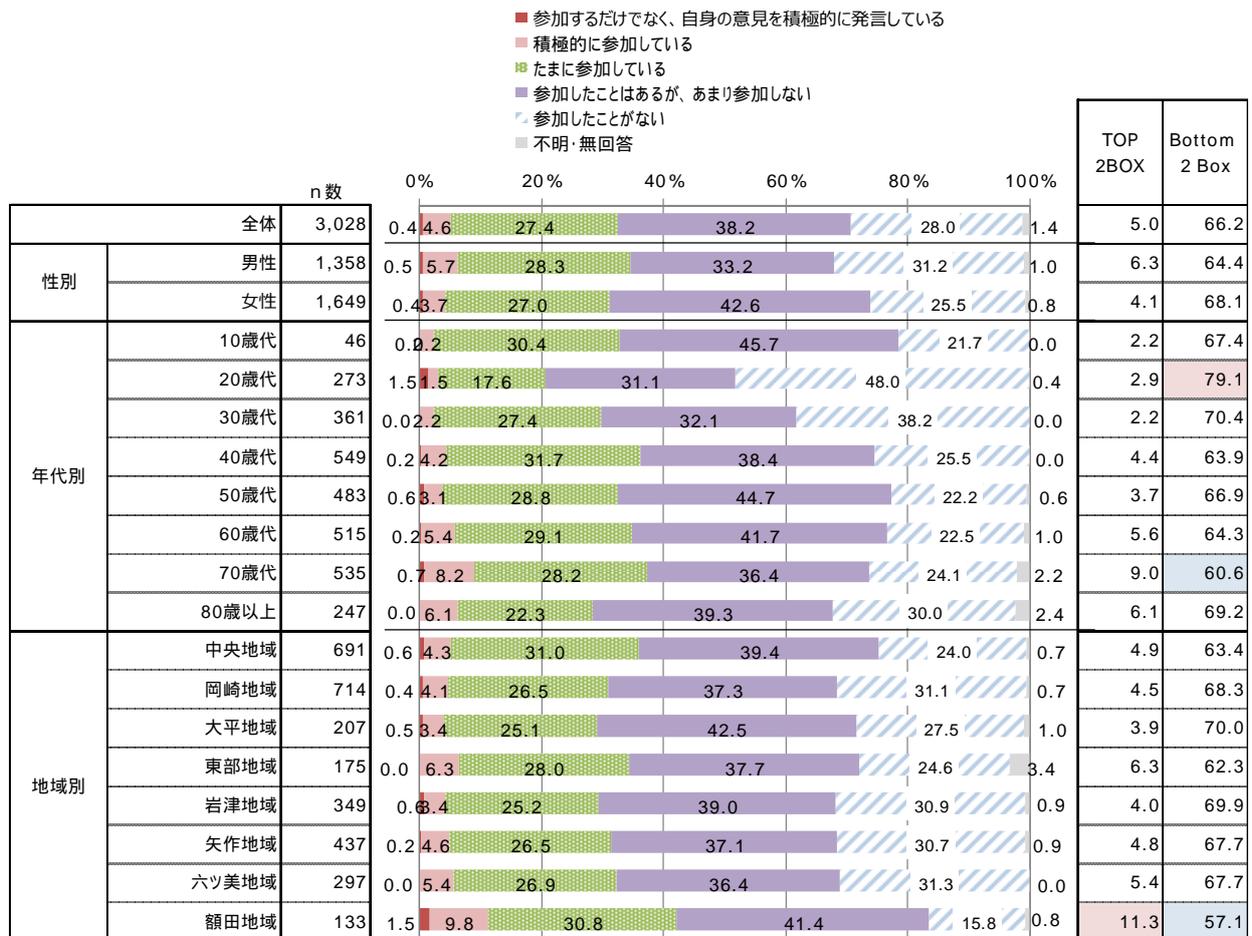
問 10. 岡崎市や地域が主催するイベントや、市民活動に対して積極的に参加していますか。(SA)

岡崎市や地域が主催するイベントや市民活動への参加状況は、「参加したことはあるが、あまり参加しない」が 38.2%、「参加したことがない」が 28.0%、「たまに参加している」が 27.4%となっている。「あまり参加しない」「参加したことがない」など、消極的な人は全体の 66.2%を占めており、「たまに参加」を含めると 93.6%の人は積極的に参加していない。

年代別でみると、20 代の 48.0%、30 代の 38.2%が「参加したことがない」としており、他の年代と比較して高い。

地域別でみると、額田地域は、他のエリアと比較して「積極的に参加」(TOP2 BOX)の比率が高く、「参加したことがない」比率が低い。

図 13 岡崎市のイベント・市民活動への参加状況(全体・性別・年代別・地域別)

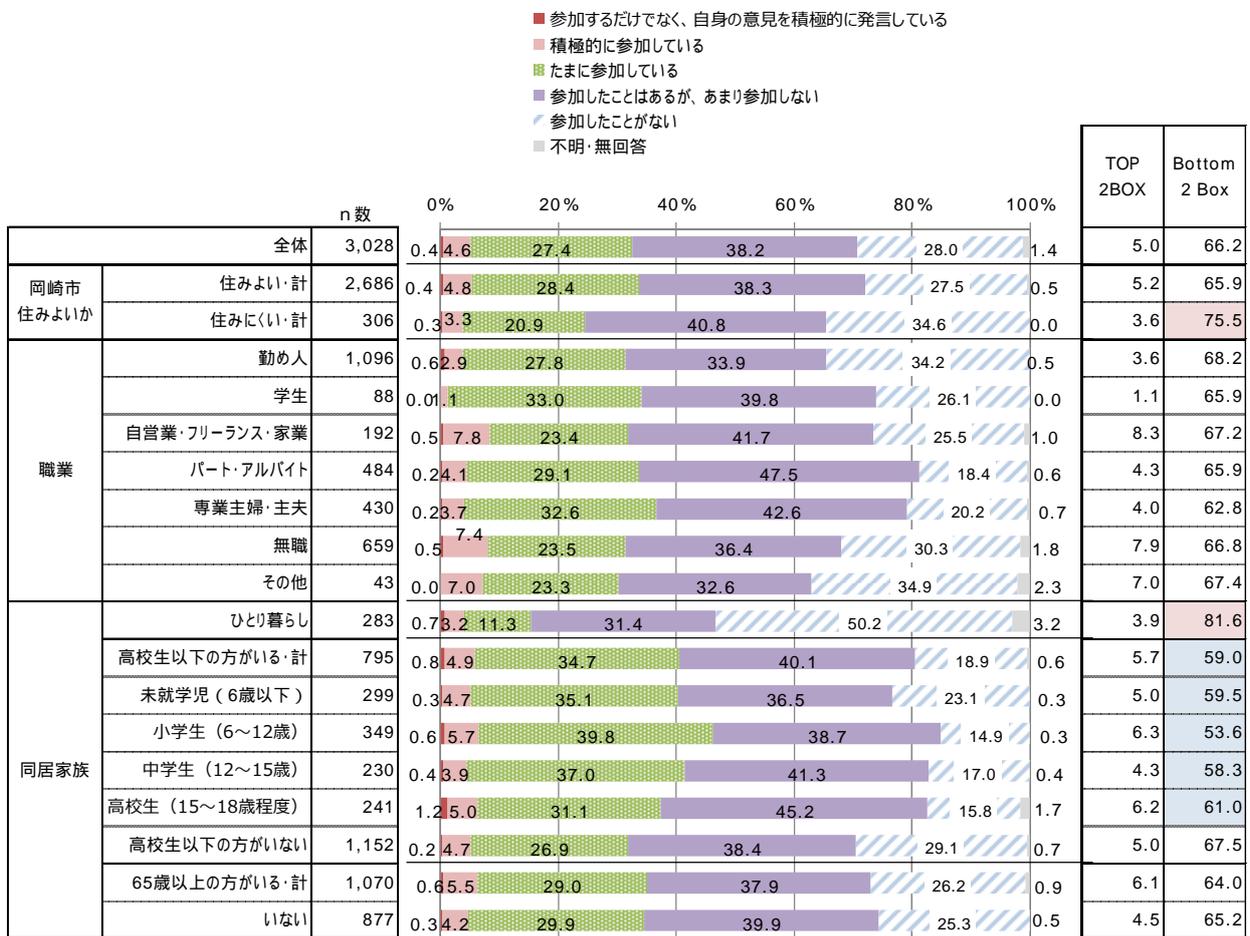


問 10. 岡崎市や地域が主催するイベントや、市民活動に対して積極的に参加していますか。(SA)

岡崎市や地域が主催するイベントや市民活動への参加状況について、住みよさに対する評価別でみると、住みにくいと回答した人では「参加したことがない」の比率が34.6%、「あまり参加しない」が40.8%で、合計75.5%となっており、住みよいと回答した人の合計値(65.9%)と比較して、消極的な人の比率が高い。

同居家族別でみると、高校生以下の方がいる層では、「あまり参加しない」+「参加したことがない」比率が59.0%と比較的低い。子どもに関連するイベント等に参加している人が多い様子がうかがえる。

図 14 岡崎市のイベント・市民活動への参加状況(住みよさ別・職業別・同居家族別)



(3) 岡崎市の市政情報の収集・確認状況 × イベントや市民活動への参加状況

市政情報の収集・確認状況と、市民活動への参加状況の関係をみると、「手元に届いた情報には目を通す / 参加したことはあるが、あまり参加しない」が 26.3%で最も多い。これに、「手元に届いた情報には目を通す / たまに参加」が 19.7%、「手元に届いた情報には目を通す / 参加したことがない」が 14.5%の順となっており、これら3つで全体の 60.5%を占めている。いずれも情報入手については、手元に届いた情報に目を通す（受動的）市民活動への参加は積極的ではないといった状況である。

上記以外では、「特に情報収集していない / 参加したことがない」が 8.7%、「自身に関係のある情報は自ら情報収集 / 参加したことはあるが、あまり参加しない」が 5.8%などで続いている。

市政情報を「積極的に入手」「自身に関係のある情報は、自ら情報収集」といったように能動的に情報収集し、市民活動にも「積極的に参加」、「積極的に参加・発言」といったどちらも能動的・積極的な人は全体の 2.1%となっている。

図 15 岡崎市の市政情報の収集・確認状況 × 岡崎市のイベント・市民活動への参加状況

n = 3,028		市政情報の収集・確認の状況						
		様々な情報を自ら積極的に入手	自身に関係のある情報は、自ら情報を収集	市政だよりや回覧板など、手元に届いた情報には目を通している	市からのダイレクトメールのみ目を通す	特に情報収集していない・目を通していない	不明・無回答	
全体		100.0%	2.1%	15.1%	63.7%	3.0%	14.4%	1.7%
市民活動 に対する 参加状況	参加するだけでなく、自身の意見を積極的に発言している	0.4%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	積極的に参加している	4.6%	0.5%	1.3%	2.7%	0.0%	0.2%	0.0%
	たまに参加している	27.4%	1.0%	4.8%	19.7%	0.4%	1.5%	0.2%
	参加したことはあるが、あまり参加しない	38.2%	0.3%	5.8%	26.3%	1.3%	4.1%	0.3%
	参加したことがない	28.0%	0.3%	3.0%	14.5%	1.3%	8.7%	0.1%

4. 市の取組みについての評価

(1) 都市インフラ

岡崎市は市内外通勤者の住宅需要に対応しつつ、暮らしの質を高める都市基盤が充実していくまちを目指しています。

近年行ってきた取組み(例)

- ・ 東岡崎駅周辺整備事業(オトリバーサイドテラス・東岡崎ペDESTリアンデッキ)
- ・ 岡崎駅南土地区画整理事業
- ・ 岡崎阿知和スマートインターチェンジ整備事業
- ・ 六ツ美中部学区事前予約型乗り合いタクシー実証運行事業
- ・ 矢作川右岸南北道路整備事業

問 11. 岡崎市が近年行ってきた都市インフラの整備の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

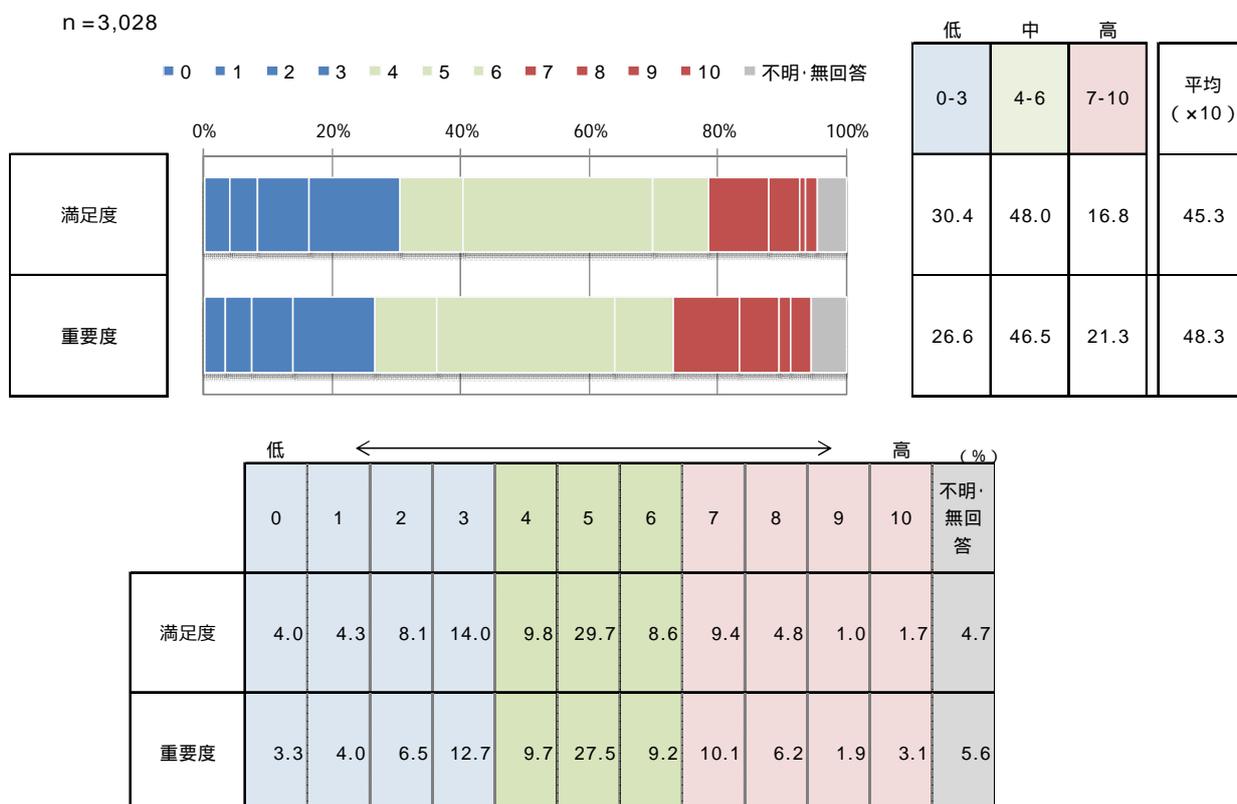
全体(満足度・重要度)

満足度・重要度について 11 段階で評価してもらい、「0-3」を低、「4-6」を中、「7-10」を高と分類して集計した。また、平均点を 100 点満点換算して集計した(すべての回答者が 10 点と回答とした場合 100 点)

都市インフラの満足度は「低」が 30.4%、「中」が 48.0%、「高」が 16.8%、平均 45.3 となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が 13.6% 高く、取組み 10 分野の中で平均値、「低」の比率、「高」「低」の差とも最も大きい。

重要度は、「低」が 26.6%、「中」が 46.5%、「高」が 21.3%、平均 48.3 となった。重要度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が 5.3% 高い。

図 16 都市インフラ評価(満足度・重要度) 全体



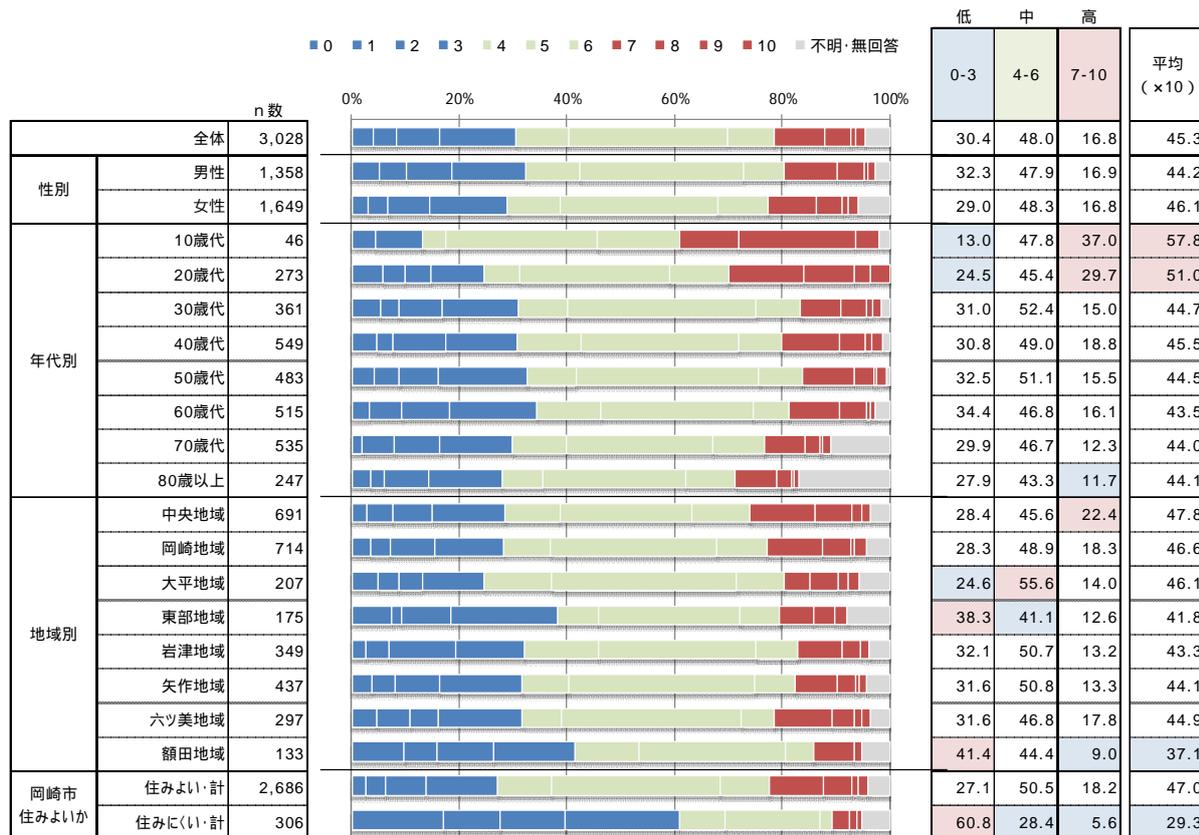
満足度（評価できる取組みだと思うか）

都市インフラの満足度について、年代別でみると10代、20代の評価が他の年代と比較して高い傾向が見られる。

地域別でみると、中央地域の満足度が高く、額田地域・東部地域の満足度が低い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の60.8%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（27.1%）との差が大きい。

図 17 都市インフラ評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	← 低 → 高										不明・無回答		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体 3,028	4.0	4.3	8.1	14.0	9.8	29.7	8.6	9.4	4.8	1.0	1.7	4.7	
性別	男性 1,358	5.1	5.0	8.6	13.6	9.9	30.5	7.5	9.9	4.9	0.7	1.5	2.8
	女性 1,649	3.1	3.8	7.6	14.5	9.7	29.2	9.5	9.0	4.7	1.3	1.8	5.9
年代別	10歳代 46	4.3	0.0	0.0	8.7	4.3	28.3	15.2	10.9	21.7	4.3	0.0	2.2
	20歳代 273	5.9	4.0	4.8	9.9	6.6	27.8	11.0	13.9	9.5	2.9	3.3	0.4
	30歳代 361	5.3	3.6	8.0	14.1	9.1	34.9	8.3	7.5	4.7	1.1	1.7	1.7
	40歳代 549	4.7	2.9	9.8	13.3	11.8	29.1	8.0	10.7	4.9	1.1	2.0	1.5
	50歳代 483	4.1	4.8	7.2	16.4	9.1	34.0	8.1	9.7	3.5	0.6	1.7	0.8
	60歳代 515	3.3	6.0	8.9	16.1	11.8	28.3	6.6	9.5	4.9	0.8	1.0	2.7
	70歳代 535	2.1	5.8	8.6	13.5	9.9	27.3	9.5	7.5	2.8	0.4	1.7	11.0
	80歳以上 247	3.6	2.4	8.1	13.8	7.7	26.3	9.3	7.7	2.8	0.4	0.8	17.0
地域別	中央地域 691	2.7	4.9	7.4	13.3	10.3	24.6	10.7	12.2	6.7	2.0	1.6	3.6
	岡崎地域 714	3.5	3.6	8.3	12.9	8.7	30.8	9.4	10.2	5.3	0.7	2.1	4.5
	大平地域 207	4.8	3.9	4.3	11.6	12.6	34.3	8.7	4.8	5.3	1.9	1.9	5.8
	東部地域 175	7.4	1.7	9.1	20.0	7.4	26.3	7.4	6.3	4.0	0.0	2.3	8.0
	岩津地域 349	2.6	4.3	12.3	12.9	13.8	29.2	7.7	8.3	3.4	0.0	1.4	4.0
	矢作地域 437	3.7	4.3	8.2	15.3	8.7	34.6	7.6	7.8	3.4	0.7	1.4	4.3
	六ツ美地域 297	4.7	6.1	5.4	15.5	7.4	33.3	6.1	10.8	4.0	1.3	1.7	3.7
	額田地域 133	9.8	6.0	10.5	15.0	12.0	27.1	5.3	7.5	1.5	0.0	0.0	5.3
岡崎市住みよいか	住みよい・計 2,686	2.5	3.7	7.6	13.2	10.0	31.3	9.2	10.1	5.2	1.1	1.7	4.2
	住みにくい・計 306	17.0	10.5	12.1	21.2	8.5	17.6	2.3	3.3	1.3	0.0	1.0	5.2

重要度（重要度が高い取組みだと思ふか）

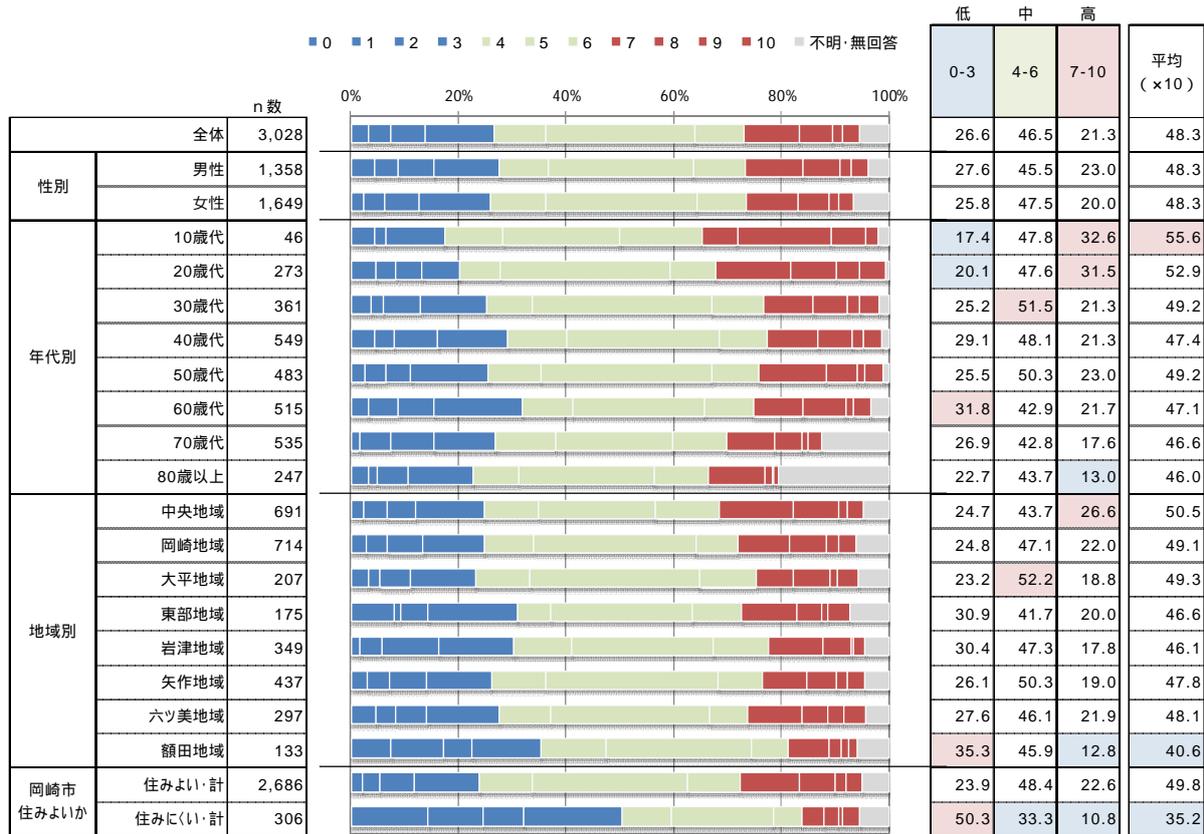
都市インフラの重要度について、年代別でみると10代、20代では重要度が高い取組みであると評価する割合が他の年代と比較して高い傾向が見られる。

地域別でみると、中央地域の重要度が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の50.3%が重要度「低」との評価となっており、住みよいと評価した人（23.9%）との差が大きい。

いずれも満足度と重要度は類似した傾向を示している。

図 18 都市インフラ評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



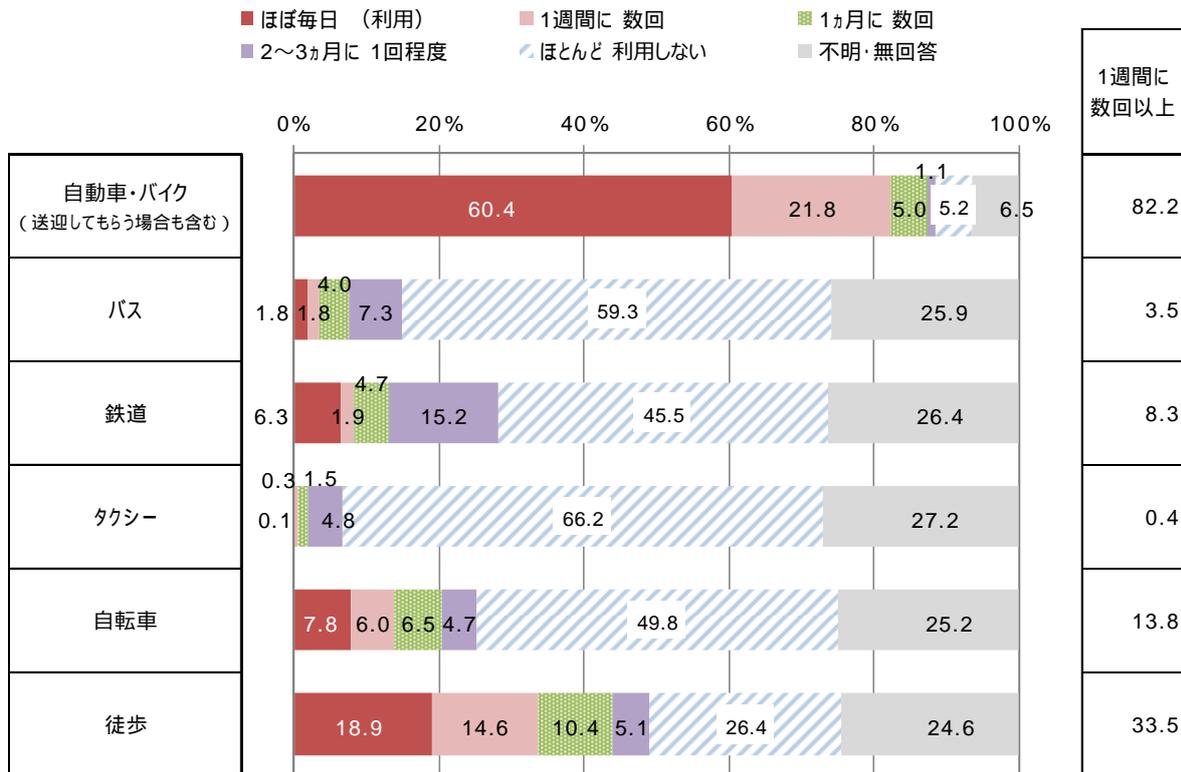
n数	低 ← → 高											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体 3,028	3.3	4.0	6.5	12.7	9.7	27.5	9.2	10.1	6.2	1.9	3.1	5.6
性別												
男性 1,358	4.4	4.3	6.6	12.3	9.0	27.0	9.5	10.8	7.0	2.0	3.3	3.8
女性 1,649	2.5	3.7	6.5	13.2	10.3	28.1	9.2	9.7	5.6	1.8	2.9	6.6
年代別												
10歳代 46	4.3	2.2	0.0	10.9	10.9	21.7	15.2	6.5	17.4	6.5	2.2	2.2
20歳代 273	4.8	3.7	4.8	7.0	7.7	31.5	8.4	13.9	8.4	4.4	4.8	0.7
30歳代 361	3.9	2.2	6.9	12.2	8.6	33.2	9.7	9.1	6.4	2.2	3.6	1.9
40歳代 549	4.6	3.5	8.2	12.9	10.9	28.4	8.7	9.5	6.4	2.0	3.5	1.5
50歳代 483	2.7	3.9	4.6	14.3	9.7	31.9	8.7	12.4	5.8	1.4	3.3	1.2
60歳代 515	3.3	5.4	6.8	16.3	9.3	24.5	9.1	9.1	8.0	1.6	3.1	3.5
70歳代 535	1.7	5.8	7.9	11.6	11.0	21.9	9.9	9.0	5.0	1.1	2.4	12.7
80歳以上 247	3.2	1.6	5.7	12.1	8.5	25.1	10.1	10.5	1.2	0.4	0.8	20.6
地域別												
中央地域 691	2.3	4.3	5.4	12.7	10.1	21.6	12.0	13.7	8.4	1.6	2.9	4.9
岡崎地域 714	2.8	3.9	6.7	11.3	9.2	30.0	7.8	9.7	6.7	2.4	3.2	6.2
大平地域 207	3.4	1.9	5.8	12.1	10.1	31.4	10.6	6.8	6.8	1.4	3.9	5.8
東部地域 175	8.0	1.1	5.1	16.6	6.3	26.3	9.1	10.3	4.6	1.1	4.0	7.4
岩津地域 349	1.7	4.0	10.6	14.0	10.6	26.4	10.3	10.0	5.2	0.6	2.0	4.6
矢作地域 437	3.0	4.1	6.9	12.1	10.1	32.0	8.2	8.2	5.5	2.1	3.2	4.6
六ツ美地域 297	4.7	3.7	5.7	13.5	9.4	29.6	7.1	10.1	4.7	3.0	4.0	4.4
額田地域 133	7.5	9.8	5.3	12.8	12.0	27.1	6.8	7.5	2.3	1.5	1.5	6.0
岡崎市住みよ												
住みよい・計 2,686	2.1	3.3	6.4	12.1	9.9	28.8	9.8	10.8	6.7	2.0	3.1	5.1
住みにくい・計 306	14.4	10.1	7.5	18.3	9.2	19.0	5.2	4.2	2.6	0.7	3.3	5.6

日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（各 SA）

日常生活で利用する交通手段の利用頻度を尋ねたところ、自動車・バイクは「ほぼ毎日」が 60.4%、「1 週間に数回」が 21.8%で合計 82.2%が 1 週間に数回以上利用している。以下、1 週間に数回以上の頻度をみると、徒歩が 33.5%、自転車 が 13.8%、鉄道が 8.3%と続いている。

図 19 日常生活で利用する交通手段の利用頻度（全体）



日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（各 SA）

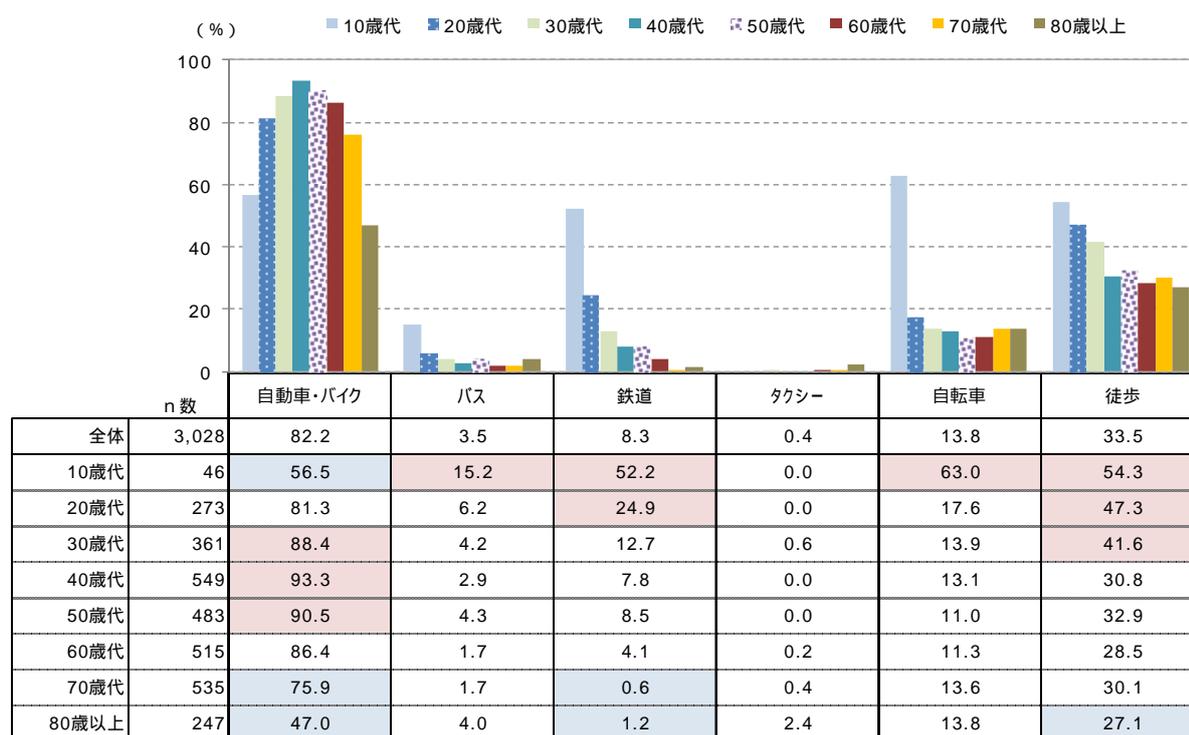
<年代別> 「毎日」+「1週間に数回」の利用割合

日常生活で利用する交通手段について、1週間に数回以上利用している割合を年代別でみると、「自動車・バイク」は20代～60代で8割以上を占めており、中でも40代～50代は9割を超えている。また、70代でも75.9%、80歳以上で47.0%を占めているなど、幅広い年齢層で、「自動車・バイク」が日常の交通手段の中心となっている。

10代は、他の年代と比較して、「自転車」「徒歩」「鉄道」「バス」の比率が高い。

「徒歩」については、10～20代は5割前後、30代が4割強、40代以上は3割前後となっており、年代が高い層ほど比率が低い傾向が見られる。

図 20 日常生活で利用する交通手段の利用頻度（年代別）
「毎日」+「1週間に数回」の利用割合



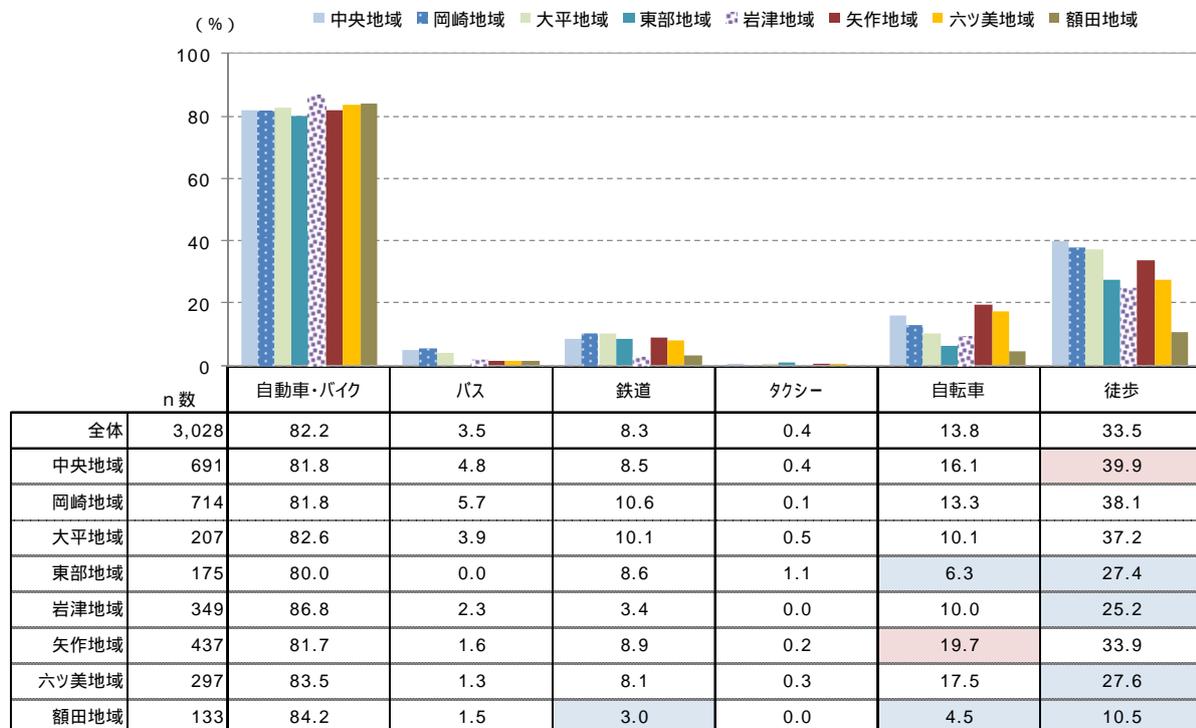
日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（各 SA）

<地域別> 「毎日」+「1週間に数回」の利用割合

日常生活で利用する交通手段について、1週間に数回以上利用している割合を地域別でみると、いずれの地域も「自動車・バイク」が突出している傾向に差は見られない。ただし、額田地域では「徒歩」の割合が10.5%となっており、他のエリアと比較して低い。また、東部地域、額田地域では「自転車」の比率が1割を下回っており、他の地域と比較してやや低い。

図 21 日常生活で利用する交通手段の利用頻度（地域別）
「毎日」+「1週間に数回」の利用割合



日常生活で利用する交通手段の利用頻度

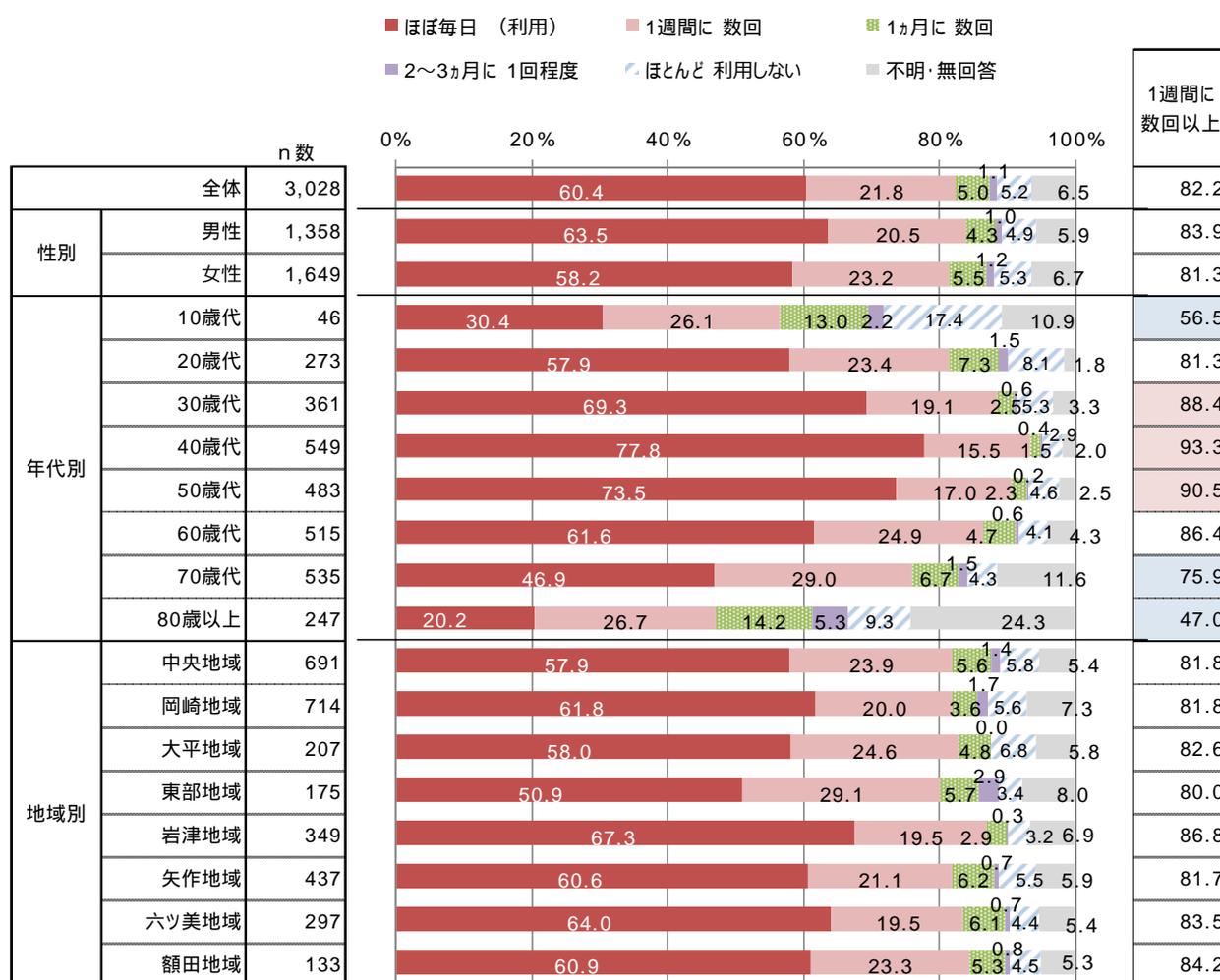
問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

<自動車・バイク>

日常生活で利用する交通手段（自動車・バイク）の利用頻度について年代別で見ると、「ほぼ毎日」の割合は40代、50代で7割を超えており特に高い。

地域別で見ると、東部地域において「ほぼ毎日」の比率が他の地域と比較してやや低い。

図 22 日常生活で利用する交通手段(自動車・バイク)の利用頻度 (全体・性別・年代別・地域別)



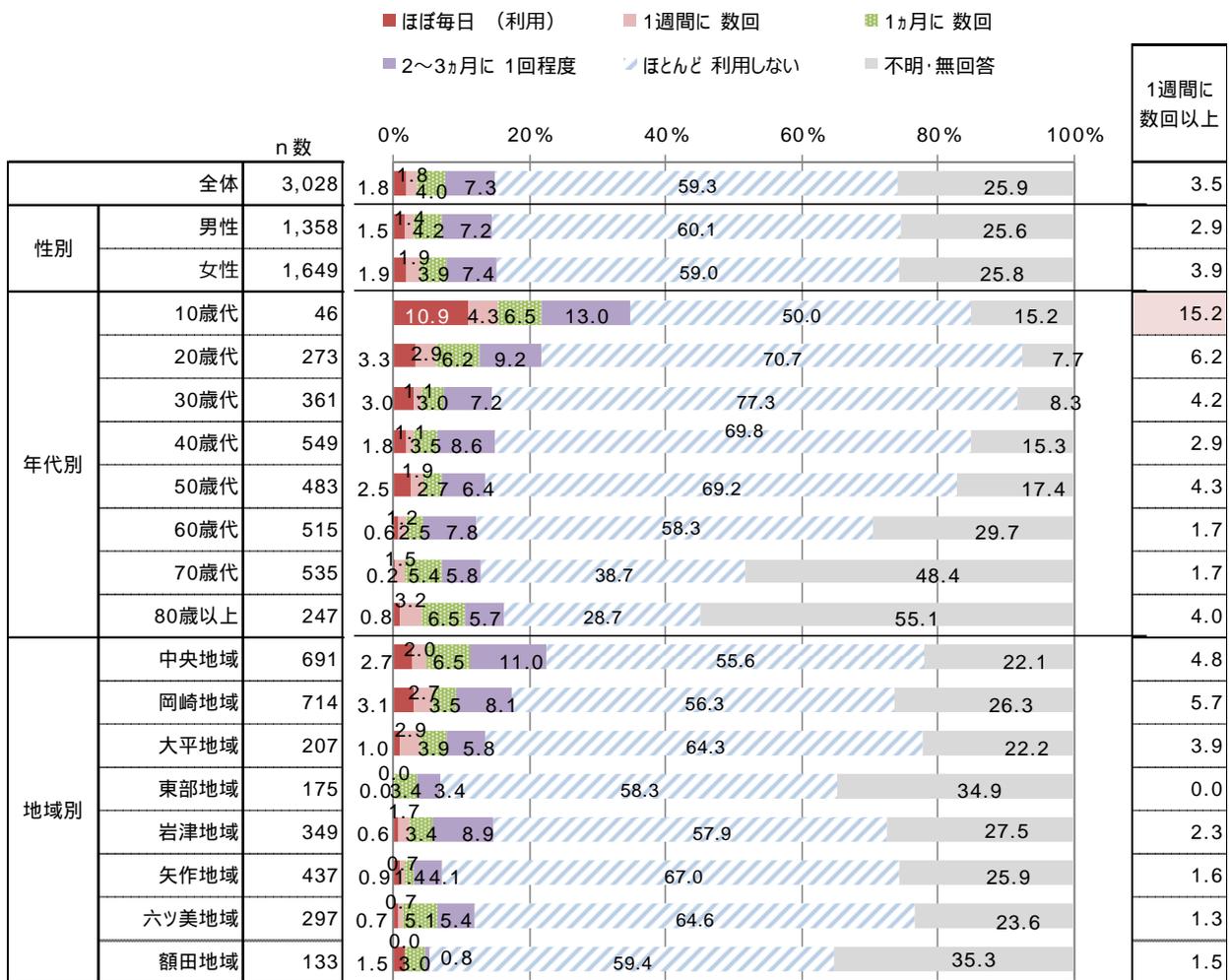
日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

<バス>

日常生活で利用する交通手段（バス）の利用頻度について年代別でみると、10代で「ほぼ毎日」が10.9%と高い。
 地域別でみると、岡崎地域、中央地域など、都市部の比率が他の地域と比較してやや高い。

図 23 日常生活で利用する交通手段(バス)の利用頻度（全体・性別・年代別・地域別）



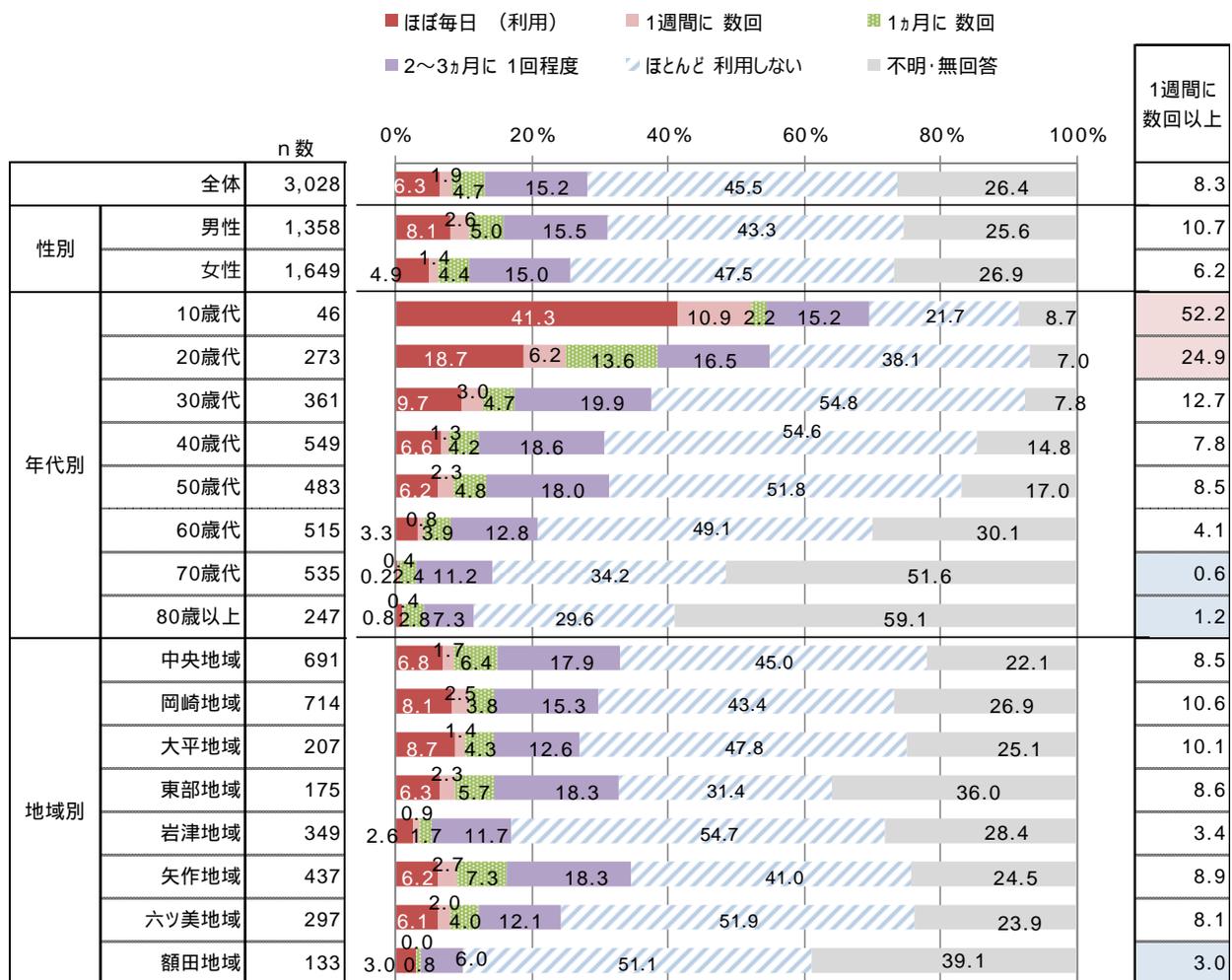
日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

< 鉄道 >

日常生活で利用する交通手段（鉄道）の利用頻度について年代別で見ると、10代で「ほぼ毎日」が41.3%、20代で18.7%と高い。
 地域別で見ると、岩津地域、六ツ美地域、額田地域は、「ほとんど利用しない」が5割を超えており、他の地域と比べてやや高い。

図 24 日常生活で利用する交通手段（鉄道）の利用頻度（全体・性別・年代別・地域別）



日常生活で利用する交通手段の利用頻度

問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

< タクシー >

日常生活で利用する交通手段（タクシー）の利用頻度について年代別、地域別ではいずれにおいても「ほとんど利用しない」が突出して高い。

図 25 日常生活で利用する交通手段(タクシー)の利用頻度（全体・性別・年代別・地域別）



日常生活で利用する交通手段の利用頻度

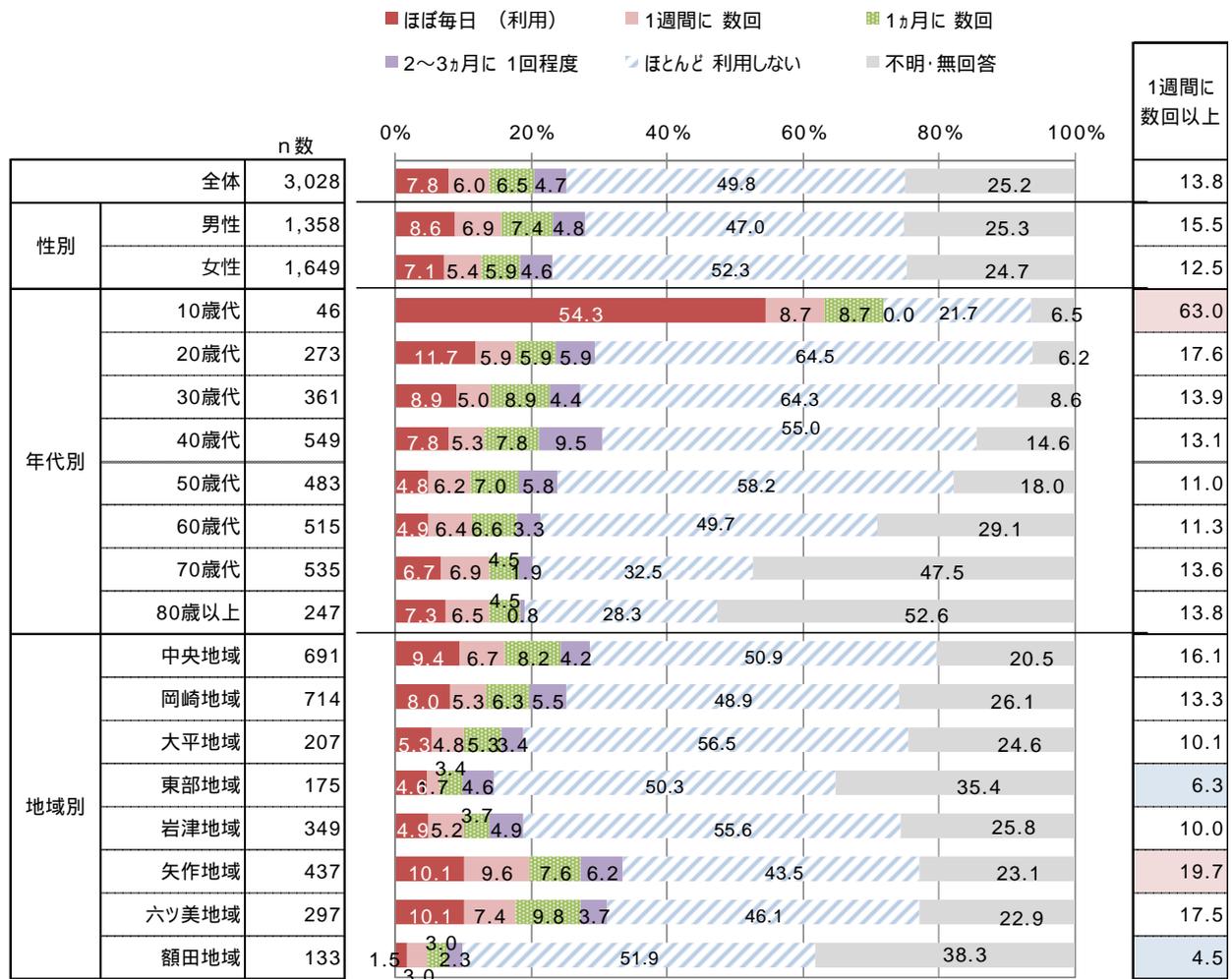
問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

<自転車>

日常生活で利用する交通手段（自転車）の利用頻度について年代別でみると、10代で「ほぼ毎日」が54.3%となっており、他の年代と比較して突出して高い。30代～80代の「1週間に数回以上」の比率に大きな差は見られない。

地域別でみると、矢作地域、六ツ美地域、中央地域では、「1週間に数回以上」の比率が2割弱を占めており、他の地域と比べてやや高い。

図 26 日常生活で利用する交通手段(自転車)の利用頻度（全体・性別・年代別・地域別）



日常生活で利用する交通手段の利用頻度

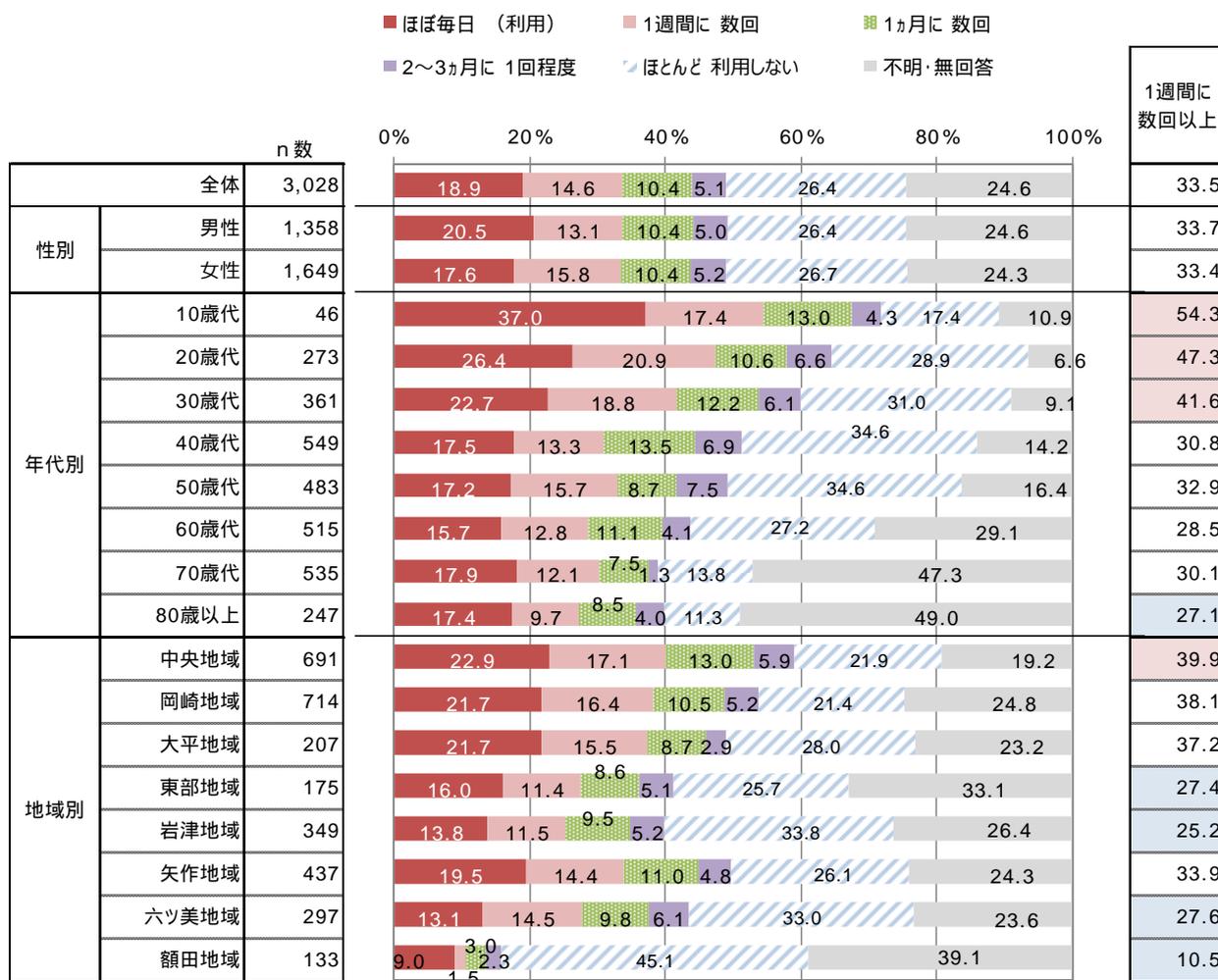
問 12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。（SA）

< 徒歩 >

日常生活で利用する交通手段（徒歩）の利用頻度（1週間に1回以上）について年代別でみると、10代 20代 30代の順に頻度が高く、40代以上はほぼ同様の比率となっている。

地域別でみると、額田地域は、「1週間に1回以上」の比率が10.5%となっているなど他の地域と比べて徒歩の頻度が低い。

図 27 日常生活で利用する交通手段(徒歩)の頻度（全体・性別・年代別・地域別）



日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段

問 13. 近年、自動車の利用形態が「所有」から、シェアサービスなどによる「利用」への移行が進むのではないかと注目されています。そのような時代背景を踏まえ、あなたご自身が、日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段をすべてお選びください（自家用車以外）。

※今すぐだけでなく、将来的な利用の可能性を含めてお答えください。（MA）

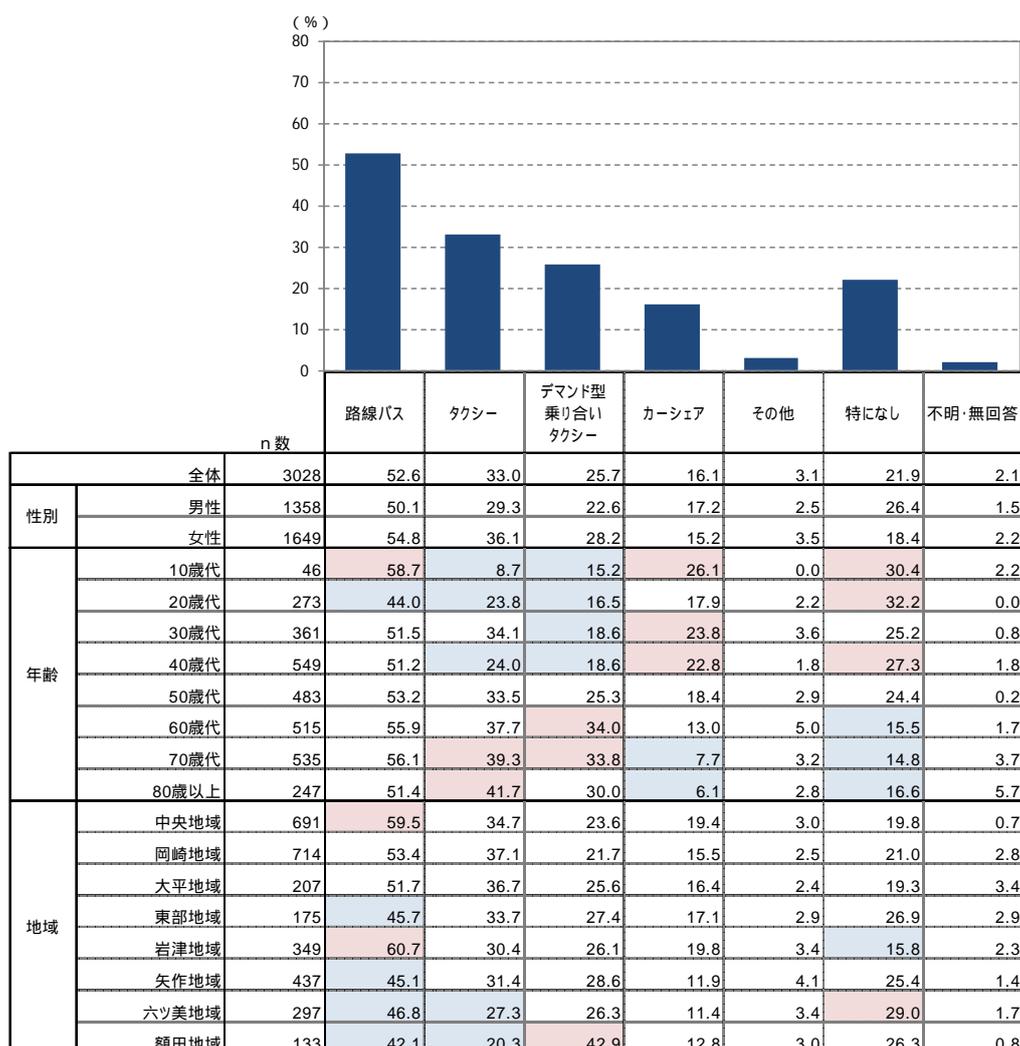
日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段を尋ねたところ、「路線バス」が 52.6% で最も高い。次いで「タクシー」（33.0%）、「デマンド型乗り合いタクシー」（25.7%）、「カーシェア」（16.1%）と続いている。また、「特になし」が 21.9% を占めている。

性別でみると、女性は男性と比較して「路線バス」「タクシー」「デマンド型乗り合いタクシー」の比率がやや高い。男性は女性と比較して「特になし」の比率が高い。

年代別でみると、60 代以上で「タクシー」「デマンド型乗り合いタクシー」の比率が他の年代と比較して高い。40 代以下の層では「カーシェア」「特になし」の比率が比較的高い。

地域別でみると、岩津地域、中央地域では「路線バス」の比率が 6 割前後と比較的高い。また、額田地域では「デマンド型乗り合いタクシー」の比率が 42.9% となっており、他のエリアが 3 割未満であるのと比較して高い。

図 28 日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段（全体・性別・年代別・地域別）



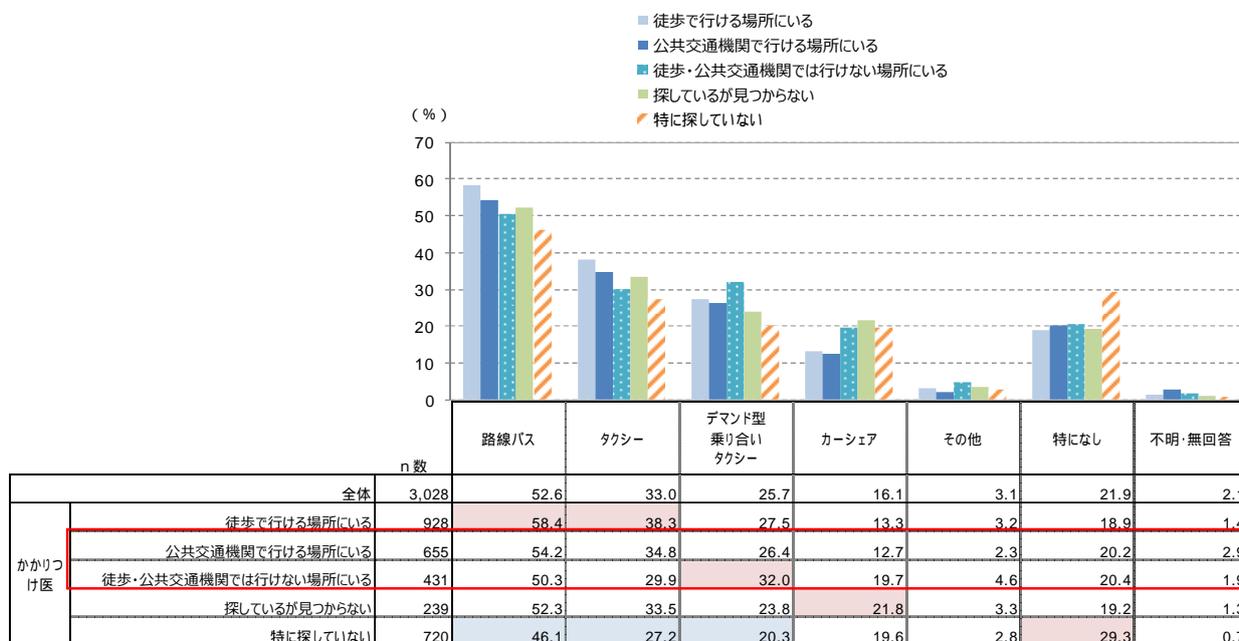
問 13. 近年、自動車の利用形態が「所有」から、シェアサービスなどによる「利用」への移行が進むのではないかと注目されています。そのような時代背景を踏まえ、あなたご自身が、日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段をすべてお選びください（自家用車以外）。
※今すぐだけではなく、将来的な利用の可能性を含めてお答えください。（MA）

< かかりつけ医の有無別 >

日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段について、かかりつけ医の有無・距離別でみると、いずれも「路線バス」が最も高く、次いで「タクシー」が高い傾向が見られる。

徒歩・公共の交通機関で行けない場所にかかりつけ医がいると回答した人は、公共交通機関で行ける場所にいる人と比べて、「デマンド型乗り合いタクシー」「カーシェア」の比率が高い。

図 29 日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段（かかりつけ医の有無別）



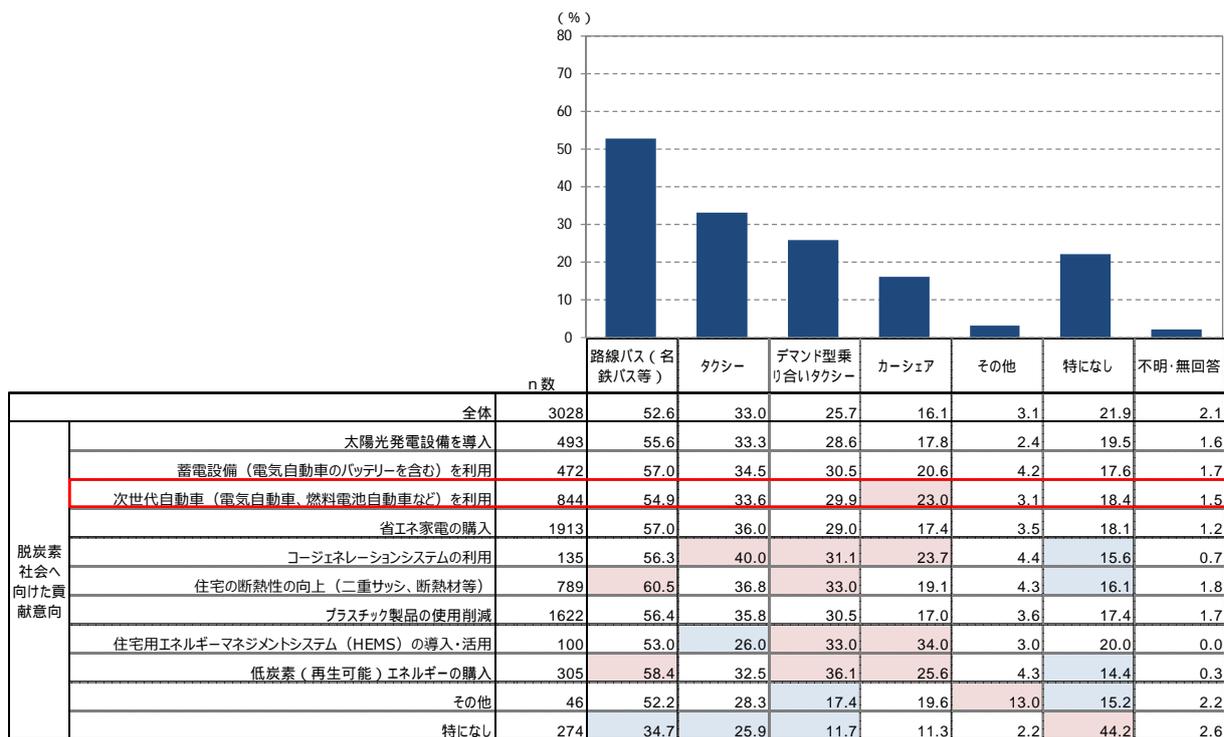
問 13. 近年、自動車の利用形態が「所有」から、シェアサービスなどによる「利用」への移行が進むのではないかと注目されています。そのような時代背景を踏まえ、あなたご自身が、日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段をすべてお選びください（自家用車以外）。
※今すぐだけではなく、将来的な利用の可能性を含めてお答えください。（MA）

< 脱炭素社会実現に向けた貢献意向手段別 >

日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段について、脱炭素社会実現に向けた貢献意向手段別で集計した（脱炭素社会実現に向けた貢献意向手段は複数回答項目のため参考とする）。

脱炭素社会実現に向けて、次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車など）を利用することで貢献したいと考えている人は、貢献したい手段が「特になし」の人と比べて、全般的な項目で比率が高い。すなわち、自家用車以外の移動手段を料金を払って利用することに肯定的な感覚を持っており、環境意識が比較的高い様子がうかがえる。

図 30 日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段（脱炭素社会実現に向けた貢献意向手段別）



(2) 防災・強靱化

岡崎市は周辺都市を含む公民連携や都市基盤の老朽化対策と連動して、災害に強いまち、被災時もスピード感を持った復旧・復興ができるまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

- ・伊賀川・鹿乗川・広田川・占部川・砂川床上浸水対策特別緊急事業
- ・耐震診断・耐震改修補助事業
- ・民間企業・自治体との連携促進事業（協定締結・訓練等）
- ・岡崎防災情報システム構築事業（登録制メール配信・気象情報提供等）
- ・道路・橋梁ストック点検修繕事業

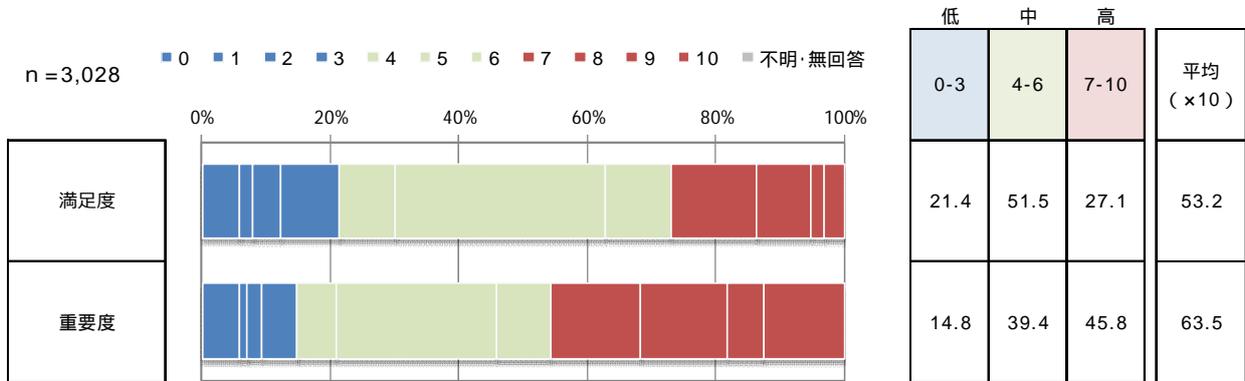
問 14. 岡崎市が近年行ってきた防災関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

全体（満足度・重要度）

防災・強靱化の取組みの満足度は「低」が21.4%、「中」が51.5%、「高」が27.1%、平均53.2となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が5.7%高い。

重要度は「低」が14.8%、「中」が39.4%、「高」が45.8%、平均63.5。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が31.0%高い（重要視している人の比率が高い）。重要度に比べて満足度の「高」評価の割合が低い。

図 31 防災・強靱化評価（満足度・重要度）全体



	← 低 → 高 (%)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	5.7	2.1	4.3	9.2	8.7	32.7	10.2	13.3	8.5	2.1	3.2	0.0
重要度	5.8	1.2	2.3	5.5	6.0	24.9	8.4	14.0	13.5	5.7	12.6	0.0

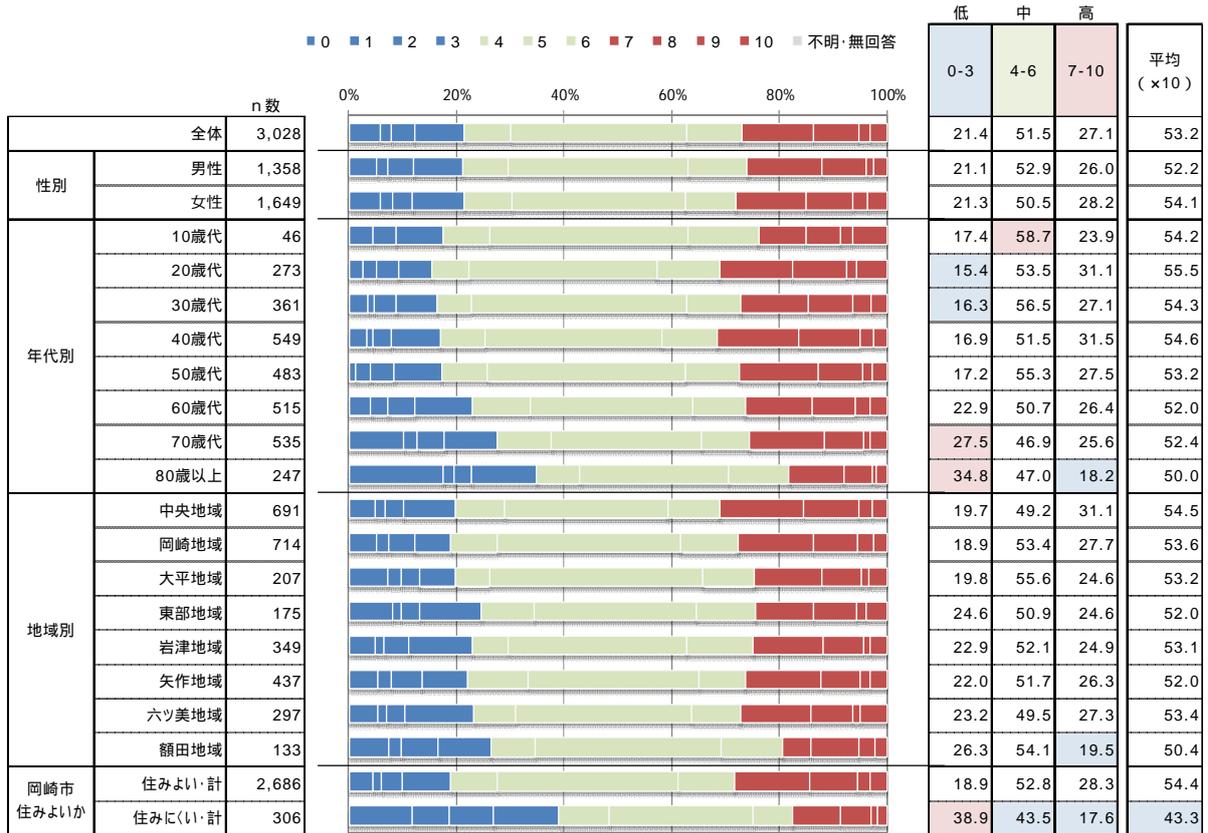
満足度（評価できる取組みだと思ふか）

防災・強靱化の満足度について、年代別でみると年代が高い人ほど「低」評価の比率が高い傾向が見られる。

地域別では、額田地域では「高」評価の比率がやや低く、「低」評価の比率が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の38.9%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（18.9%）との差がみられる。

図 32 防災・強靱化 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



評価	n数	満足度										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
性別	全体	3,028	5.7	2.1	4.3	9.2	8.7	32.7	10.2	13.3	8.5	2.1	3.2	0.0
男性	1,358	5.2	2.1	4.9	9.0	8.5	33.4	11.0	13.9	8.2	1.3	2.7	0.0	
女性	1,649	5.8	2.2	3.8	9.5	9.0	32.2	9.3	13.0	8.8	2.8	3.6	0.0	
年代別	10歳代	46	4.3	0.0	4.3	8.7	8.7	37.0	13.0	8.7	6.5	2.2	6.5	0.0
20歳代	273	2.6	2.6	4.0	6.2	7.0	34.8	11.7	13.6	9.9	1.8	5.9	0.0	
30歳代	361	3.6	1.1	4.2	7.5	6.4	39.9	10.2	12.5	8.3	3.3	3.0	0.0	
40歳代	549	3.3	1.1	3.5	9.1	8.4	32.8	10.4	15.1	11.3	2.6	2.6	0.0	
50歳代	483	1.2	2.7	4.3	8.9	8.5	36.9	9.9	14.7	8.3	1.9	2.7	0.0	
60歳代	515	4.1	3.1	5.0	10.7	10.7	30.3	9.7	12.4	8.0	2.7	3.3	0.0	
70歳代	535	10.3	2.4	5.0	9.7	10.1	27.9	9.0	13.8	7.5	1.1	3.2	0.0	
80歳以上	247	17.4	2.0	3.2	12.1	8.1	27.5	11.3	10.1	5.3	0.8	2.0	0.0	
地域別	中央地域	691	4.9	1.9	3.3	9.6	9.3	30.2	9.7	15.5	10.3	2.5	2.9	0.0
岡崎地域	714	5.0	2.4	4.8	6.7	8.7	33.9	10.8	13.9	8.4	2.8	2.7	0.0	
大平地域	207	7.2	2.4	3.4	6.8	6.3	39.6	9.7	12.6	7.2	1.4	3.4	0.0	
東部地域	175	8.0	1.7	3.4	11.4	9.7	30.3	10.9	10.9	8.0	1.7	4.0	0.0	
岩津地域	349	4.9	1.7	4.6	11.7	6.6	33.2	12.3	12.9	7.7	1.1	3.2	0.0	
矢作地域	437	5.3	2.5	5.7	8.5	11.2	31.8	8.7	14.0	7.3	1.8	3.2	0.0	
六ツ美地域	297	5.4	1.7	3.4	12.8	7.7	32.7	9.1	13.1	7.7	1.3	5.1	0.0	
額田地域	133	7.5	2.3	6.8	9.8	8.3	34.6	11.3	5.3	9.0	3.0	2.3	0.0	
岡崎市住みよさ別	住みよい・計	2,686	4.5	1.6	3.9	8.9	8.7	33.6	10.5	13.9	8.9	2.2	3.4	0.0
住みにくい・計	306	11.8	6.9	8.2	12.1	9.5	26.8	7.2	8.8	5.9	1.0	2.0	0.0	

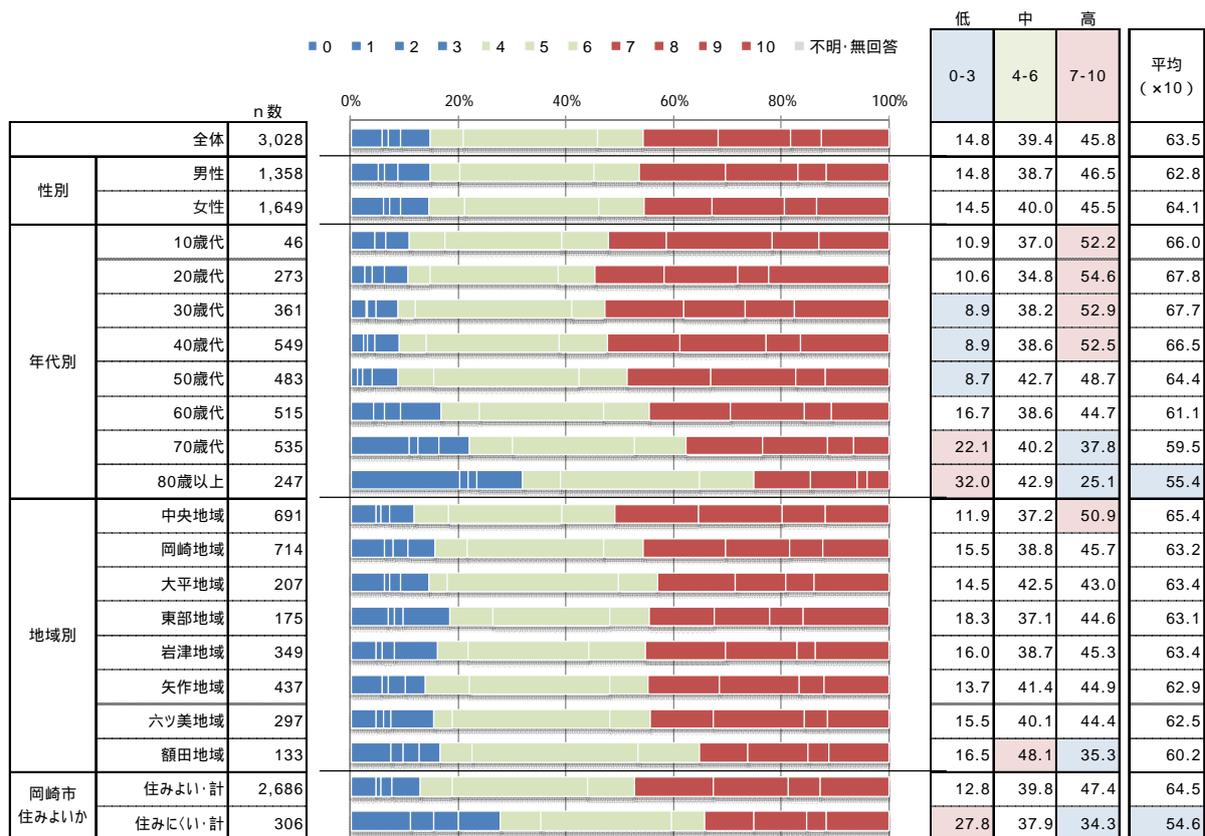
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

防災・強靱化の重要度について年代別でみると、70代、80代以上は重要度が「低」の比率が他の年代と比較して高い。一方で、40代以下の人は重要度が「高」の比率が5割以上となっており、年代による差が大きい。

地域別では、中央地域で重要度が「高」の比率が他地域と比較して高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくい人と評価した人の27.8%が重要度「低」となっており、住みよいと評価した人（12.8%）との差がみられる。

図 33 防災・強靱化 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



Category	n数	重要度												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	不明・無回答	
全体	3,028	5.8	1.2	2.3	5.5	6.0	24.9	8.4	14.0	13.5	5.7	12.6	0.0	
性別	男性	1,358	5.2	1.1	2.7	5.9	5.4	24.9	8.5	16.0	13.5	5.3	11.6	0.0
	女性	1,649	5.9	1.3	1.9	5.3	6.7	24.9	8.4	12.4	13.5	6.1	13.5	0.0
年代別	10歳代	46	4.3	0.0	2.2	4.3	6.5	21.7	8.7	10.9	19.6	8.7	13.0	0.0
	20歳代	273	2.6	1.5	2.2	4.4	4.0	23.8	7.0	12.8	13.6	5.9	22.3	0.0
	30歳代	361	2.8	0.3	1.7	4.2	3.0	29.1	6.1	14.7	11.4	9.1	17.7	0.0
	40歳代	549	2.4	0.7	1.3	4.6	5.1	24.8	8.7	13.5	16.0	6.6	16.4	0.0
	50歳代	483	1.2	1.0	1.7	4.8	6.6	27.1	8.9	15.5	15.7	5.4	12.0	0.0
	60歳代	515	4.3	1.9	3.1	7.4	7.2	23.1	8.3	15.1	13.6	5.2	10.7	0.0
	70歳代	535	10.8	1.7	3.7	5.8	8.0	22.6	9.5	14.2	12.1	4.7	6.7	0.0
	80歳以上	247	20.2	1.6	1.6	8.5	6.9	25.9	10.1	10.5	8.5	2.0	4.0	0.0
地域別	中央地域	691	4.6	0.9	1.7	4.6	6.4	20.8	10.0	15.5	15.6	8.0	11.9	0.0
	岡崎地域	714	6.3	1.5	2.8	4.9	6.0	25.4	7.4	15.1	12.0	6.2	12.3	0.0
	大平地域	207	6.3	1.0	1.9	5.3	3.4	31.9	7.2	14.5	9.2	5.3	14.0	0.0
	東部地域	175	6.9	1.1	1.7	8.6	8.0	21.7	7.4	12.0	10.3	6.3	16.0	0.0
	岩津地域	349	4.6	1.1	2.3	8.0	5.7	22.3	10.6	14.9	13.2	3.4	13.8	0.0
	矢作地域	437	5.7	1.1	3.2	3.7	8.2	26.1	7.1	13.3	14.9	4.6	12.1	0.0
	六ツ美地域	297	4.7	1.3	1.3	8.1	3.4	29.3	7.4	11.8	16.8	4.4	11.4	0.0
	額田地域	133	7.5	2.3	3.0	3.8	6.0	30.8	11.3	9.0	11.3	3.8	11.3	0.0
岡崎市住みよさ別	住みよい・計	2,686	4.7	0.9	2.0	5.3	5.9	25.1	8.7	14.6	14.0	6.0	12.8	0.0
	住みにくい・計	306	11.1	4.2	4.6	7.8	7.5	24.2	6.2	9.2	9.8	3.6	11.8	0.0

スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況

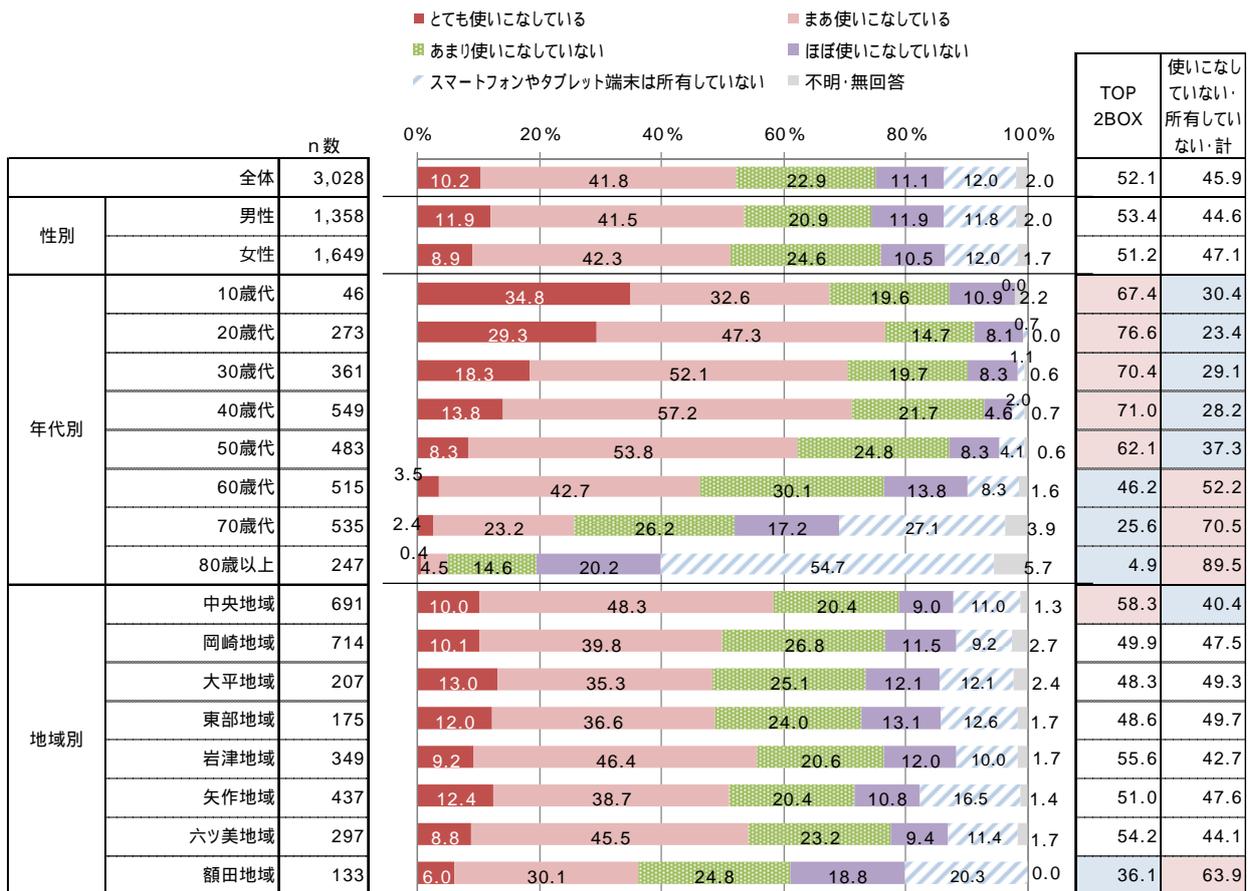
問 15. きめ細かな災害情報を得る方法として、スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器での受信が考えられますが、あなたの今の状況を教えてください。(SA)

スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況は、「とても使いこなしている」が10.2%、「まあ使いこなしている」が41.8%で、合計52.1%が「使いこなしている」。一方で、「あまり使いこなしていない」が22.9%、「ほぼ使いこなしていない」が11.1%、「所有していない」が12.0%で、合計45.9%がスマートフォン・タブレット端末などのデジタル機器を使いこなしていない。

年代別でみると、年代が低い層ほど、「とても使いこなしている」人の比率が高く、60代以上では「使いこなしている」の合計が5割を下回っている。80歳以上の人は「所有していない」が54.7%を占めている。

地域別で「使いこなしている」人の比率をみると、中央地域では58.3%と高く、額田地域は36.1%と他の地域と比較して低い。

図 34 スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況 (全体・性別・年代別・地域別)

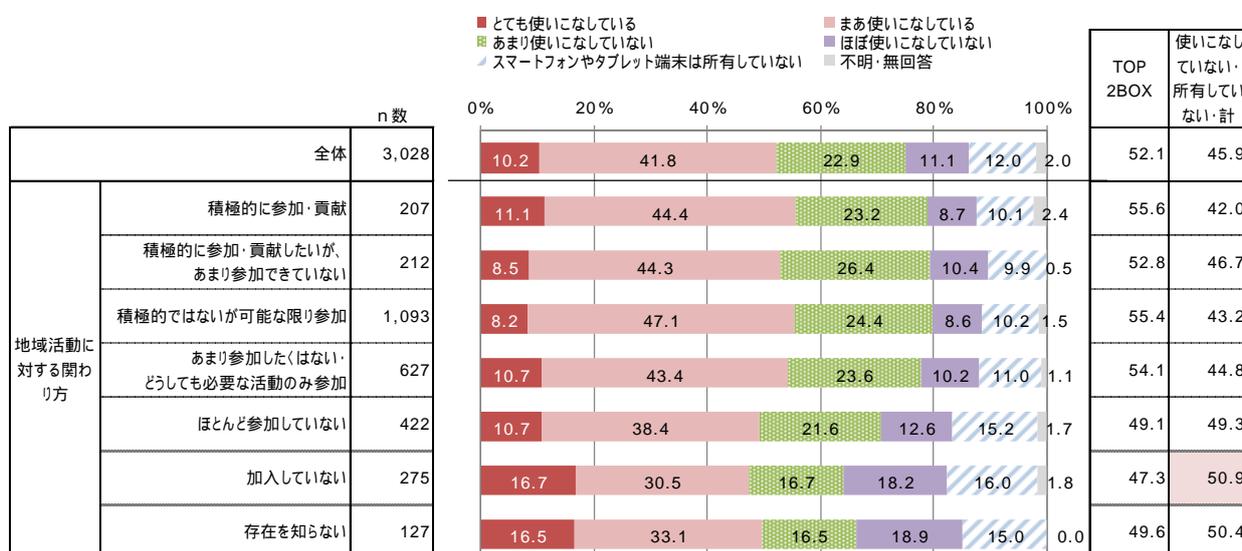


問 15. きめ細かな災害情報を得る方法として、スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器での受信が考えられますが、あなたの今の状況を教えてください。(SA)

< 地域活動への関わり方別 >

スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況について、地域活動に対する関わり方別でみると、存在を知らない、加入していない、ほとんど参加していない人では、「使いこなしていない」比率がやや高いが、その他、積極的に参加、参加・貢献したいがあまり参加できていない、可能な限り参加、必要な活動のみ参加など、関わり方別でスマートフォンの活用状況に差は見られない。いずれも使いこなしている人の比率が5割強を占めている。

図 35 スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器の活用状況 (地域活動への関わり方別)



防災用品の備蓄・準備について

問 16. 被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。(MA)
 また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。(MA)

<「備蓄」「準備」している防災用品>

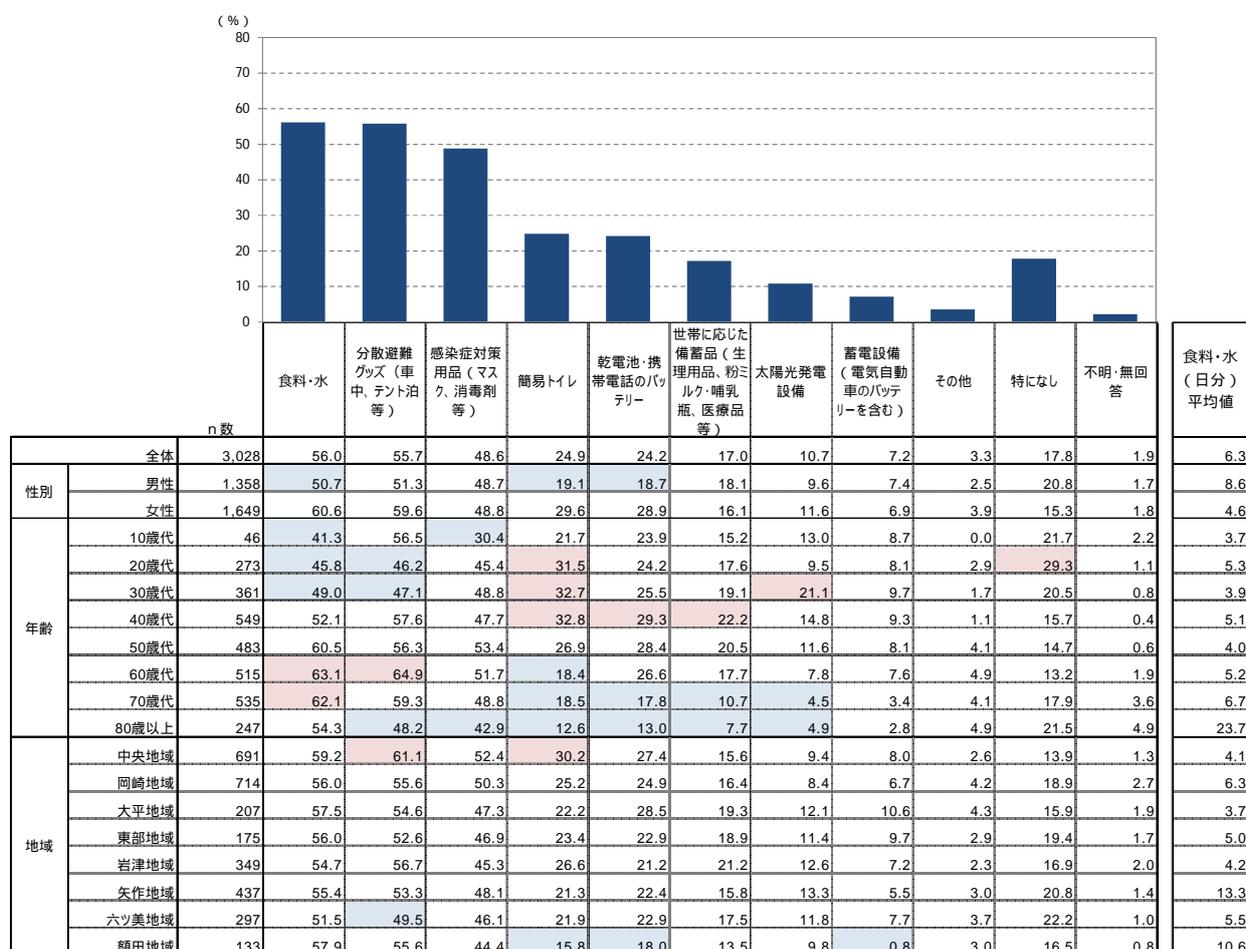
家庭で「備蓄」「準備」している防災用品は、「食料・水」(56.0%)、「分散避難グッズ」(55.7%)の2つが55%強と高い。これに「感染症対策用品」(48.6%)が続いており、以下、「簡易トイレ」(24.9%)、「乾電池・携帯電話のバッテリー」(24.2%)が2割以上となっている。

性別でみると、女性の方が男性と比較して、「食料・水」「分散避難グッズ」「簡易トイレ」「乾電池・携帯電話のバッテリー」などの比率が高い。

年代別でみると、年代が高い層ほど「食料・水」の比率が高くなる傾向が見られる。20代～40代では「簡易トイレ」が3割強となっており、60代以上の層が2割未満であるのと比較して高い。30代以下の方は「特になし」が2割以上を占めている。

地域別でみると、中央地域では「分散避難グッズ」「簡易トイレ」の比率が他の地域と比較して高い。

図 36 家庭において「備蓄」「準備」している防災用品 (全体・性別・年代別・地域別)



問 16.被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。(MA)

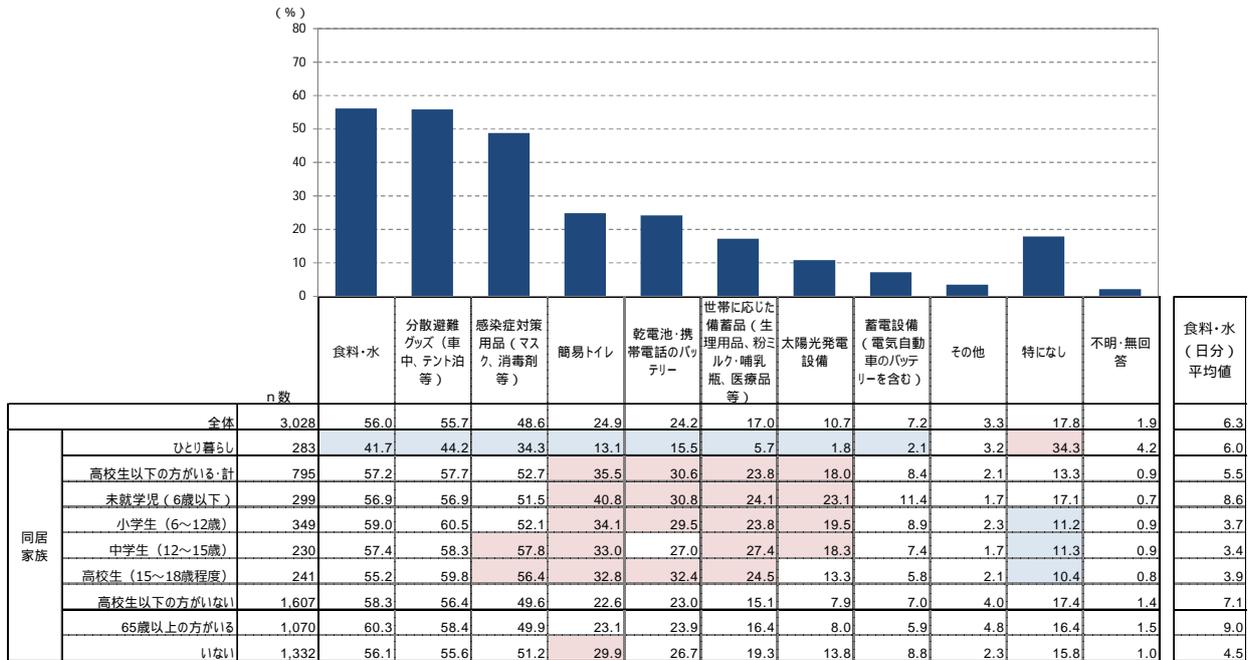
また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。(MA)

<「備蓄」「準備」している防災用品>

家庭で「備蓄」「準備」している防災用品について、同居家族別でみると、高校生以下の同居家族がいる人では、「簡易トイレ」「乾電池・携帯電話のバッテリー」「世帯に応じた備蓄品」「太陽光発電設備」などの比率が、高校生以下の同居家族がいない層と比較して高い。特に、未就学児がいる人の「簡易トイレ」の比率が40.8%と高い。他、ひとり暮らし(単身世帯)では全般的に比率が低く、「特になし」の比率が34.3%と高い。

一方で、65歳以上の同居家族がいる人といない人で比較すると、65歳以上の同居家族がいる人では、「簡易トイレ」の比率が比較的低い傾向が見られる。

図 37 家庭において「備蓄」「準備」している防災用品 (同居家族別)



防災用品の備蓄・準備について

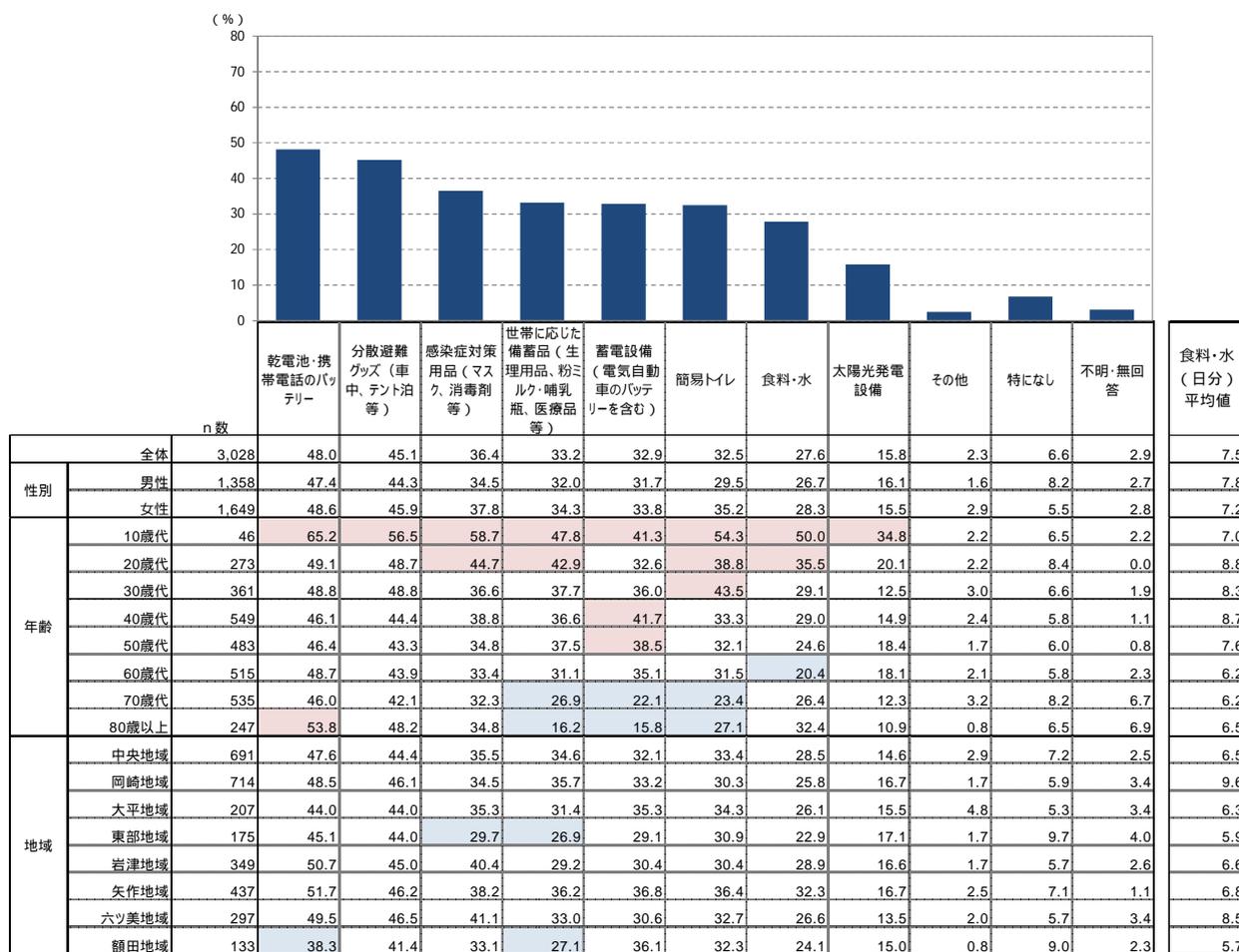
問 16.被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。(MA)
 また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。(MA)

< 準備済みの防災用品以外で必要だと思うもの >

現在準備済みの防災用品以外で、必要だと思う防災用品は、「乾電池・携帯電話のバッテリー」(48.0%)、「分散避難グッズ」(45.1%)の2つが4割以上と高い。これに「感染症対策用品」(36.4%)、「世帯に応じた備蓄品」(33.2%)、「蓄電設備」(32.9%)、「簡易トイレ」(32.5%)などが3割以上で続いている。

性別でみると、女性の方が男性と比較して、「簡易トイレ」の比率がやや高い。
 年代別でみると、10代～30代では「簡易トイレ」の比率が他の年代と比較して高い。

図 38 準備済みの防災用品以外で、必要だと思うもの (全体・性別・年代別・地域別)



問 16.被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。(MA)
 また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。(MA)

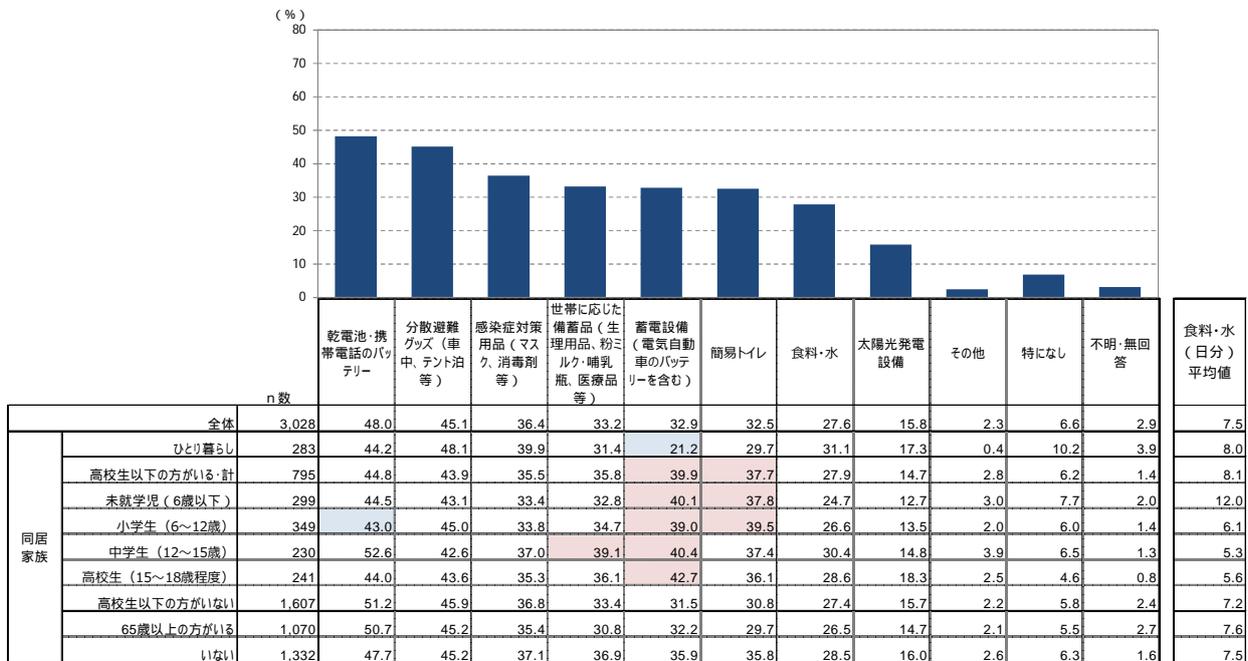
< 準備済みの防災用品以外で必要だと思うもの >

現在準備済みの防災用品以外で、必要だと思う防災用品について、同居家族別で見ると、ひとり暮らしの人では「蓄電設備」の比率が比較的低い。

高校生以下の同居家族がいる人では、「蓄電設備」「簡易トイレ」などの比率が高校生以下の同居家族がいない層と比較して高い。

65歳以上の同居家族がいる人といない人で比較すると、65歳以上の同居家族がいる人では、いない人と比べて「乾電池・携帯電話のバッテリー」の比率が比較的高く、「簡易トイレ」の比率が低い。

図 39 準備済みの防災用品以外で、必要だと思うもの (同居家族別)



問 16.被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。(MA)
 また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。(MA)

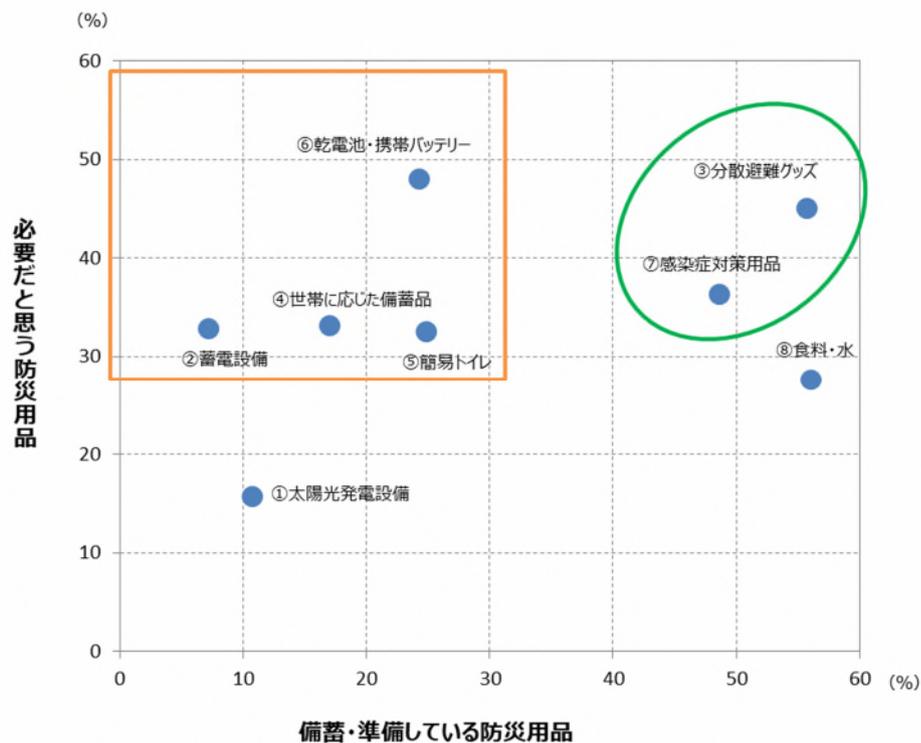
<「備蓄」「準備」している防災用品 × 準備済みの防災用品以外で、必要だと思うもの>

現在準備済みの防災用品と、必要だと思う防災用品の関係を整理すると、下図のとおりとなる。

現在備蓄・準備している比率が4割以上で、必要だと思う比率が3割以上となっている(相対的に備蓄・準備率が高い防災用品であるものの、まだ準備していない人が必要だと思っている)防災用品は、「分散型避難グッズ」「感染症対策用品」である。

現在備蓄・準備している比率が3割以下で、必要だと思う比率が3割以上の防災用品(準備していない人が多いが、必要だと思う人が一定割合の防災用品)は、「乾電池・携帯バッテリー」「世帯に応じた備蓄品」「簡易トイレ」「蓄電設備」などとなっている。

図 40 「備蓄・準備している防災用品」×「準備済みの防災用品以外で必要だと思うもの」(全体)



	太陽光発電設備	蓄電設備 (電気自動車 のバッテリー を含む)	分散避難グ ズ(車中、テ ント泊等)	世帯に応じた 備蓄品(生 理用品、粉 ミルク、補 乳瓶、医療 品等)	簡易トイレ	乾電池・携 帯電話のバ ッテリー	感染症対策 用品(マス ク、消毒剤 等)	食料・水	その他	特になし	不明・無回 答
備蓄・準備している防災用品	10.7	7.2	55.7	17.0	24.9	24.2	48.6	56.0	3.3	17.8	1.9
必要だと思うもの(準備済みの防災用品以外)	15.8	32.9	45.1	33.2	32.5	48.0	36.4	27.6	2.3	6.6	2.9

(3) 環境・農山村

岡崎市は排出CO2の削減、生物の多様性確保、健全な水環境、森林資源や農地の保全・活用がなされる持続可能なまちを目指しています。

近年行ってきた取組み(例)

- ・新エネルギーシステム設置等補助事業(太陽光発電システム・次世代自動車等)
- ・ゼロカーボンシティ推進本部設立
- ・エネルギー地産地消推進事業(地域電力小売会社設立)
- ・産直施設運営事業(農遊館・ふれあいドーム・道の駅藤川宿)
- ・岡崎市産材住宅建設事業費補助事業

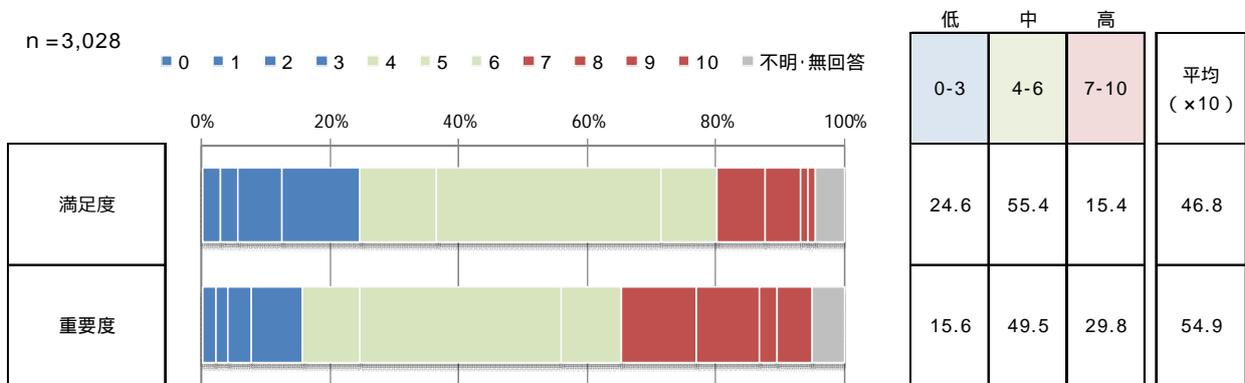
問 17.岡崎市が近年行ってきた環境関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

全体(満足度・重要度)

環境・農山村関連の取組みの満足度は「低」が24.6%、「中」が55.4%、「高」が15.4%、平均46.8となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が9.2%高い。

重要度は「低」が15.6%、「中」が49.5%、「高」が29.8%、平均54.9。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が14.2%高い。

図 41 環境・農山村評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (%)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	2.9	2.7	6.7	12.3	11.9	34.8	8.7	7.5	5.6	1.1	1.3	4.6
重要度	2.1	1.9	3.6	8.0	8.9	31.3	9.3	11.8	9.7	2.9	5.4	5.1

問 17.岡崎市が近年行ってきた環境関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

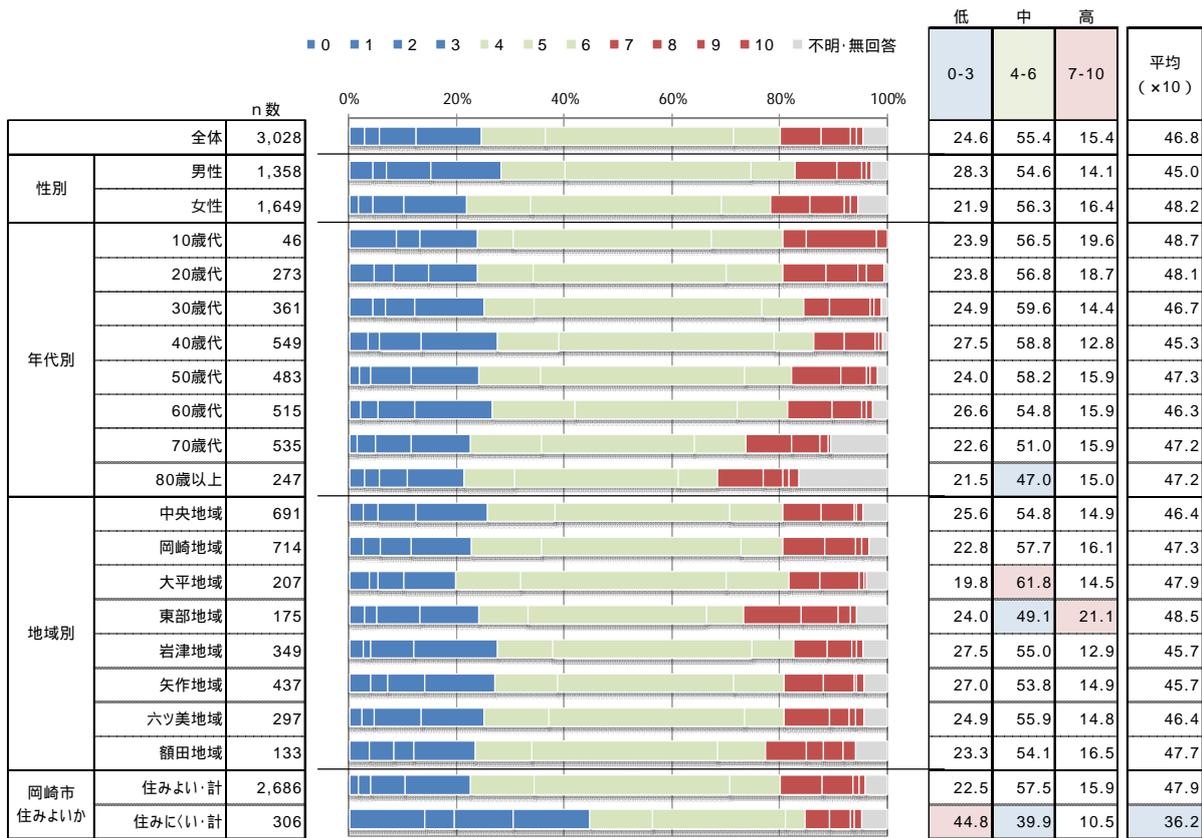
満足度 (評価できる取組みだと思うか)

環境・農山村の取組みの満足度について、年代別で見ると10代、20代で「高」評価の比率がやや高いが、その他、傾向に大きな違いは見られない。

地域別では、東部地域では「高」評価の比率が比較的高い。

岡崎市の住みよさ別で見ると、住みにくいと評価した人の44.8%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人(22.5%)との差が20%以上となっている。

図 42 環境・農山村評価【満足度】 (全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別)



	n数	評価										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体	3,028	2.9	2.7	6.7	12.3	11.9	34.8	8.7	7.5	5.6	1.1	1.3	4.6	
性別	男性	1,358	4.3	2.7	8.1	13.1	11.9	34.5	8.3	7.6	4.6	1.0	1.0	2.9
	女性	1,649	1.8	2.7	5.6	11.8	11.8	35.4	9.0	7.3	6.4	1.1	1.5	5.5
年代別	10歳代	46	8.7	0.0	4.3	10.9	6.5	37.0	13.0	4.3	13.0	0.0	2.2	0.0
	20歳代	273	4.8	3.7	6.2	9.2	10.3	35.9	10.6	8.1	5.9	1.5	3.3	0.7
	30歳代	361	4.4	2.2	5.5	12.7	9.4	42.4	7.8	4.7	7.5	0.8	1.4	1.1
	40歳代	549	3.5	2.2	7.8	14.0	11.5	39.9	7.5	5.6	5.6	0.7	0.7	0.9
	50歳代	483	1.9	2.1	7.7	12.4	11.6	37.9	8.7	9.1	4.8	0.6	1.4	1.9
	60歳代	515	2.1	3.3	6.8	14.4	15.3	30.1	9.3	8.3	5.4	1.0	1.2	2.7
	70歳代	535	1.5	3.4	6.7	11.0	13.1	28.4	9.5	8.4	5.2	1.7	0.6	10.5
	80歳以上	247	2.8	2.8	5.3	10.5	9.3	30.4	7.3	8.5	3.6	1.2	1.6	16.6
地域別	中央地域	691	2.6	2.7	7.1	13.2	12.6	32.4	9.8	7.1	6.2	0.4	1.2	4.6
	岡崎地域	714	2.5	3.2	5.7	11.3	12.9	37.0	7.8	7.7	5.7	1.3	1.4	3.4
	大平地域	207	3.9	1.4	4.8	9.7	12.1	38.2	11.6	5.8	7.2	1.0	0.5	3.9
	東部地域	175	2.9	2.3	8.0	10.9	9.1	33.1	6.9	10.9	6.9	2.3	1.1	5.7
	岩津地域	349	2.6	1.4	8.0	15.5	10.3	37.0	7.7	6.3	4.6	0.9	1.1	4.6
	矢作地域	437	3.9	3.2	6.9	13.0	11.7	32.7	9.4	7.3	5.7	0.5	1.4	4.3
	六ツ美地域	297	2.4	2.4	8.8	11.4	12.1	36.4	7.4	8.4	3.7	1.0	1.7	4.4
	額田地域	133	3.8	4.5	3.8	11.3	10.5	34.6	9.0	7.5	3.0	3.8	2.3	6.0
岡崎市住みよさ別	住みよい・計	2,686	1.6	2.4	6.3	12.2	11.8	36.3	9.3	7.8	5.7	1.1	1.3	4.1
	住みにくい・計	306	14.1	5.6	10.8	14.4	11.4	24.8	3.6	4.6	3.9	0.7	1.3	4.9

問 17.岡崎市が近年行ってきた環境関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

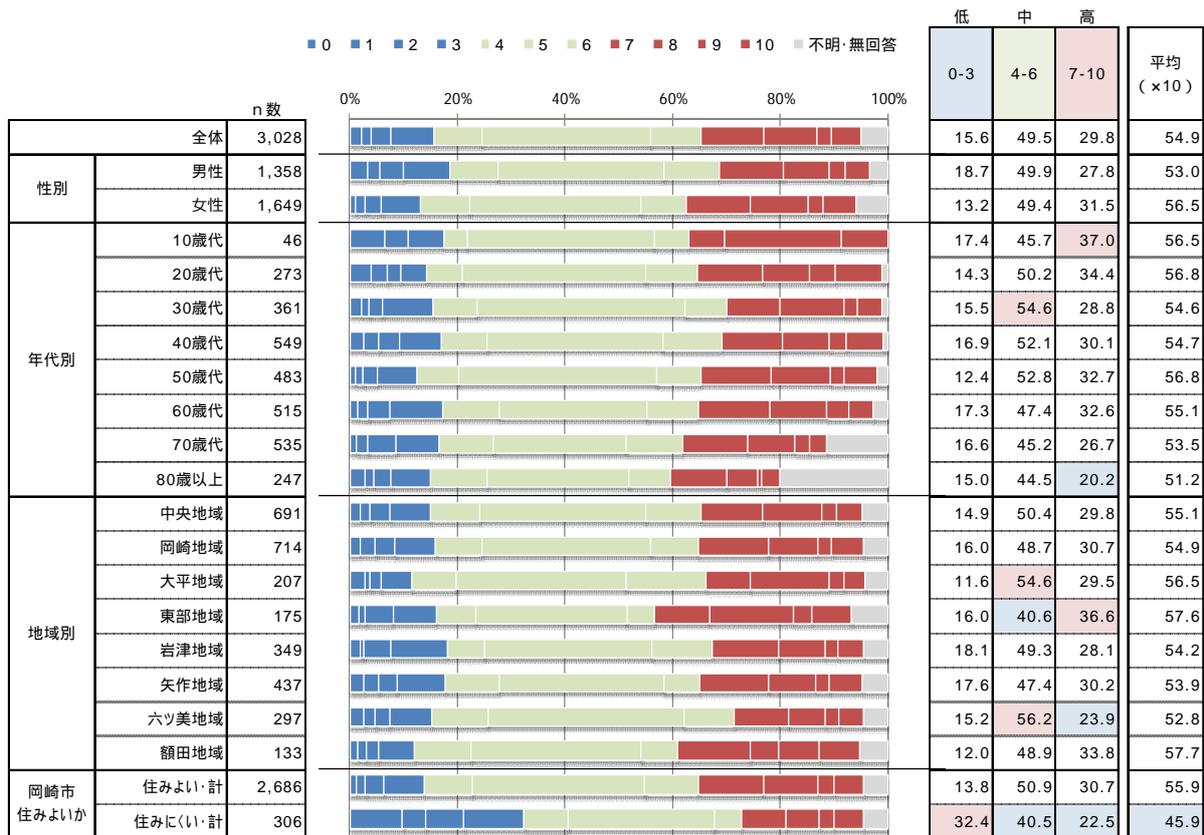
重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)

環境・農山村の取組みの重要度について、年代別で見ると70代以上では「高」評価の比率が他の年代と比較してやや低い。

地域別では、東部地域では「高」評価の比率が比較的高い。

岡崎市の住みよさ別で見ると、住みよいと評価した人の30.7%が重要度「高」との評価となっており、住みにくいと評価した人(22.5%)とやや差が見られる。

図 43 環境・農山村評価【重要度】 (全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別)



n数	低 ← → 高											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体 3,028	2.1	1.9	3.6	8.0	8.9	31.3	9.3	11.8	9.7	2.9	5.4	5.1
性別												
男性 1,358	3.4	2.2	4.4	8.7	8.8	30.9	10.3	11.9	8.4	3.2	4.4	3.5
女性 1,649	1.1	1.8	3.0	7.4	9.0	31.8	8.6	11.7	10.9	2.7	6.2	5.9
年代別												
10歳代 46	6.5	0.0	4.3	6.5	4.3	34.8	6.5	6.5	21.7	0.0	8.7	0.0
20歳代 273	4.0	2.9	2.6	4.8	6.6	34.1	9.5	12.1	8.8	4.8	8.8	1.1
30歳代 361	2.2	1.4	2.5	9.4	8.0	38.8	7.8	9.7	11.9	2.5	4.7	1.1
40歳代 549	2.7	2.7	3.8	7.7	8.6	32.6	10.9	11.3	8.7	3.1	6.9	0.9
50歳代 483	1.0	1.4	2.7	7.2	7.9	36.6	8.3	13.0	11.0	2.5	6.2	2.1
60歳代 515	1.6	1.7	4.1	9.9	10.5	27.4	9.5	13.4	10.5	4.1	4.7	2.7
70歳代 535	1.3	2.1	5.2	8.0	10.1	24.7	10.5	12.0	8.8	2.6	3.4	11.4
80歳以上 247	2.8	1.6	3.2	7.3	10.5	26.3	7.7	10.5	5.7	0.8	3.2	20.2
地域別												
中央地域 691	1.9	1.9	3.8	7.4	9.3	30.7	10.4	11.4	11.0	2.7	4.6	4.9
岡崎地域 714	2.0	2.8	3.6	7.6	8.5	31.4	8.8	13.0	9.1	2.7	5.9	4.6
大平地域 207	2.9	1.0	1.9	5.8	8.2	31.4	15.0	8.2	14.5	2.9	3.9	4.3
東部地域 175	1.7	1.1	5.1	8.0	7.4	28.0	5.1	10.3	15.4	3.4	7.4	6.9
岩津地域 349	2.0	0.6	5.2	10.3	6.9	31.2	11.2	12.3	8.6	2.3	4.9	4.6
矢作地域 437	2.5	2.7	3.4	8.9	10.1	30.7	6.6	12.8	8.7	2.5	6.2	4.8
六ツ美地域 297	2.7	2.0	2.7	7.7	10.4	36.4	9.4	10.1	6.7	2.7	4.4	4.7
額田地域 133	1.5	1.5	2.3	6.8	10.5	31.6	6.8	13.5	5.3	7.5	7.5	5.3
岡崎市住みよさ別												
住みよいか 2,686	1.3	1.7	3.2	7.6	9.0	32.1	9.9	12.1	10.1	3.0	5.4	4.7
住みにくい計 306	9.8	4.2	7.2	11.1	8.2	27.1	5.2	8.2	6.2	2.6	5.6	4.6

森林の機能として特に重要だと思うこと

問 18. 岡崎市では、持続可能な循環型の都市づくりの観点から、森林の持つ多面的な機能に注目しています。

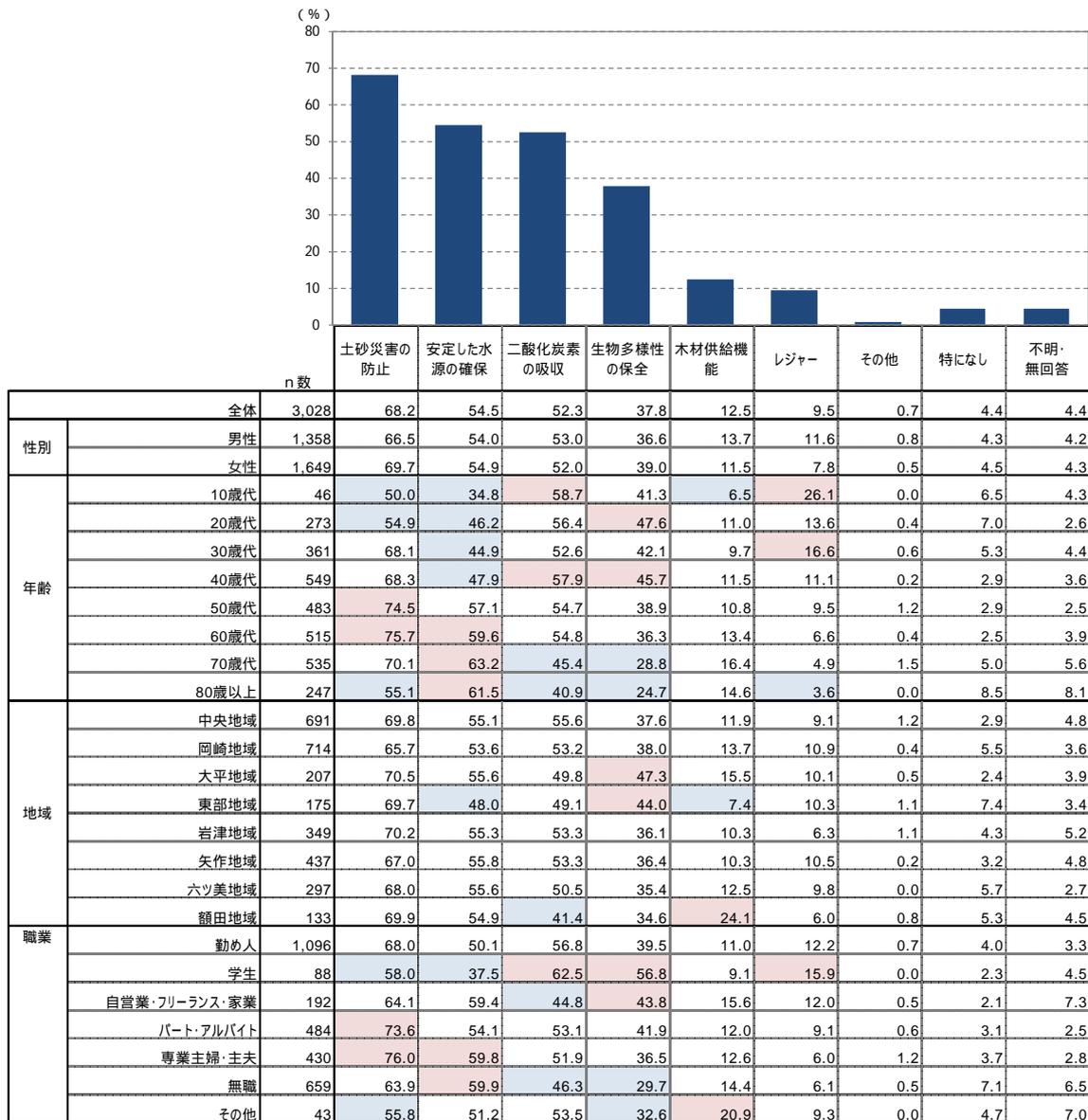
あなたご自身のお考えとして、森林の機能として特に重要だと思うことは何ですか。(MA) は3つまで

森林の機能として特に重要だと思うことを3つまで選択してもらったところ、「土砂災害の防止」が68.2%と最も高い。以下、「安定した水源の確保」(54.5%)、「二酸化炭素の吸収」(52.3%)、「生物多様性の保全」(37.8%)などが上位となっている。

年代別で見ると、「土砂災害の防止」は50代～60代が他の年代と比較して高い。「安定した水源の確保」についても60代以上など高年齢層の比率が高い。一方で、「二酸化炭素の吸収」「生物多様性の確保」などは70代以上の人の比率が他の年代と比較して低い。

職業別で見ると、学生は「二酸化炭素の吸収」「生物多様性の保全」「レジャー」などの比率が他と比較して高い。

図 44 森林の機能として特に重要だと思うこと (全体・性別・年代別・地域別・職業別)



脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）への貢献についての考え

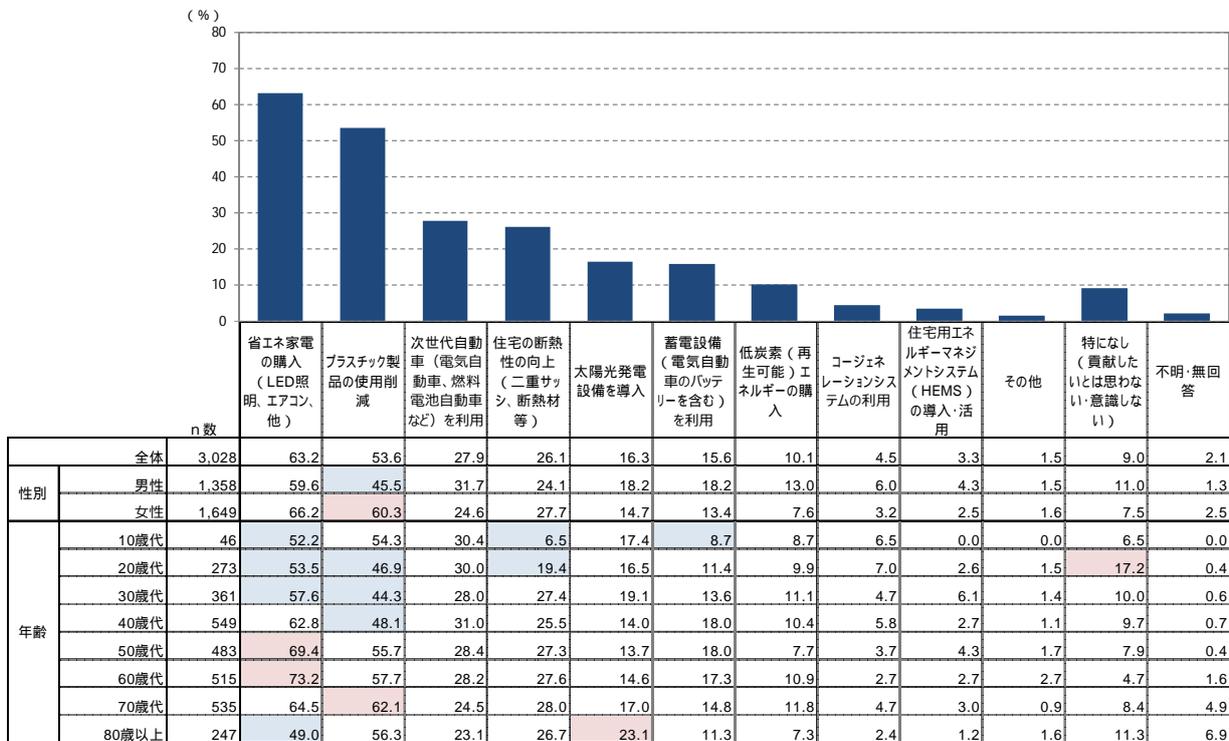
問 19. 脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて、あなたはどのような手段で貢献していきたいと思いませんか。（MA）

脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて、どのような手段で貢献していきたいかを尋ねたところ、「省エネ家電の購入」が 63.2%、「プラスチック製品の使用削減」が 53.6%となっており、この2項目がやや突出している。以下、「次世代自動車を利用」(27.9%)、「住宅の断熱性の向上」(26.1%)までが2割以上となっている。

性別でみると、女性の「プラスチック製品の使用削減」が 60.3%で、男性（45.5%）と比べて特に高い。また、「省エネ家電の購入」についても女性の方が男性と比較して高い。一方で、男性は女性と比較して「次世代自動車を利用」の比率がやや高い。

年代別でみると、50代以上では「プラスチック製品の使用削減」が40代以下の層と比べて高い。また、20代では「特になし」が17.2%を占めている。次世代自動車については70代以上の比率がやや低いが、60代以下の層はいずれも3割前後を占めており年代による差は小さい。

図 45 脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）への貢献についての考え（全体・性別・年代別）



(4) 地域社会

岡崎市は担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を、新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指しています。

近年行ってきた取組み(例)

- ・ 町内会活動研修会実施事業
- ・ 地域協働推進事業費補助事業(地域課題解決補助)
- ・ 地区集会施設整備事業費補助事業
- ・ 街頭防犯カメラ設置拡充事業
- ・ 学区市民ホーム運営事業

問 20. 岡崎市が近年行ってきた地域社会の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

全体(満足度・重要度)

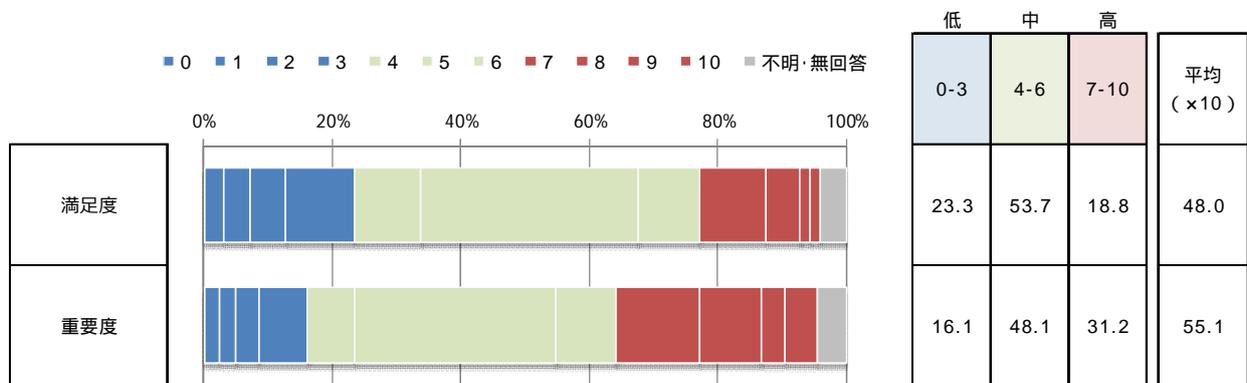
地域社会への取組みの満足度は「低」が 23.3%、「中」が 53.7%、「高」が 18.8%、平均 48.0 となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が 4.5% 高い。

重要度は「低」が 16.1%、「中」が 48.1%、「高」が 31.2%、平均 55.1。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が 15.1% 高い。

重要度が「高」が 31.2% に対して、満足度が「高」の人は 18.8% となっている。

図 46 地域社会 評価(満足度・重要度) 全体

n=3,028



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	不明・無回答
満足度 (%)	3.0	4.1	5.6	10.6	10.4	33.8	9.5	10.3	5.3	1.6	1.6	4.2
重要度 (%)	2.3	2.5	3.6	7.6	7.3	31.4	9.4	12.9	9.5	3.8	4.9	4.7

問 20. 岡崎市が近年行ってきた地域社会の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

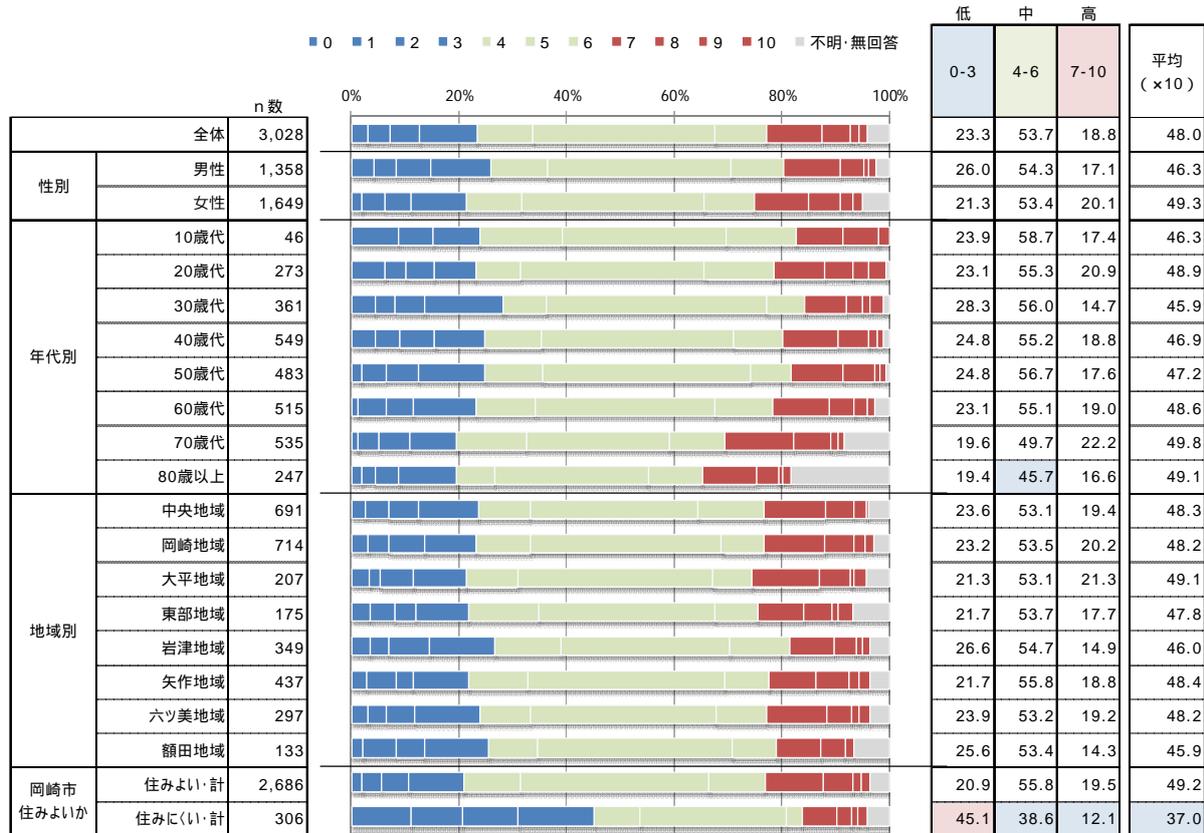
満足度 (評価できる取組みだと思うか)

地域社会の取組みに対する満足度について、年代別でみると30代の評価が他の年代と比較してやや低い。

地域別では、岩津地域、額田地域は他の地域と比較して、「高」評価の比率が低く、「低」評価の比率が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の45.1%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人(20.9%)との差がみられる。

図 47 地域社会 評価【満足度】 (全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別)



n数	評価											不明・無回答	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
全体 3,028	3.0	4.1	5.6	10.6	10.4	33.8	9.5	10.3	5.3	1.6	1.6	4.2	
性別	男性 1,358	4.2	4.1	6.5	11.3	10.5	34.0	9.7	10.6	4.3	0.9	1.3	2.7
	女性 1,649	2.0	4.2	4.9	10.2	10.3	33.8	9.3	10.1	6.1	2.2	1.8	5.1
年代別	10歳代 46	8.7	0.0	6.5	8.7	15.2	30.4	13.0	8.7	6.5	2.2	0.0	0.0
	20歳代 273	6.2	4.0	5.1	7.7	8.4	34.1	12.8	9.5	5.1	2.9	3.3	0.7
	30歳代 361	4.4	3.6	5.5	14.7	8.0	40.7	7.2	7.8	3.0	1.4	2.5	1.1
	40歳代 549	4.4	4.6	6.6	9.3	10.6	35.7	8.9	10.4	5.8	1.5	1.1	1.3
	50歳代 483	1.9	4.6	6.0	12.4	10.8	38.5	7.5	9.7	5.8	1.0	1.0	0.8
	60歳代 515	1.4	5.0	5.0	11.7	11.1	33.4	10.7	10.5	4.7	2.3	1.6	2.7
	70歳代 535	1.3	3.9	5.6	8.8	12.9	26.5	10.3	12.9	6.7	1.5	1.1	8.4
	80歳以上 247	2.0	2.4	4.5	10.5	7.3	28.3	10.1	10.1	4.0	0.8	1.6	18.2
地域別	中央地域 691	2.6	4.3	5.5	11.1	9.6	31.3	12.3	11.3	5.4	2.2	0.6	3.9
	岡崎地域 714	3.1	3.9	6.6	9.7	10.1	35.4	8.0	11.1	5.5	2.1	1.5	3.1
	大平地域 207	3.4	1.9	6.3	9.7	9.7	36.2	7.2	12.6	5.8	0.5	2.4	4.3
	東部地域 175	3.4	4.6	4.0	9.7	13.1	32.6	8.0	8.6	5.1	1.1	2.9	6.9
	岩津地域 349	3.4	3.4	7.7	12.0	12.3	31.2	11.2	8.3	4.0	1.1	1.4	3.7
	矢作地域 437	2.7	5.5	3.2	10.3	11.0	36.6	8.2	8.7	6.2	1.8	2.1	3.7
	六ツ美地域 297	3.0	3.4	5.4	12.1	9.4	34.3	9.4	11.1	4.7	1.3	2.0	3.7
	額田地域 133	2.3	6.0	5.3	12.0	9.0	36.1	8.3	8.3	4.5	0.0	1.5	6.8
岡崎市 住みよさ別	住みよい・計 2,686	2.0	3.5	5.1	10.2	10.5	35.0	10.3	10.8	5.5	1.6	1.6	3.7
	住みにくい・計 306	11.1	9.5	10.5	14.1	8.5	27.1	2.9	6.5	2.6	1.3	1.6	4.2

問 20. 岡崎市が近年行ってきた地域社会の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。(各 SA)

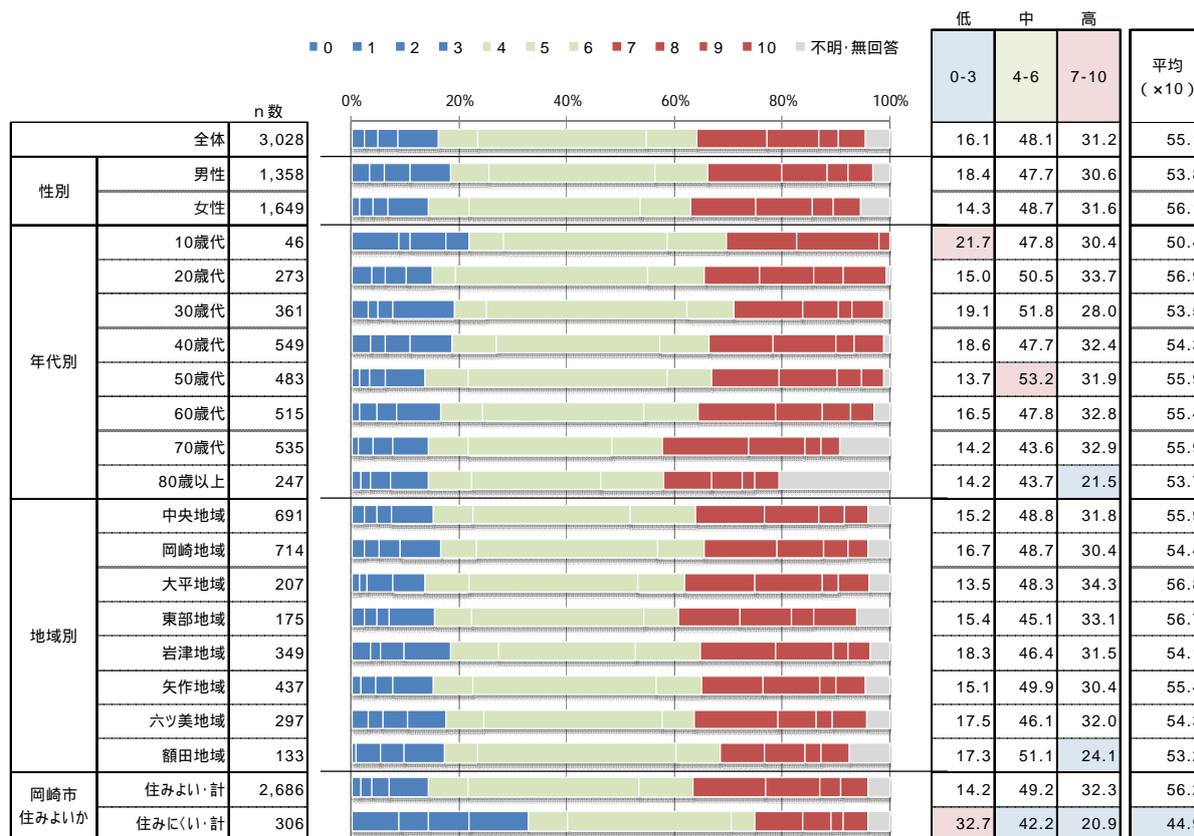
重要度 (重要度が高い取組みだと思ふか)

地域社会の取組みに対する重要度について、年代別で見ると 20 代で重要度「高」の比率が 33.7% で最も高く、80 代以上が 21.5% で最も低い。

地域別では、額田地域は他の地域と比較して「高」評価の比率が最も低く、唯一 2 割台となっている。

岡崎市の住みよさ別で見ると、住みよいと評価した人の 32.3% が重要度「高」との評価となっており、住みにくいと評価した人 (20.9%) と差がみられる。

図 48 地域社会 評価【重要度】 (全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別)



n 数	低 ← → 高										不明・無回答	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
全体 3,028	2.3	2.5	3.6	7.6	7.3	31.4	9.4	12.9	9.5	3.8	4.9	4.7
性別												
男性 1,358	3.3	2.7	4.8	7.7	7.1	30.9	9.7	13.6	8.6	3.8	4.6	3.3
女性 1,649	1.6	2.4	2.7	7.6	7.5	32.0	9.3	12.2	10.4	3.9	5.1	5.5
年代別												
10歳代 46	8.7	2.2	6.5	4.3	6.5	30.4	10.9	13.0	15.2	2.2	0.0	0.0
20歳代 273	3.7	2.6	4.0	4.8	4.4	35.5	10.6	10.3	9.9	5.5	8.1	0.7
30歳代 361	3.0	1.9	2.8	11.4	5.8	37.4	8.6	12.7	6.6	2.5	6.1	1.1
40歳代 549	3.5	2.9	4.4	7.8	8.4	30.2	9.1	11.8	11.7	3.6	5.3	1.3
50歳代 483	1.4	1.9	2.9	7.5	7.9	37.1	8.3	12.6	10.6	4.6	4.1	1.2
60歳代 515	1.6	3.1	3.7	8.2	7.8	30.1	9.9	14.4	8.7	5.2	4.5	2.9
70歳代 535	1.3	2.6	3.7	6.5	7.3	26.7	9.5	15.9	10.5	3.0	3.6	9.3
80歳以上 247	1.6	2.0	3.6	6.9	8.1	23.9	11.7	8.9	5.7	2.4	4.5	20.6
地域別												
中央地域 691	2.3	2.5	2.6	7.8	7.2	29.2	12.3	12.6	10.1	4.8	4.3	4.2
岡崎地域 714	2.4	2.7	4.1	7.6	6.6	33.5	8.7	13.6	8.5	4.6	3.6	4.2
大平地域 207	1.4	1.4	4.8	5.8	8.2	31.4	8.7	13.0	12.6	2.9	5.8	3.9
東部地域 175	2.3	2.3	2.3	8.6	6.9	32.0	6.3	11.4	9.7	4.0	8.0	6.3
岩津地域 349	3.4	2.0	4.3	8.6	8.9	25.5	12.0	14.0	10.6	2.9	4.0	3.7
矢作地域 437	1.6	2.7	3.2	7.6	7.3	34.1	8.5	11.4	10.5	3.0	5.5	4.6
六ツ美地域 297	3.0	2.7	4.7	7.1	7.1	33.0	6.1	15.5	7.1	3.0	6.4	4.4
額田地域 133	0.8	4.5	4.5	7.5	6.0	36.8	8.3	8.3	7.5	3.0	5.3	7.5
岡崎市住みよさ別												
住みよい・計 2,686	1.6	2.2	3.2	7.2	7.3	31.8	10.2	13.4	10.0	4.0	4.9	4.2
住みにくい・計 306	8.8	5.6	7.5	10.8	7.5	30.4	4.2	8.8	5.2	2.3	4.6	4.2

地域活動に対する関わり方

問 21. 町内会、子ども会、消防団など地域の活動に対する関わり方について、あなたのお気持ちをお選びください。(SA)

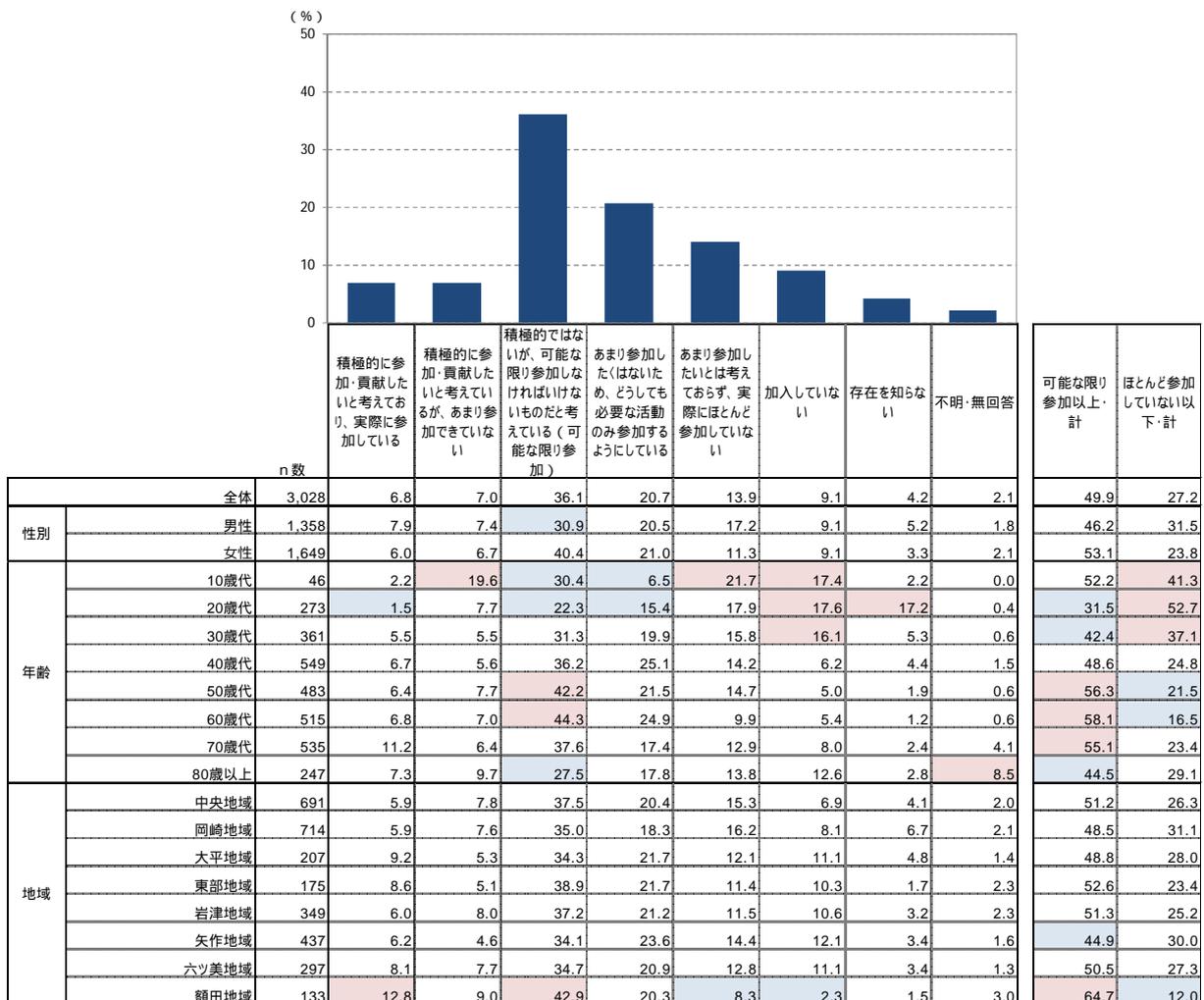
地域の活動に対する関わり方・気持ちを尋ねたところ、「積極的ではないが、可能な限り参加しなければならないもの」が36.1%で最も高い。次いで、「あまり参加したくはないため、どうしても必要な活動のみ参加」が20.7%、「ほとんど参加していない」が13.9%となっている。「積極的に参加」(6.8%)、「積極的に参加したいがあまり参加できていない」(7.0%)など、積極的な気持ちがある人は全体の13.8%を占めている。

性別でみると、女性は男性と比べて、「積極的ではないが、可能な限り参加しなければならないもの」の比率が40.4%で、男性(30.9%)よりも9.5%高い。

年代別でみると、30代以下と40代以上で傾向に差が見られ、30代以下の人は地域活動への参加意向が低い傾向が見られる。

地域別でみると、額田地域は他地域と比べて「積極的ではないが、可能な限り参加しなければならないもの」を含めた地域活動への参加割合が高い。一方で岡崎地域、矢作地域は「ほとんど参加していない」「加入していない」「知らない」の合計値が3割に達しており、他地域と比べて高い。

図 49 地域活動に対する関わり方 (全体・性別・年代別・地域別)



地域活動に対する関わり方

問 21. 町内会、こども会、消防団など地域の活動に対する関わり方について、あなたのお気持ちをお選びください。(SA)

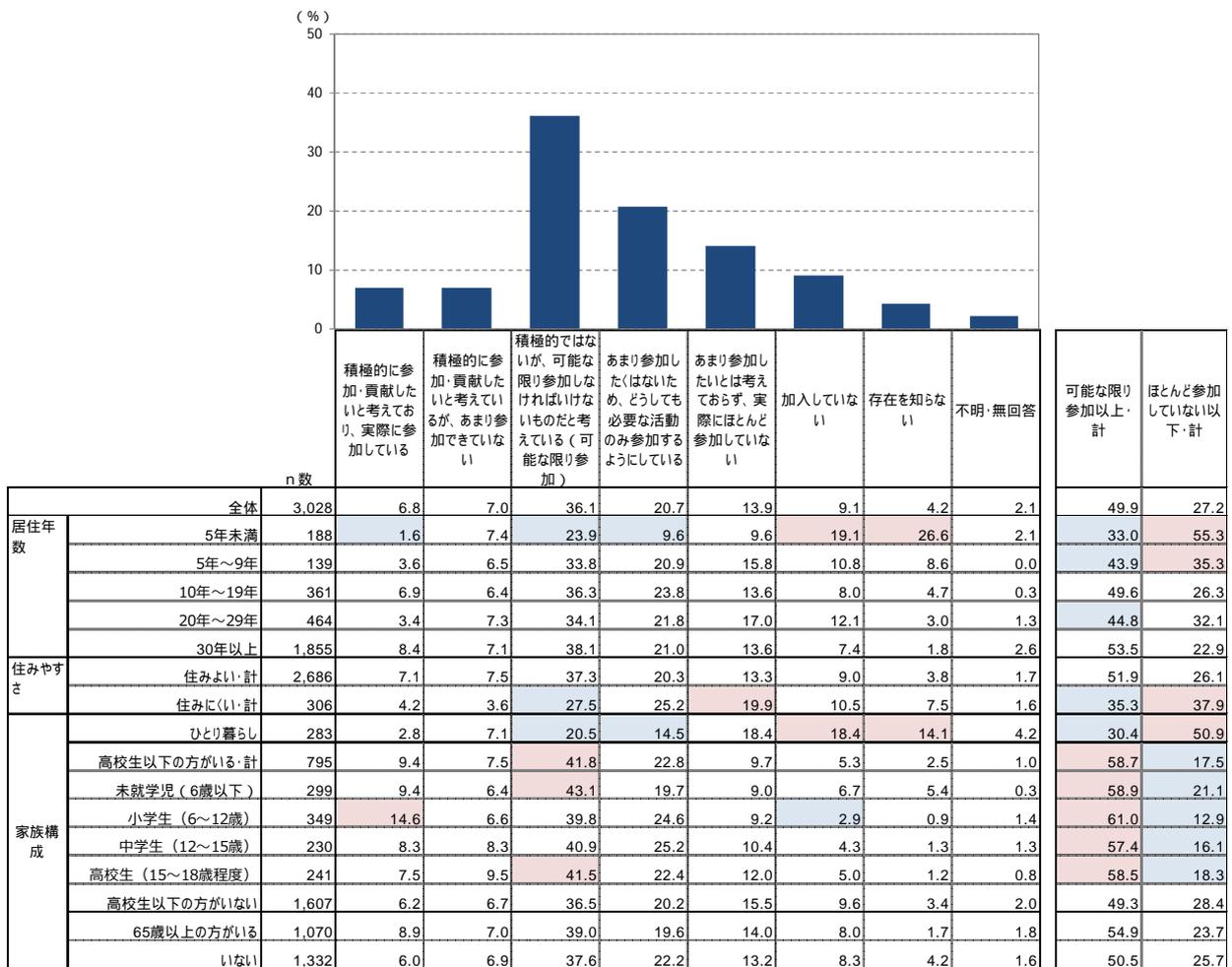
< 居住年数別・岡崎市住みよさ別・家族構成別・同居家族の年齢別 >

地域の活動に対する関わり方・気持ちを居住年数別で見ると、居住年数が5年未満の人では「あまり参加したいとは考えておらず、ほとんど参加していない」(9.6%)、「加入していない」(19.1%)、「存在を知らない」(26.6%)と55.3%が地域活動にほとんど参加していない。同様に居住年数が10年未満の人においても、参加していない人の合計が35.3%を占めており高い。

岡崎市への住みよさ評価別で見ると、住みよい・住みにくい別で地域活動への参加状況が異なり、住みよいと評価している人ほど、地域活動へ参加している人の比率が高い。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしの人の参加している人の割合が低い。また、高校生以下の方がいる人は、高校生以下の方がいない人と比べて、地域活動へ参加している割合が高い。特に、小学生の子どもを持つ人の参加している割合が高い。

図 50 地域活動に対する関わり方 (居住年数別・住みよさ別・家族構成別)



地域の活動に参加することで感じるメリット

問 22. 町内会など、地域の活動に参加することで感じるメリットはありますか。

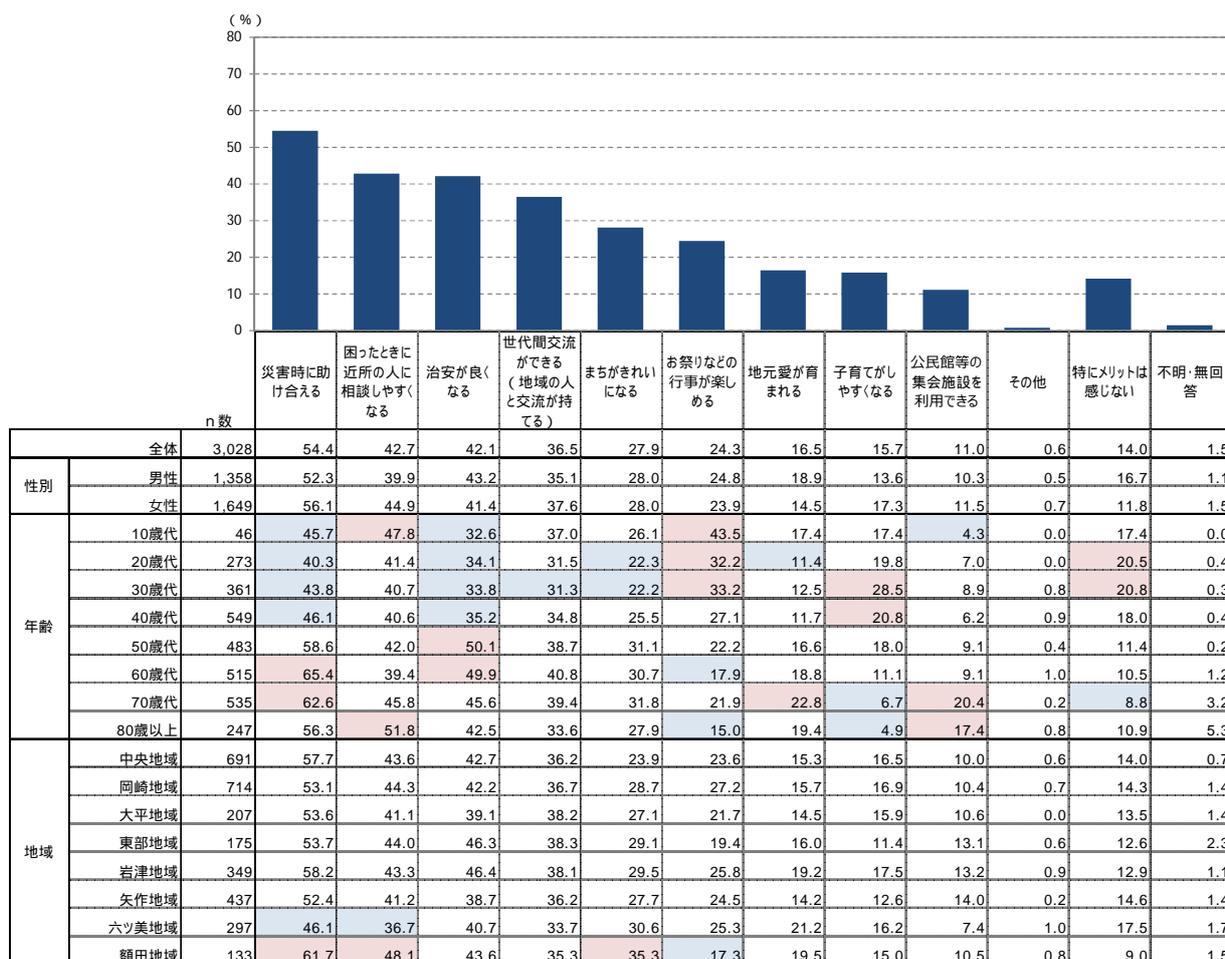
現在、地域の活動に参加していない方は、参加すると仮定した場合のメリットをお選びください。(MA)

地域の活動に参加することで感じるメリットを尋ねたところ、「災害時に助け合える」が54.4%で最も高い。以下、「困ったときに近所の人に相談しやすくなる」(42.7%)、「治安がよくなる」(42.1%)、「世代間交流ができる」(36.5%)、「まちがきれいになる」(27.9%)、「お祭りなどの行事が楽しめる」(24.3%)などが続いている。

年代別でみると、「災害時に助け合える」「治安がよくなる」の割合については、50代以上など年配者層が40代以下の人と比べて高い。30代以下の人では「お祭りなどの行事が楽しめる」が3割以上となっており、40代以上の人と比べて高い。また、30代は「子育てがしやすくなる」が28.5%と他の年代と比較して高い。その他、20代～30代では「特にメリットを感じない」とする比率が2割に達しており、他の年代と比較して高い。

地域別でみると、額田地域では「災害時に助け合える」「困ったときに近所の人に相談しやすくなる」「まちがきれいになる」などの割合が、他地域と比較して高い。

図 51 地域の活動に参加するメリット (全体・性別・年齢別・地域別)



地域の活動に参加することで感じるメリット

問 22. 町内会など、地域の活動に参加することで感じるメリットはありますか。

現在、地域の活動に参加していない方は、参加すると仮定した場合のメリットをお選びください。(MA)

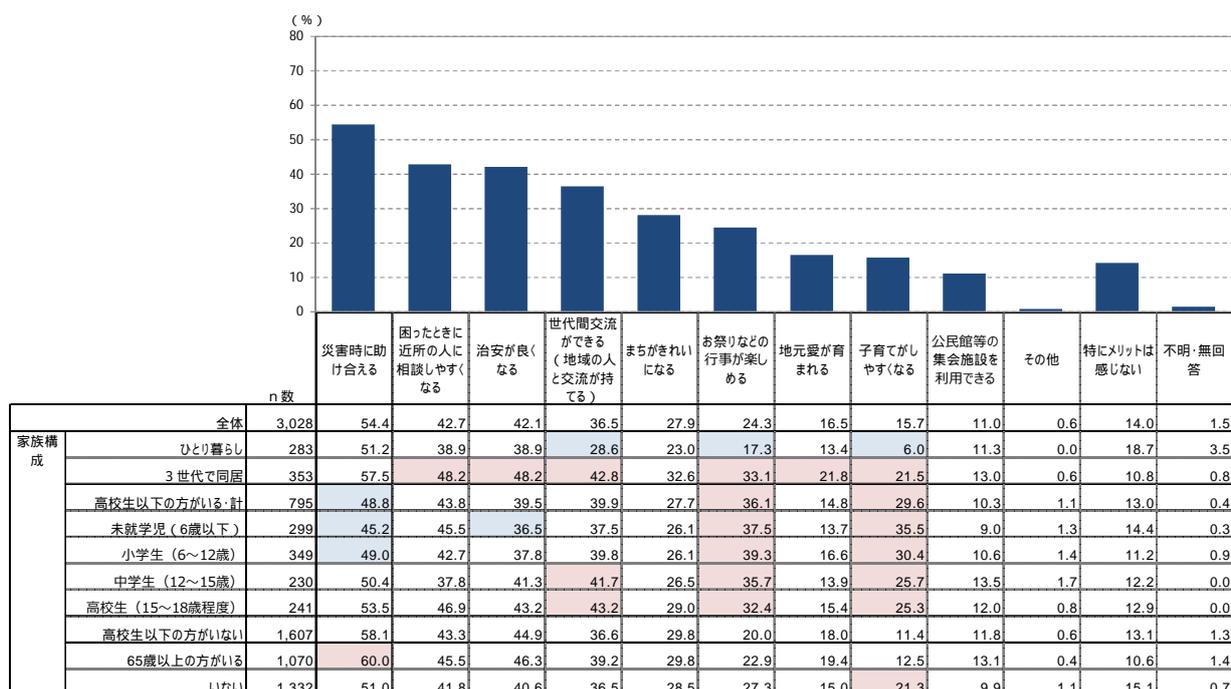
< 家族構成別 >

地域の活動に参加することで感じるメリットについて、家族構成別でみると、現在3世代で同居している人は全般的に比率が高い。

高校生以下の同居家族がいる人といない人で比較すると、高校生以下の方がいる人では、「お祭りなどの行事が楽しめる」「子育てがしやすくなる」の比率が高い。一方で、高校生以下の子どもがいない人では「災害時に助け合える」「治安がよくなる」の比率が高い。

65歳以上の同居家族がいる人といない人で比較すると、65歳以上の同居家族がいる人は、「災害時に助け合える」の比率が60.0%で、いない人(51.0%)と比べて、9.0%高い。また「治安がよくなる」についても5.7%高い。

図 52 地域の活動に参加するメリット (家族構成別)



(5) 保健・医療・福祉

岡崎市は後期高齢者の急激な増加を迎えても、保健・医療・福祉・地域が一体となって取組むことで、誰もが生きがいや役割を持って活躍できるまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・ クアオルト健康ウォーキング教室開催事業
- ・ 藤田医科大学岡崎医療センター誘致事業
- ・ 福祉総合相談窓口設置事業
- ・ こども発達センター運営事業

問 23. 岡崎市が近年行ってきた保健・医療・福祉の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

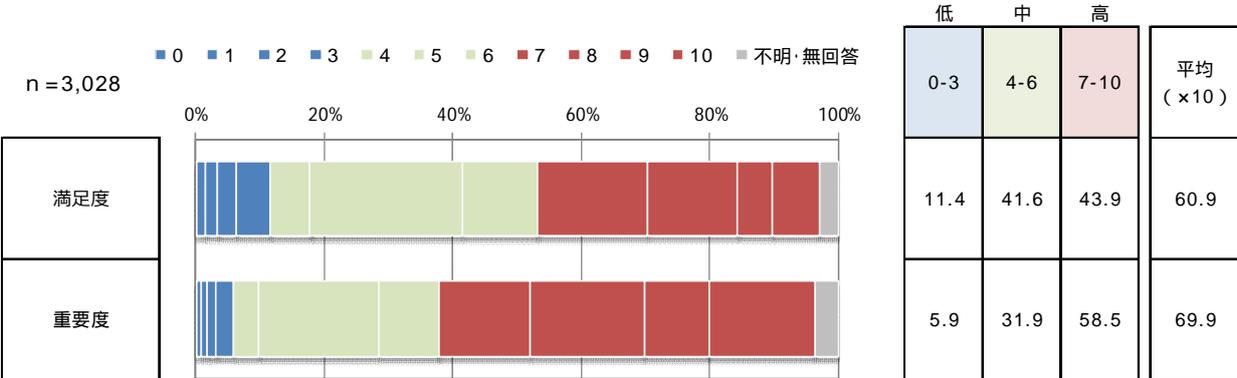
全体（満足度・重要度）

保健・医療・福祉への取組みの満足度は「低」が11.4%、「中」が41.6%、「高」が43.9%、平均60.9となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が32.5%高い。

重要度は「低」が5.9%、「中」が31.9%、「高」が58.5%、平均69.9。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が52.6%高い。

10分野の取組の中で、最も重要度が高く、また満足度も高い。

図 53 保健・医療・福祉 評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (%)										不明・無回答	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
満足度	1.4	2.0	2.8	5.2	6.3	23.7	11.6	17.2	14.0	5.5	7.2	3.1
重要度	0.9	1.0	1.4	2.7	3.9	18.7	9.3	14.3	17.7	10.1	16.4	3.8

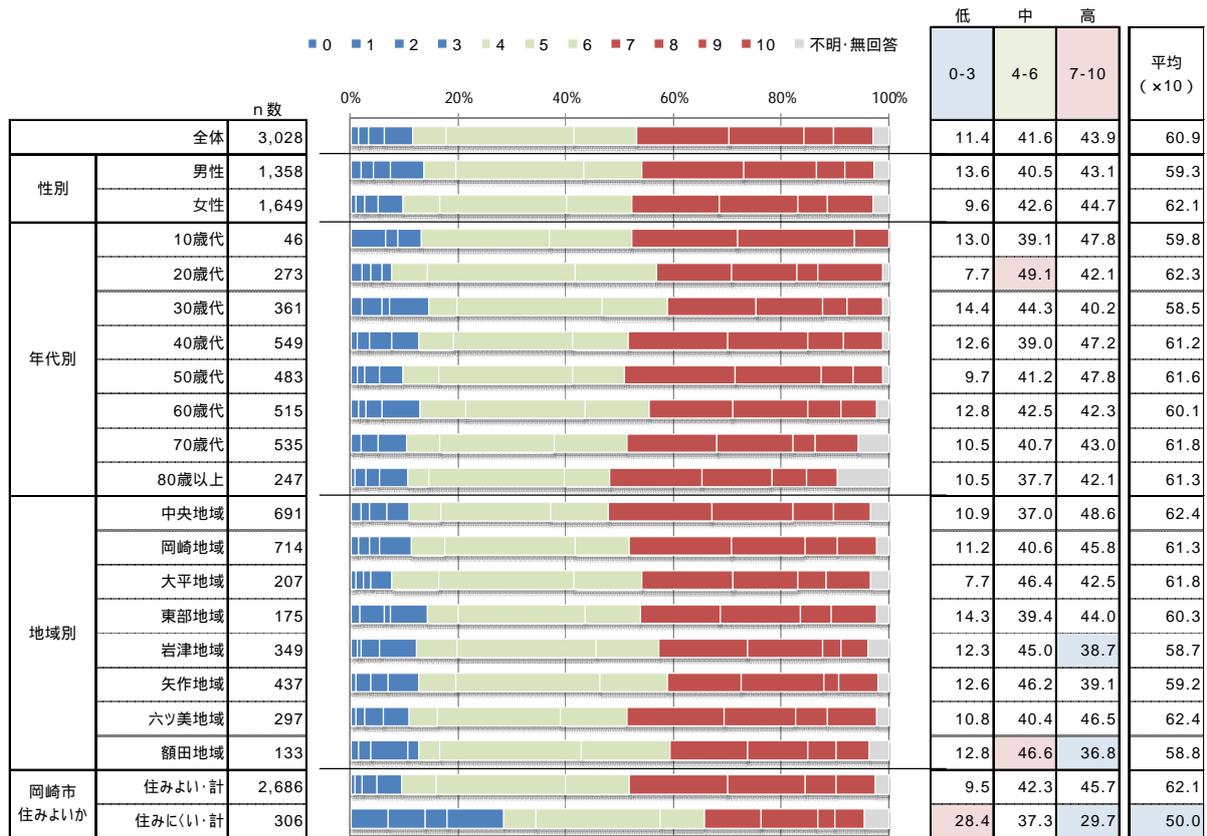
満足度（評価できる取組みだと思うか）

保健・医療・福祉の取組みに対する満足度について、年代による大きな傾向の違いは見られない。

地域別では、岩津地域、額田地域は他の地域と比較して「高」評価の比率が低いが、「低」評価の値が高いものではなく、「中」の比率が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みよいと評価した人の45.7%が「高」評価となっており、住みにくいと評価した人（29.7%）との差がみられる。

図 54 保健・医療・福祉 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



評価	n数	低 ← → 高										不明・無回答	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
全体	3,028	1.4	2.0	2.8	5.2	6.3	23.7	11.6	17.2	14.0	5.5	7.2	3.1
性別													
男性	1,358	1.9	2.4	3.2	6.2	5.8	23.9	10.8	18.8	13.5	5.4	5.4	2.8
女性	1,649	1.0	1.6	2.6	4.4	6.9	23.6	12.2	16.1	14.6	5.5	8.5	3.0
年代別													
10歳代	46	6.5	2.2	4.3	0.0	0.0	23.9	15.2	19.6	21.7	0.0	6.5	0.0
20歳代	273	2.2	1.5	2.2	1.8	6.6	27.5	15.0	13.9	12.1	4.0	12.1	1.1
30歳代	361	2.2	3.6	1.4	7.2	5.3	27.1	11.9	16.6	12.2	4.7	6.6	1.1
40歳代	549	1.3	2.2	4.2	4.9	6.6	22.0	10.4	18.6	14.8	6.6	7.3	1.3
50歳代	483	1.2	1.4	2.7	4.3	6.6	24.8	9.7	20.5	15.9	6.0	5.4	1.2
60歳代	515	1.6	1.4	2.9	7.0	8.5	22.1	11.8	15.5	14.0	6.2	6.6	2.3
70歳代	535	0.2	1.9	3.0	5.4	6.2	21.1	13.5	16.8	14.0	4.3	7.9	5.8
80歳以上	247	0.8	2.0	2.4	5.3	4.0	25.1	8.5	17.0	13.0	6.5	5.7	9.7
地域別													
中央地域	691	1.9	1.6	3.2	4.2	5.9	20.3	10.9	19.1	15.2	7.4	6.9	3.5
岡崎地域	714	1.4	2.1	1.8	5.9	6.3	24.1	10.2	18.9	13.6	6.0	7.3	2.4
大平地域	207	1.0	1.4	1.4	3.9	8.7	25.1	12.6	16.9	12.1	5.3	8.2	3.4
東部地域	175	1.7	4.6	1.1	6.9	5.7	23.4	10.3	14.9	14.9	5.7	8.6	2.3
岩津地域	349	1.1	0.9	3.4	6.9	7.4	25.8	11.7	16.3	14.0	3.4	4.9	4.0
矢作地域	437	0.9	2.7	3.2	5.7	6.9	26.8	12.6	13.7	15.3	2.7	7.3	2.1
六ツ美地域	297	1.0	1.7	3.4	4.7	5.4	22.9	12.1	18.2	13.1	6.1	9.1	2.4
額田地域	133	1.5	2.3	6.8	2.3	3.8	26.3	16.5	14.3	11.3	5.3	6.0	3.8
岡崎市住みよさ別													
住みよい・計	2,686	0.7	1.5	2.7	4.7	6.4	23.8	12.1	18.1	14.5	5.7	7.4	2.5
住みにくい・計	306	6.9	6.9	4.2	10.5	5.9	23.2	8.2	10.5	10.5	3.3	5.6	4.6

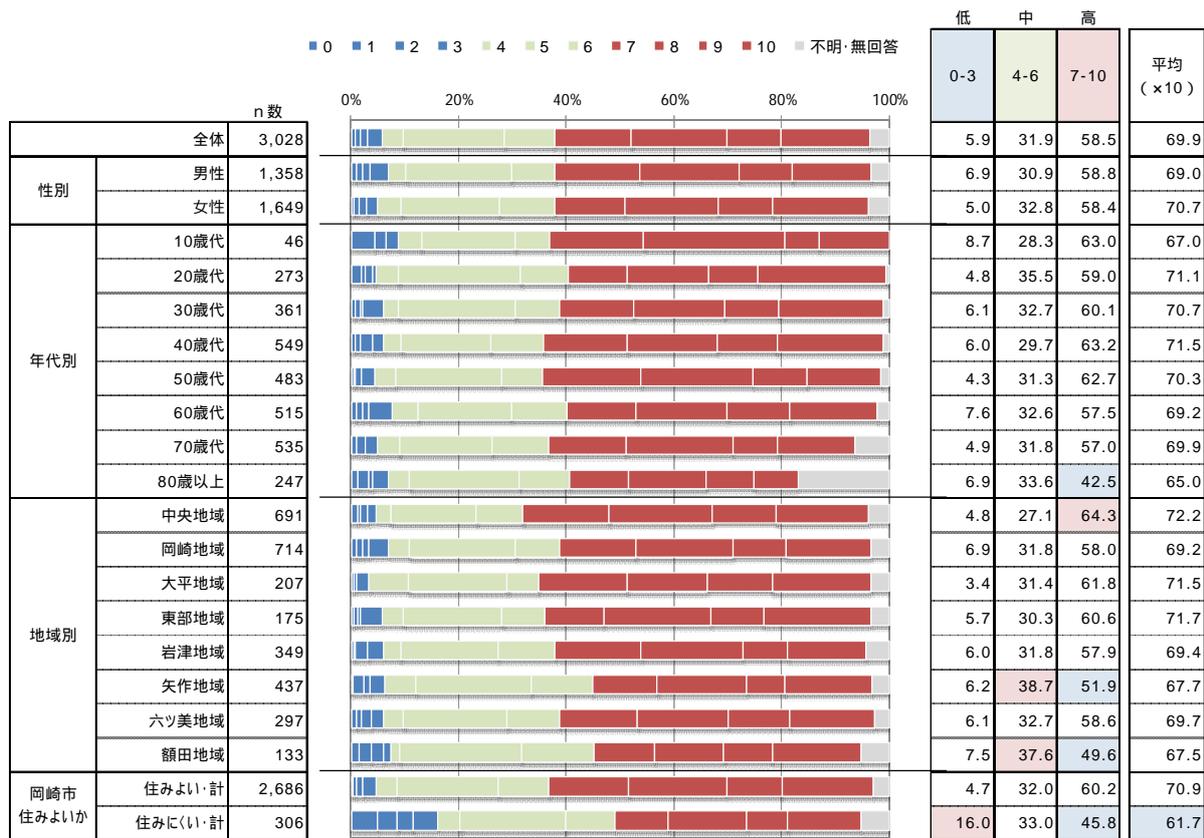
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

保健・医療・福祉の取組みに対する重要度について、年代別でみると80代で重要度「高」の比率が42.5%で低い（ただし、「不明・無回答」の比率も高い）。

地域別では、中央地域、大平地域、東部地域の重要度「高」の比率が6割以上、平均で70以上のスコアであり、他の地域と比較すると重要とする人の比率が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みよいと評価した人の60.2%が重要度「高」との評価となっており、住みにくいと評価した人（45.8%）との差がみられる。

図 55 保健・医療・福祉 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



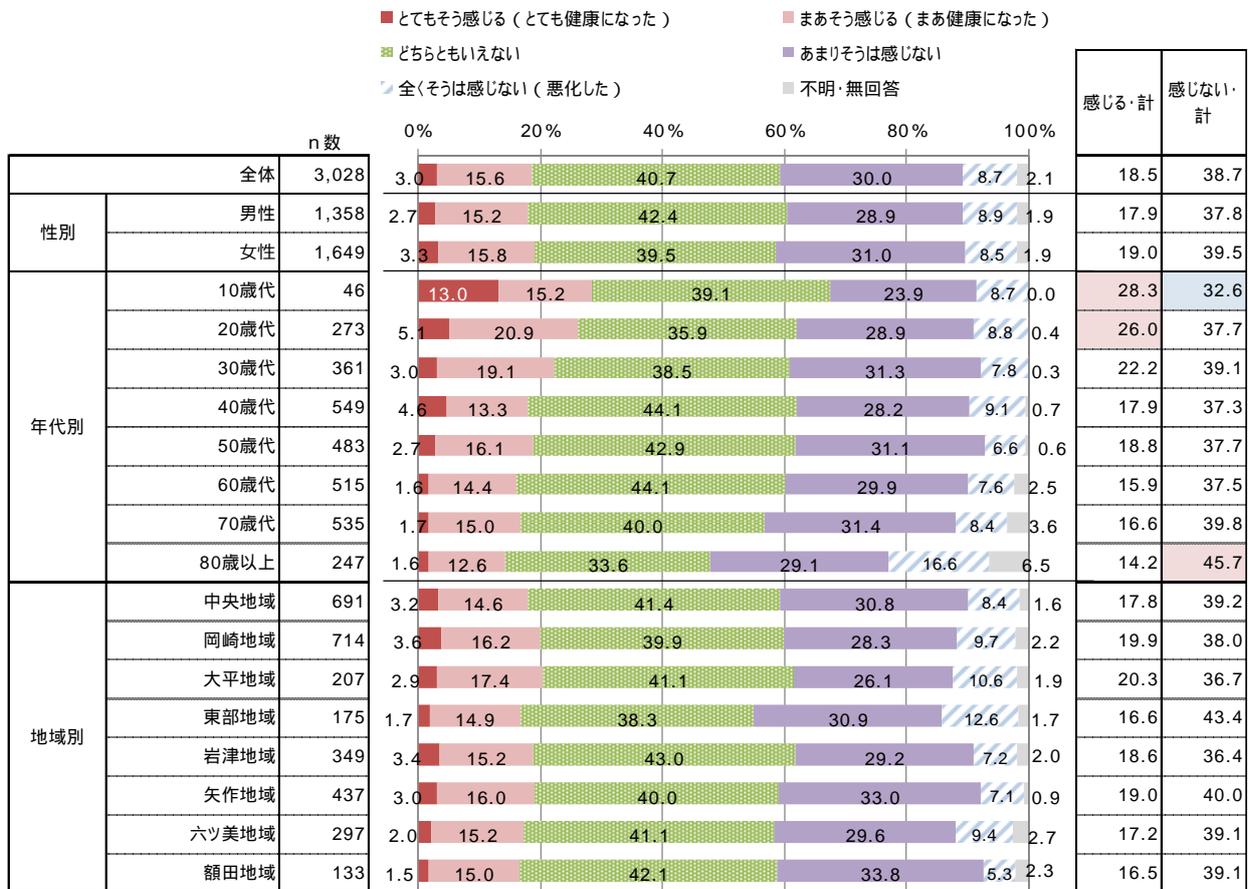
分類	n数	重要度										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体	3,028	0.9	1.0	1.4	2.7	3.9	18.7	9.3	14.3	17.7	10.1	16.4	3.8	
性別	男性	1,358	1.1	1.0	1.3	3.5	3.3	19.5	8.1	15.8	18.5	9.8	14.7	3.4
	女性	1,649	0.7	0.8	1.4	2.1	4.4	18.2	10.2	13.1	17.2	10.2	17.8	3.8
年代別	10歳代	46	4.3	2.2	2.2	0.0	4.3	17.4	6.5	17.4	26.1	6.5	13.0	0.0
	20歳代	273	1.8	0.7	1.5	0.7	4.0	22.7	8.8	11.0	15.0	9.2	23.8	0.7
	30歳代	361	0.8	0.8	0.6	3.9	2.8	21.6	8.3	13.6	16.9	10.2	19.4	1.1
	40歳代	549	0.7	1.1	2.2	2.0	3.3	16.6	9.8	15.7	16.6	11.1	19.9	1.1
	50歳代	483	0.6	0.2	1.0	2.5	3.9	19.7	7.7	18.2	20.7	10.1	13.7	1.7
	60歳代	515	1.0	1.2	1.2	4.3	4.9	17.3	10.5	12.6	17.1	11.7	16.1	2.3
	70歳代	535	0.2	0.7	1.7	2.2	4.1	17.2	10.5	14.4	19.8	8.4	14.4	6.4
	80歳以上	247	1.2	2.0	0.8	2.8	4.0	20.2	9.3	10.9	14.6	8.9	8.1	17.0
地域別	中央地域	691	1.2	0.6	1.4	1.6	2.6	15.9	8.5	16.1	19.2	11.9	17.1	3.9
	岡崎地域	714	1.1	1.0	1.3	3.5	3.9	19.7	8.1	14.1	18.1	9.9	15.8	3.4
	大平地域	207	0.5	0.5	0.0	2.4	7.2	18.4	5.8	16.4	15.0	12.1	18.4	3.4
	東部地域	175	0.6	0.6	0.6	4.0	4.0	18.3	8.0	10.9	20.0	9.7	20.0	3.4
	岩津地域	349	0.6	0.3	2.3	2.9	3.2	18.1	10.6	16.0	18.9	8.3	14.6	4.3
	矢作地域	437	0.2	2.1	1.1	2.7	5.7	21.5	11.4	11.9	16.7	7.1	16.2	3.2
	六ツ美地域	297	1.0	1.0	1.7	2.4	3.7	19.2	9.8	14.5	16.8	11.4	15.8	2.7
	額田地域	133	1.5	2.3	2.3	1.5	1.5	22.6	13.5	11.3	12.8	9.0	16.5	5.3
岡崎市住みよさ別	住みよい・計	2,686	0.4	0.7	1.2	2.5	3.9	18.8	9.4	14.9	18.1	10.3	16.9	3.1
	住みにくい・計	306	4.9	3.6	2.9	4.6	4.2	19.6	9.2	9.8	14.7	7.5	13.7	5.2

健康状況

問 24. あなたは昨年よりも健康になったと感じますか。(SA)

昨年よりも健康になったと感じるかを尋ねたところ、「とても感じる」が3.0%、「まあそう感じる」が15.6%で、合計18.5%が健康になったと感じている。「どちらともいえない」が40.7%、「あまりそうは感じない」が30.0%、「全くそうは感じない」が8.7%で、「そうは感じない」の合計値は38.7%となっている。
年代別でみると、年代が低い層ほど「感じる・計」の比率が高い。

図 56 昨年よりも健康になったと感じるか (全体・性別・年代別・地域別)



健康状況

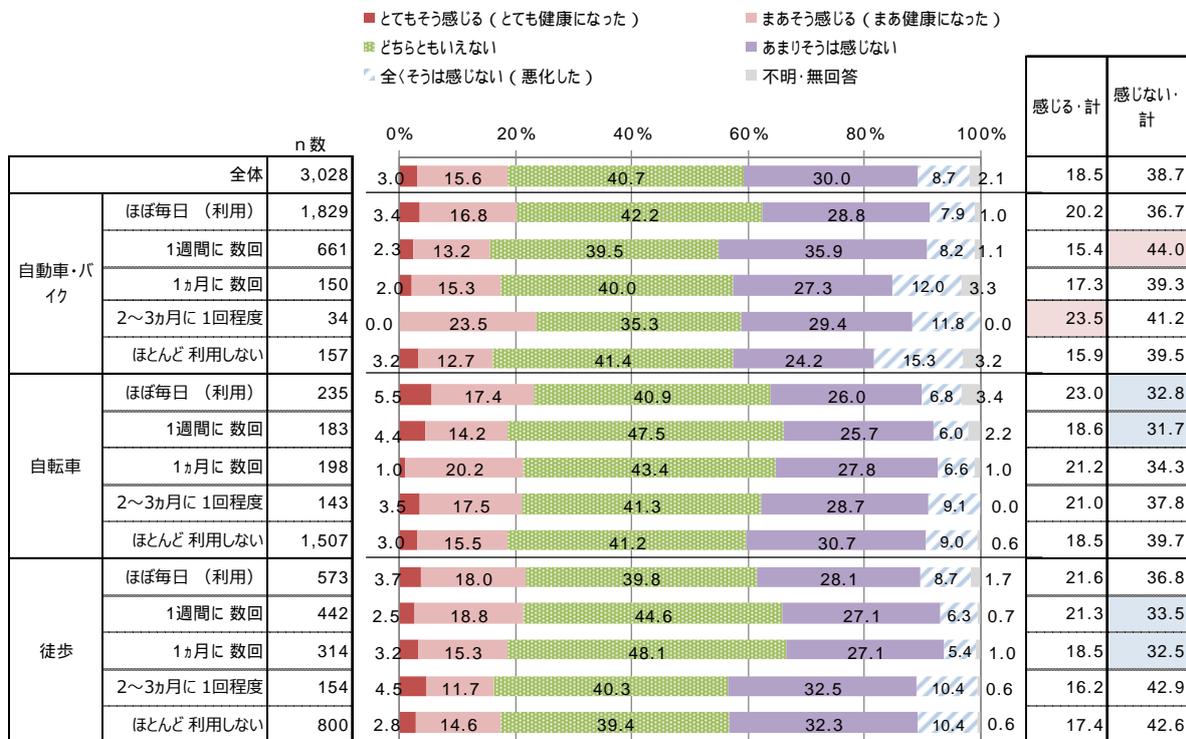
問 24. あなたは昨年よりも健康になったと感じますか。(SA)

<日常生活で利用する交通手段の利用頻度別>

昨年よりも健康になったと感じるかについて、自動車・バイク、自転車、徒歩の利用頻度別で集計した。利用頻度別によって傾向に大きな違いは見受けられないが、強いてあげると、自転車、徒歩の利用頻度が高い人は、利用頻度が低い人と比べて、「あまりそうは感じない」+「全くそうは感じない」の合計値の比率が低く、「感じる・計」（健康になった）の比率が高い様子がうかがえる。

なお、前述のとおり、自転車、徒歩の利用頻度は10代が高いといった点に留意する必要がある。

図 57 昨年よりも健康になったと感じるか（日常生活で利用する交通手段の利用頻度別）



かかりつけ医の有無

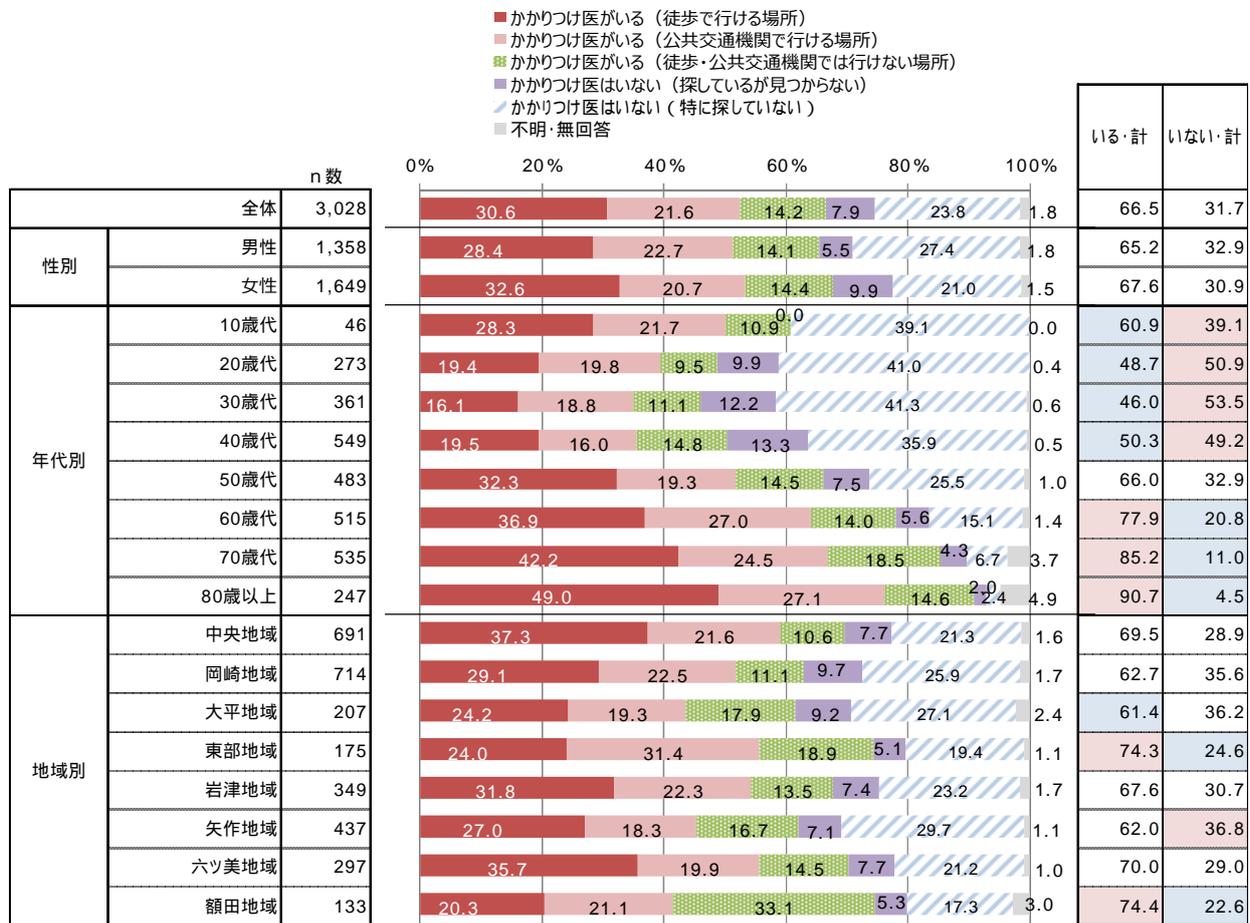
問 25. 病気になったときに相談できる医療機関（かかりつけ医）はありますか。（SA）

かかりつけ医の有無を尋ねたところ、「徒歩で行ける場所にいる」が30.6%、「公共の交通機関で行ける場所にいる」が21.6%、「徒歩・公共の交通機関でいけない場所にいる」が14.2%で、合計66.5%がかかりつけ医がいる状況である。

年代別でみると、20代～40代では、かかりつけ医がいない人の比率が5割前後と、他の層と比べて高い。

地域別でみると、額田地域では「徒歩・公共の交通機関でいけない場所にいる」の比率が33.1%で、他地域と比較して特に高い。

図 58 かかりつけ医の有無（全体・性別・年代別・地域別）



(6) 子育て・男女共同参画

岡崎市は子育て世代の就労をはじめとする社会での活躍を支援することで、安心して楽しみながら子育てできるまち、子どもがのびのびと育つまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

- ・ 不妊治療助成事業
- ・ 産前産後家庭支援事業
- ・ 保育園・こども園定員拡充事業
- ・ 放課後児童の居場所拡充事業
- ・ すくすく赤ちゃん特別支援金給付事業

問 26. 岡崎市が近年行ってきた子育て・男女共同参画の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

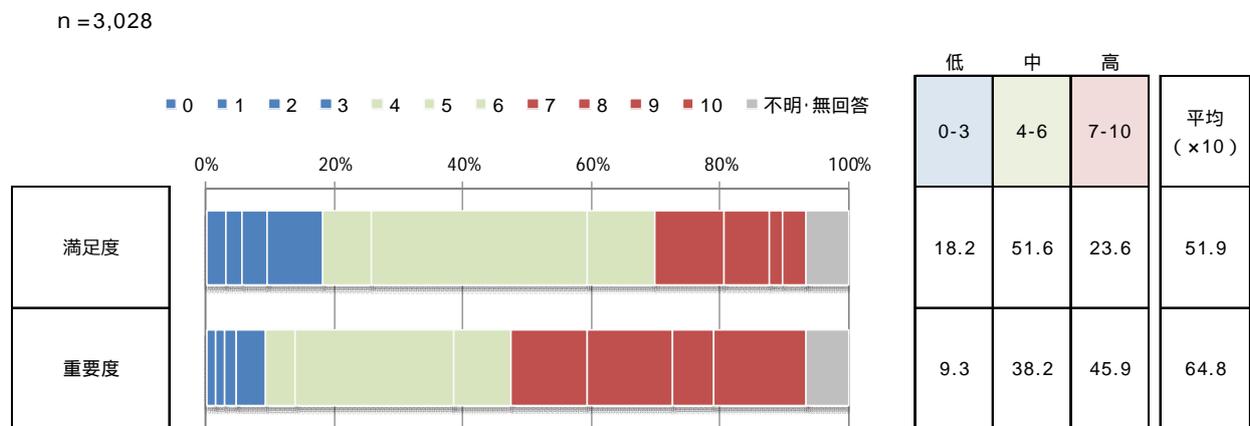
全体（満足度・重要度）

子育て・男女共同参画への取組みの満足度は「低」が18.2%、「中」が51.6%、「高」が23.6%、平均51.9となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が5.4%高い。

重要度は「低」が9.3%、「中」が38.2%、「高」が45.9%、平均64.8。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が36.6%高い。

10分野の取組みの中で、重要度のスコアと満足度スコアの差が最も大きい（重要度に比べて満足度が低い）

図 59 子育て・男女共同参画 評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (%)										不明・無回答	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	3.0	2.5	3.9	8.8	7.4	33.8	10.4	10.7	7.3	2.0	3.6	6.6
重要度	1.5	1.5	1.8	4.5	4.6	24.6	8.9	11.8	13.3	6.3	14.5	6.6

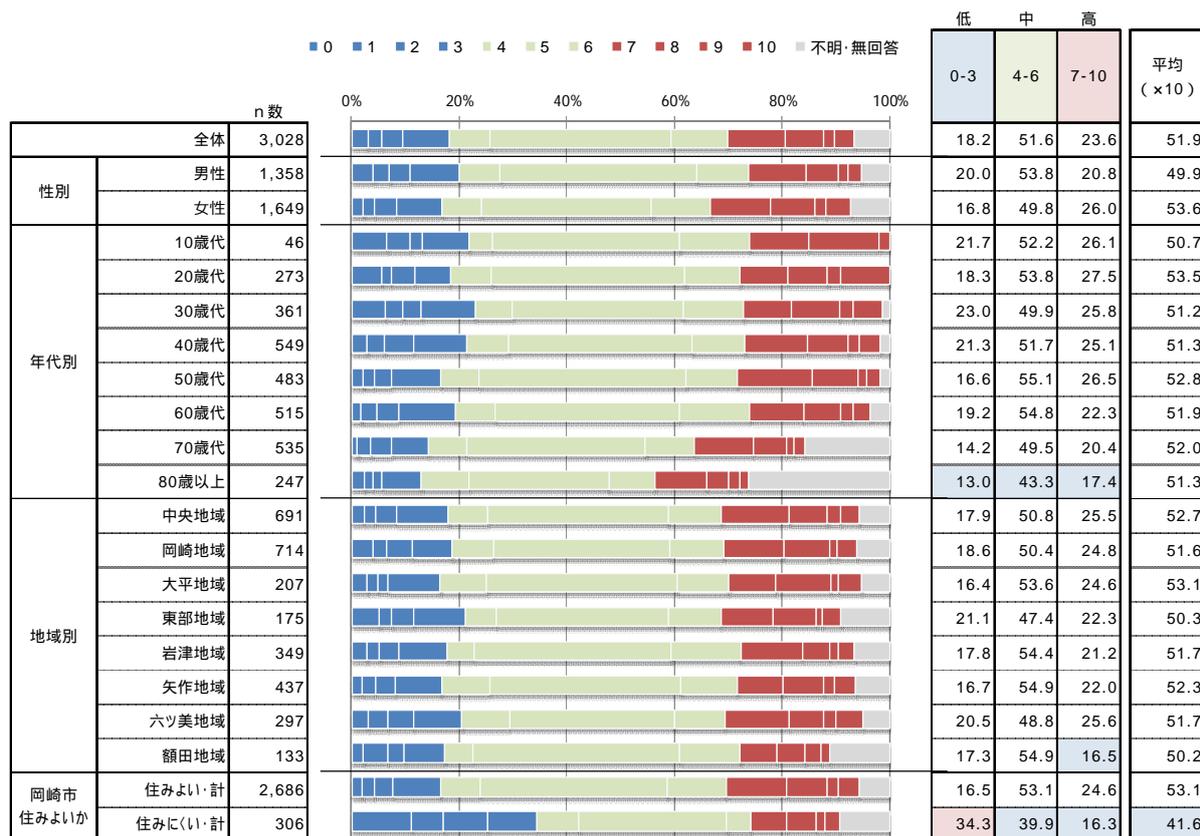
満足度（評価できる取組みだと思うか）

子育て・男女共同参画の取組みに対する満足度について、年代別で見ると70代以上は「不明・無回答」が多いが、その他、年代によって傾向に大きな差は見られない。

地域別で満足度評価に大きな傾向の違いは見られない。

岡崎市の住みよさ別で見ると、住みにくいと評価した人の34.3%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（16.5%）との差がみられる。

図 60 子育て・男女共同参画 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



	n数	満足度										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体	3,028	3.0	2.5	3.9	8.8	7.4	33.8	10.4	10.7	7.3	2.0	3.6	6.6	
性別	男性	1,358	4.0	3.0	3.9	9.1	7.7	36.5	9.7	10.5	6.0	1.8	2.5	5.4
	女性	1,649	2.2	2.1	3.9	8.6	7.3	31.7	10.9	11.0	8.3	2.1	4.5	7.3
年代別	10歳代	46	6.5	4.3	2.2	8.7	4.3	34.8	13.0	10.9	13.0	0.0	2.2	0.0
	20歳代	273	5.5	1.8	4.4	6.6	7.7	35.9	10.3	8.8	7.3	2.6	8.8	0.4
	30歳代	361	6.4	3.0	3.6	10.0	6.9	31.6	11.4	8.9	8.9	2.5	5.5	1.4
	40歳代	549	2.9	3.1	5.5	9.8	7.8	34.1	9.8	11.7	7.5	2.2	3.8	1.8
	50歳代	483	2.3	1.9	3.3	9.1	7.0	38.5	9.5	13.9	8.5	1.7	2.5	1.9
	60歳代	515	1.7	2.9	4.1	10.5	7.4	34.2	13.2	9.9	7.0	2.1	3.3	3.7
	70歳代	535	1.1	2.4	3.9	6.7	7.1	33.3	9.2	10.8	6.2	1.3	2.1	15.9
	80歳以上	247	2.4	1.6	1.6	7.3	8.9	25.9	8.5	9.7	4.0	2.0	1.6	26.3
地域別	中央地域	691	2.3	2.0	3.9	9.7	7.4	33.4	10.0	12.6	6.9	2.5	3.5	5.8
	岡崎地域	714	3.9	2.7	4.6	7.4	7.7	32.8	9.9	11.3	8.3	1.5	3.6	6.2
	大平地域	207	2.9	1.9	1.9	9.7	8.7	35.3	9.7	8.7	10.1	1.4	4.3	5.3
	東部地域	175	5.1	2.3	4.0	9.7	5.7	32.0	9.7	9.7	8.0	1.1	3.4	9.1
	岩津地域	349	2.9	2.3	3.7	8.9	4.9	36.7	12.9	11.5	5.2	1.4	3.2	6.6
	矢作地域	437	1.8	2.5	3.7	8.7	8.9	35.5	10.5	8.5	7.6	2.1	3.9	6.4
	六ツ美地域	297	3.0	3.7	4.7	9.1	8.8	30.6	9.4	11.8	6.4	2.4	5.1	5.1
	額田地域	133	2.3	4.5	3.0	7.5	5.3	38.3	11.3	6.8	5.3	3.0	1.5	11.3
岡崎市 住みよさ別	住みよい・計	2,686	2.0	2.2	3.5	8.7	7.4	34.7	11.1	11.3	7.5	2.0	3.8	5.8
	住みにくい・計	306	11.1	5.9	8.2	9.2	7.8	27.5	4.6	6.5	5.6	1.6	2.6	9.5

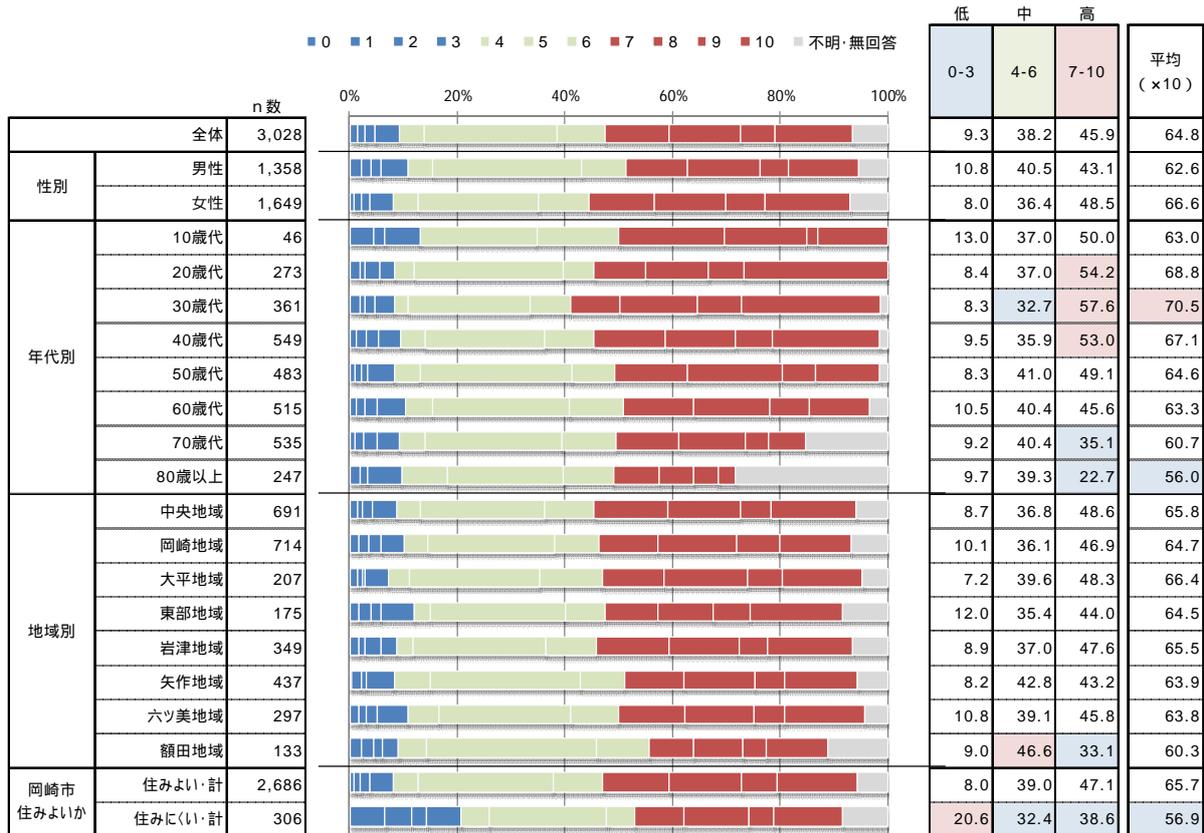
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

子育て・男女共同参画の取組みに対する重要度について年代別でみると、70代以上は「不明・無回答」が多いが、40代以下の方は、50代以上の人と比べて、重要度が「高」の比率が高い、

地域別でみると、額田地域では重要度「高」の比率が比較的低い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の20.6%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（8.0%）との差がみられる。

図 61 子育て・男女共同参画 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	低 ← → 高											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体 3,028	1.5	1.5	1.8	4.5	4.6	24.6	8.9	11.8	13.3	6.3	14.5	6.6
性別												
男性 1,358	2.2	1.7	2.0	4.9	4.6	27.6	8.2	11.4	13.5	5.2	13.0	5.6
女性 1,649	0.8	1.2	1.8	4.2	4.7	22.3	9.4	12.2	13.2	7.2	15.9	7.1
年代別												
10歳代 46	4.3	2.2	0.0	6.5	0.0	21.7	15.2	19.6	15.2	2.2	13.0	0.0
20歳代 273	1.8	1.1	2.6	2.9	3.7	27.5	5.9	9.5	11.7	6.6	26.4	0.4
30歳代 361	1.9	0.8	1.9	3.6	2.5	22.7	7.5	9.1	14.4	8.3	25.8	1.4
40歳代 549	1.3	1.8	2.2	4.2	4.6	22.2	9.1	13.3	12.9	6.9	19.9	1.6
50歳代 483	1.0	1.2	1.0	5.0	4.8	28.2	8.1	13.5	17.6	6.2	11.8	1.7
60歳代 515	1.4	1.6	2.3	5.2	4.9	25.4	10.1	13.0	14.2	7.4	11.1	3.5
70歳代 535	0.9	1.7	2.4	4.1	4.9	25.4	10.1	11.6	12.3	4.3	6.9	15.3
80歳以上 247	2.0	1.2	0.0	6.5	8.5	21.5	9.3	8.5	6.5	4.5	3.2	28.3
地域別												
中央地域 691	1.4	0.9	1.9	4.5	4.5	23.2	9.1	13.6	13.5	5.6	15.9	5.9
岡崎地域 714	1.7	1.8	2.4	4.2	4.5	23.5	8.1	10.9	14.7	8.0	13.3	6.9
大平地域 207	1.4	1.0	0.5	4.3	3.9	24.2	11.6	11.6	15.5	6.3	15.0	4.8
東部地域 175	1.7	2.3	1.7	6.3	2.9	25.1	7.4	9.7	10.3	6.9	17.1	8.6
岩津地域 349	1.7	1.1	2.9	3.2	2.9	24.6	9.5	13.5	12.9	5.4	15.8	6.6
矢作地域 437	0.2	1.8	0.9	5.3	6.6	27.9	8.2	11.0	13.3	5.5	13.5	5.7
六ツ美地域 297	1.7	1.3	2.0	5.7	5.7	24.6	8.8	12.5	12.8	5.7	14.8	4.4
額田地域 133	2.3	2.3	1.5	3.0	5.3	31.6	9.8	8.3	9.0	4.5	11.3	11.3
岡崎市住みよさ												
住みよい計 2,686	0.9	1.1	1.7	4.4	4.6	25.1	9.3	12.2	13.6	6.5	14.9	5.8
住みにくい計 306	6.5	4.9	2.9	6.2	5.2	21.9	5.2	9.2	12.1	4.6	12.7	8.5

「子育て」における祖父・祖母のサポート

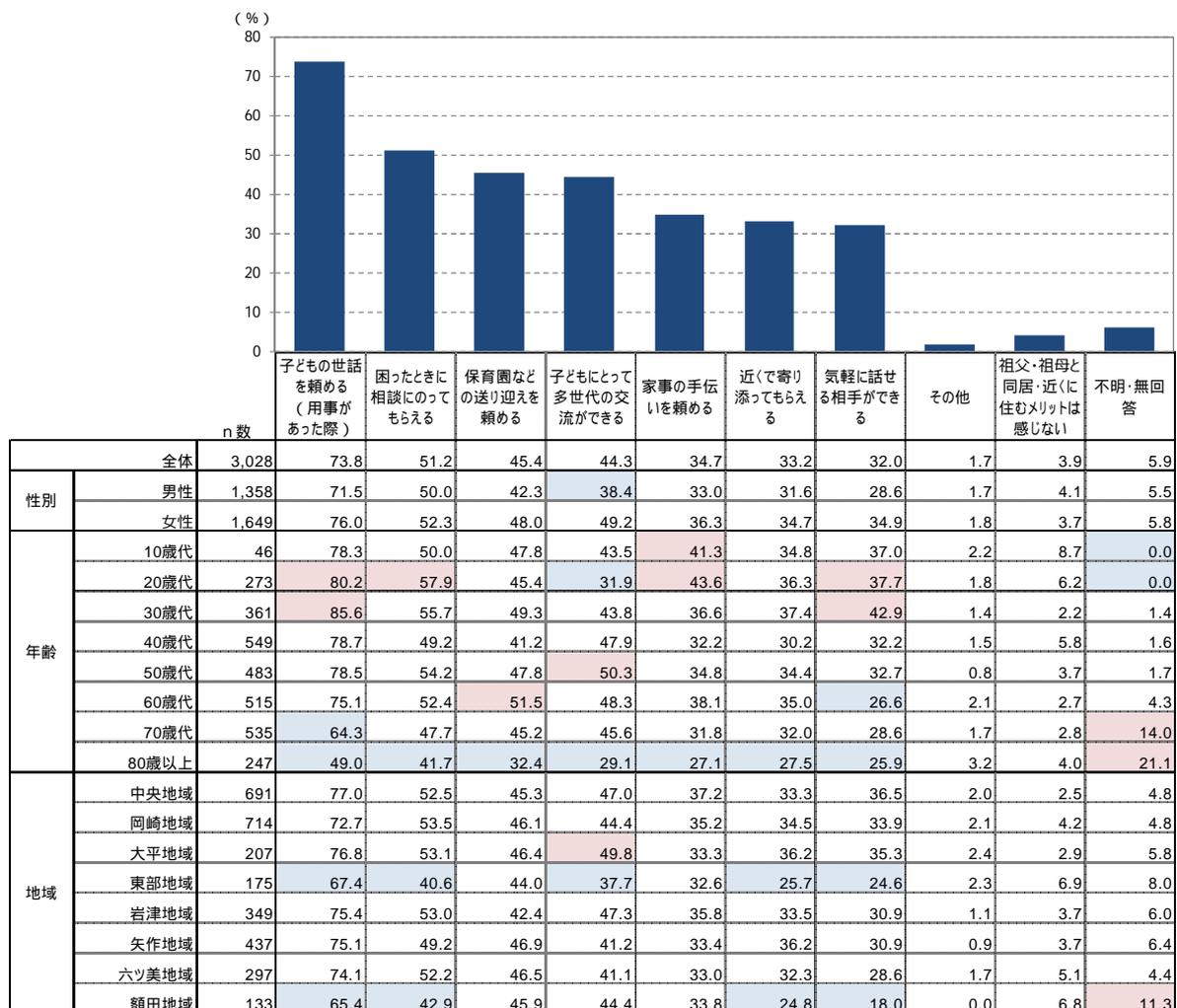
問 27. 「子育て」において、祖父・祖母のサポートがあると助かるという声も聞かれます。特に、子育てする人（親）にとって、祖父・祖母と、同居したり、近くに住むことで頼りになると思われることはありますか。子どもがいない方、祖父・祖母に当たる方についても、ご自身の経験や想像でお答えください。（MA）

子育てする人（親）にとって、祖父・祖母と、同居したり、近くに住むことで頼りになると思われることはあるかを尋ねたところ、「子どもの世話を頼める」が73.8%で最も高い。以下、「困ったときに相談にのってもらえる」（51.2%）、「保育園などの送り迎えを頼める」（45.4%）、「子どもにとって多世代の交流ができる」（44.3%）までが4割以上となっている。

性別でみると、女性は男性と比較して「子どもにとって多世代の交流ができる」の比率が高い。

年代別でみると、20代～30代で「子どもの世話を頼める」が8割以上となっており他の年代と比較して高い。「家事の手伝いを頼める」「気軽に話せる相手ができる」などの比率も年代が若い層の比率が高い。

図 62 3世代近居・同居のメリット（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



「子育て」における祖父・祖母のサポート

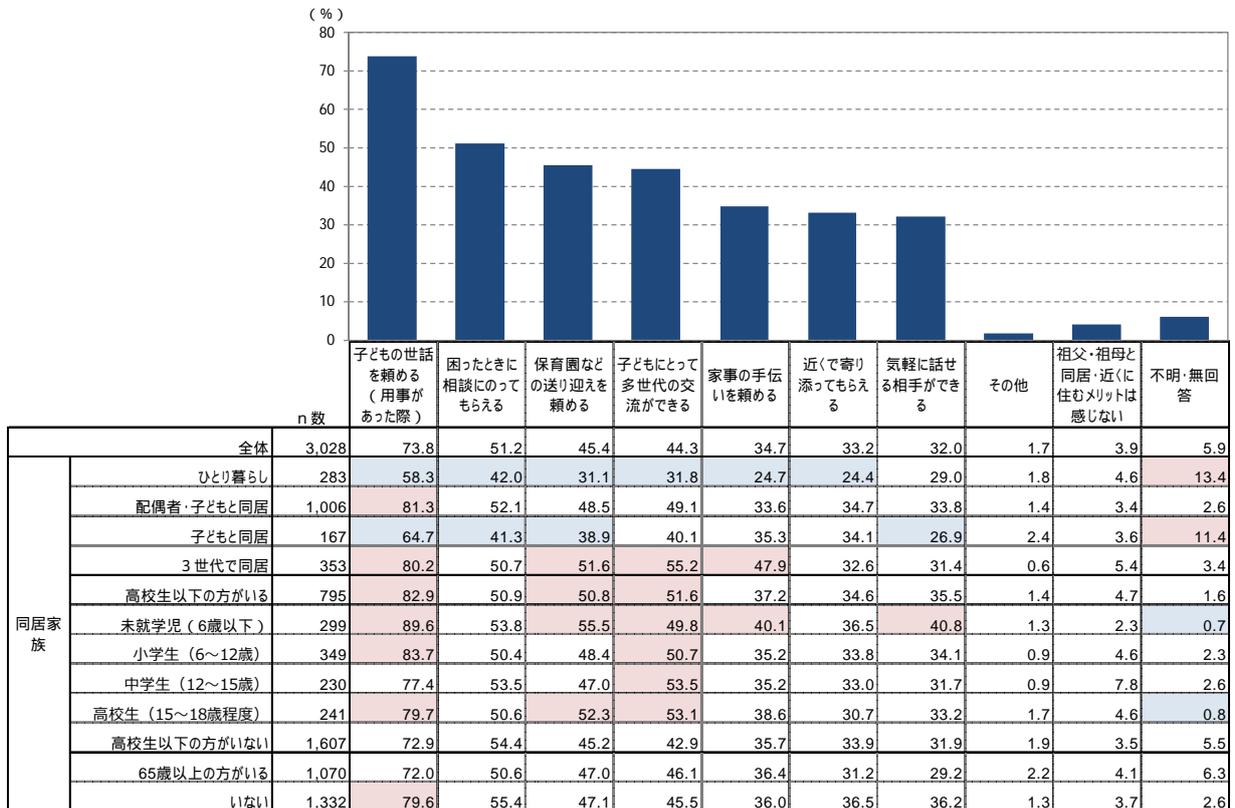
問 27. 「子育て」において、祖父・祖母のサポートがあると助かるという声も聞かれます。特に、子育てする人（親）にとって、祖父・祖母と、同居したり、近くに住むことで頼りになると思われることはありますか。子どもがいない方、祖父・祖母に当たる方についても、ご自身の経験や想像でお答えください。（MA）

<同居家族別>

子育てする人（親）にとって、祖父・祖母と、同居したり、近くに住むことで頼りになると思われることはあるかについて、同居家族別でみると、高校生以下の子どもがいる人は、いない人と比べて全般的に比率が高い（大きな差がある）。

3世代で同居している人では、「子どもの世話を頼める」「保育園などの送り迎えを頼める」「子どもにとって多世代の交流ができる」「家事の手伝いを頼める」など子育てや家事の手伝いに関する項目の比率が比較的高い傾向が見受けられる。

図 63 3世代近居・同居のメリット（全体・同居家族別）



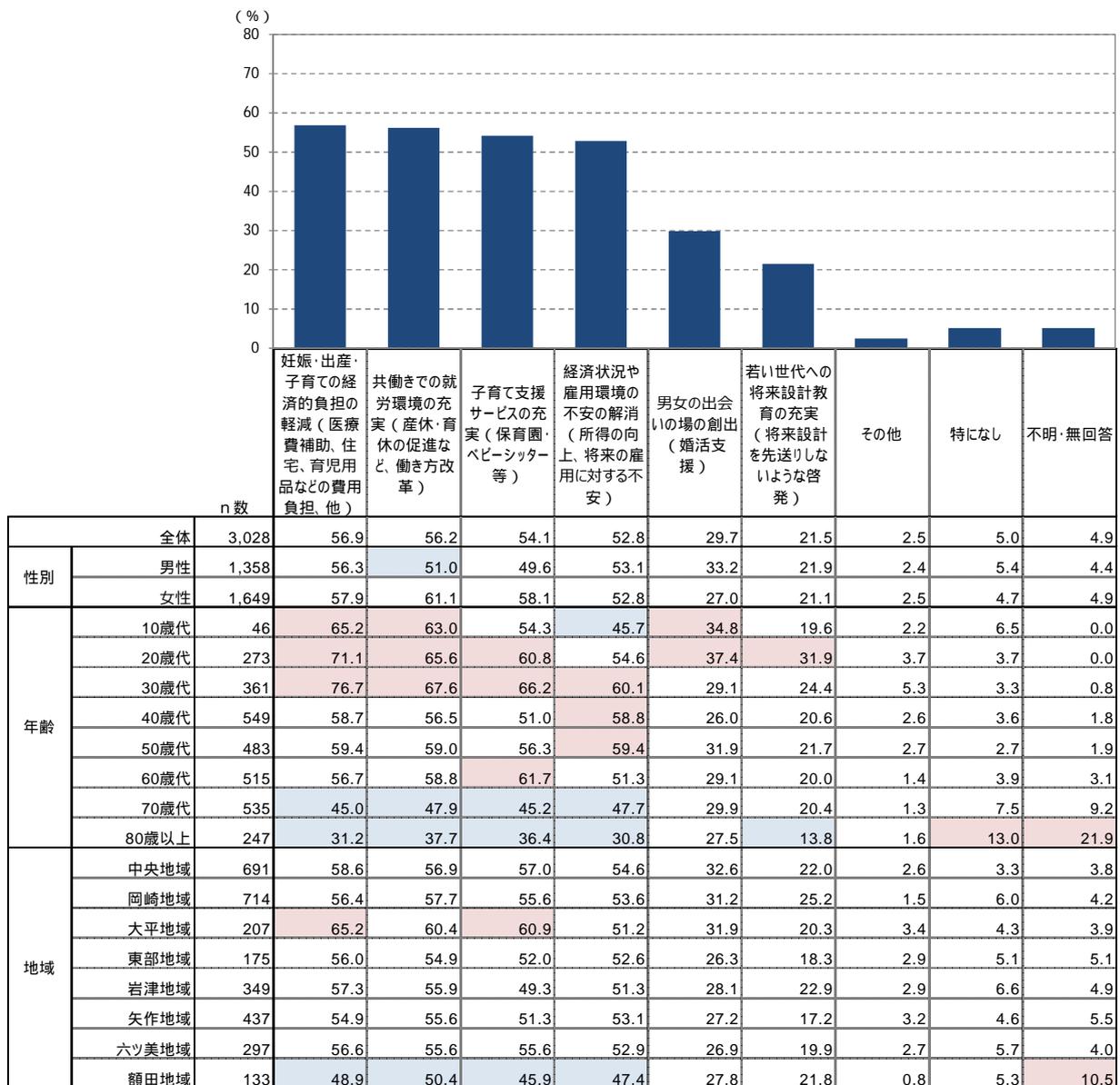
少子化対策で有効だと思う取組み

問 28. 少子化対策で有効だと思う取組みは何ですか。(MA)

少子化対策で有効だと思う取組みを尋ねたところ、「妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減」(56.9%)、「共働きでの就労環境の充実」(56.2%)、「子育て支援サービスの充実」(54.1%)、「経済状況や雇用環境の不安の解消」(52.8%)が5割以上となっている。

年代別では、20代～30代の比率が他の年代と比較して全般的に高い。

図 64 少子化対策で有効だと思う取組み (全体・性別・年齢別・地域別)



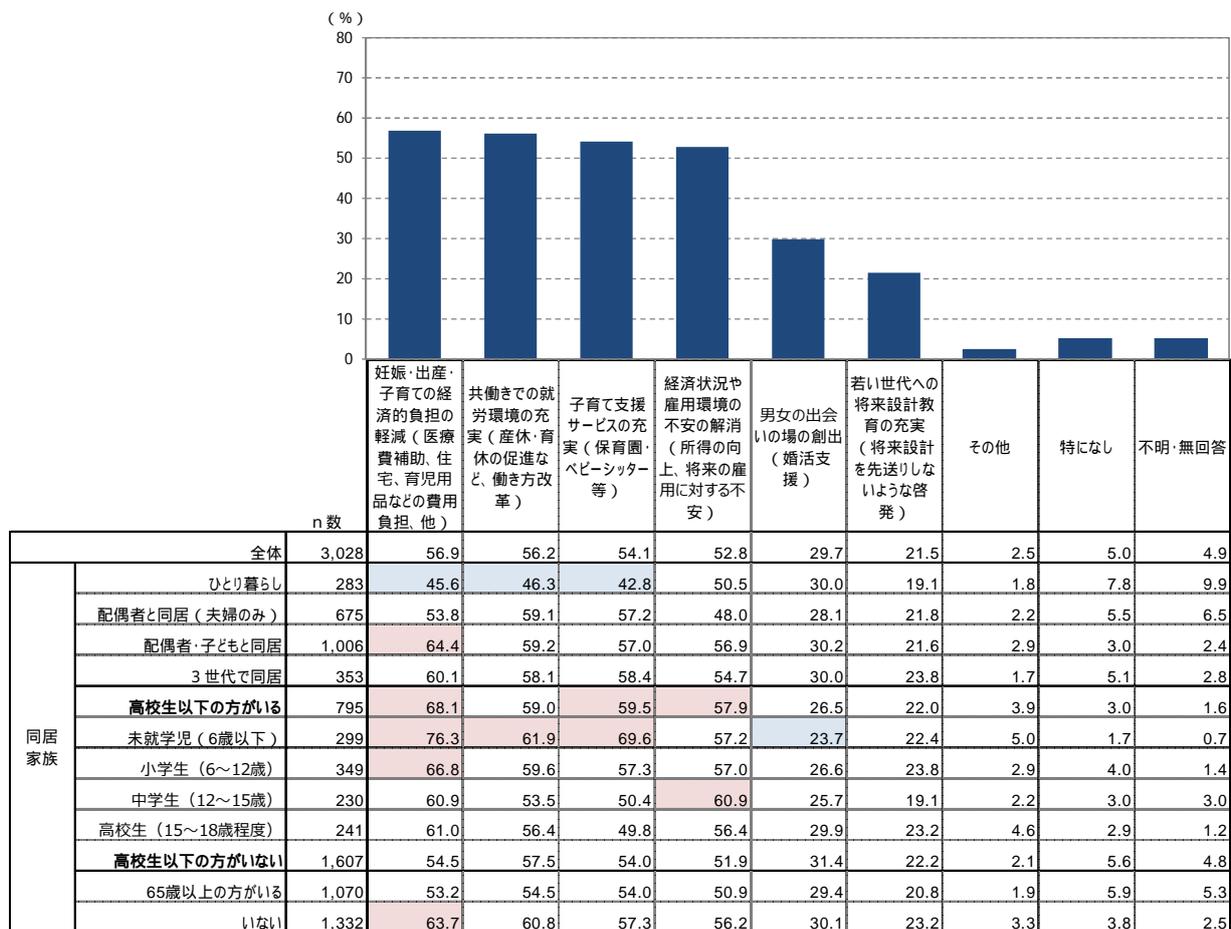
少子化対策で有効だと思う取組み

問 28. 少子化対策で有効だと思う取組みは何ですか。(MA)

< 同居家族別 >

少子化対策で有効だと思う取組みについて、同居家族別でみると、全般的に高校生以下の子どもがいる人の方が、いない人と比べて比率が高い。特に小学生以下の子どもがいる人では、「妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減」「子育て支援サービスの充実」などの比率が他と比較して高い。

図 65 少子化対策で有効だと思う取組み (同居家族別)



(7) 教育・文化

岡崎市は市民それぞれが思い描く幸せや活躍を実現できるまちを目指すとともに、学校教育・社会生活の中でおかざき愛が育まれていくまちを目指しています。

- 近年行ってきた取組み（例）
- ・ 小中学校エアコン整備事業
 - ・ GIGAスクール構想推進事業
 - ・ 校内フリースクール（適応教室）設置事業
 - ・ 龍北総合運動場整備事業
 - ・ 市民会館・せきれいホール改修事業

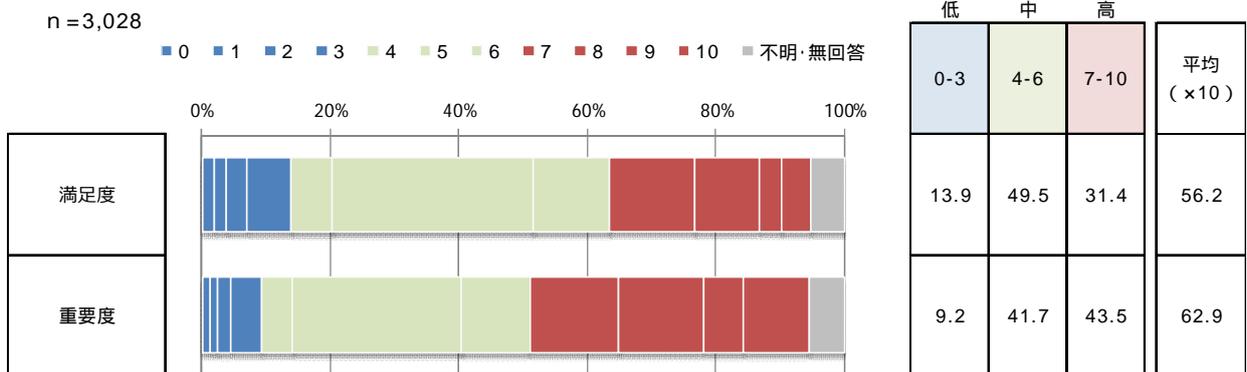
問 29. 岡崎市が近年行ってきた教育・文化の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

全体（満足度・重要度）

教育・文化への取組みの満足度は「低」が13.9%、「中」が49.5%、「高」が31.4%、平均56.2となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が17.5%高い。

重要度は「低」が9.2%、「中」が41.7%、「高」が43.5%、平均62.9。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が34.3%高い。

図 66 教育・文化 評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (°)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	1.9	1.8	3.1	7.0	6.4	31.2	11.9	13.3	10.0	3.4	4.6	5.3
重要度	1.2	1.1	2.1	4.8	4.9	26.2	10.6	13.9	13.2	6.1	10.2	5.6

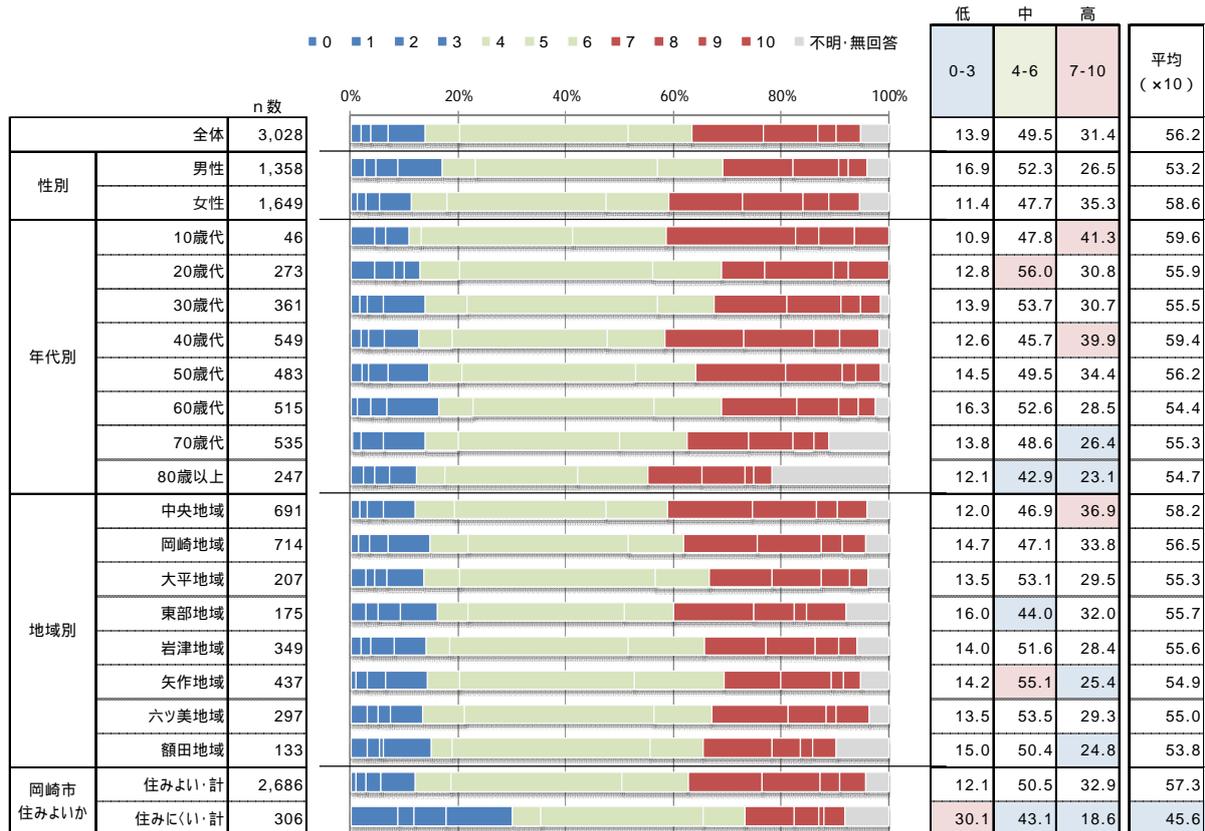
満足度（評価できる取組みだと思うか）

教育・文化の取組みに対する満足度について、年代別でみると70代以上は「不明・無回答」が多いが、10代、40代で満足度「高」の比率が4割前後で比較的高い。

地域別でみると、中央地域の満足度「高」の比率が高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の30.1%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（12.1%）との差がみられる。

図 67 教育・文化 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



	n数	評価										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体	3,028	1.9	1.8	3.1	7.0	6.4	31.2	11.9	13.3	10.0	3.4	4.6	5.3	
性別	男性	1,358	2.7	2.1	4.0	8.2	6.3	33.8	12.2	12.9	8.5	1.8	3.3	4.3
	女性	1,649	1.3	1.6	2.5	6.0	6.5	29.5	11.7	13.6	11.2	4.9	5.6	5.6
年代別	10歳代	46	4.3	2.2	0.0	4.3	2.2	28.3	17.4	23.9	4.3	6.5	6.5	0.0
	20歳代	273	4.4	3.7	1.8	2.9	7.3	35.9	12.8	8.1	12.8	2.6	7.3	0.4
	30歳代	361	1.7	1.4	3.0	7.8	7.8	35.5	10.5	13.3	10.2	3.6	3.6	1.7
	40歳代	549	2.0	1.3	3.1	6.2	6.2	28.8	10.7	14.8	12.9	4.9	7.3	1.8
	50歳代	483	2.3	1.0	3.7	7.5	6.2	32.1	11.2	16.8	10.6	2.5	4.6	1.7
	60歳代	515	1.4	2.5	2.9	9.5	6.4	33.6	12.6	14.0	7.8	3.5	3.3	2.5
	70歳代	535	0.4	1.7	4.1	7.7	6.2	29.9	12.5	11.4	8.4	3.7	2.8	11.2
	80歳以上	247	2.4	2.0	2.8	4.9	5.3	24.7	13.0	10.1	8.1	1.6	3.2	21.9
地域別	中央地域	691	1.7	1.4	2.9	5.9	7.2	28.1	11.6	15.6	12.0	3.9	5.4	4.2
	岡崎地域	714	1.4	2.1	3.5	7.7	7.0	29.8	10.2	13.7	11.9	3.8	4.3	4.5
	大平地域	207	2.9	1.4	2.4	6.8	6.8	36.2	10.1	11.6	9.2	5.3	3.4	3.9
	東部地域	175	2.9	2.3	4.0	6.9	5.7	29.1	9.1	14.9	7.4	2.3	7.4	8.0
	岩津地域	349	2.0	1.7	4.3	6.0	4.3	33.2	14.0	11.5	9.2	4.3	3.4	6.0
	矢作地域	437	0.9	2.1	3.4	7.8	5.9	32.5	16.7	10.5	9.4	2.3	3.2	5.3
	六ツ美地域	297	3.0	2.0	2.4	6.1	7.7	35.0	10.8	14.1	7.1	2.0	6.1	3.7
	額田地域	133	3.0	2.3	0.8	9.0	3.8	36.8	9.8	12.8	5.3	2.3	4.5	9.8
岡崎市 住みよさ別	住みよい・計	2,686	1.1	1.7	2.9	6.4	6.6	31.6	12.3	13.9	10.6	3.8	4.7	4.4
	住みにくい・計	306	8.8	2.9	5.9	12.4	5.2	30.1	7.8	9.2	4.6	1.0	3.9	8.2

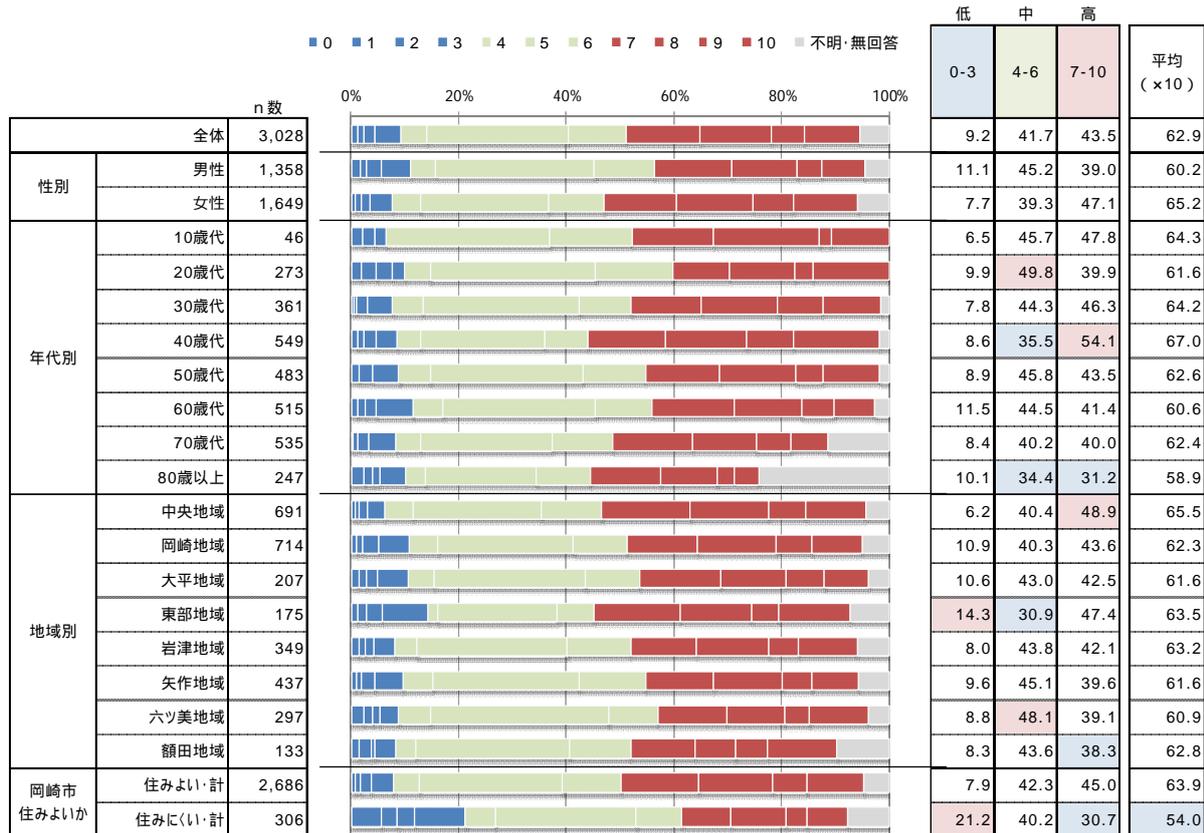
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

教育・文化の取組みに対する重要度について年代別でみると、40代では重要度「高」の比率が54.1%と特に高い。

地域別でみると、中央地域、東部地域では重要度「高」の比率が比較的高い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の21.2%が重要度「低」となっており、住みよいと評価した人（7.9%）との差がみられる。

図 68 教育・文化 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



	n数	重要度										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
性別	全体	3,028	1.2	1.1	2.1	4.8	4.9	26.2	10.6	13.9	13.2	6.1	10.2	5.6
	男性	1,358	1.6	1.2	2.9	5.4	4.6	29.5	11.1	14.3	12.2	4.6	8.0	4.6
	女性	1,649	0.9	1.0	1.5	4.2	5.2	23.8	10.3	13.5	14.1	7.5	12.1	5.9
年代別	10歳代	46	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	30.4	15.2	15.2	19.6	2.2	10.9	0.0
	20歳代	273	1.8	2.9	2.9	2.2	4.8	30.8	14.3	10.6	12.1	3.3	13.9	0.4
	30歳代	361	0.6	0.6	1.9	4.7	5.5	29.1	9.7	13.0	14.1	8.3	10.8	1.7
	40歳代	549	1.3	1.1	2.4	3.8	4.4	23.0	8.2	14.4	14.9	8.7	16.0	1.8
	50歳代	483	1.4	0.0	2.5	5.0	5.8	28.4	11.6	13.9	14.1	5.0	10.6	1.9
	60歳代	515	1.4	1.4	1.9	6.8	5.6	28.3	10.5	15.1	12.6	6.0	7.6	2.7
	70歳代	535	0.4	0.9	2.1	5.0	4.5	24.5	11.2	14.8	12.0	6.4	6.9	11.4
	80歳以上	247	2.4	1.6	1.2	4.9	3.6	20.6	10.1	13.0	10.5	3.2	4.5	24.3
地域別	中央地域	691	0.9	0.6	1.6	3.2	5.2	23.9	11.3	16.4	14.6	6.8	11.1	4.5
	岡崎地域	714	1.1	1.1	2.9	5.7	5.2	25.2	9.9	13.2	14.6	6.6	9.2	5.2
	大平地域	207	1.4	1.4	1.9	5.8	4.8	28.0	10.1	15.0	12.1	7.2	8.2	3.9
	東部地域	175	1.1	1.7	2.9	8.6	1.7	22.3	6.9	16.0	13.1	5.1	13.1	7.4
	岩津地域	349	1.4	1.1	1.7	3.7	4.3	27.8	11.7	12.3	13.5	5.4	10.9	6.0
	矢作地域	437	0.9	0.9	2.5	5.3	5.5	27.2	12.4	12.6	12.8	5.5	8.7	5.7
	六ツ美地域	297	2.4	1.7	1.3	3.4	6.1	33.0	9.1	12.8	10.8	4.7	10.8	4.0
	額田地域	133	1.5	2.3	0.8	3.8	3.8	28.6	11.3	12.0	7.5	6.0	12.8	9.8
岡崎市 住みよさ別	住みよい・計	2,686	0.7	0.9	2.0	4.2	4.8	26.5	10.9	14.4	13.6	6.4	10.6	4.8
	住みにくい・計	306	5.6	2.9	3.3	9.5	5.6	26.1	8.5	9.2	10.1	3.9	7.5	7.8

地元愛が育まれたと思うきっかけ

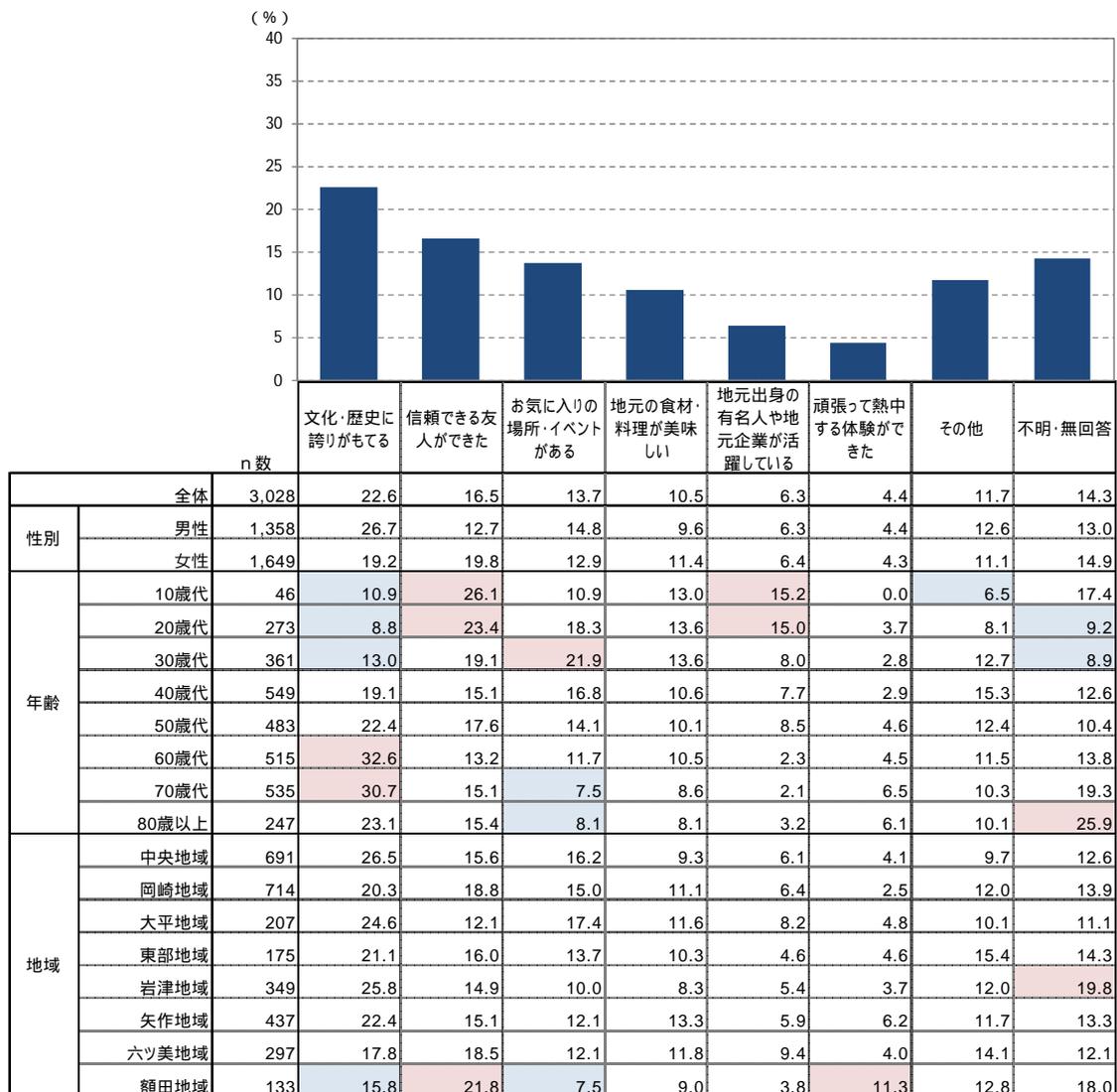
問 30. "地元愛"が育まれたと思うきっかけはありますか。最も当てはまるものを1つお選びください。(SA)

"地元愛"が育まれたと思うきっかけを1つだけ選んでもらったところ、「文化・歴史に誇りがもてる」が22.6%で最も高く、「信頼できる友人ができた」(16.5%)、「お気に入りの場所・イベントがある」(13.7%)、「地元の食材・料理が美味しい」(10.5%)までが1割以上で続いており、この4項目で6割強を占めている。

年代別でみると、60代~70代は「文化・歴史に誇りがもてる」が3割に達しており10代~30代が1割前後であるのと比較して高い。一方で、20代~30代は「お気に入りの場所・イベントがある」の比率が2割前後で他の年代と比較してやや高い。また、10代~30代は「信頼できる友人ができた」の割合もやや高い。

地域別でみると、額田地域で「信頼できる友人ができた」の比率がやや高い。

図 69 地元愛が育まれたと思うきっかけ (全体・性別・年代別・地域別)



地元愛が育まれたと思うきっかけ

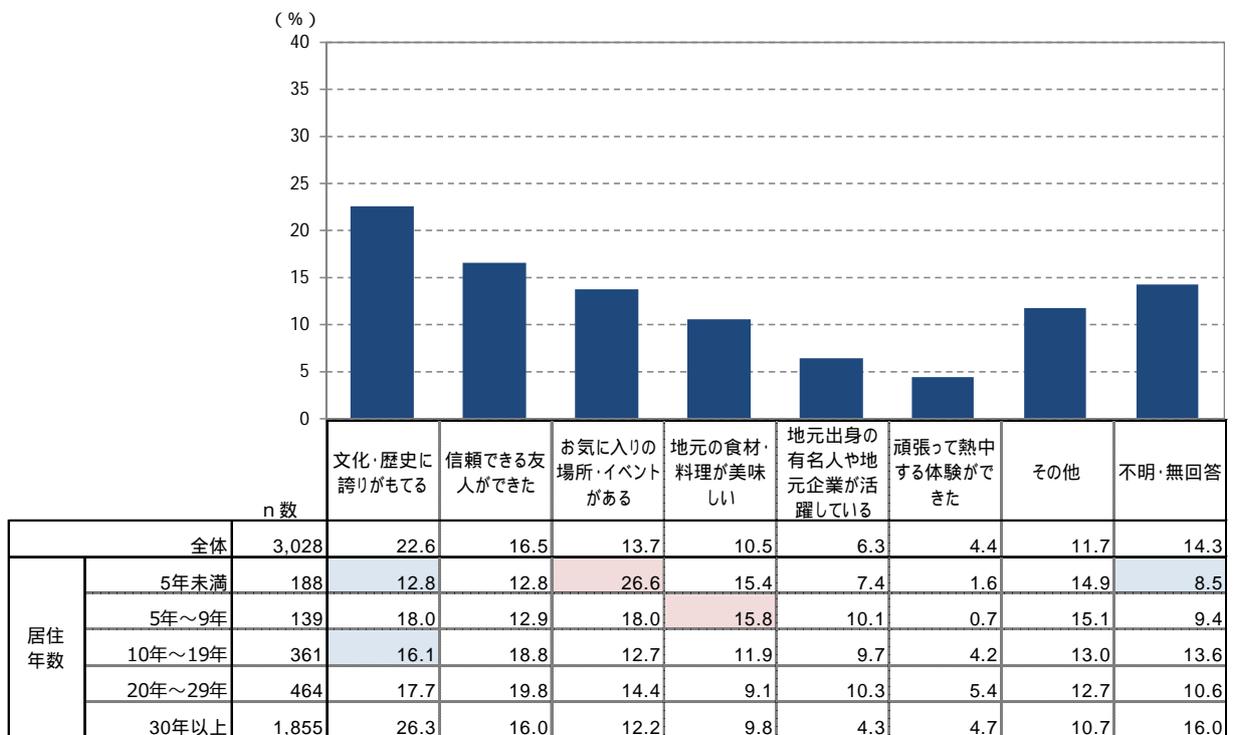
問 30. "地元愛"が育まれたと思うきっかけはありますか。最も当てはまるものを1つお選びください。(SA)

<居住年数別>

"地元愛"が育まれたと思うきっかけについて、居住年数別でみると、居住年数が30年以上の人は、「文化・歴史に誇りがもてる」の比率が比較的高い。

居住年数が5年未満の人では「お気に入りの場所・イベントがある」の比率が比較的高い。

図 70 地元愛が育まれたと思うきっかけ (居住年数別)



本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待すること

問 31. 近年、公立図書館が駅や百貨店などに併設されるなど、そのあり方が多様化しています。今後「図書館（りぶら）」に対して求められる役割・機能も変化していくことが予想されますが、本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待することはありますか。

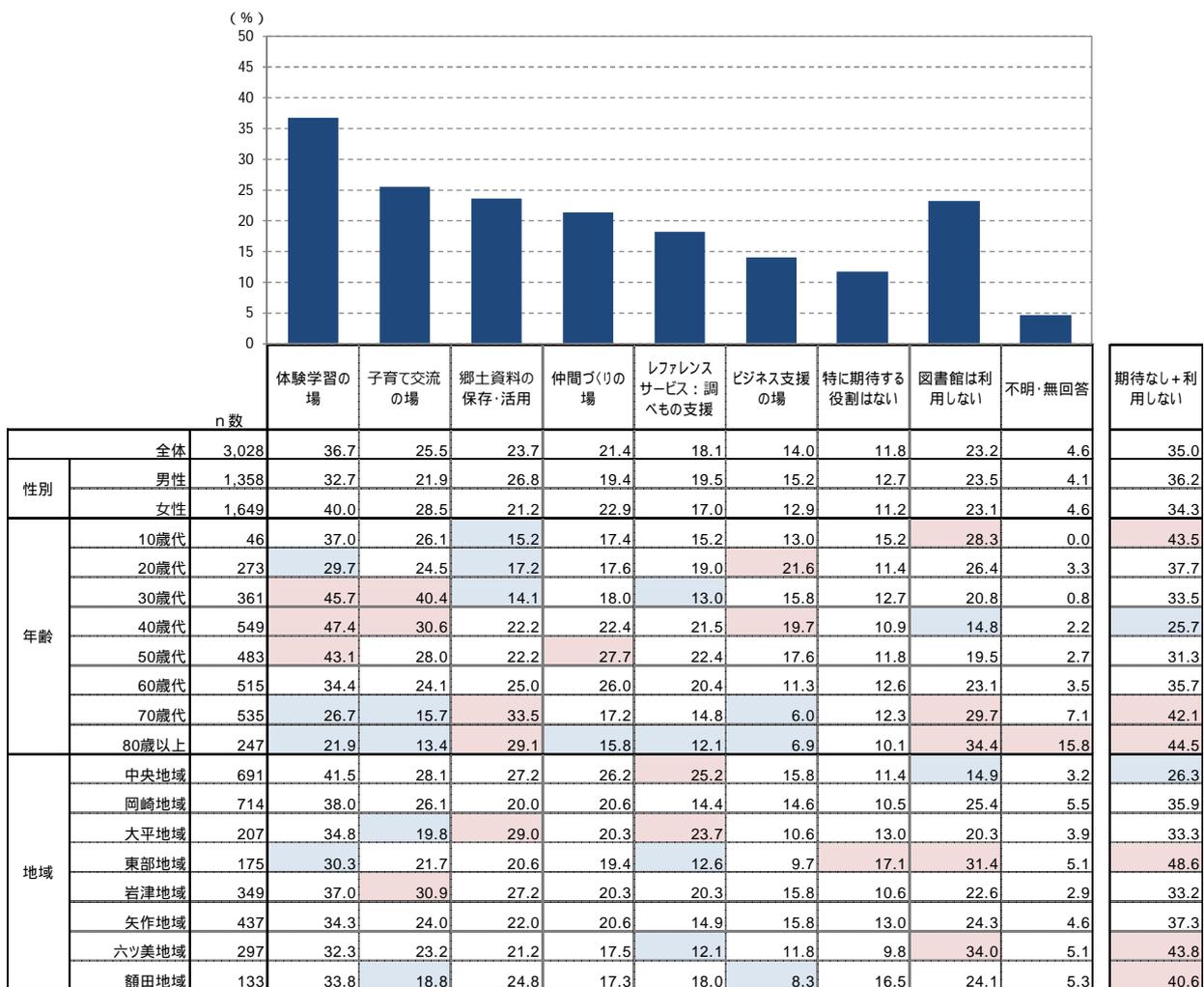
本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待することを尋ねたところ、「体験学習の場」が36.7%で最も高い。以下、「子育て交流の場」（25.5%）、「郷土資料の保存・活用」（23.7%）、「仲間づくりの場」（21.4%）、「レファレンスサービス」（18.1%）などが続いている。

性別でみると、女性は「体験学習の場」「子育て交流の場」などの比率が、男性と比べて5%以上高い。

年代別でみると、10代～20代、70代以上では、「図書館は利用しない」とする比率がやや高い。「体験学習の場」は30代～50代、「子育て交流の場」などは30代～40代の比率が高い。

地域別でみると、中央地域では「図書館は利用しない」の比率が14.9%となっており、他の地域が2割を超えているのと比較して低い。「特に期待する役割がない」「図書館は利用しない」の合計値でみると、東部地域、六ツ美地域、額田地域の割合が他の地域と比較して高い。

図 71 本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待すること（全体・性別・年代別・地域別）



本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待すること

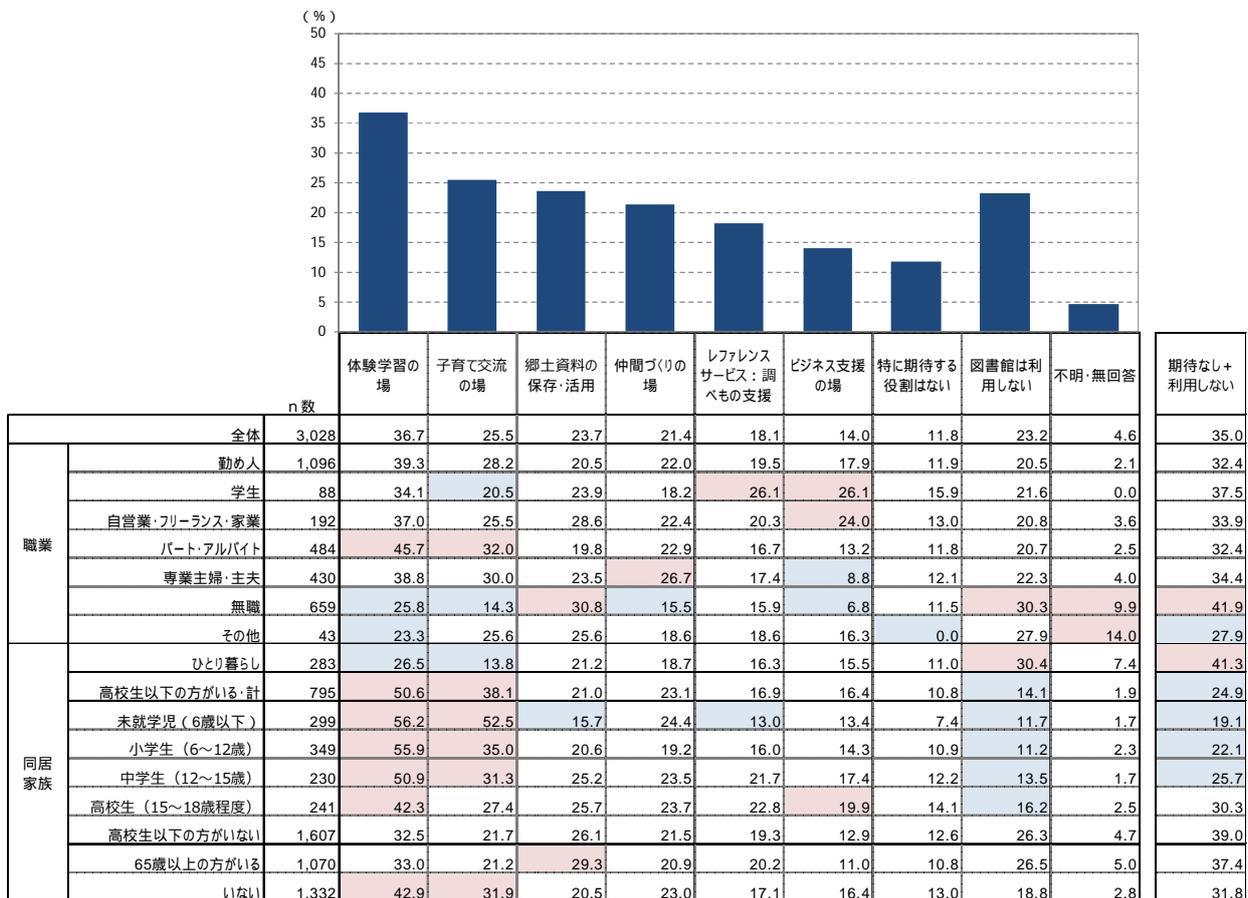
問 31. 近年、公立図書館が駅や百貨店などに併設されるなど、そのあり方が多様化しています。今後「図書館（りぶら）」に対して求められる役割・機能も変化していくことが予想されますが、本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待することはありますか。

< 職業別・同居家族別 >

本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待することについて職業別でみると、学生、自営業・フリーランス・家業の人は、「ビジネス支援の場」の割合が比較的高い。

同居家族別でみると、高校生以下の子どもがいる人は「体験学習の場」、「子育て交流の場」などの比率が高校生以下の子どもがいない人と比べて 15%以上高く、子どもの有無によって図書館（りぶら）への期待度が異なる様子が見えてくる。

図 72 本の貸出以外に「図書館（りぶら）」に期待すること（職業別・同居家族別）



(8) 商業・観光

岡崎市はまちを楽しむ人が集う将来を見据え、観光と商業機能が連動した観光産業都市にふさわしい誘客資源が充実したまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

- ・ 東部のまちづくり（アウトレット関連）事業
- ・ 世界ラリー選手権誘致事業
- ・ どうする家康活用推進事業
- ・ 岡崎ビジネスサポートセンター運営事業
- ・ キャッシュレス決済ポイント還元事業

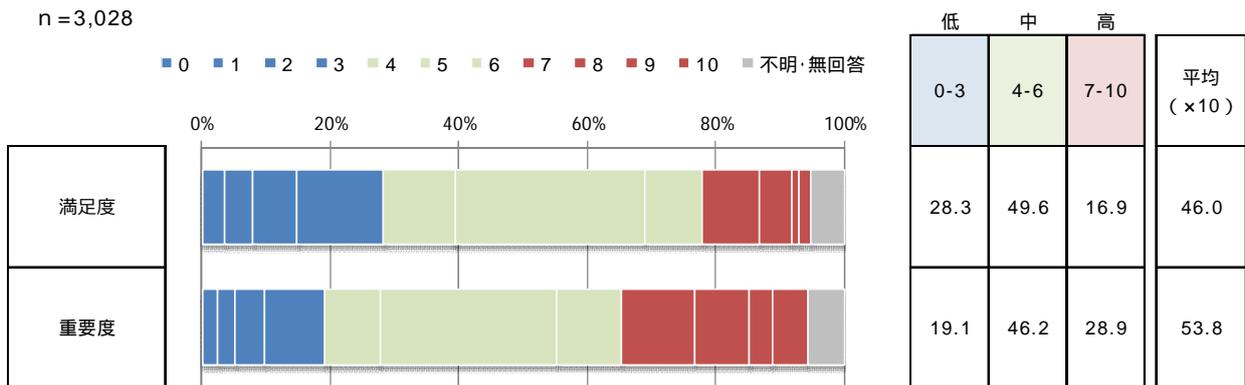
問 32. 岡崎市が近年行ってきた商業・観光の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

全体（満足度・重要度）

商業・観光への取組みの満足度は「低」が 28.3%、「中」が 49.6%、「高」が 16.9%、平均 46.0 となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が 11.4% 高く、また、満足度「低」の比率が都市インフラの整備に次いで高い。

重要度は「低」が 19.1%、「中」が 46.2%、「高」が 28.9%、平均 53.8。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が 9.8% 高い。

図 73 商業・観光 評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (%)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	3.5	4.4	6.9	13.4	11.0	29.6	9.0	8.9	4.9	1.2	1.9	5.2
重要度	2.5	2.6	4.6	9.4	8.6	27.6	10.0	11.3	8.5	3.6	5.4	5.8

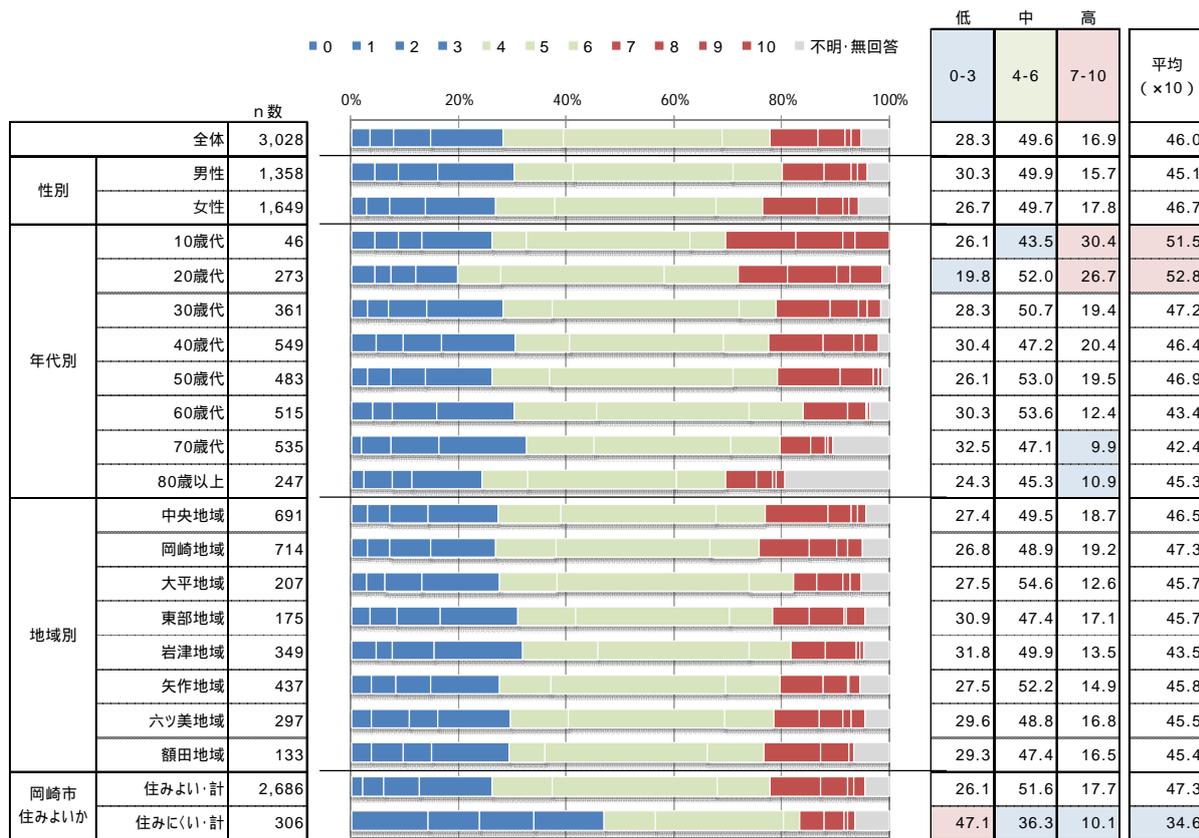
満足度（評価できる取組みだと思うか）

商業・観光の取組みに対する満足度について、年代別でみると10代、20代の満足度「高」の割合が高く、60代以上など高齢層の比率が低い傾向が見られる（70代以上は「不明・無回答」の比率も高い）

地域別で満足度評価の傾向に大きな差は見られない。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の47.1%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（26.1%）との差が大きい。

図 74 商業・観光 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	低 ← → 高											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体 3,028	3.5	4.4	6.9	13.4	11.0	29.6	9.0	8.9	4.9	1.2	1.9	5.2
性別	男性 1,358	4.3	4.5	7.4	14.1	11.0	29.5	9.4	7.6	5.0	1.3	4.1
	女性 1,649	2.8	4.4	6.6	13.0	11.2	29.8	8.8	9.9	4.8	1.2	5.7
年代別	10歳代 46	4.3	4.3	4.3	13.0	6.5	30.4	6.5	13.0	8.7	2.2	6.5
	20歳代 273	4.4	2.9	4.8	7.7	8.1	30.4	13.6	9.2	9.2	2.6	5.9
	30歳代 361	3.0	3.9	7.2	14.1	9.1	34.6	6.9	10.0	5.3	1.7	2.5
	40歳代 549	4.7	4.9	7.1	13.7	10.2	28.6	8.4	10.0	5.8	1.6	2.9
	50歳代 483	3.1	4.3	6.4	12.2	10.8	34.2	8.1	11.8	6.0	1.0	0.6
	60歳代 515	4.1	3.7	8.2	14.4	15.3	28.3	9.9	8.3	3.3	0.4	0.4
	70歳代 535	2.1	5.4	8.8	16.3	12.7	25.2	9.2	5.8	2.6	0.6	0.9
	80歳以上 247	2.4	5.3	3.6	13.0	8.5	27.5	9.3	5.7	2.8	0.8	1.6
地域別	中央地域 691	3.2	3.9	7.1	13.2	11.6	28.8	9.1	11.7	4.3	1.0	1.6
	岡崎地域 714	3.1	4.2	7.4	12.0	11.2	28.7	9.0	9.4	5.0	2.2	2.5
	大平地域 207	2.9	3.4	6.8	14.5	10.6	35.7	8.2	4.3	4.8	1.4	1.9
	東部地域 175	3.4	5.1	8.0	14.3	10.9	28.6	8.0	6.9	6.3	0.6	3.4
	岩津地域 349	4.6	3.2	7.7	16.3	14.0	28.1	7.7	6.3	5.7	0.9	0.6
	矢作地域 437	3.7	4.6	6.4	12.8	9.6	32.5	10.1	8.0	4.6	0.2	2.1
	六ツ美地域 297	3.7	7.1	5.4	13.5	10.8	29.0	9.1	8.4	4.4	1.7	2.4
	額田地域 133	3.8	6.0	5.3	14.3	6.8	30.1	10.5	10.5	5.3	0.0	0.8
岡崎市住みよさ別	住みよい・計 2,686	2.2	3.9	6.6	13.4	11.3	30.5	9.8	9.4	5.0	1.3	2.0
	住みにくい・計 306	14.4	9.5	10.1	13.1	9.5	23.9	2.9	4.6	3.6	0.7	1.3

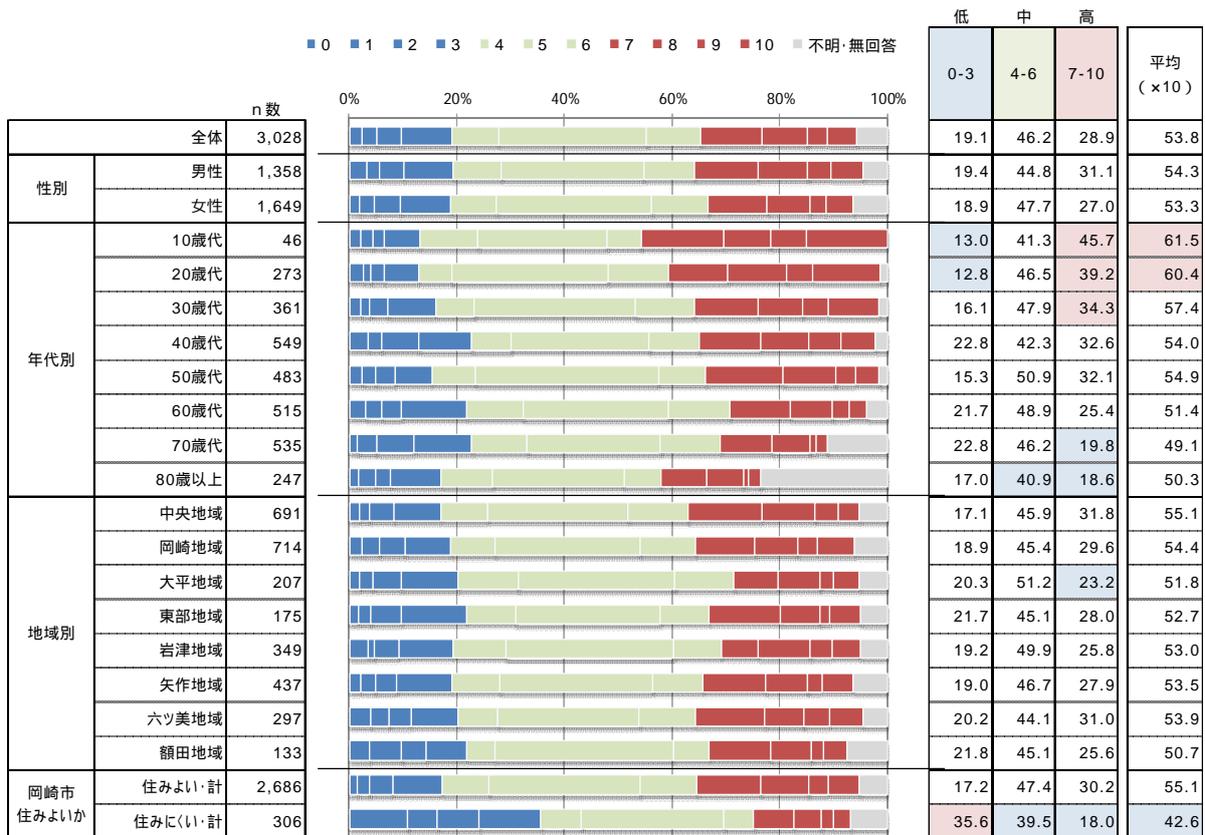
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

商業・観光の取組みに対する重要度について年代別で見ると、年代が低い層ほど重要度「高」の割合が高い（商業・観光の取組みを重視する傾向）

地域別で見ると、大平地域では重要度「高」の比率が比較的低い。

岡崎市の住みよさ別で見ると、住みにくいと評価した人は、住みよいと評価した人よりも、重要度が低い評価をしている人の割合が高い傾向が見られる。

図 75 商業・観光 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



	n数	重要度										不明・無回答		
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	
全体	3,028	2.5	2.6	4.6	9.4	8.6	27.6	10.0	11.3	8.5	3.6	5.4	5.8	
性別	男性	1,358	3.2	2.4	4.5	9.3	8.9	26.4	9.5	11.8	9.3	4.3	5.8	4.7
	女性	1,649	1.9	2.9	4.7	9.5	8.4	28.8	10.5	11.0	7.9	3.0	5.2	6.4
年代別	10歳代	46	2.2	2.2	2.2	6.5	10.9	23.9	6.5	15.2	8.7	6.5	15.2	0.0
	20歳代	273	2.6	1.5	2.6	6.2	6.2	28.9	11.4	11.0	11.0	4.8	12.5	1.5
	30歳代	361	2.2	1.7	3.3	8.9	7.2	29.9	10.8	11.9	8.3	4.7	9.4	1.7
	40歳代	549	3.5	2.6	6.9	9.8	7.3	25.7	9.3	11.3	9.1	5.8	6.4	2.4
	50歳代	483	2.5	2.5	3.5	6.8	8.1	34.0	8.9	14.3	9.7	3.7	4.3	1.7
	60歳代	515	3.1	2.9	3.7	12.0	10.5	27.0	11.5	11.3	7.8	3.1	3.3	3.9
	70歳代	535	1.5	3.6	6.9	10.8	10.3	24.7	11.2	9.5	7.1	1.1	2.1	11.2
	80歳以上	247	1.6	3.2	2.8	9.3	9.7	24.3	6.9	8.5	6.9	0.8	2.4	23.5
地域別	中央地域	691	1.9	1.9	4.5	8.8	8.7	26.0	11.1	13.6	10.0	4.2	4.1	5.2
	岡崎地域	714	2.4	3.2	4.8	8.5	8.1	26.9	10.4	10.9	8.0	3.6	7.0	6.2
	大平地域	207	1.9	2.4	5.3	10.6	11.1	29.0	11.1	8.2	7.7	2.4	4.8	5.3
	東部地域	175	1.7	2.3	5.7	12.0	9.1	26.9	9.1	13.1	7.4	1.7	5.7	5.1
	岩津地域	349	3.4	1.1	4.6	10.0	10.0	30.9	8.9	6.9	9.7	4.0	5.2	5.2
	矢作地域	437	2.1	2.7	3.9	10.3	8.9	28.4	9.4	11.7	7.8	2.7	5.7	6.4
	六ツ美地域	297	4.0	3.4	4.0	8.8	7.4	26.3	10.4	12.8	7.4	4.7	6.1	4.7
	額田地域	133	3.8	6.0	4.5	7.5	5.3	33.1	6.8	11.3	7.5	2.3	4.5	7.5
岡崎市 住みよいか	住みよい・計	2,686	1.5	2.3	4.2	9.2	8.8	28.0	10.6	11.8	8.9	3.7	5.8	5.2
	住みにくい・計	306	10.8	5.6	7.8	11.4	7.5	26.5	5.6	7.5	4.9	2.3	3.3	6.9

実店舗で購入するメリット

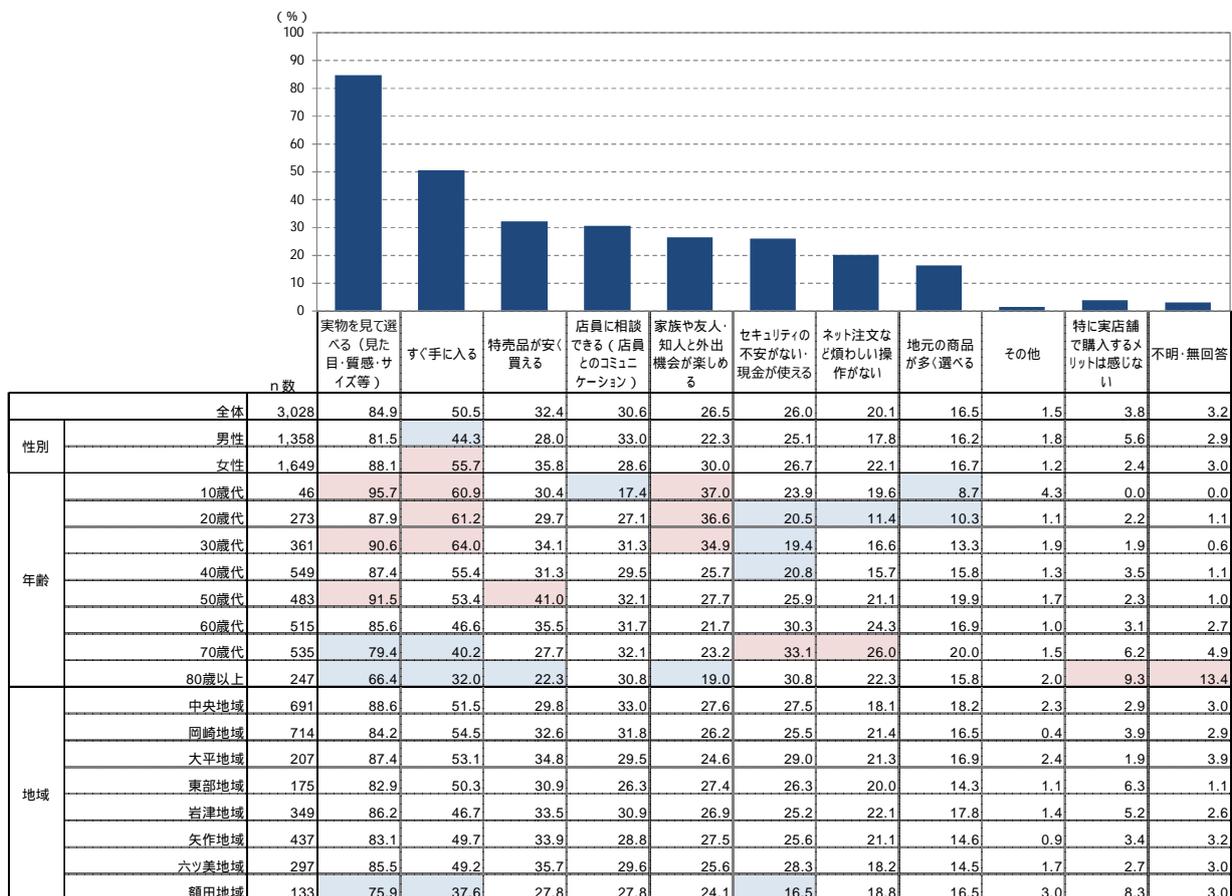
問 33. 近年、オンラインショッピングが拡大していますが、一方で、市として、商業・観光の活性化には、実店舗の充実も重要だと考えております。
あなたご自身として、実店舗で購入するメリットは何ですか。(MA)

実店舗で購入するメリットを尋ねたところ、「実物を見て選べる」が84.9%と突出して高い。以下、「すぐ手に入る」(50.5%)、「特売品を安く買える」(32.4%)、「店員に相談できる」(30.6%)、「家族や友人・知人と外出機会を楽しめる」(26.5%)、「セキュリティの不安がない・現金が使える」(26.0%)などが続いている。

性別でみると、女性は男性と比較して全般的に比率が高く、特に、「すぐ手に入る」の比率が11.4%高い。

年代別でみると、30代以下の方は「すぐ手に入る」「家族や友人・知人と外出機会を楽しめる」の比率が比較的高い。60代以上の方は「セキュリティの不安がない・現金が使える」の比率が3割に達しており、他の年代と比較して高い。

図 76 実店舗で購入するメリット (全体・性別・年代別・地域別)



実店舗で購入するメリット

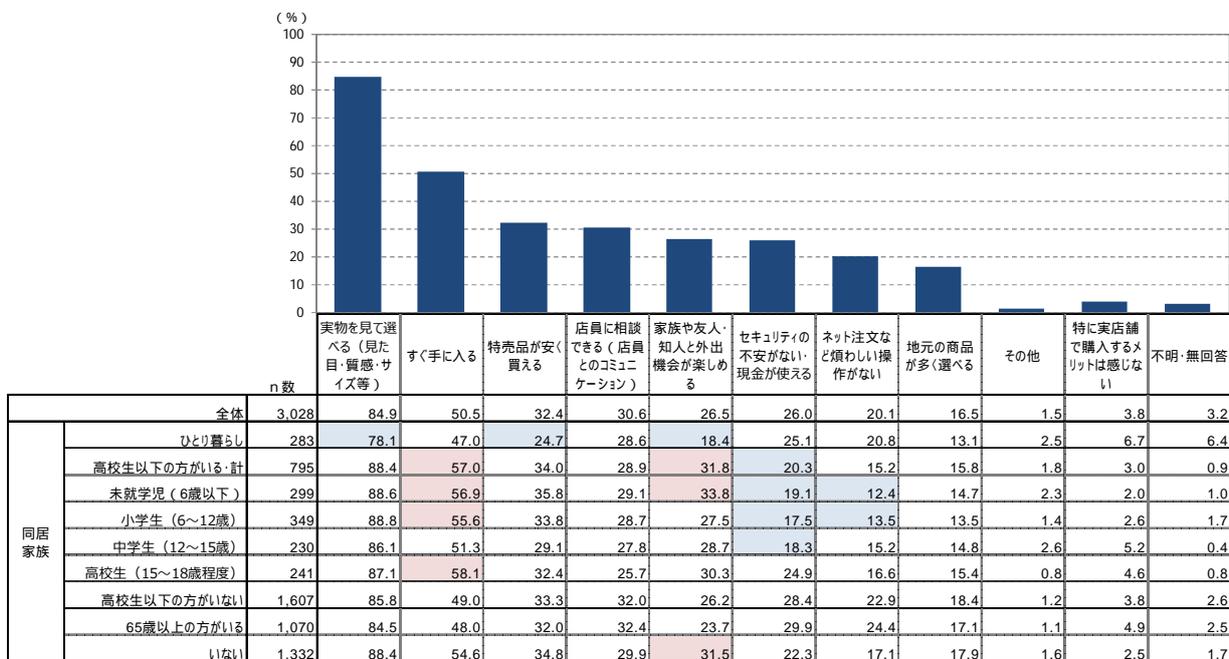
問 33. 近年、オンラインショッピングが拡大していますが、一方で、市として、商業・観光の活性化には、実店舗の充実も重要だと考えております。
 あなたご自身として、実店舗で購入するメリットは何ですか。(MA)

<同居家族別>

実店舗で購入するメリットについて、同居家族別でみると、高校生以下の子どもがいる人は、「すぐ手に入る」「家族や友人・知人と外出機会が楽しめる」などの割合が、高校生以下の子どもがいない人と比べて高い。

65歳以上の同居家族がいる人は「セキュリティの不安がない・現金が使える」の比率がやや高い。

図 77 実店舗で購入するメリット (同居家族別)



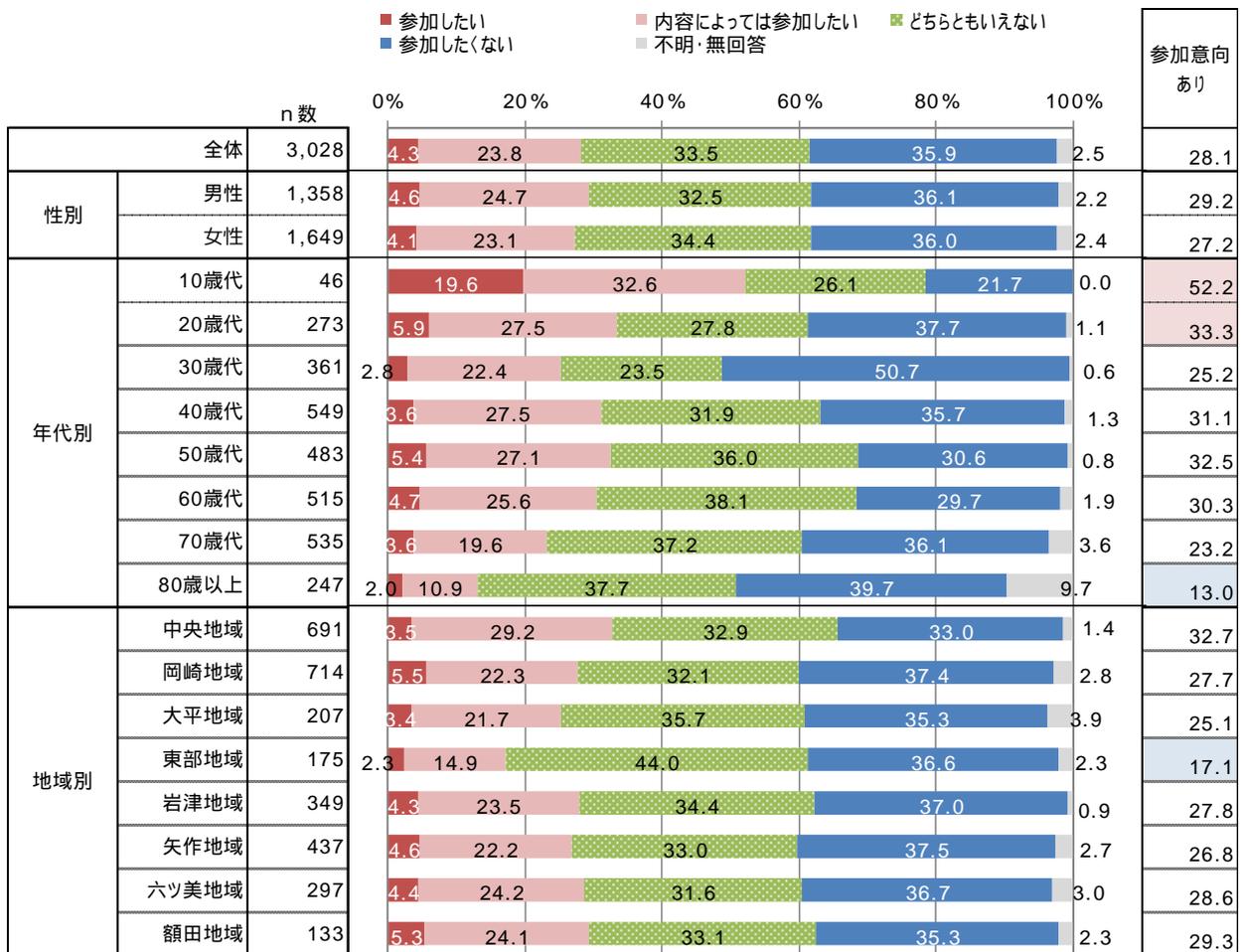
観光客を迎えるためのボランティア参加意向

問 34. 大河ドラマで『どうする家康』の舞台として岡崎市が活用されて観光客が増加する見込みですが、観光客を迎えるにあたり清掃、警備、案内などボランティアとしての関わりに参加したいと思いますか。(SA)

観光客を迎えるにあたりボランティア活動への参加意向を尋ねたところ、「参加したい」が 4.3%、「内容によっては参加したい」が 23.8%で、合計 28.1%が参加意向を示している。

年代別で見ると、10代の「参加したい」が 19.6%と高い。一方、30代は、「参加したくない」の比率が 50.7%で、他の年代と比較して最も高い。

図 78 観光客を迎えるためのボランティア参加意向 (性別・年代別・地域別)



(9) 工業

岡崎市は国内屈指の製造業拠点の一角を担うものづくり産業が科学や新技術と連携して地域経済の柱であり続けるまち、企業立地を促進するまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

- ・ 阿知和地区工業団地造成事業
- ・ 民間開発型企業誘致事業
- ・ 中小企業・勤労者支援センター設置事業
- ・ 就労サポートセンター運営事業（就労支援・生活支援）
- ・ 伝統産業支援事業（石工・三河仏壇・花火・ろうそく等）

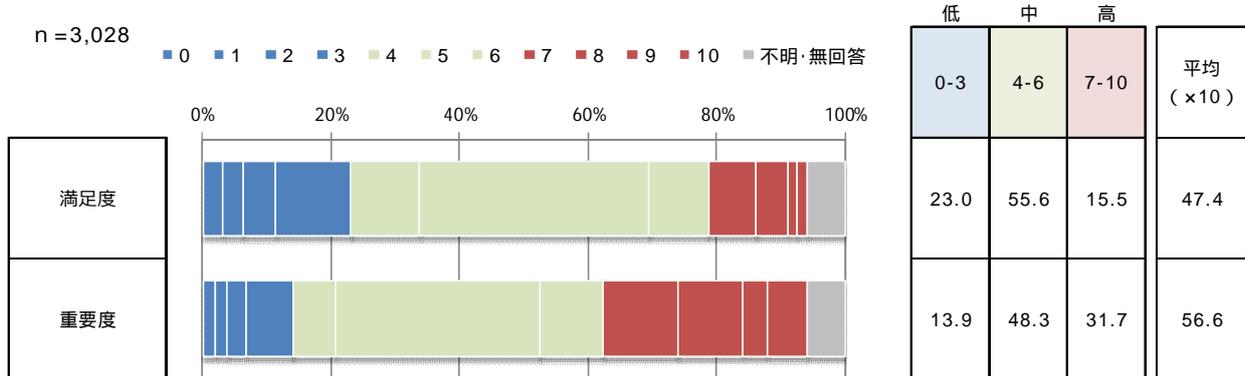
問 35. 岡崎市が近年行ってきた工業の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）

全体（満足度・重要度）

工業への取組みの満足度は「低」が23.0%、「中」が55.6%、「高」が15.5%、平均47.4となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が7.5%高い。

重要度は「低」が13.9%、「中」が48.3%、「高」が31.7%、平均56.6。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が17.8%高い。

図 79 工業 評価(満足度・重要度) 全体



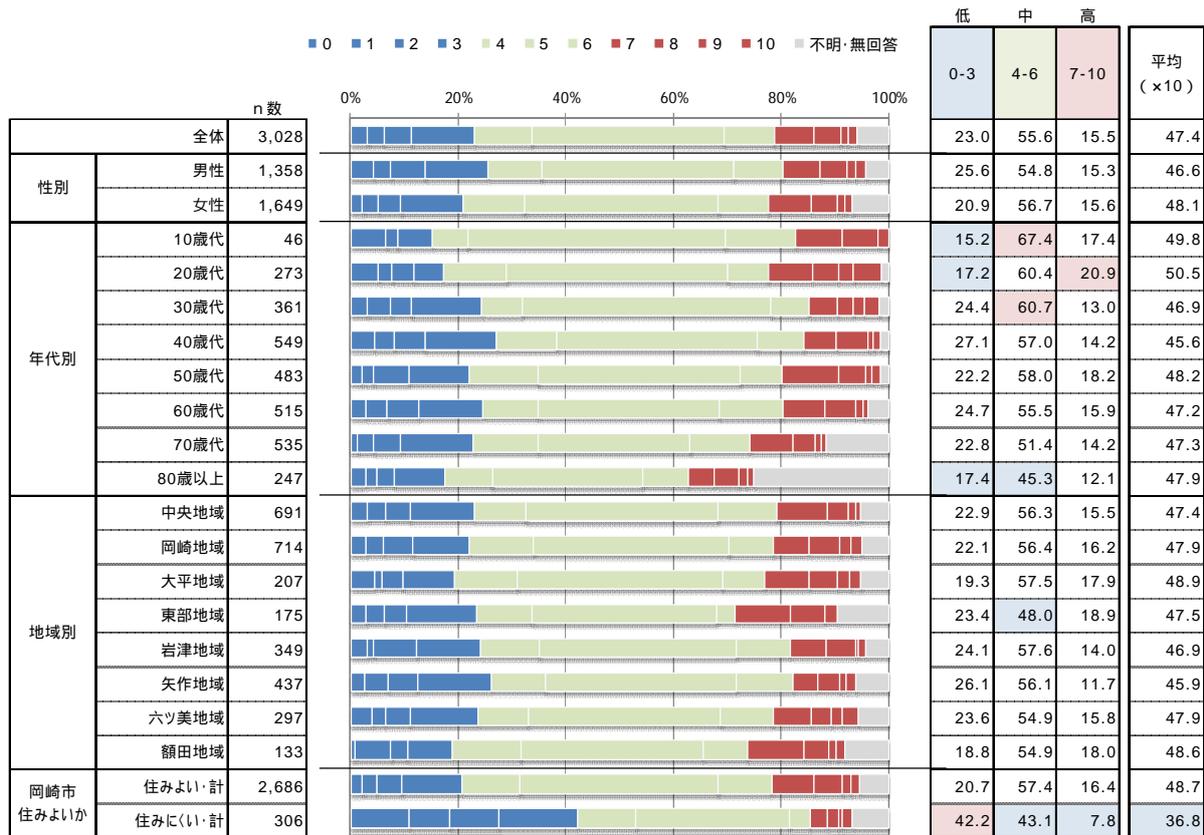
	← 低 → 高 (%)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	3.0	3.1	5.1	11.7	10.7	35.7	9.2	7.5	4.9	1.4	1.7	5.9
重要度	1.9	1.9	2.8	7.3	6.7	31.8	9.9	11.7	10.1	3.8	6.2	6.0

満足度（評価できる取組みだと思うか）

工業の取組みに対する満足度について、年代別でみると10代、20代の満足度「低」の割合が低いが、30代～40代は、満足度「高」と「低」の比率で比較すると「低」の比率が10%以上高く、他の年代と比較すると満足度が低い。

地域別でみると、岩津地域、矢作地域の満足度が他のエリアと比較してやや低い。岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の42.2%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（20.7%）との差が大きい。

図80 工業 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



Category	n数	満足度												
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	不明・無回答	
全体	3,028	3.0	3.1	5.1	11.7	10.7	35.7	9.2	7.5	4.9	1.4	1.7	5.9	
性別	男性	1,358	4.1	3.4	6.3	11.8	9.9	35.6	9.3	6.9	4.9	1.6	1.9	4.3
	女性	1,649	2.2	3.0	4.2	11.5	11.4	36.0	9.3	7.9	4.9	1.3	1.5	6.9
年代別	10歳代	46	6.5	2.2	0.0	6.5	6.5	47.8	13.0	8.7	6.5	2.2	0.0	0.0
	20歳代	273	5.1	2.6	4.0	5.5	11.7	41.0	7.7	8.1	4.8	2.9	5.1	1.5
	30歳代	361	3.0	4.4	3.9	13.0	7.5	46.3	6.9	5.3	3.0	1.9	2.8	1.9
	40歳代	549	4.4	3.6	5.8	13.3	11.1	37.2	8.7	6.0	6.0	0.9	1.3	1.6
	50歳代	483	2.1	2.1	6.6	11.4	12.6	37.5	7.9	10.6	5.0	1.0	1.7	1.7
	60歳代	515	2.9	3.9	5.8	12.0	10.1	33.6	11.8	8.0	5.6	1.4	1.0	3.9
	70歳代	535	1.3	3.0	5.0	13.5	12.0	28.2	11.2	8.0	4.1	1.1	0.9	11.6
	80歳以上	247	2.8	2.0	3.2	9.3	8.9	27.9	8.5	4.9	4.5	1.6	1.2	25.1
地域別	中央地域	691	3.0	3.5	4.5	11.9	9.7	35.6	11.0	9.4	3.9	1.3	0.9	5.4
	岡崎地域	714	2.9	3.2	5.5	10.5	11.9	36.1	8.4	6.4	5.9	2.0	2.0	5.2
	大平地域	207	4.3	1.4	3.9	9.7	11.6	38.2	7.7	8.2	5.3	2.4	1.9	5.3
	東部地域	175	2.9	3.4	4.0	13.1	10.3	34.3	3.4	10.3	6.3	0.0	2.3	9.7
	岩津地域	349	3.2	1.1	8.0	11.7	10.9	36.7	10.0	6.6	5.4	0.6	1.4	4.3
	矢作地域	437	2.5	4.3	5.5	13.7	10.1	35.5	10.5	4.6	4.1	1.1	1.8	6.2
	六ツ美地域	297	4.0	2.4	4.7	12.5	9.4	35.7	9.8	7.1	3.7	2.0	3.0	5.7
	額田地域	133	0.8	6.8	3.0	8.3	12.8	33.8	8.3	10.5	4.5	1.5	1.5	8.3
岡崎市住みよさ別	住みよい・計	2,686	2.1	2.7	4.7	11.2	10.7	36.7	10.0	7.9	5.2	1.5	1.7	5.5
	住みにくい・計	306	10.8	7.5	9.2	14.7	10.8	28.4	3.9	3.3	2.0	0.7	2.0	6.9

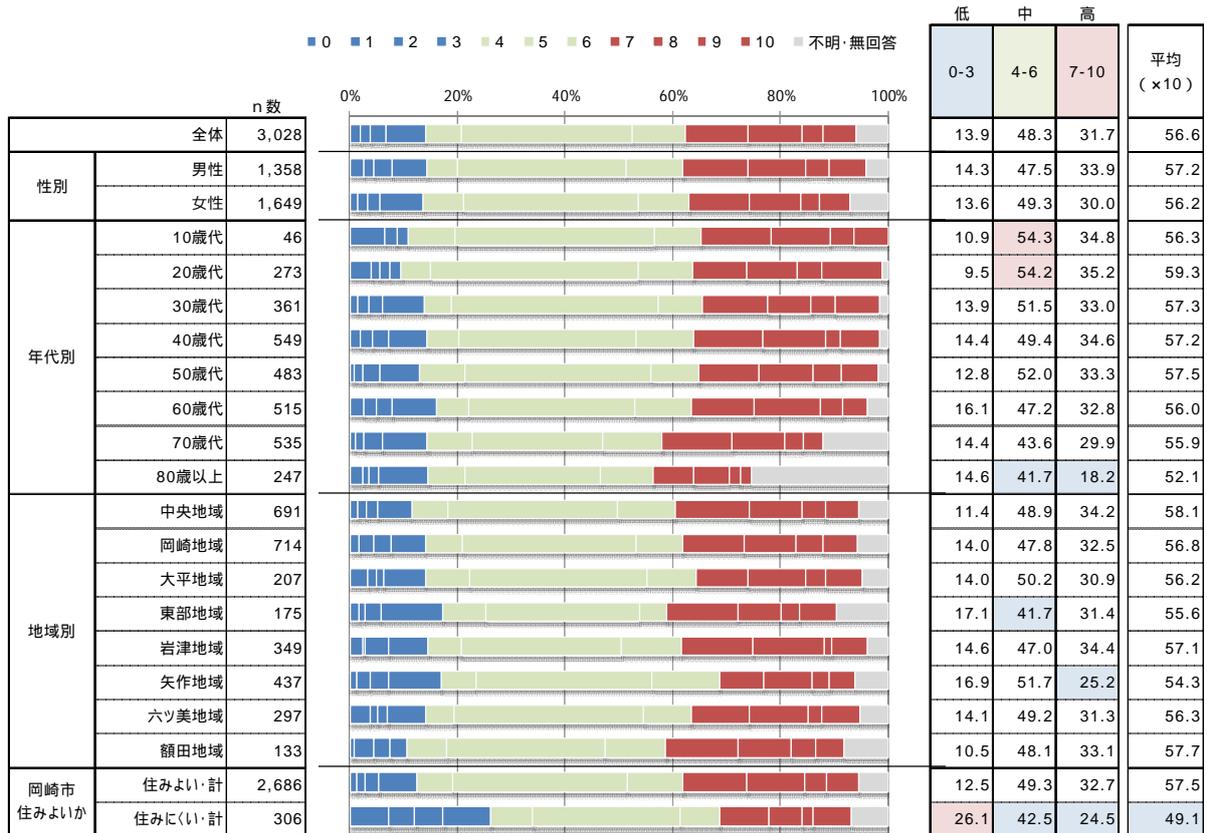
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

工業の取組みに対する重要度について年代別でみると、60代以下のすべての年代で重要度「高」の比率が3割を超えている。

地域別でみると、矢作地域では重要度「高」の比率が25.2%と他の地域と比較してやや低い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みよいと評価した人は、住みにくいと評価した人よりも、重要度が高い評価をしている人の割合が高い傾向が見られる。

図 81 工業 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	低 ← → 高											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	不明・無回答
全体 3,028	1.9	1.9	2.8	7.3	6.7	31.8	9.9	11.7	10.1	3.8	6.2	6.0
性別												
男性 1,358	2.6	1.9	3.3	6.5	5.7	31.1	10.6	12.2	10.8	4.2	6.8	4.3
女性 1,649	1.5	1.9	2.4	7.9	7.5	32.4	9.3	11.3	9.5	3.5	5.6	7.1
年代別												
10歳代 46	6.5	2.2	0.0	2.2	8.7	37.0	8.7	13.0	10.9	4.3	6.5	0.0
20歳代 273	4.0	1.5	1.8	2.2	5.5	38.5	10.3	9.9	9.5	4.4	11.4	1.1
30歳代 361	1.4	2.2	2.5	7.8	5.0	38.5	8.0	12.2	8.0	4.4	8.3	1.7
40歳代 549	2.0	2.2	3.1	7.1	5.8	33.0	10.6	12.9	11.7	2.7	7.3	1.6
50歳代 483	0.8	1.7	3.1	7.2	8.5	34.6	8.9	11.2	9.9	5.4	6.8	1.9
60歳代 515	2.5	2.3	3.1	8.2	5.8	30.9	10.5	11.7	12.4	4.1	4.7	3.9
70歳代 535	0.9	1.7	3.4	8.4	8.4	24.1	11.0	13.1	9.7	3.4	3.7	12.1
80歳以上 247	2.4	1.2	1.6	9.3	6.9	25.1	9.7	7.7	6.5	2.0	2.0	25.5
地域別												
中央地域 691	1.4	1.6	2.2	6.2	6.7	31.7	10.6	13.7	9.8	4.3	6.2	5.5
岡崎地域 714	1.8	2.7	3.1	6.4	7.0	32.1	8.7	11.3	9.7	5.2	6.3	5.7
大平地域 207	3.4	1.4	1.4	7.7	8.2	32.9	9.2	9.7	10.6	3.9	6.8	4.8
東部地域 175	1.7	1.1	2.9	11.4	8.0	28.6	5.1	13.1	8.0	3.4	6.9	9.7
岩津地域 349	2.3	0.6	4.3	7.4	6.0	29.8	11.2	13.2	13.2	1.4	6.6	4.0
矢作地域 437	1.1	2.5	3.4	9.8	6.4	32.7	12.6	8.2	8.9	3.2	4.8	6.2
六ツ美地域 297	3.7	1.3	2.0	7.1	5.1	35.4	8.8	10.8	11.1	2.4	7.1	5.4
額田地域 133	0.8	3.8	3.0	3.0	7.5	29.3	11.3	13.5	9.8	4.5	5.3	8.3
岡崎市住みよいか												
住みよいか 2,686	1.3	1.6	2.6	7.1	6.6	32.5	10.3	12.0	10.6	4.1	6.1	5.5
住みにくい計 306	7.2	4.9	5.2	8.8	7.8	27.5	7.2	9.2	6.2	2.0	7.2	6.9

西三河エリアでの通勤渋滞への印象

問 36. 西三河エリアでは、朝夕の通勤渋滞が多発していますが、あなたは通勤渋滞をどう感じていますか。
 (通学や外出で通勤渋滞に巻き込まれた場合も含まます) (SA)

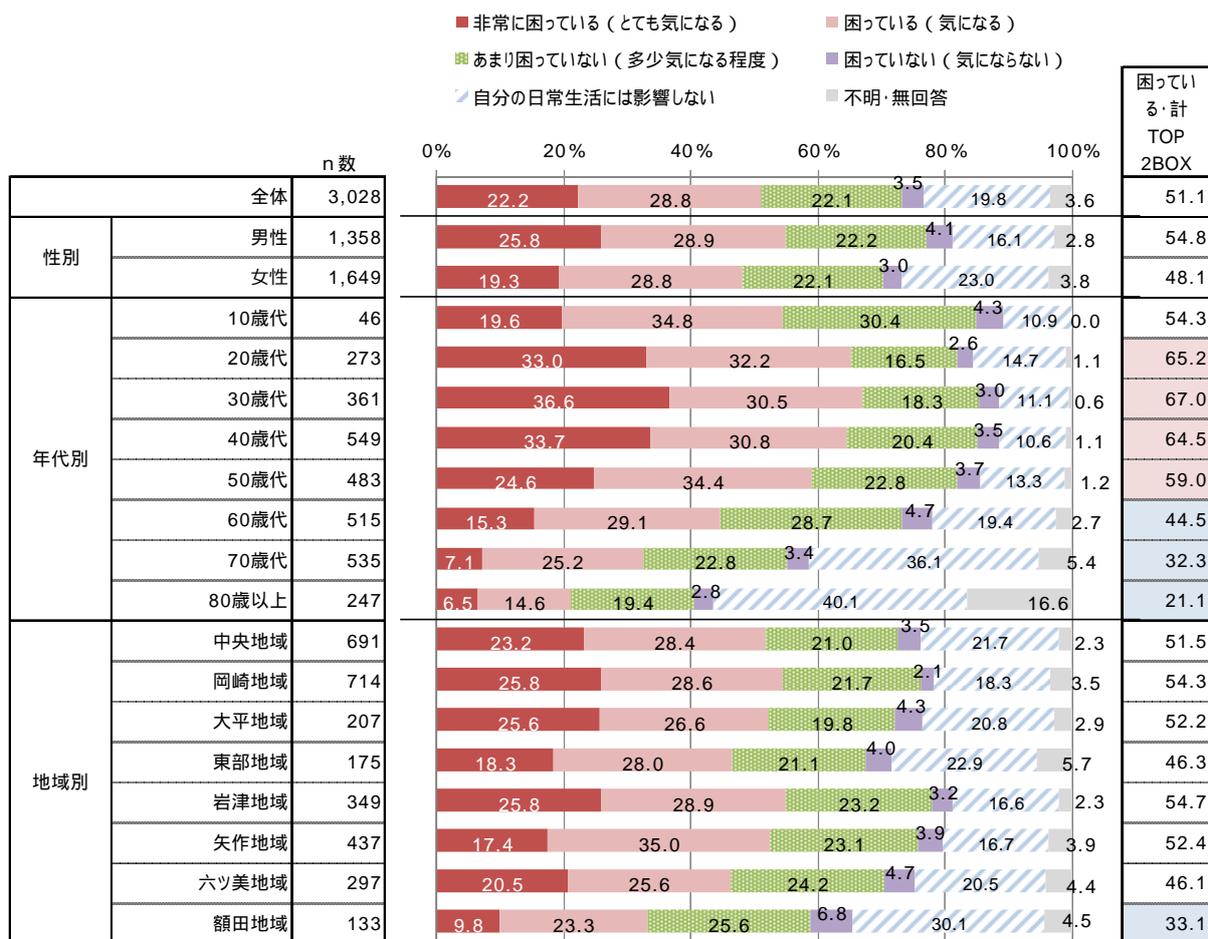
西三河エリアの通勤渋滞の印象は、「非常に困っている」が22.2%、「困っている」が28.8%で全体の51.1%が「困っている」と回答している。

性別で見ると、男性の方が女性と比較して「非常に困っている」の比率が高い。

年代別で見ると、20代～40代は、「非常に困っている」の比率が3割以上、「困っている」の合計が6割以上となっており、60代以上の層と比較して高い(60代以上では「困っている」の合計が5割にも達していない)。

地域別で見ると、「困っている」の合計が5割を超えているのは、岩津地域(54.7%)、岡崎地域(54.3%)、矢作地域(52.4%)、大平地域(52.2%)、中央地域(51.5%)。一方、額田地域は「自分の日常生活に影響しない」の割合が30.1%で他の地域と比較して最も高い。

図 82 西三河エリアでの通勤渋滞への印象 (全体・性別・年代別・地域別)



西三河エリアでの通勤渋滞への印象

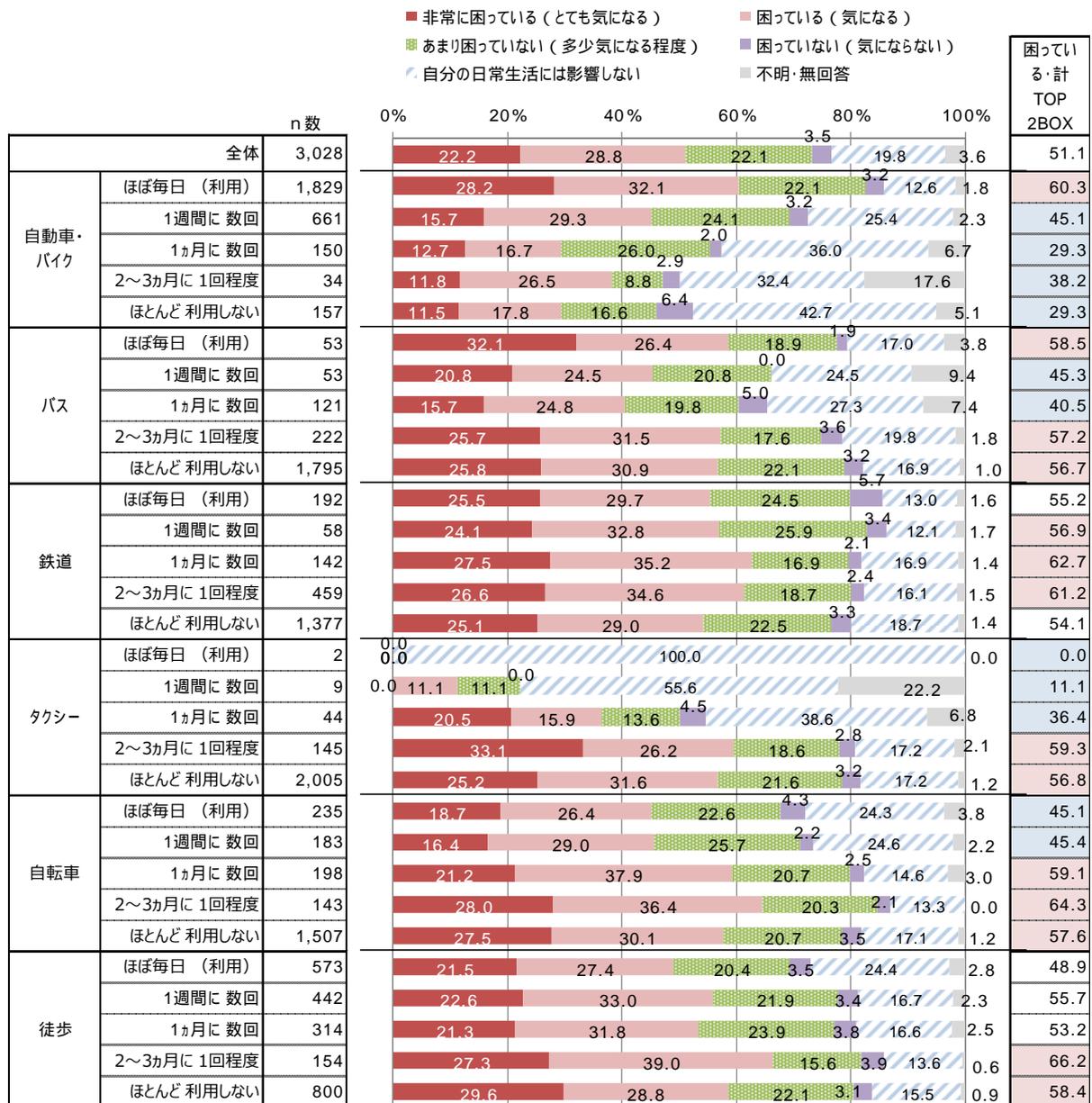
問 36. 西三河エリアでは、朝夕の通勤渋滞が多発していますが、あなたは通勤渋滞をどう感じていますか。
 (通学や外出で通勤渋滞に巻き込まれた場合も含みます) (SA)

< 交通機関の利用頻度別 >

西三河エリアの通勤渋滞の印象について、自動車・バイクの利用頻度別でみると、特に「ほぼ毎日」利用している人の「困っている」とする割合が高い。

また、バスについては、自動車・バイクと同様、ほぼ毎日利用している人の「困っている」とする割合が高いが、2~3カ月に1回程度、ほとんど利用しない人の「困っている」割合も高い(バスを利用しない時は自動車・バイクを利用していることが想定される)。

図 83 西三河エリアでの通勤渋滞への印象 (交通機関の利用頻度別)



希望する働き方

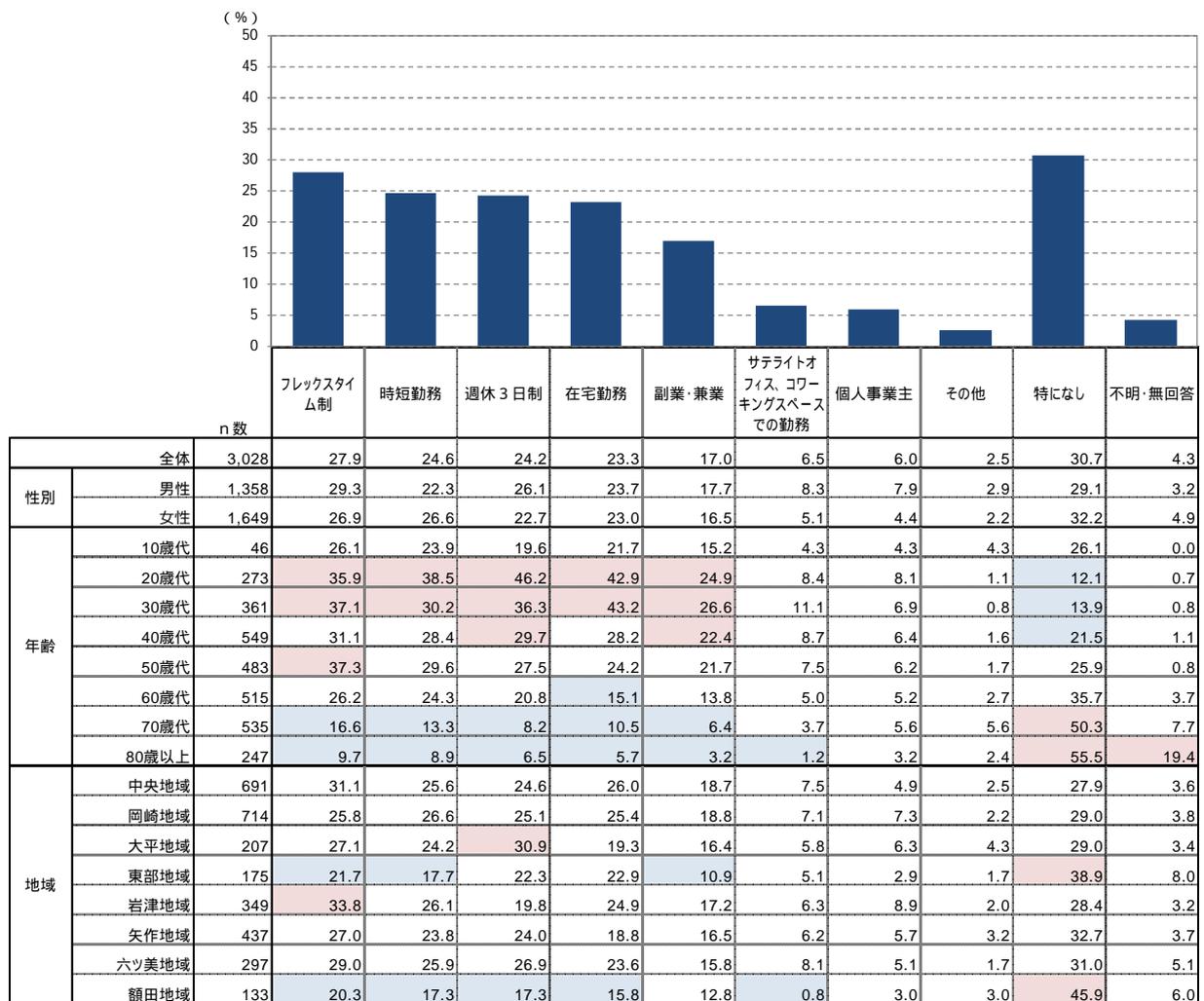
問 37. 社会環境の変化に伴い、特に最近では新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけにテレワークが急速に普及するなど、多様な働き方が広がっていますが、あなたが希望する働き方はどれですか。(MA)

希望する働き方は「特になし」が30.7%で最も高い。それ以外では「フレックスタイム制」(27.9%)、「時短勤務」(24.6%)、「週休3日制」(24.2%)、「在宅勤務」(23.3%)、「副業・兼業」(17.0%)などが続いている。

性別によって大きな傾向の違いは見られない。

年代別でみると、70代以上では「特になし」の割合が5割以上となっている。「時短勤務」「週休3日制」「在宅勤務」などは、60代・20代と年代が低い層ほど比率が高くなる傾向が見られる。

図 84 希望する働き方 (全体・性別・年代別・地域別)



希望する働き方

問 37. 社会環境の変化に伴い、特に最近では新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけにテレワークが急速に普及するなど、多様な働き方が広がっていますが、あなたが希望する働き方はどれですか。(MA)

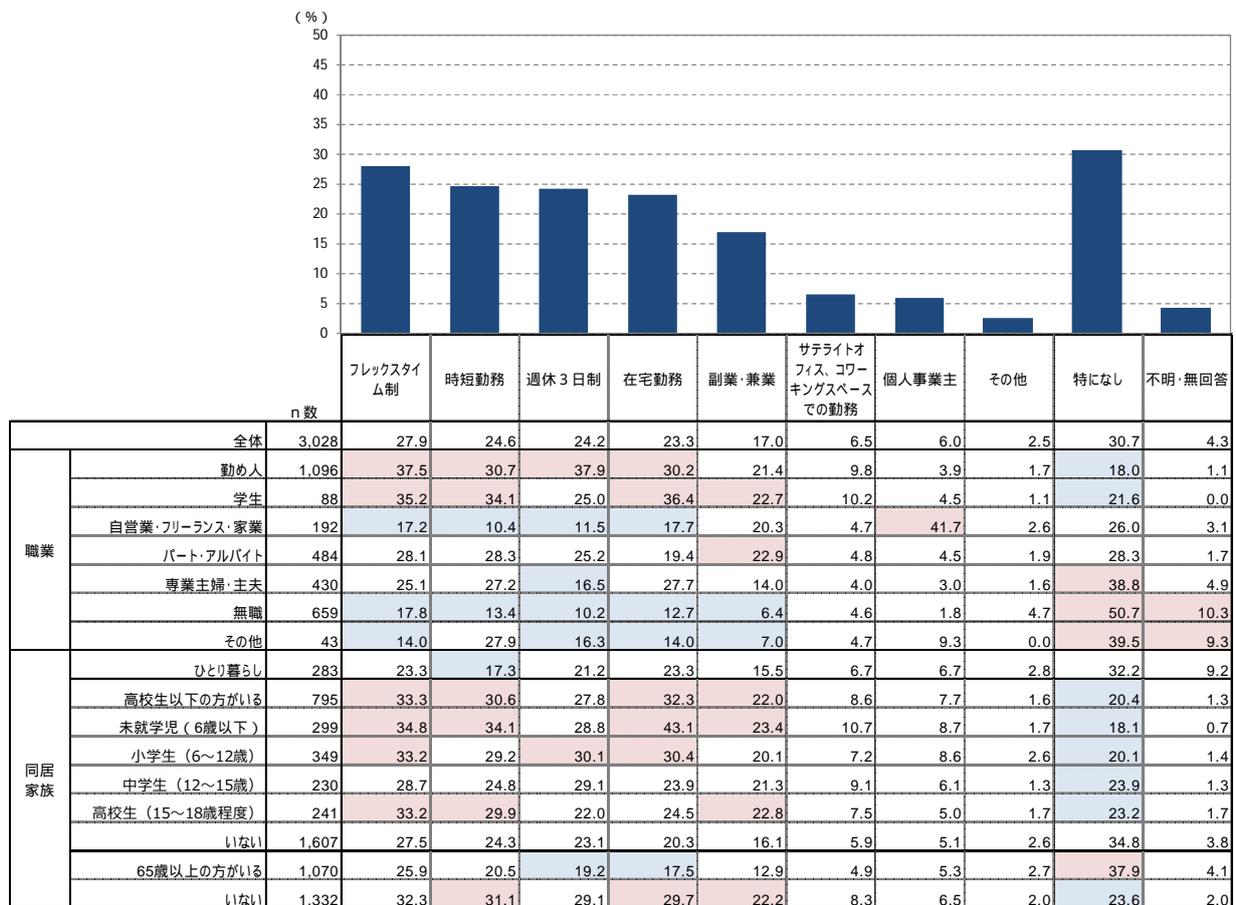
< 職業別・同居家族別 >

希望する働き方について、職業別でみると、勤め人は、「週休3日制」(37.9%)、「フレックスタイム制」(37.5%)、「時短勤務」(30.7%)、「在宅勤務」(30.2%)の順となっている。

同居家族別でみると、同居家族に高校生以下の子どもがいる人といない人では、高校生以下の子どもがいる人の方が「特になし」の比率が低く、全般的な項目の比率が高い。特に「在宅勤務」「時短勤務」の割合で差が大きい。

また、同居家族に65歳以上の方がいる人は、いない人と比べて、「特になし」の比率が高く、全般的な項目の比率が低い。

図 85 希望する働き方 (職業別・同居家族別)



(10) 行政・パートナーシップ

岡崎市は公民連携、行政のスマート化、広域防災などをきっかけに周辺都市との連携体制構築を図り、中枢中核都市として周辺都市を含めた地域全体の支えとなるまちを目指しています。

近年行ってきた取組み（例）

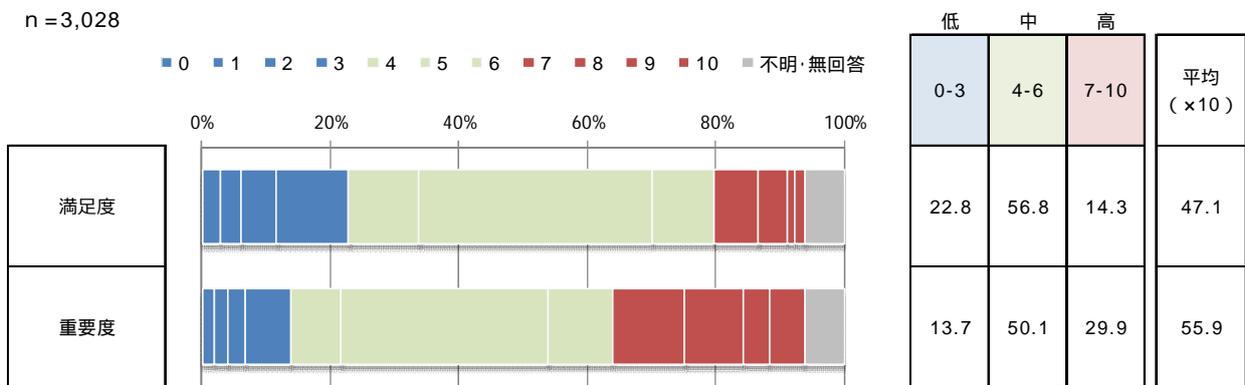
- ・ SDG s 未来都市推進事業
- ・ 市民参加型市政推進事業
- ・ 災害被害予測シミュレーションシステム構築実証事業
- ・ まちづくりほっとミーティング開催事業
- ・ 矢作川避難計画策定事業

問 38. 岡崎市が近年行ってきた行政・パートナーシップの取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。（各 SA）
全体（満足度・重要度）

行政・パートナーシップへの取組みの満足度は「低」が 22.8%、「中」が 56.8%、「高」が 14.3%、平均 47.1 となった。満足度「高」と「低」を比較すると、「低」の割合の方が 8.5%高い。

重要度は「低」が 13.7%、「中」が 50.1%、「高」が 29.9%、平均 55.9。重要度「高」と「低」を比較すると、「高」の割合の方が 16.2%高い。

図 86 行政・パートナーシップ 評価(満足度・重要度) 全体



	← 低 → 高 (%)											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
満足度	2.8	3.3	5.6	11.2	11.0	36.2	9.6	7.0	4.6	1.2	1.6	6.1
重要度	1.9	2.0	2.8	7.0	7.9	32.2	10.1	11.3	9.0	4.0	5.5	6.3

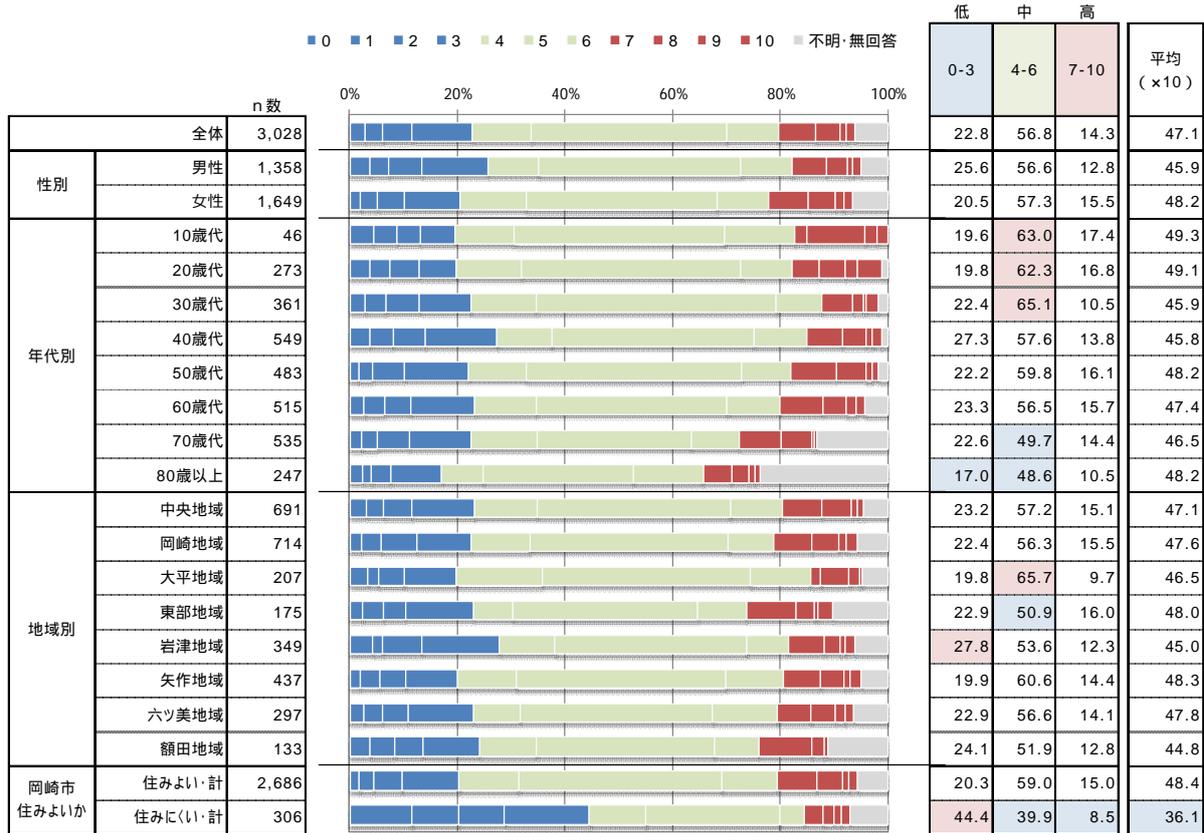
満足度（評価できる取組みだと思うか）

行政・パートナーシップの取組みに対する満足度について、年代別でみると40代の満足度評価が他の年代と比較してやや低い。

地域別でみると、岩津地域の満足度が他地域と比較してやや低い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みにくいと評価した人の44.4%が「低」評価となっており、住みよいと評価した人（20.3%）との差が大きい。

図 87 行政・パートナーシップ 評価【満足度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	低 ← → 高											不明・無回答
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
全体 3,028	2.8	3.3	5.6	11.2	11.0	36.2	9.6	7.0	4.6	1.2	1.6	6.1
性別												
男性 1,358	3.8	3.5	6.2	12.2	9.5	37.5	9.6	6.3	4.1	0.9	1.6	5.0
女性 1,649	2.0	3.2	5.1	10.2	12.2	35.5	9.6	7.4	5.0	1.5	1.6	6.7
年代別												
10歳代 46	4.3	4.3	4.3	6.5	10.9	39.1	13.0	2.2	10.9	2.2	2.2	0.0
20歳代 273	3.7	3.7	5.5	7.0	12.1	40.7	9.5	5.1	4.8	2.2	4.8	1.1
30歳代 361	2.8	3.9	6.4	9.4	12.2	44.6	8.3	5.8	1.9	0.6	2.2	1.9
40歳代 549	3.8	4.2	6.0	13.3	10.2	37.5	9.8	6.6	4.4	1.3	1.6	1.3
50歳代 483	1.7	2.5	6.0	12.0	10.6	40.2	9.1	8.3	5.6	1.0	1.2	1.9
60歳代 515	2.7	3.7	4.9	12.0	11.3	35.5	9.7	8.0	4.5	1.7	1.6	4.5
70歳代 535	2.2	2.8	6.0	11.6	12.1	28.6	9.0	7.9	5.6	0.6	0.4	13.3
80歳以上 247	2.4	1.6	3.6	9.3	7.7	27.9	13.0	5.3	3.2	1.2	0.8	23.9
地域別												
中央地域 691	3.0	3.3	5.2	11.6	11.6	35.9	9.7	7.4	5.5	1.0	1.2	4.6
岡崎地域 714	2.1	3.8	6.6	9.9	11.1	36.7	8.5	7.1	4.9	1.5	2.0	5.7
大平地域 207	3.4	1.9	4.8	9.7	15.9	38.6	11.1	1.9	5.3	1.9	0.5	4.8
東部地域 175	2.3	4.0	4.0	12.6	7.4	34.3	9.1	9.1	3.4	0.6	2.9	10.3
岩津地域 349	4.3	1.7	7.4	14.3	10.3	35.5	7.7	6.6	3.2	0.9	1.7	6.3
矢作地域 437	1.8	3.7	4.8	9.6	11.0	38.9	10.8	6.9	4.3	1.1	2.1	5.0
六ツ美地域 297	2.7	3.4	4.7	12.1	8.8	35.7	12.1	6.1	4.7	1.7	1.7	6.4
額田地域 133	3.8	4.5	5.3	10.5	10.5	33.1	8.3	9.8	2.3	0.0	0.8	11.3
岡崎市住みよさ												
住みよい計 2,686	1.7	2.7	5.2	10.6	11.0	37.8	10.2	7.3	4.8	1.2	1.6	5.7
住みにくい計 306	11.4	8.8	8.5	15.7	10.5	24.8	4.6	3.6	2.0	1.3	1.6	7.2

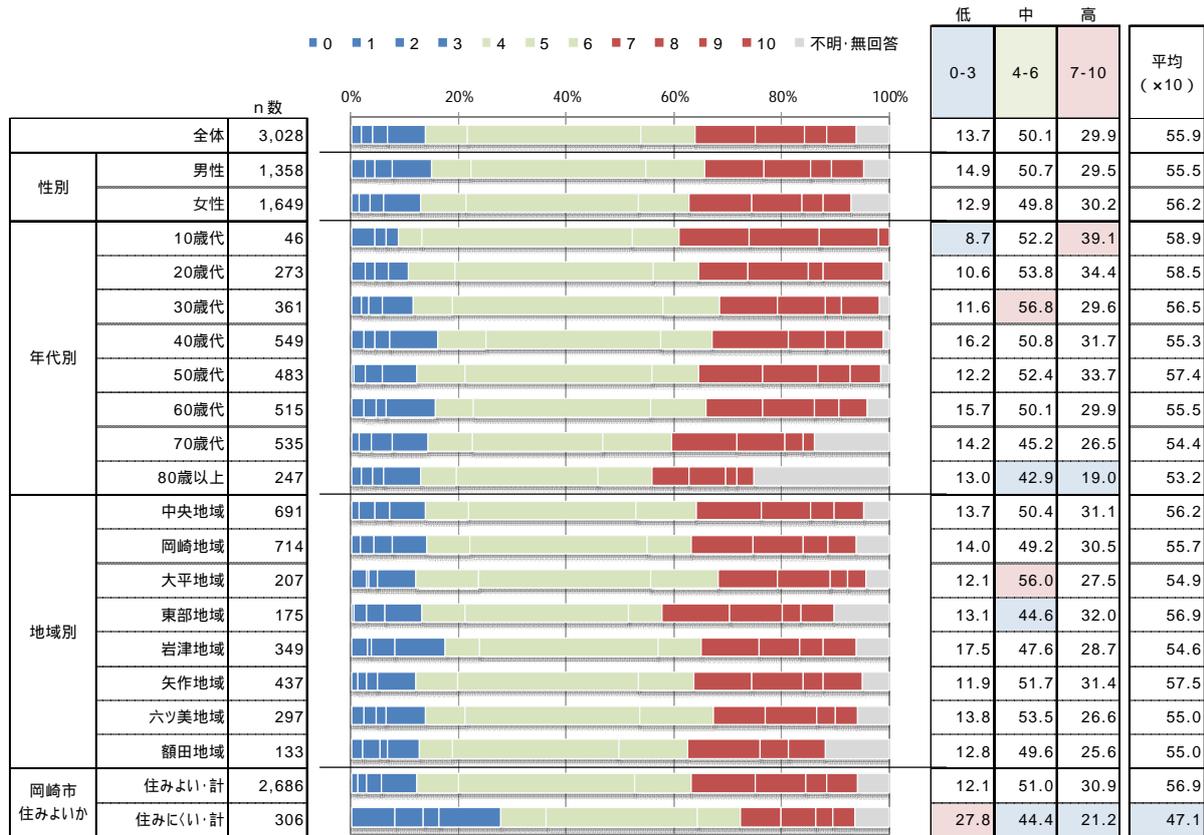
重要度（重要度が高い取組みだと思うか）

行政・パートナーシップの取組みに対する重要度について年代別でみると、10代の重要度「高」の割合が高く、80代以上の比率が低い。20代～60代は概ね同スコアとなっている。

地域別でみると、額田地域、六ツ美地域の重要度「高」の比率が他地域と比較してやや低い。

岡崎市の住みよさ別でみると、住みよいと評価した人の30.9%が「高」評価となっており、住みにくいと評価した人（21.2%）と差が見られる。

図 88 行政・パートナーシップ 評価【重要度】（全体・性別・年代別・地域別・住みよさ別）



n数	低 ← → 高										不明・無回答	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
全体 3,028	1.9	2.0	2.8	7.0	7.9	32.2	10.1	11.3	9.0	4.0	5.5	6.3
性別												
男性 1,358	2.6	2.0	3.1	7.2	7.3	32.5	11.0	11.0	8.6	4.0	5.8	4.9
女性 1,649	1.4	2.1	2.5	6.9	8.4	32.0	9.4	11.6	9.4	3.9	5.3	7.1
年代別												
10歳代 46	4.3	2.2	0.0	2.2	4.3	39.1	8.7	13.0	13.0	10.9	2.2	0.0
20歳代 273	2.6	1.8	2.6	3.7	8.8	36.6	8.4	9.2	11.4	2.6	11.4	1.1
30歳代 361	1.9	1.4	2.5	5.8	7.2	39.1	10.5	10.8	8.9	3.0	6.9	1.9
40歳代 549	2.4	2.0	2.9	8.9	8.7	32.6	9.5	14.2	6.9	3.6	6.9	1.3
50歳代 483	0.6	2.1	3.1	6.4	8.9	34.8	8.7	11.8	10.4	6.0	5.6	1.7
60歳代 515	2.3	2.3	1.7	9.3	7.0	32.8	10.3	10.5	9.7	4.7	5.0	4.3
70歳代 535	1.5	2.2	3.9	6.5	8.2	24.3	12.7	12.1	9.0	3.4	2.1	14.0
80歳以上 247	2.0	2.0	2.0	6.9	6.5	26.3	10.1	6.9	6.9	2.0	3.2	25.1
地域別												
中央地域 691	1.6	2.7	2.7	6.7	8.0	31.3	11.1	12.0	9.1	4.5	5.5	4.8
岡崎地域 714	1.8	2.4	3.5	6.3	8.1	32.9	8.1	11.5	9.4	4.5	5.2	6.3
大平地域 207	2.9	0.5	1.4	7.2	11.6	31.9	12.6	11.1	9.7	3.4	3.4	4.3
東部地域 175	0.6	2.3	3.4	6.9	8.0	30.3	6.3	12.6	9.7	3.4	6.3	10.3
岩津地域 349	3.2	0.6	4.3	9.5	6.3	33.2	8.0	10.6	7.7	4.3	6.0	6.3
矢作地域 437	1.1	1.6	2.1	7.1	7.8	33.6	10.3	10.8	9.6	3.7	7.3	5.0
六ツ美地域 297	2.4	2.4	1.7	7.4	7.4	32.3	13.8	9.4	9.8	3.4	4.0	6.1
額田地域 133	2.3	3.0	1.5	6.0	6.0	30.8	12.8	13.5	5.3	0.0	6.8	12.0
岡崎市 住みよいか												
住みよいか 計 2,686	1.2	1.7	2.8	6.6	7.9	32.7	10.4	11.8	9.4	4.0	5.8	5.9
住みにくい 計 306	8.2	5.2	2.9	11.4	8.5	28.1	7.8	7.5	6.5	3.3	3.9	6.5

市政情報提供のタイミングに対する評価

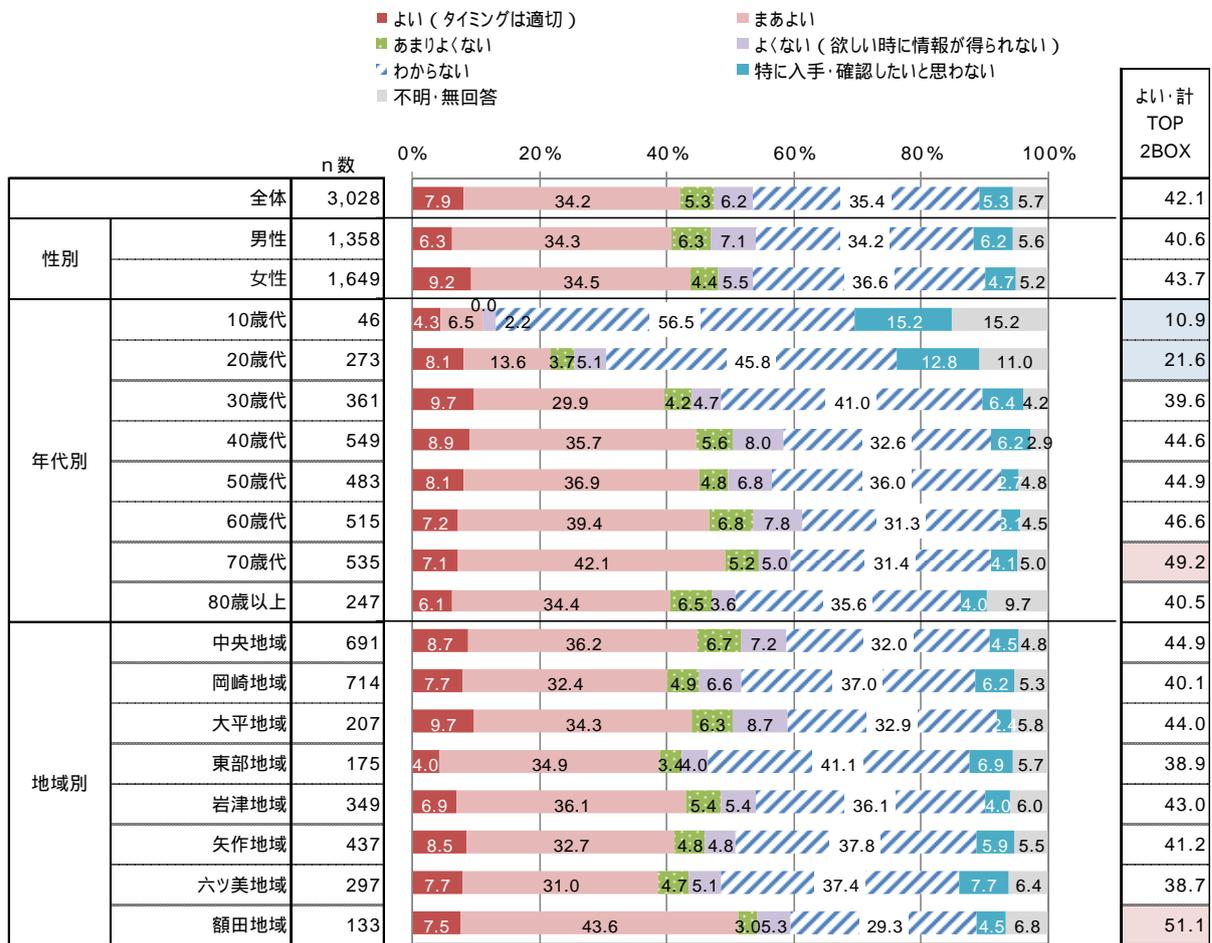
問 39. 岡崎市が発信する市政情報について、情報提供のタイミングはどのように思いますか。(SA)

市政情報提供のタイミングは、「よい」が7.9%、「まあよい」が34.2%で合計42.1%が「よい」と評価している。一方、「あまりよくない」(5.3%)、「よくない」(6.2%)などネガティブな評価は合計11.5%となっている。また、「わからない」は35.4%を占めている。

年代別でみると、年代が高い人ほど「よい・計」の比率が高い傾向が見られ、年代が低い人ほど「わからない」「特に入手・確認したいと思わない」の比率が高い。

地域別でみると、額田地域の「よい・計」の比率が51.1%と他地域と比較して高い。

図 89 市政情報提供のタイミングに対する評価 (全体・性別・年代別・地域別)



市政情報提供のタイミングに対する評価

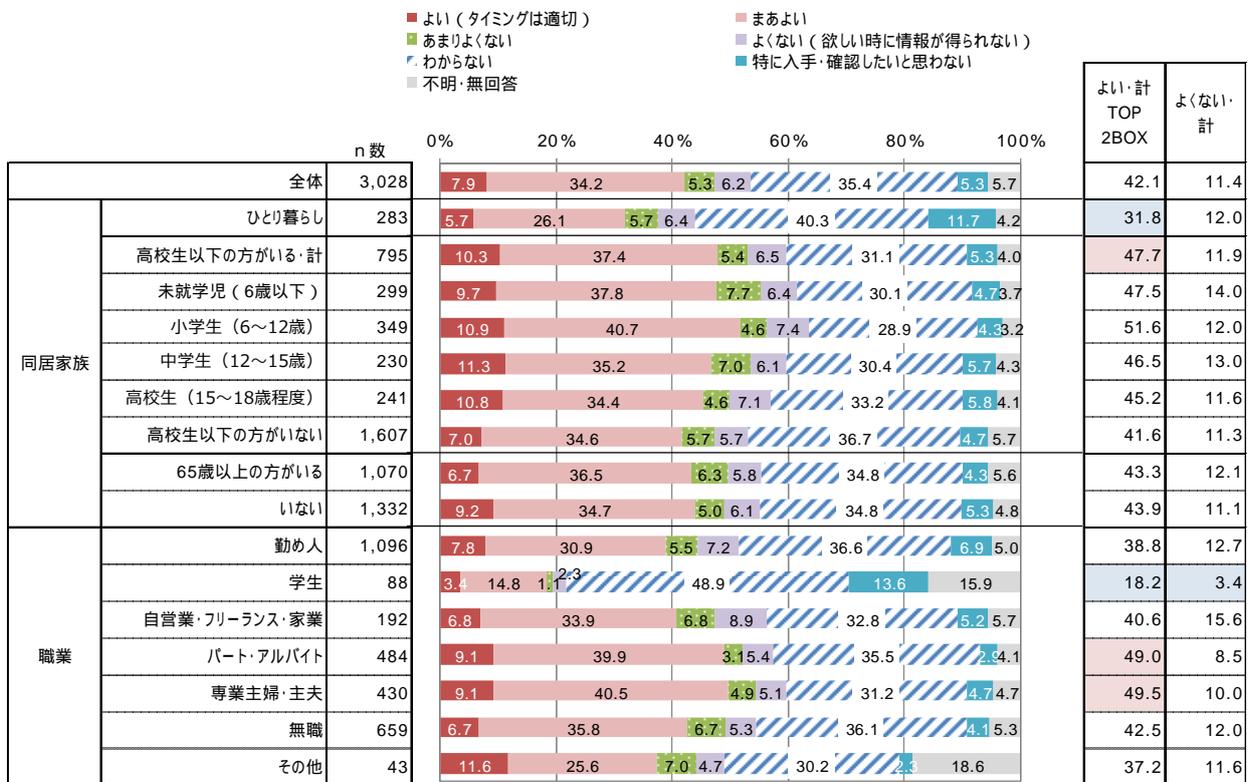
問 39. 岡崎市が発信する市政情報について、情報提供のタイミングはどのように思いますか。(SA)

< 同居家族別・職業別 >

市政情報提供のタイミングについて、同居家族別でみると、高校生以下の子どもがいる人は、いない人と比べて「よい・計」の比率が高い。ひとり暮らしの人では「わからない」「特に入手・確認したいと思わない」の比率が高い。

職業別みると、学生は「わからない」「特に入手・確認したいと思わない」の比率が高い。その他、勤め人、自営業・フリーランス・家業の人と比較して、パート・アルバイトや専業主婦・主夫の人の方が「よい・計」の比率が高い。

図 90 市政情報提供のタイミングに対する評価 (同居家族別・職業別)



市政情報の入手・確認方法の希望

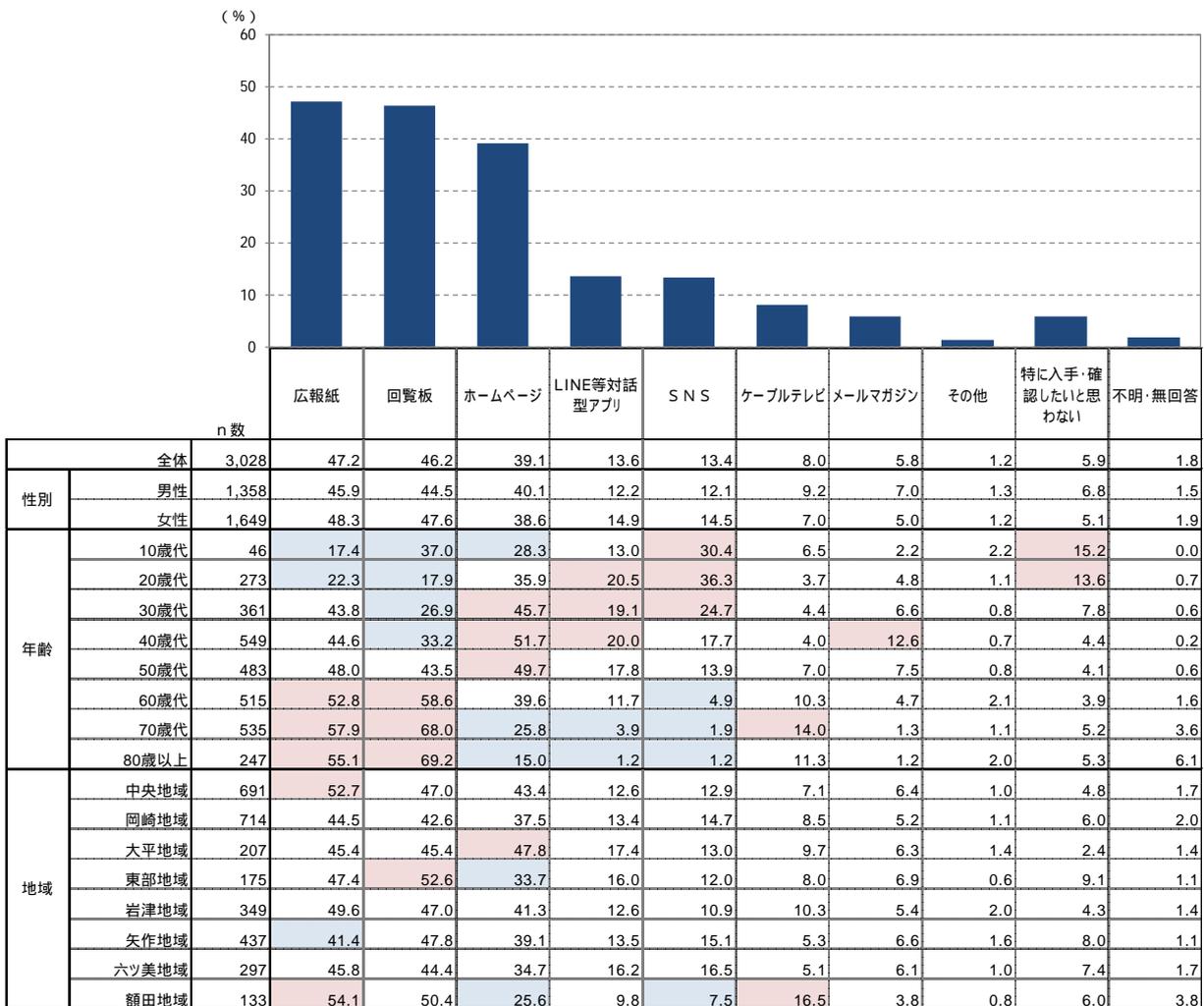
問 40. 市政情報を得る場合、どのような方法で入手・確認したいですか。(MA)

希望する市政情報の入手・確認方法は、「広報誌」(47.2%)、「回覧板」(46.2%)がほぼ同率で高い。これに、「ホームページ」が39.1%で続いている。「LINE等対話型アプリ」が13.6%、「SNS」が13.4%となっており、ここまですべて1割以上となっている。

年代別でみると、年代が高い人ほど「広報誌」「回覧板」の比率が高い。特に60代以上は「広報誌」「回覧板」の比率が5割以上を占めており、20代、30代などと比べて差が大きい。その他、「ホームページ」は30代～50代、「LINE等対話型アプリ」は20代～40代、「SNS」は10代～30代など、年代によって希望する入手・確認方法が異なる。なお、20代以下の人には「特に入手・確認したいと思わない」が1割を超えている。

地域別でみると、額田地域では「ケーブルテレビ」の比率が16.5%と他地域と比較して高い。

図 91 市政情報の入手・確認方法の希望 (全体・性別・年代別・地域別)



市政情報の入手・確認方法の希望

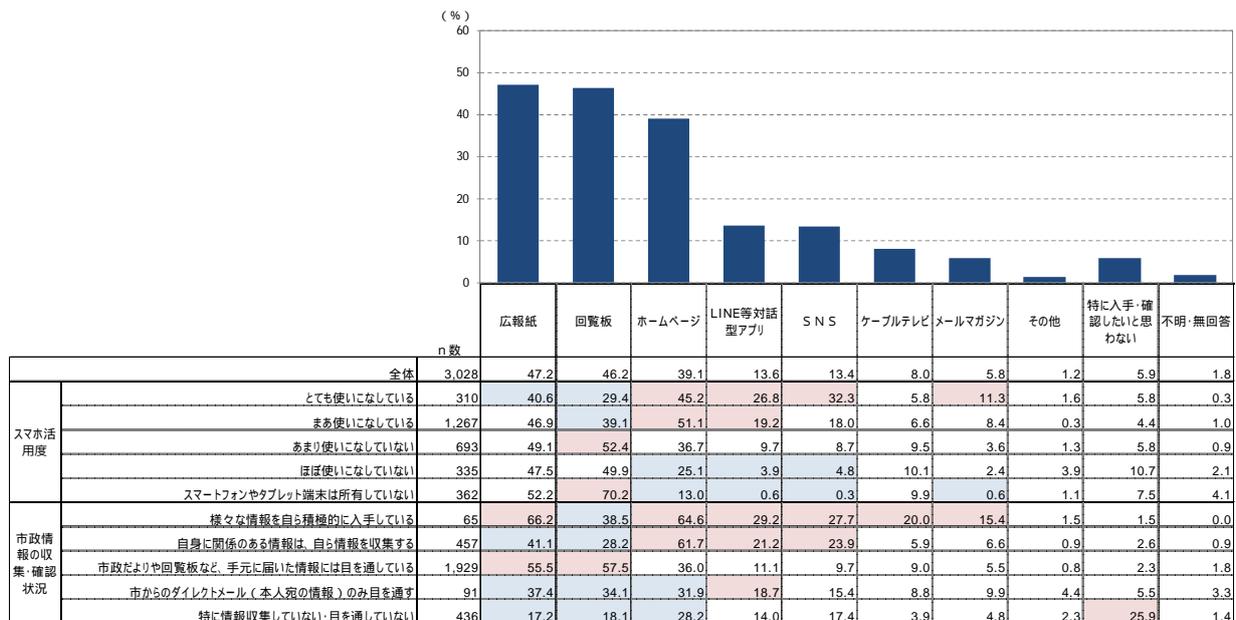
問 40. 市政情報を得る場合、どのような方法で入手・確認したいですか。(MA)

<スマホ活用度別・市政情報の収集・確認の状況別>

希望する市政情報の入手・確認方法について、スマホ・タブレットの活用状況別でみると、とても使いこなしている、まあ使いこなしている人ほど「ホームページ」「LINE 等対話型アプリ」「SNS」「メールマガジン」などの比率が高い。「広報誌」はとても使いこなしている人の 40.6% が希望すると回答しており、他の活用状況の人と比べると比率は小さいものの、一定割合で「広報誌」を希望している。「回覧板」については、スマホ・タブレットを使いこなしている人と使いこなしていない人で差がみられ、使いこなしていない人の割合が高い傾向が見られる。

市政情報収集の積極性別でみると、積極的な人ほど、「ホームページ」「LINE 等対話型アプリ」「SNS」「メールマガジン」などの比率が高い傾向が見られる。

図 92 市政情報の入手・確認方法の希望 (スマホ活用度別・市政情報の収集・確認の状況別)



(12) 意見・要望

問 41. 岡崎市の行政施策に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。(FA)

都市インフラ

- ・ 役所等メイン施設へ行く交通手段(バス)が直接行く(乗り換えなし)ができるようになるとありがたい。
- ・ 渋滞する箇所や時間帯が決まっているので、データ化してその時間帯の信号のタイミングを変えとか、陸橋を作るなどして欲しい。シビコ前の道路の作りがおかしかったのを直してくれたのはとても良かった。
- ・ JR岡崎駅周辺が寂しい。せっかく人が集まるのに飲食、買い物する場所が少ない。岡崎公園～東岡崎～JR岡崎を機能的に整備して欲しい。愛環鉄道をもっとうまく活用すれば都市機能も充実すると思う。
- ・ まだ住める空き家が多くなってきました。市にて購入してほしい。若い人に安く住ませ、子育てがやりやすくしてほしい。
- ・ 老人や病気の人に対して移動のサービスを充実してほしい。タクシーチケット無料送り迎え等々。

防災・強靱化

- ・ 短い時間でも大雨が降ると目の前の道が冠水します。生まれてはじめてのサイレン(夜中)でびっくりです。
- ・ 自宅前の道は狭く、新しく建物を建てる際はセットバックが必要ですが、過去に造られたブロック塀は家を建て替えなければ、ずっとそのままセットバックされていません。この辺はお年寄りも多く古い家も多いので火事でもあったら、消防自動車を通れない状況です。早くセットバックする対策をしてほしいです。
- ・ 占部川の雑木林を取り除いて欲しい。防災対策として。
- ・ 矢作川の川底の砂(土砂)を掘り下げてほしい。中州に木が生えてきて、豪雨で木が折れたら橋ゲダに引っかかったら・・・危険でしかない。
- ・ 台風接近時の時や、緊急災害などが岡崎市内で発生した場合、ケーブルテレビで放送、中継などをしていただけると有難いです。

環境・農山村

- ・ 世代交代により、今まで守ってきた環境を守れない。畑や田の継承。経済的にも時間的にも難しくなっていると思う。その為、田畑が荒れてしまう。
- ・ 害獣対策にイノシシ。数が増えすぎている。電さく、フェンスでは道路横の土手等の対策にならない。道路がくずれる！！早急な殺処分が必要。中山間部では大きな問題です。
- ・ たき火による二オイや煙、灰。くもりの日であっても換気のために窓をあけたりするので、本当にやめてほしい。罰則なり、ルールを決めるなり対応してほしい。
- ・ 暮らしの中では岡崎はとても親切的な町です。(特にゴミ収集)街路樹の手入れとか清掃は他の市と比べるととてもきれいに行き届いています。旅行に行った時、道路の両端が草でおおわれているところや川岸がゴミや雑草で汚くなっているのをよく見ます。岡崎に戻った時にほっと出来るのは町をきれいに整備してくれてるからかなと思っています。
- ・ 高齢の夫婦が段ボール、雑誌、タンスなどを捨てるのに非常に困っています。前みたいに1年に1回収することをぜひとも望みます。

地域社会

- ・ 防犯カメラ設置を増してほしい。防犯意識が市に感じられない。
- ・ 防犯面において、街灯がなく夜間暗い。住宅地域はチェックして欲しい。
- ・ 町内会が大変です。ごみ立ち当番 強制です！！組長になると1年間仕事ばかり、特に体育委員になると大変です。土日平日ともなくなります。
- ・ 市と町内との係りもっと深く検討し、各総代との意見、要望等討論の余地大です。他人に無関心が少子高齢化問題に拍車。町内会単位のきめ細かい活動に期待。市は仕掛けを作る事が大事。
- ・ 町内会の役員のなり手が少なく、1度引き受けると次に代わって下さる方がいるのか不安だそうです。町内役員というボランティアに頼らず有料で引き受ける業者、または役所の職員を増やして町内会業務を引き受けて下さるようなシステムづくりを期待します。

保健・医療・福祉

- ・ こども発達センターでお世話になり、あのような施設があつてとても助かりました。ですが、利用者が多いため予約が取りづらいなどがあり、まだまだ充分ではないと感じました。さらに発展させていただきたいと思っています。
- ・ 子供がいる家庭の支援はよく聞くが一般の方も同じように大変です。
- ・ コロナワクチンの予約がとれなかった。TELを毎日3時間かけても通じなかった(1ヶ月間)。スマホを使い慣れていないので年よりで、かかりつけ医院が無い人が一番こまっていた。
- ・ 子どもが欲しくてもなかなかできません。通院、検査等に毎月一万以上お金がかかります。タイミング法でも、補助が出ることを願っています。子供を産むまでもに沢山お金がかかるので、そこをなんとかしていただきたいです。
- ・ 福祉、特に障がい者の活躍できる場を、市の事業、施設で取り組んでほしい。例えば、公園内に商業店舗を誘致できるようにしたが(法改正)、商業施設を協力して福祉事業者が障がい者が働く場とするなど。

問 41. 岡崎市の行政施策に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。(FA)

子育て・男女共同参画

- ・ 大学生の子供に対する支援を行って欲しい。自分の経験では、定年までの年数も考え三人目の子供をあきらめたことがあり、一番お金がかかる期間の支援を考えて欲しい。
- ・ 幼児の市立の屋内の遊べる施設(広いプールとか児童遊園地も)がないので孫は他市、他県まで行っている。
- ・ 山岡町に公園が欲しい。車を使わないと公園に行けないし、地域の子供同士に全く接点がない。子育てに悩む親同士が集まれる場があるにはあるが(にこにこきっず、めばえ等)もっと赤ちゃんの頃から集まると孤立予防、産後うつ予防になって良いと思う。
- ・ 子育て世代として、わんぱーくや自然体験の森、くらがり溪谷や、南公園、東公園など、充実した環境がある事はとても暮らしやすいと感じています。
- ・ このコロナ禍でも、広い自然、公園のある岡崎は子育てにはとても良いと感じております。こどもに農業体験なども気軽に体験させてあげられます。

教育・文化

- ・ 2 学期スタート時の分散、リモート併用授業はとても良かったです！少しは安心して通わせることができました。夏休みを2日とか減らして何も無い時期に独自の休みなどがあると楽しいかなと思います！
- ・ 私立中学の設立をお願いしたいです。将来を考え大学入試に備えるためにも早めの対策を考える親御さんも多くいます。選択肢が無いと言う事は残念です。公立中学は厳しく、ついていく、又は合わせる事に時間を取られ高校受験の準備をするのが大変だとおっしゃる親御さんもいらっしゃいました。小学、中学共に子供達が自分のペースで伸び伸びと学習出来る環境を作っていただきたいです。
- ・ 先日 18 時頃ランニングのために南公園を訪れてみた。閉園時間を過ぎた後だったが犬のお散歩、ウォーキングの方がたくさんいた。気候変動もあり、夕方から夜にかけて運動する人も増えていると思う。例えば南公園にウォーキング、ランニングコースを作って、そのコースは照明を21時までは明るくするとかすれば、利用者も増え、市民の健康増進につながるのではないかな。
- ・ 市民ウォーキングなどがあったら参加したいなと思います。例えば健康の森とか藤川宿とか奥殿陣屋とか良い所がいっぱいあるので交流しながら歩くことができれば楽しいかなと思います。
- ・ 岡崎の図書館は本の購入希望を出しても全然通らない。読みたい本があっても、無い事が本当に多いです。

商業・観光

- ・ 東岡崎駅周辺が開発され、立ち寄ってみたいお店等できて嬉しいのですが、自転車利用の私にとって、駅の自転車置き場(有料)を使ってまで買い物しようとは思いません。買い物だけする人の自転車駐輪場は無いのかなと思います。
- ・ JR岡崎駅周辺が寂しい。せっかく人が集まるのに飲食、買い物する場所が少ない。
- ・ 細川町には昔から大きな住宅地を開発されてきたが、徒歩圏内に大きなショッピングモールなど無く、高齢者には買い物に不便である。細川町にショッピングモール等を誘致して欲しい。
- ・ 三河岡崎市には、徳川家康の生誕の地、歴史的にも古い物があるが十分に生かしてきてない、文化施設等、古い物の生かす事も重要だと思います。観光地区として岡崎市内の観光めぐりができる様なイベントを考えてほしい。
- ・ 岡崎市がもっと皆さんに知ってもらえるよう、魅力的な街になるよう、岡崎城を中心とした城下町、(食べ歩きが出来る店etc)に整備してほしい。

工業

- ・ 現在においては女性も働き続ける人が増えている中で、40代で子育てでも少し落ち着いた働き盛りの年代ですが更年期障害に苦しむ離職や再就職に少なからず影響があります。企業や行政でこの事をもっと認知し働き方の改善などに取り組んでほしい。
- ・ 工場地帯、道路の整備もまったく見逃されている感じを受けます。大型トラックが多い為か、進行するため3方の道路をふさぎ、右左折している状況。乗用車が通学道を通り道として使い、学童が危険な思いをして歩いているところを見守りしています。
- ・ 公共工事を多数発注して経済の活性化に努めて欲しい
- ・ テレワークが推奨されているが、自宅の中で落ち着いて仕事ができない人やテレビ会議で部屋を写したくない人にレンタルルームを提供できる場所の情報を発信してほしい。
- ・ IT EC カーボンニュートラル 医療等の最新技術で将来性のある企業誘致。幸いにも当市は教育環境が従実しているのでこうした企業の誘致は相乗効果で活力向上が期待できる。また優秀な人材の流入 流出防止が期待出来ると思う。

行政・パートナーシップ

- ・ 今回アンケート回答する事により岡崎市がいろんな分野でいろんな取り組みをしていることを知りました。情報開示の仕方が消極的というか、連携が取れていないと言うか・・・住民に届きにくいと感じています。岡崎市のイベントや取り組みについて明確になる方法を望みます。
- ・ 市民のアナウンスが上手に出来ていないと感じます。どうやって入手できるかも含めて検討してもらえると良いと思います。HPの見やすさや、HP内での検索のしやすさも考慮願います。
- ・ 市役所内の担当窓口の表示がとてもわかりにくい。正面に行かないとわかりにくく、不親切な表示だと感じる。先日は、男性の方がトイレを探してあたふたしていた。
- ・ 市役所へも時々電話したり窓口へ行ったりしますが職員の方々親切でいていいでありがたい。
- ・ 市政だよりや防災メール、子供の学校の事(エアコン設置、iPad配布)などとても有り難く満足しています。

(13) 市の取組みについての評価満足度・重要度

<満足度・重要度の相対比較>

10分野の市の取組み評価（満足度）について比較すると、「保健・医療・福祉」の満足度が最も高く、次いで、「教育・文化」「防災・強靭化」「子育て・男女共同参画」が続いている。満足度が低いのは「都市インフラ」「商業・観光」「環境・農山村」などとなっている。満足度「高」-「低」の値で比較すると、満足度が「低」の方が「高」よりも高い取組み分野が10項目中6項目となっている。

重要度は「保健・医療・福祉」が最も高く「子育て・男女共同参画」「防災・強靭化」「教育・文化」が続いており、満足度と類似した傾向が見られる。

図 93 各取組みの満足度

<満足度>

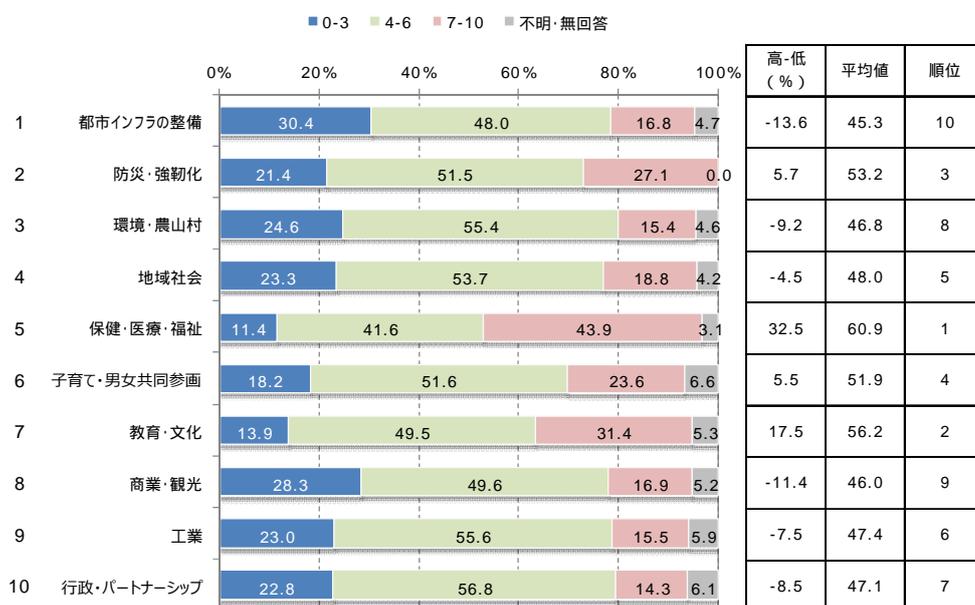
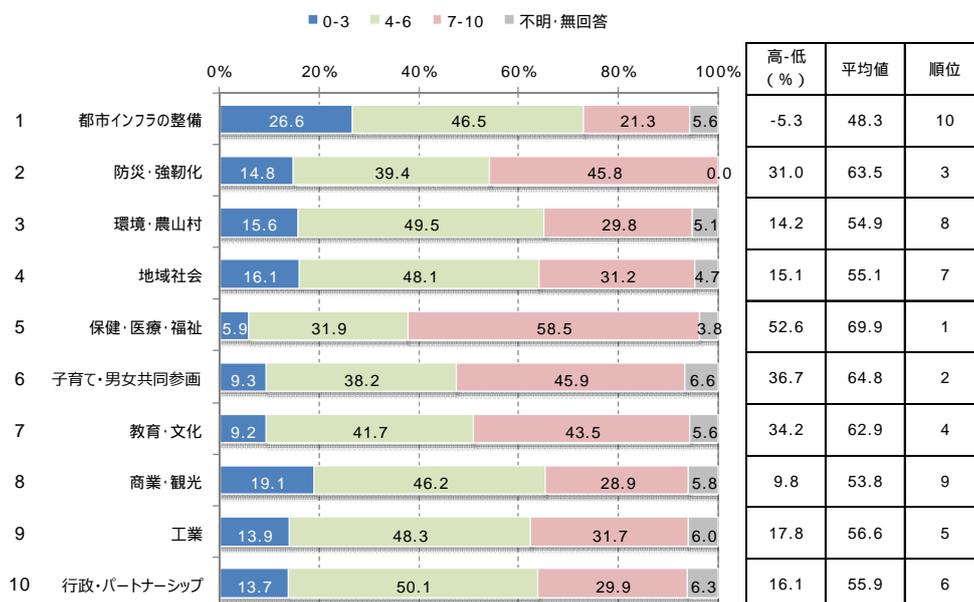


図 94 各取組みの重要度

<重要度>

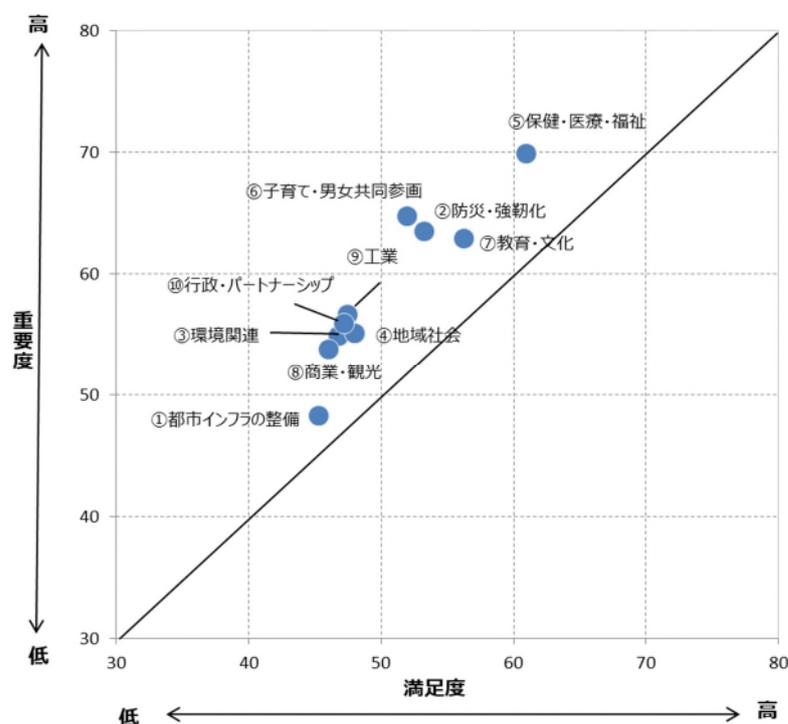


<満足度×重要度の関係>

10 分野の市の取組みについて、満足度の平均値と重要度の平均値をプロットしたところ、下図のとおりとなった。重要度が高い取組みほど満足度も高いといった相関性が見られる。

重要度と満足度の差が大きい取組み分野は、「子育て・男女共同参画」「防災・強靭化」などで、重要度の平均値に比べて、満足度の平均値が10ポイント以上低くなっている。それぞれ相対的な満足度は高いが、重要度 期待値に対する評価では差が見られると捉えることもできる。

図 95 各取組みの満足度×重要度



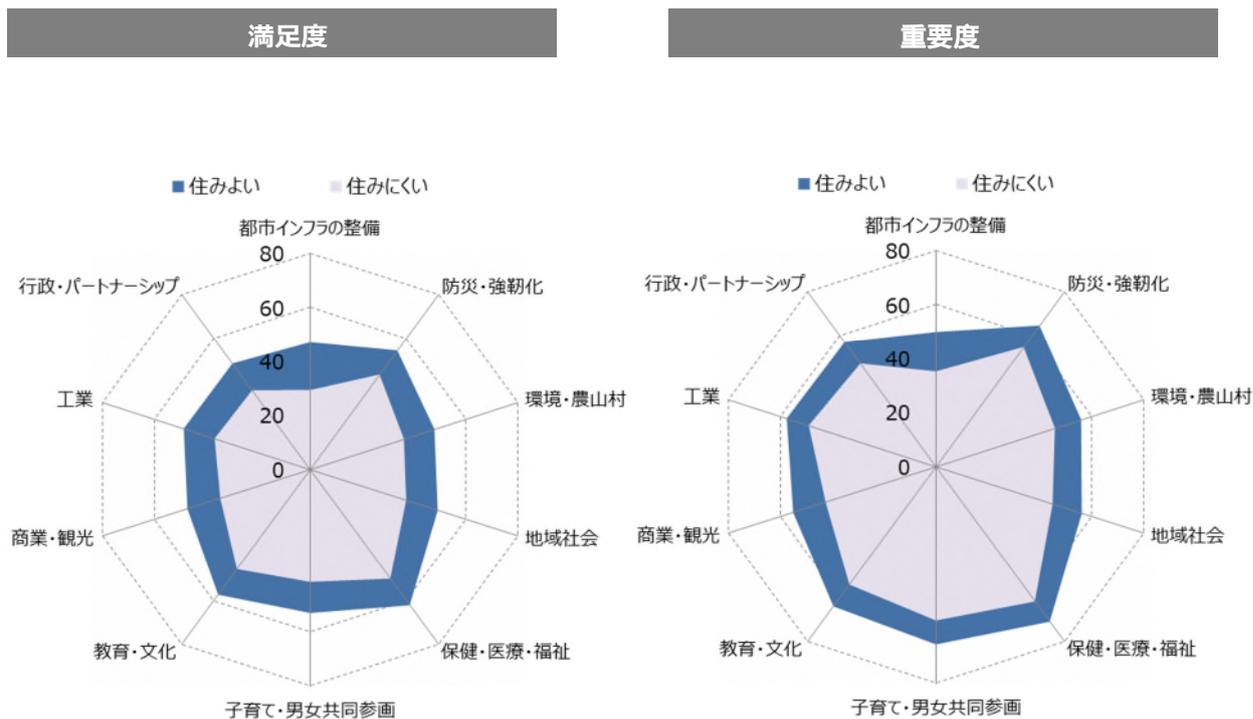
		満足度	重要度	差異
①	都市インフラの整備	45.3	48.3	-3.0
②	防災・強靭化	53.2	63.5	-10.3
③	環境・農山村	46.8	54.9	-8.2
④	地域社会	48.0	55.1	-7.1
⑤	保健・医療・福祉	60.9	69.9	-9.0
⑥	子育て・男女共同参画	51.9	64.8	-12.8
⑦	教育・文化	56.2	62.9	-6.8
⑧	商業・観光	46.0	53.8	-7.8
⑨	工業	47.4	56.6	-9.2
⑩	行政・パートナーシップ	47.1	55.9	-8.8

<住みよい／住みにくい別>

10分野の市の取組みに対する満足度、重要度について、岡崎市の住みよさ別でみると、全般的に住みよいと評価した人の方が、満足度、重要度とも高い。

住みよいと回答した人と、住みにくいと回答した人の評価で差が大きいのは、満足度、重要度とも「都市インフラ」「商業・観光」などとなっている。

図 96 各取組みの満足度×重要度(住みよい／住みにくい別)



	満足度		
	住みよい	住みにくい	差異
都市インフラの整備	47.0	29.3	17.8
防災・強靭化	54.4	43.3	11.1
環境・農山村	47.9	36.2	11.7
地域社会	49.2	37.0	12.2
保健・医療・福祉	62.1	50.0	12.1
子育て・男女共同参画	53.1	41.6	11.4
教育・文化	57.3	45.6	11.7
商業・観光	47.3	34.6	12.7
工業	48.7	36.8	11.9
行政・パートナーシップ	48.4	36.1	12.3

	重要度		
	住みよい	住みにくい	差異
都市インフラの整備	49.8	35.2	14.6
防災・強靭化	64.5	54.6	9.9
環境・農山村	55.9	45.9	10.1
地域社会	56.2	44.9	11.3
保健・医療・福祉	70.9	61.7	9.2
子育て・男女共同参画	65.7	56.9	8.8
教育・文化	63.9	54.0	9.9
商業・観光	55.1	42.6	12.5
工業	57.5	49.1	8.5
行政・パートナーシップ	56.9	47.1	9.8

.市民タイプ別分析

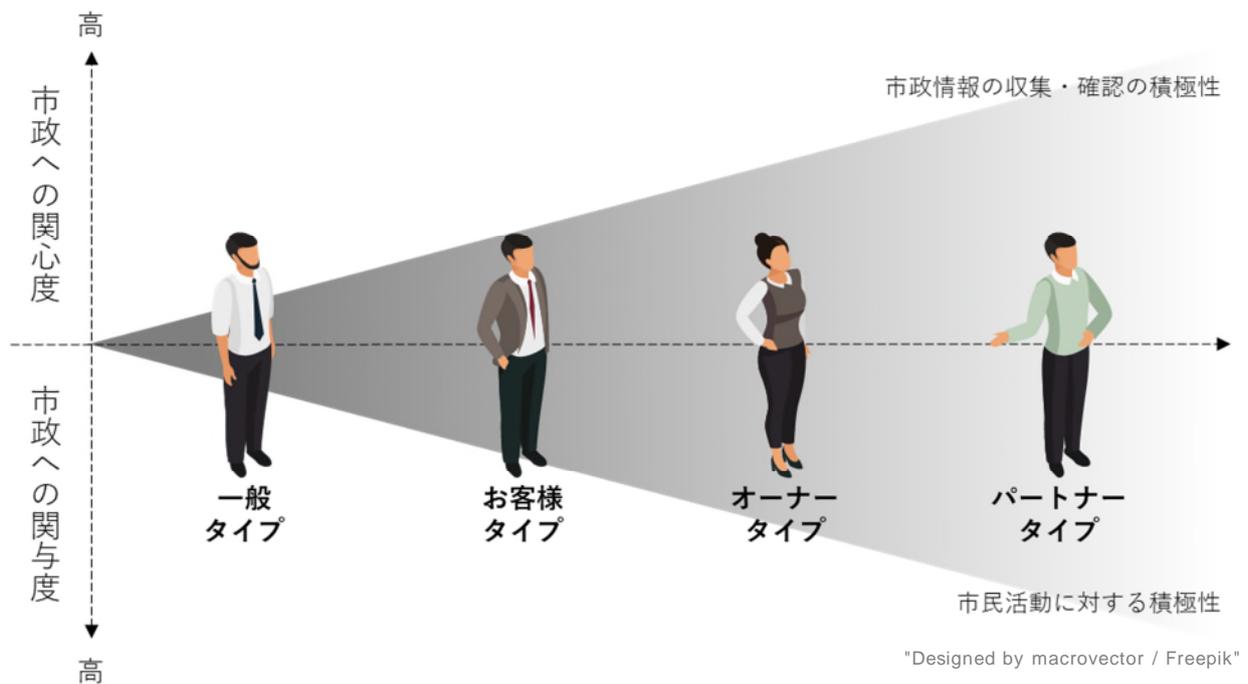
1.分析概要

(1)分析目的

- ・市民の市政関心度、関与度から市民タイプを定義し、市政に反映させる市民の声を判断するため。
- ・市政関与に積極的な市民を醸成し、市の魅力向上へつながる政策を検討するため。

(2)市民タイプの定義

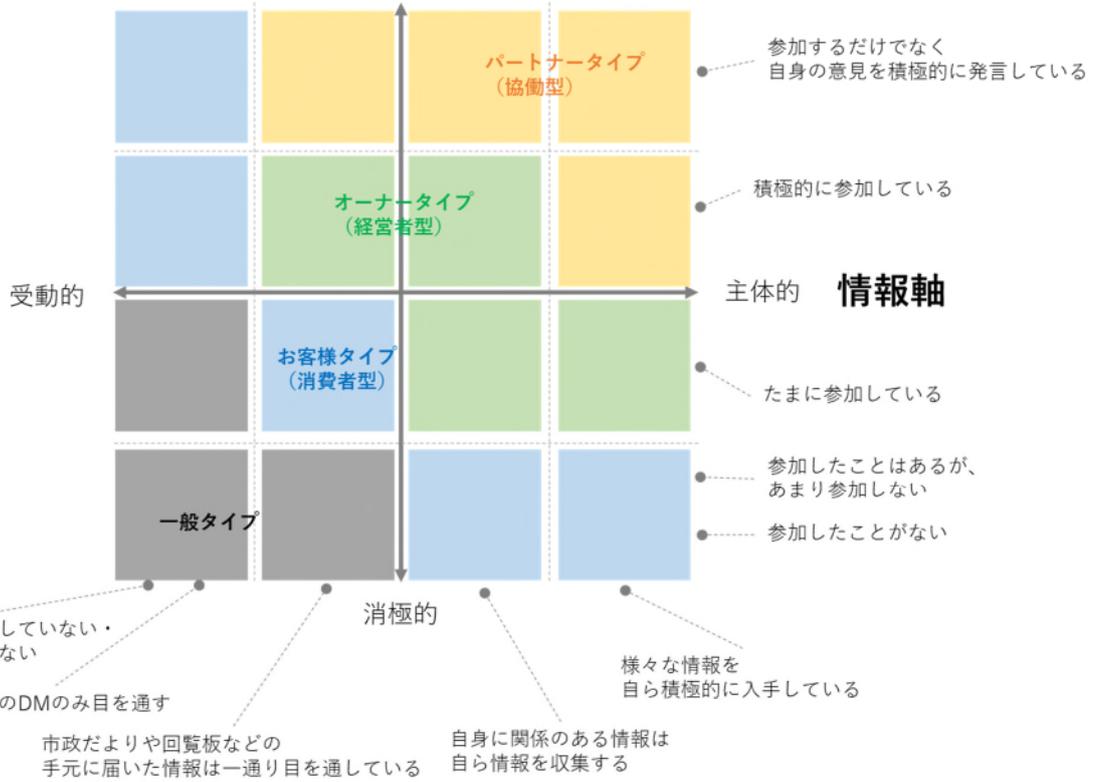
問9及び問10の回答結果から市政への関心度・関与度を判断し、4つの市民タイプを定義した。



市民タイプ 項目	一般	お客様	オーナー	パートナー
傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・市政への関心が低い傾向にある ・市政に対してあまり期待していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者気分でおもてなしを求める傾向がある ・自身に関係のないこと以外にはあまり興味がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身に関係のあることは積極的に情報収集を行う ・地域での活動を自身の仕事にもつなげようとする傾向がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・市と一緒に盛り上げようとする協働型の気持力が強い ・市に対して自身の意見を積極的に主張する
行動パターン例	<ul style="list-style-type: none"> ・市政よりはたまに閲覧する ・選挙時にはたまに投票に行く ・町内行事はたまに参加する ・町内役員などの手間がかかることは避けようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・市政よりは特に自身に関わることは熟読している ・町内会行事には可能な範囲で参加する ・子ども会の支援や見守り隊には参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会への取組みや市政イベントへ積極的に参加する ・市政の動向情報に敏感で岡崎ミクス、新聞などで市政動向を常に確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の委員を積極的に担当している ・NPO法人に加盟している ・ボランティア活動に積極的に参加している

行動軸

積極的



(3)市民タイプの割合

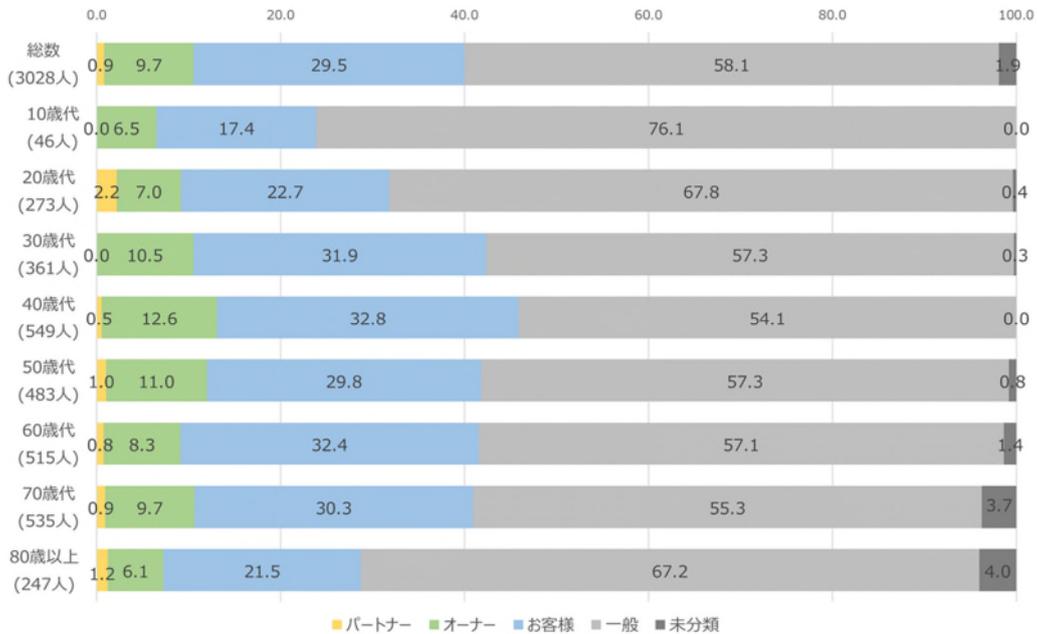
	全体	パートナー	オーナー	お客様	一般	未分類
n数	3028	26	293	893	1758	58
割合	100.0%	0.9%	9.7%	29.5%	58.1%	1.9%

n=3,028		市政情報の収集・確認の状況						
		様々な情報を自ら積極的に入手	自身に関係のある情報は、自ら情報を収集	市政だよりや回覧板など、手元に届いた情報には目を通している	市からのダイレクトメールのみ目を通す	特に情報収集していない・目を通していない	不明・無回答	
全体		100.0%	2.1%	15.1%	63.7%	3.0%	14.4%	1.7%
市民活動に対する参加状況	参加するだけでなく、自身の意見を積極的に発言している	0.4%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	積極的に参加している	4.6%	0.5%	1.3%	2.7%	0.0%	0.2%	0.0%
	たまに参加している	27.4%	1.0%	4.8%	19.7%	0.4%	1.5%	0.2%
	参加したことはあるが、あまり参加しない	38.2%	0.3%	5.8%	26.3%	1.3%	4.1%	0.3%
	参加したことがない	28.0%	0.3%	3.0%	14.5%	1.3%	8.7%	0.1%
	不明・回答なし	1.3%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%
	複数回答につき未該当	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

2.市民タイプ分類から見る分析・考察

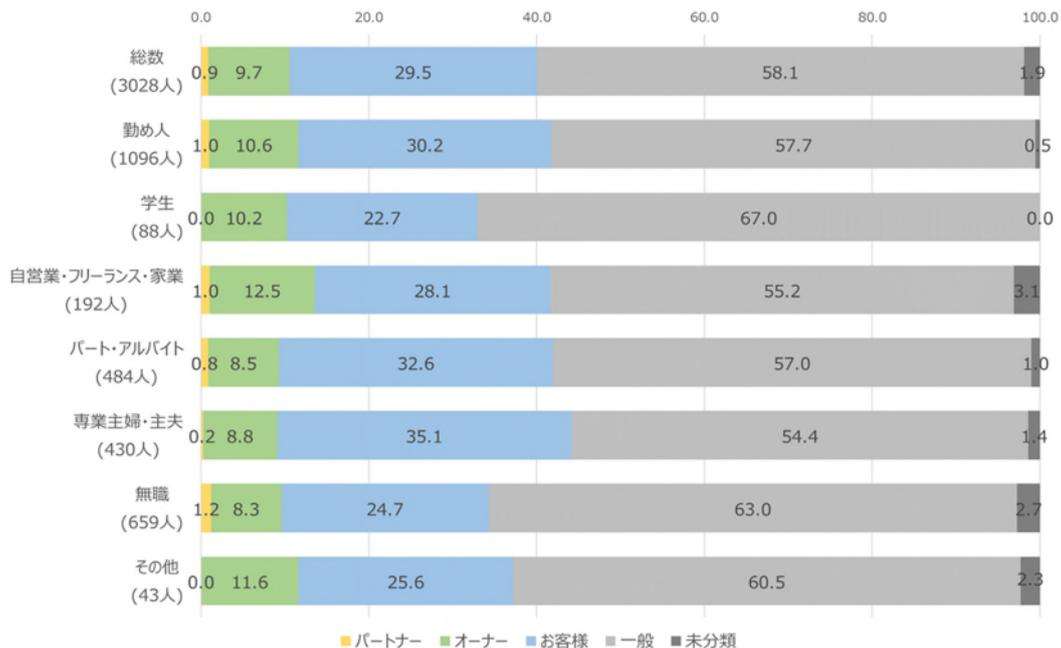
(1)年齢

パートナータイプには時間の余裕があり、長年岡崎市に住んでいる60代以上の年配層が多いと予想していたが、予想に反し20代が最も多い結果となった。SNSや東海オンエアなど岡崎市に関する情報へ触れる機会が多いことが要因ではないかと推察される。



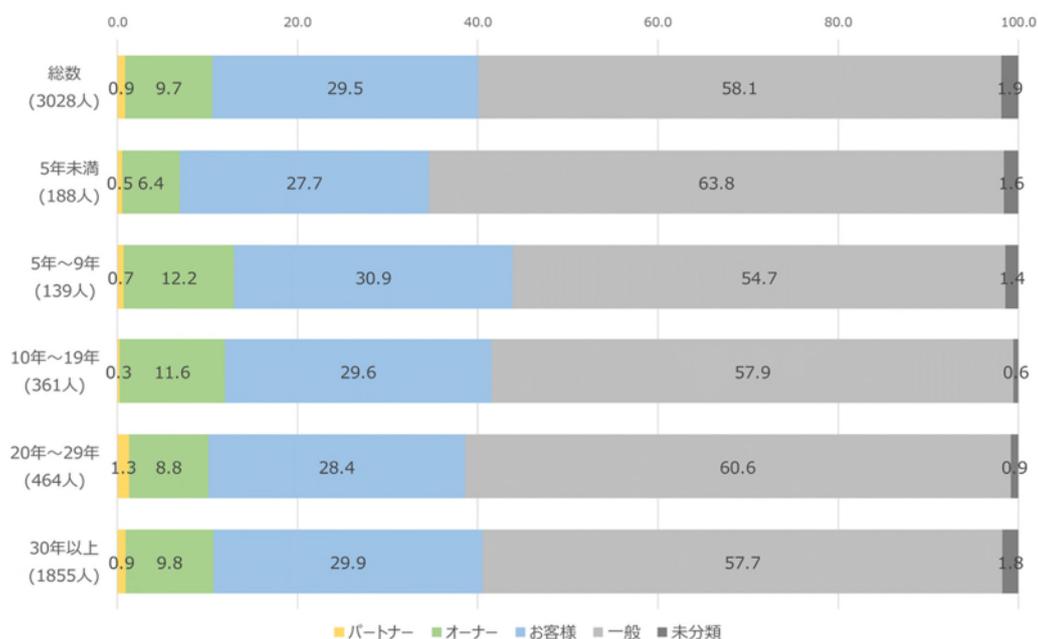
(2)職業

オーナータイプは“自営業・フリーランス・家業”に多く、一般タイプは“学生”や“無職”に多く見受けられた。日常生活で市役所へ訪問や市民活動への参加頻度が市民タイプに起因すると推察される。また“専業主婦・主夫”にはお客様タイプが多く、子育てに関するサービス・情報発信を求めているのではないかと推察される。



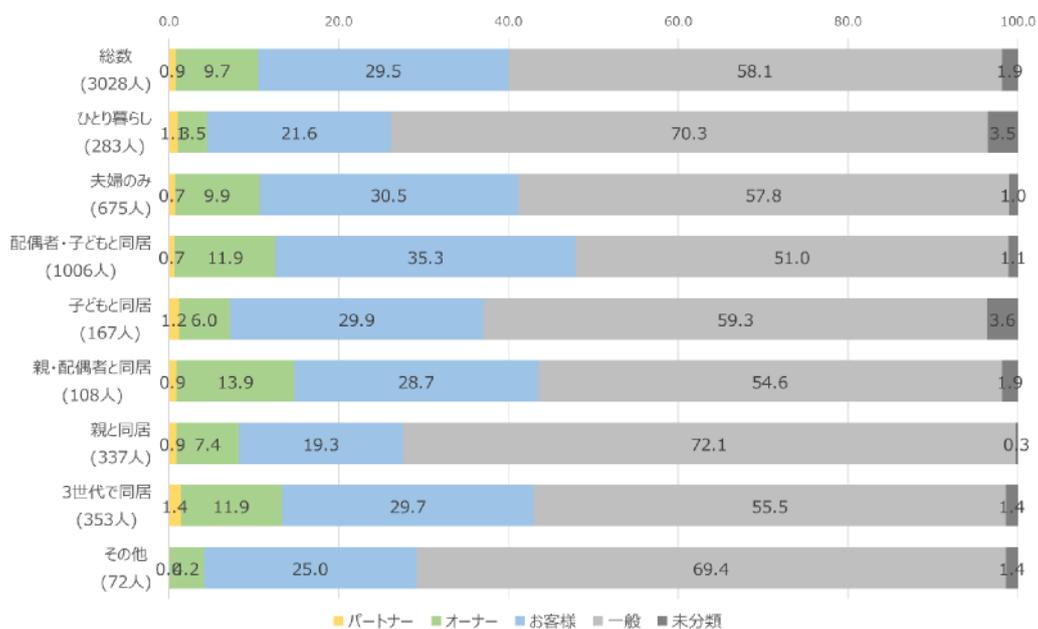
(3) 居住年数

“5～9年”在住の市民は一般タイプが最も少ない結果が見られた。住み始めて5年頃は新たな地域環境に馴染むため、積極的に地域活動へ参加する、もしくは断りづらい環境となっているのではないかと推察される。



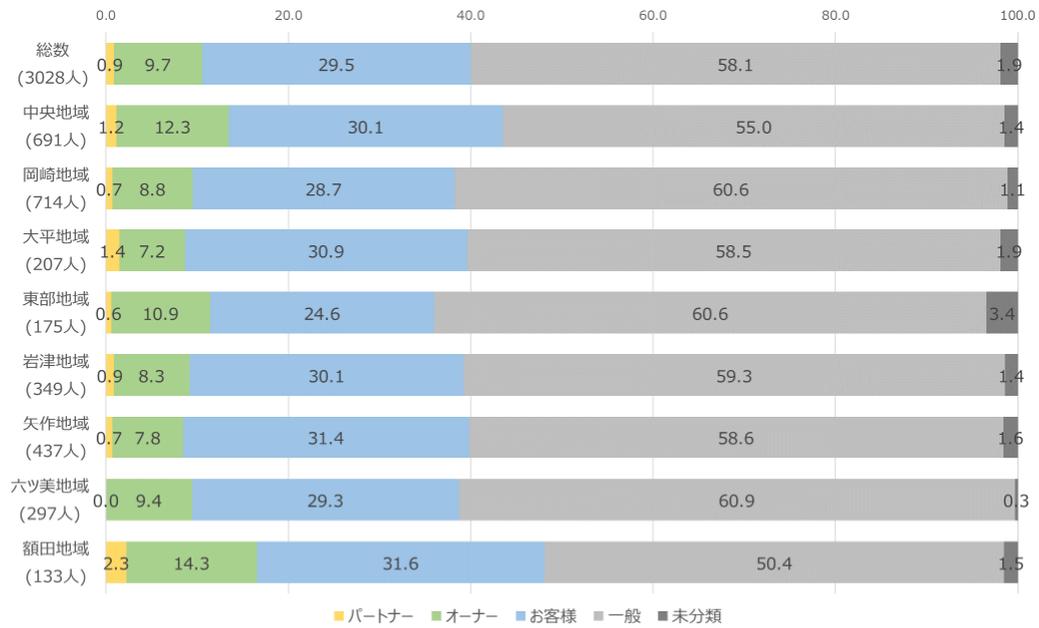
(4) 家族構成

“ひとり暮らし”および“親と同居”は一般タイプが多く見受けられる。日常で市政に触れる機会が少ないことが要因と推察される。また“配偶者・子どもと同居”および“親・配偶者と同居”にお客様タイプが多い要因として、子育てや介護に対するサービス・支援を求める市民が多いためと推察される。パートナータイプは“3世代で同居”に多く、家庭に各世代がいることで、行政イベントへの参加機会が多いことが要因の1つとして考えられる。



(5) 居住地域

“額田地域”はパートナー・オーナータイプが他地域と比べ多い傾向が見られた。地域の特性として住民の入れ替わりが少ないことから、住民間の関係性が深く、積極的にイベントや市民活動へ参加する住民が多いのではないかと推察される。その他、地域別で大きな差や傾向は見受けられなかった。

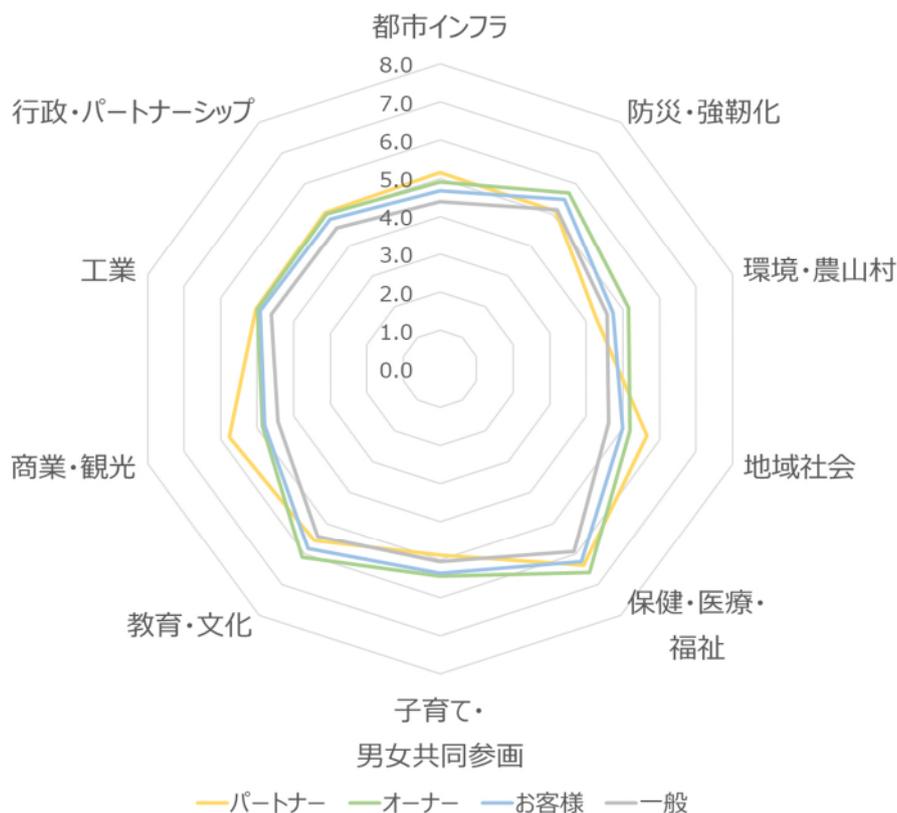


(6)総合計画 10 のテーマに対する満足度・重要度

一般タイプとお客様タイプ、オーナータイプのいずれも“子育て・男女共同参画”において、満足度と重要度の差が最も大きい結果となった。市政関与に積極的な市民を増やすことにつながる大きな要素として考えられる。またすべてのタイプにおいて、“保健・医療・福祉”の満足度および重要度が高い結果となり、近年の新型コロナウイルスの蔓延に起因する結果ではないかと推察される。

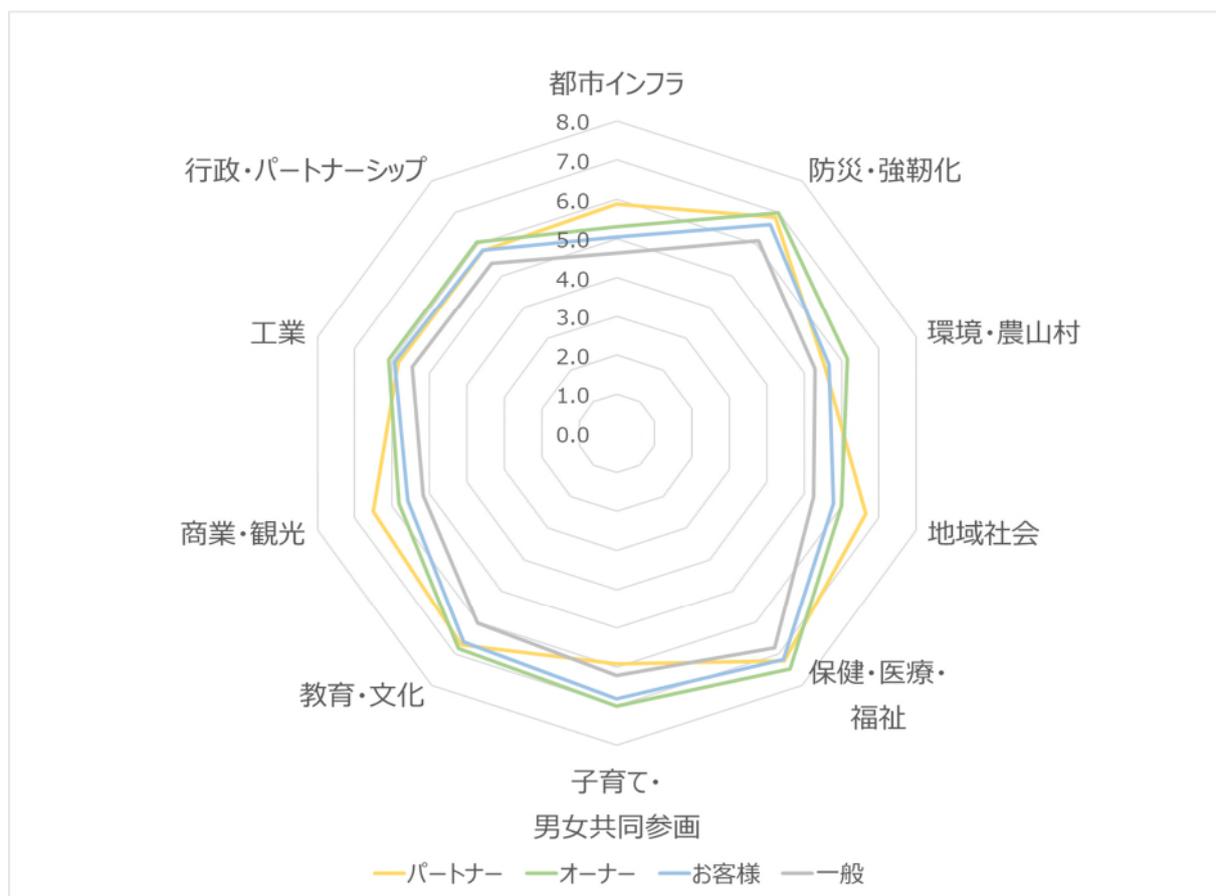
10 のテーマ別平均満足度意識

	都市インフラ	防災・強靱化	環境・農山村	地域社会	保健・医療・福祉	子育て・男女共同参画	教育・文化	商業・観光	工業	行政・パートナーシップ	市民タイプ別平均スコア
パートナー	5.2	5.1	4.3	5.7	6.4	4.9	5.6	5.8	5.0	5.1	5.3
オーナー	4.9	5.7	5.2	5.2	6.6	5.4	6.1	4.9	5.0	5.0	5.4
お客様	4.7	5.5	4.7	5.0	6.2	5.4	5.8	4.8	4.9	4.9	5.2
一般	4.4	5.2	4.6	4.6	5.9	5.1	5.4	4.4	4.6	4.6	4.9
未分類	4.4	5.1	4.7	5.2	6.0	5.3	5.5	4.3	4.5	4.6	5.0
10のテーマ別平均スコア	4.7	5.3	4.7	5.1	6.2	5.2	5.7	4.8	4.8	4.8	



10のテーマ別平均重要度意識

	都市インフラ	防災・強靱化	環境・農山村	地域社会	保健・医療・福祉	子育て・男女共同参画	教育・文化	商業・観光	工業	行政・パートナーシップ	市民タイプ別平均スコア
パートナー	5.9	6.8	5.5	6.7	7.2	5.9	6.7	6.5	5.8	5.8	6.3
オーナー	5.3	7.0	6.1	6.0	7.5	7.0	6.8	5.8	6.1	6.1	6.4
お客様	5.0	6.6	5.7	5.8	7.2	6.8	6.6	5.6	5.9	5.8	6.1
一般	4.6	6.1	5.3	5.3	6.8	6.2	6.0	5.2	5.5	5.4	5.6
未分類	4.4	5.7	5.1	6.0	6.6	6.2	6.4	5.2	5.2	5.2	5.6
10のテーマ別平均スコア	5.0	6.4	5.6	5.9	7.1	6.4	6.5	5.7	5.7	5.7	



.自由回答分析

1.分析概要

(1)自由回答記入率

	全体	問41記入
n数	3028	944
回答率	100%	31.2%

(2)自由回答分類（不満/満足/提案）

自由回答内容を確認し、回答内容が市への「不満」「満足」、市への「提案」であるかを読み解き、分類した。

その内訳は下記のとおり。

問 41. 岡崎市の行政施策に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。（FA）

	全体	不満	満足	提案
n数	944	438	44	280
回答率	100%	46.4%	4.7%	29.7%

(3)自由回答分類（総合計画テーマ）

自由回答内容を確認し、回答内容が総合計画 10 のテーマのうち、どのテーマと関連するか読み解き、分類した。

その内訳は下記のとおり。

[10 のテーマ別回答割合]

全体	①都市 インフラ	②防災・強靱	③環境・ 農山村	④地域社会	⑤保健・医療・ 福祉	⑥子育て・ 男女共同 参画
944	365	42	33	73	104	95
100%	38.7%	4.4%	3.5%	7.7%	11.0%	10.1%

全体	⑦教育・文化	⑧商業・観光	⑨工業	⑩行政・ パートナー シップ	その他	なし
944	70	142	17	147	198	63
100%	7.4%	15.0%	1.8%	15.6%	21.0%	6.7%

[年齢別回答率]

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明・ 回答なし	複数回答
総数[人]	3028	46	273	361	549	483	515	535	247	18	1
自由回答 記入数[人]	944	10	81	114	190	152	173	157	63	4	0
割合	31.2%	21.7%	29.7%	31.6%	34.6%	31.5%	33.6%	29.3%	25.5%	22.2%	0.0%

[居住地域別回答率]

	全体	中央地域	岡崎地域	大平地域	東部地域	岩津地域	矢作地域	六ツ美 地域	額田地域	不明・ 回答なし	複数回答
総数[人]	3028	691	714	207	175	349	437	297	133	24	1
自由回答 記入数[人]	944	240	231	64	45	113	130	82	33	6	0
割合	31.2%	34.7%	32.4%	30.9%	25.7%	32.4%	29.7%	27.6%	24.8%	25.0%	0.0%

(4)分析方法

- 「2.未来投資パッケージ別分析(1) (4)」は岡崎市の“総合計画”に記載された文章と市民アンケートの自由記述文で出現する語句を抽出し、出現の度合いを比として比較した
- 「2.未来投資パッケージ別分析(5) (7)」は市民アンケートの自由記述文を形態素解析し、単語の共起関係と出現頻度を表示した
- グラフ作成に用いられる語句の内、出現頻度が高い語句、または特に注目した語句に対する出現傾向とレビューをまとめた
 - * グラフは語句の使用数を比で示すものであり、多用される語句が必ずしも重要であることを意味していない
 - 出現傾向や差異を観点とし、記述された文章の全体像を把握する資料として活用する
 - * レビューの内容はあくまで語の出現傾向と自由記述の内容に基づき、その一観点を記載したものである
 - * レビューの後にアンケートの自由記述文を一部抜粋し、転記した(下図参照)
 - * レビュー中、注目した語句は[語句]として色を変えて示した

分野別の主な取組 (1)暮らしを支える都市づくり(都市インフラ)

◆ 10年後の想定社会状況
地域創生にかかると、ひと・まちの取組や、リニア開通効果により、市内通勤者の市内居住や、市外通勤者の市域周辺部における住宅需要の高まり、交通渋滞など、まちづくり課題への対策の重要性が増しています。

◆ 分野別目標
業務連携促進の実現に向けて、「しごと」に引き寄せられて集まってきた「ひと」の住宅需要に対応しつつ、暮らしの質を高める都市基盤が充実していく「まち」を目指します。

◆ 個別計画

<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン 立地適正化計画 土地利用基本計画 駐車場整備計画 総合交通政策 地域公共交通創成計画 自転車ネットワーク計画 農園計画 屋外広告物適正化計画 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的地域振興向上計画 観光活性化推進計画 緑の基本計画 住宅マスタープラン 住宅給付促進計画 空家等対策計画 上下水道ビジョン
--	--

◆ 主な取組

- 市域中心部における土地の高度利用促進、市域周辺部における広域交通機能を活かした広域集客施設や観光拠点の市内互地に結び行くよう、短期・誘導を行っていきます。
- 市内へのしごと集積により得られる住宅需要に対応して、就労者が隣地に居住して子育てを両立しているよう、都市農地の有効活用や、空き家活用などを加速していきます。
- 居住圏域区域内で都市基盤が脆弱な市街地等の整備を進めていきます。
- 駅前周辺にて、居心地がよく歩きたくなるまちの形成を推進していきます。
- 市内交通の円滑化に向けて、新技術の進歩・実用化の速度と市内現状を勘案しながら公共交通のあり方を検討するとともに、渋滞対策等を講じていきます。
- 道路・公園・上下水道をはじめとする都市基盤を管理する主体として、これを利用する市民の暮らしと向き合い、経済や社会との相関に配慮しながら、戦略的かつ安全安心な都市政策を行っていきます。

22

分野別の主な取組 (4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり(地域社会)

◆ 10年後の想定社会状況
これまで増加を続けてきた地域活動の主な担い手である前期高齢者の人数は、2020年47,500人が2025年と2030年では42,000人程度まで減少することに加え、労働力市場において生産年齢人口化することが予想され、基礎的担体である町内会ごとで年代別人口の偏重や担い手不足が拡大しています。

◆ 分野別目標
人口構成変化や年代別人口偏重に起因する担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指します。

◆ 個別計画

<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進計画 防災活動行動計画 交通安全計画 	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生推進計画 防災共同歩道基本計画 CN対策基本計画
--	---

◆ 主な取組

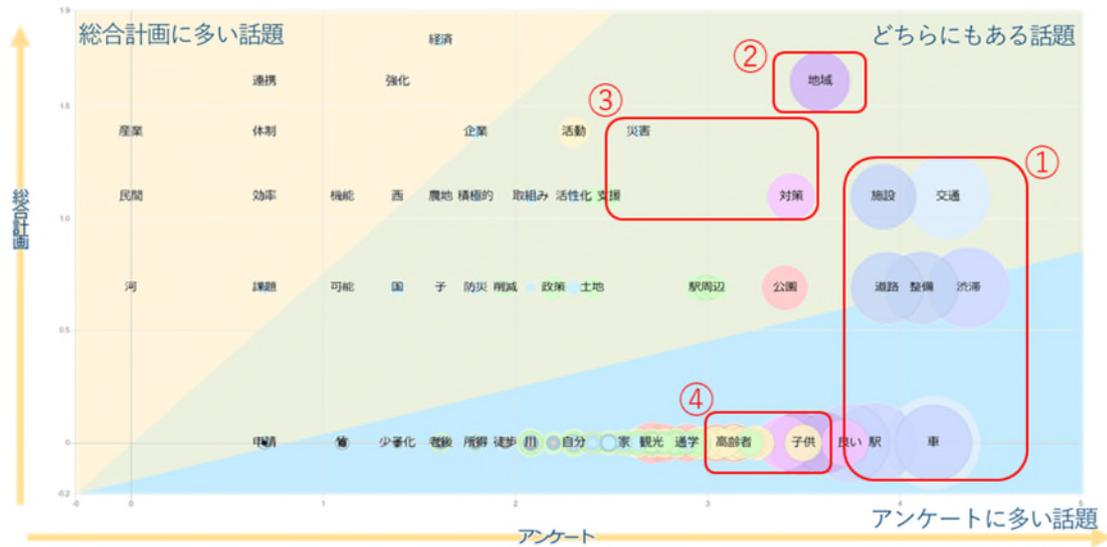
- 町内会をはじめとする自治組織が担える地域課題の解決にあたっては、必要に応じて町内会と多様な主体が協働し、それぞれが活躍することで地域課題の解決を図るとともに、持続可能な町内会の運営に向け、市による町内会を支援するための体制を整えます。
- 道路整備をはじめとする毎年行われる町内会要望などは、これまで構築してきた学区総代会や支所を継出した重層的な仕組みの中で対応するとともに、それ以外の個別課題については支所地域の枠組みにとらわれず、課題の個別ごとできめ細かに支援する仕組みを構築していきます。
- 市政の最前線である地域課題への解決支援については、防犯・交通安全・多文化共生にとどまらず、保健・医療・福祉、環境など広範囲に及ぶため、新技術の積極的な導入・活用を検討するとともに、地域共生社会の実現に向けて市組織内外での組織的な協力体制を構築していきます。

26

総合計画抽出文章(一例)

2. 未来投資パッケージ別分析

(1) まち・環境



総合計画、自由記述ともに[交通, 渋滞, 道路]など移動手段に関わる記述が多く、共通の課題としての認識されている。

自由記述のみに出現する語句も[車, バス, 駅]といった交通手段に関わる記述が多く、生活環境について訴えたい主要な要素であることがうかがえる。

- 渋滞がひどい。車が多い。道路の整備が追い付いていない。道幅が狭い。
- 市内公共交通機関の充実。

次いで多く見受けられる[地域, 良い]などの記述は回答者の要望や生活環境に関連した幅広い要望が散見される。

継続して注目することでニーズの移り変わりや生活者が感じる施策の妥当性などを推し測る手掛かりとなる可能性がうかがえる。

- 全地域の通学路に歩道設置。額田地域に中総程度の運動広場の設置。
- 地域によって都市発展度が違い過ぎて、南部あたりはうらやましく感じることもある。自分の住んでいる方にもいろいろできたらいいのにとすることも。あと六ツ美地域とか東部、岩津があんまり手つかずだなと感じる。

[対策]は交通に関連する要素に加え、防災や災害に関わる記述が目立つ。

[防災, 災害]もグラフ上の中央付近に位置しており、総合計画、自由記述いずれにも共通する要素に当たる。

交通に準ずる課題として災害への備えに市民が関心を寄せているように見受けられる。

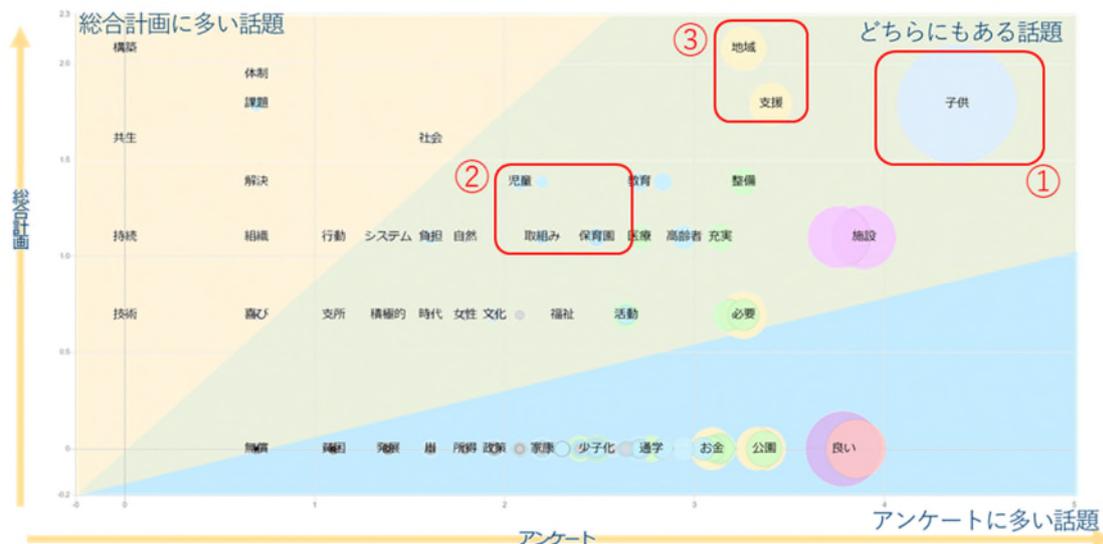
- 水害対策の強化。特に河川氾濫。
- 占部川の雑木林を取り除いて欲しい。防災対策として。

自由記述に限定されるが[対策]と同程度に使用される語句として[子ども, 高齢者]など年齢構成に関わる記述が見受けられる。

アンケートに回答している年代層を考慮する必要もあるが、市民が年齢構成において特有のニーズがあると考えていることがうかがえる。

- 未来を支えるこども達が笑顔で安心できる街が、結果として赤ちゃんと高齢者の笑顔に繋がる気がします。
- 高齢者の移動手段：高齢の為、自動車免許を返納した場合、公共交通機関が少ないので健康のために利用している施設に通えなくなります。

(2)ひと(社会)



総合計画、自由記述ともに最も出現し、使用されている語句として[子ども]が目立つ。記述内容は子育て支援から少子化対策、子どもを対象とした制度や住環境の整備など幅広いが、市と市民とで課題感は共有されているように見受けられる。

- 大学生と高校生の子を持つ父親です。子育て支援について、不満があります。大学生の子供に対する支援を行って欲しい。
- 他市町村に比べ子ども達の体力の低下と学力の低下が気になります。学校教育の見直しが必要と思われれます。
- 既婚者の子供の数は比較的安定しているので、結婚を希望する未婚者を結婚できるよう支援をしていただきたい。

上記、[子ども]に関連する語句として総合計画、自由記述ともに出現する語句に[児童、子育て、保育園]なども見受けられる。

[児童]はこれも出現の多い[設備]や[施設]、[保育園]は受入数の拡充など要望の側面が強いが、[子育て]については不足を訴える内容と、過剰とする内容がある。

回答者の生活実感や社会的なつながりによって課題感に差があり、個々の事情などを背景に強い意見を持ちやすい要素とも見受けられる。

- 幼児が遊べる市立の屋内施設がないので孫は他市、他県まで行っている。
- 保育園の申し込みで今年度から求職者の申込が二次申込になったことが非常に残念です。私は専業主婦ですが、可能であれば子どもを保育園に入れて働くことを望んでいます。
- 子育て支援関係は充分のため、これ以上やらなくていい。

次いで出現が多い語句として[地域、支援]が挙がる。[地域]の自由記述を鑑みると回答者の居住環境に固有の期待や比較する表現が散見される。

また、同程度の出現が見られる[支援]は[医療、子育て、高齢者]など働くことが困難な状況に対しての支援を期待する内容が見受けられる。[医療、子育て、高齢者]の支援を提供する”地域包括ケアシステム”は自由記述に現れず、認知は進んでいない様子が見える。

- 身体障がいので施設入所しています。福祉に力を入れて私のような人間でも地域でくらすようなまちにしてほしいです。
- 子育て支援とても大切なことだと思いますが、同時に高齢者に対するケアも必要だと思います。
- 岡崎市の発達障害児の医療施設はたくさんあるものの、施設の特徴がわからず、親はどこを選択すべきか迷ってしまう。特色など施設の詳しい情報を載せた冊子を作ってほしい。

(3)しごと・経済



総合計画、自由記述ともに【施設，観光】の語句が目立つ。観光に類する記事を集約しているため必然的な側面もあるが、市民の視点からも【観光】は市の資源と認識されており【文化，魅力，イベント】などの要素も挙がる。【施設】については”商業施設”としての記載が多いものの【渋滞，交通，まちづくり】といった観光も含めた市街地に対する要望が含まれているように見受けられる。

- 岡崎の商業施設をイオン以外にも増やしてほしい。東岡崎周辺の道路を広げてほしい。
- 交通渋滞を緩和して欲しい。岡崎は、まだまだ、特産品や歴史的遺産のアピールが下手だと思います。
食べ物や観光、また、教育子育てなど魅力的な町づくりを希望します
- 三河岡崎市は、徳川家康の生誕の地、歴史的にも古い物があるが十分に活かしてきてない。文化施設等、古い物を活かす事も重要だと思います。
観光地区として岡崎市内の観光地めぐりができる様なイベントを考えてほしい。

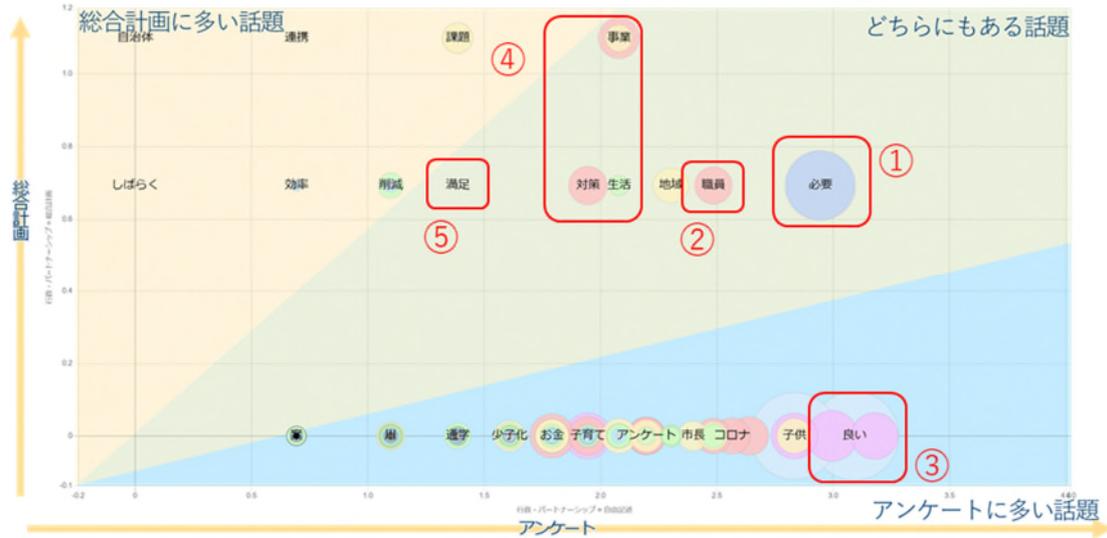
次いで総合計画にも記載の多い【事業，整備】は施設に関わる記載が多く見受けられる。観光や商業施設に関わる内容に加え、存在する制度や設備等に対する意見など、回答者の関心が向きやすい要素がうかがえる。

- 過大、不要な設備投資をして税金の無駄使い。桜城橋オトリバーサイドテラス、家康像、東岡崎周辺整備事業、西庁舎は歩留りがら空き、本田光太郎資料館、東公園恐竜など
- 自転車か歩道を走りやすくなる整備。歩道の整備東岡崎前の銅像が不必要だと思う。イオンの改装はよい。
- 岡崎市をもっと皆さんに知ってもらえるよう、魅力的な街になるよう、岡崎城を中心とした城下町、食べ歩きが出来る店を整備してほしい。

自由記述に挙がる【渋滞】に着目すると、渋滞について複数のタイミングが話題に挙がる。回答者の生活環境に依るところが大きいようにも推察されるが、渋滞は【通勤】や【休日】など多岐に渡る要因に関連する事を示唆するようにも見受けられる。

- 早期にアウトレット事業を進めていただきたい。休日の渋滞解消対策を検討していただきたい。
- 日名橋、大橋付近橋目町、北野町の朝、夕、土、日の渋滞をなくして欲しい。橋目町の交通の便が悪い。
- 通勤渋滞がひどすぎる。交通環境の改善をしてほしい。

(4)行政・パートナーシップ



“行政・パートナーシップ”に関連する総合計画の文章は5件にとどまり、総合計画、自由記述ともに出現する語句は他のテーマに比べ少ない。最も共通して使用される語として【必要】が目立つ。施策の実施などを期待する内容もあるが、市からの情報が不足している旨を訴える内容も散見される。自由記述で最も多用される語句として【良い】があるが、“あるとよい、良いと思う”など、期待や要望に関わる内容が多いように見受けられる。

- 今回のアンケートで初めて知った施策が多かったので、市民への広報手段にもっと工夫が必要かと思えます。
- 市議会で作成された文章を読んでいるより、こういった声をもっと活発に取り入れた場面があってもいいのでは。

総合計画、自由記述ともに出現する語句として【職員】が挙がり、市に対する印象の一端を担っていることがうかがえる。件数が少ないため評価の好悪を単純に受け取ることは難しいものの、継続的に把握することで市民からの印象を鑑みる一要素となる可能性もある。

- ハコ物に税金を無駄使いしない様に、高齢者にやさしい町に、外国人にもっとモラルを守る様に、市の職員が甘すぎる
- 市役所へ時々電話したり窓口へ行ったりしますが職員の方々が親切でありがたい

自由記述で【良い】に次いで多用される【情報】は市政にまつわる事柄に関連した内容が多いように見受けられる。“現状、市の情報が把握できていない”という趣旨の回答も多く、市の情報発信に対する市民からの印象がうかがえる。

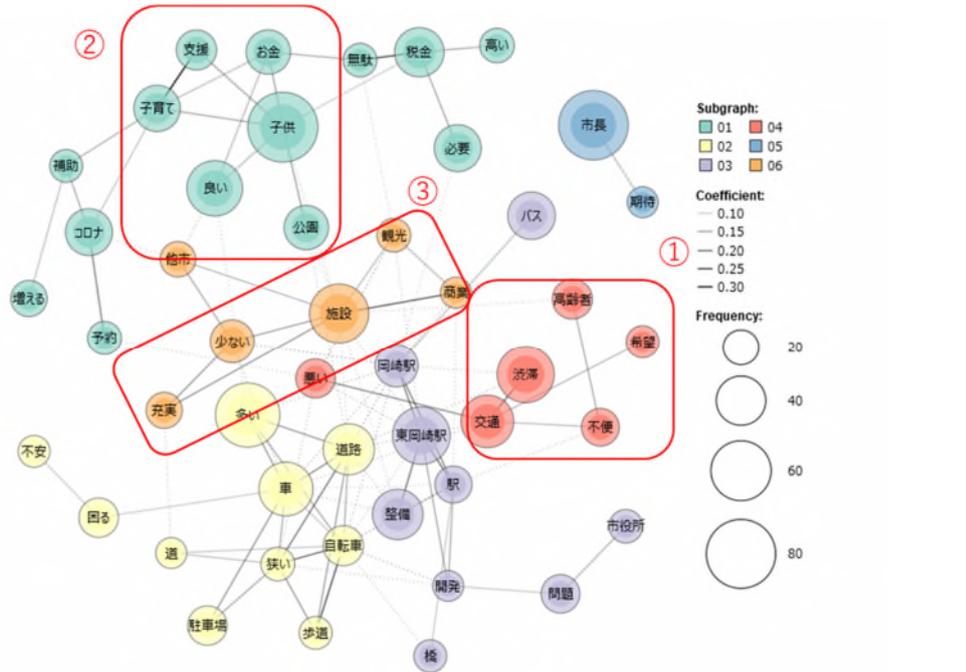
- ホームページの構成があまり良くないのか、探している情報が見つからないことがよくある。見づらい。
- 今回アンケート回答する事により岡崎市がいろんな分野でいろんな取り組みをしていることを知りました。情報が住民に届きにくいと感じています。岡崎市のイベントや取り組みについて明確になる方法を望みます。

全体の文章数は少ないながら、【対策、事業】も多くの語句と関連が見受けられる。【対策】については“少子化”，“コロナ”と特定の要素が挙がるものの、【事業】については回答者の関心に基づく記載に終始するよう見受けられる。

- 東部のまちづくり事業は進んでいますか。ホームページで現在の進行状況教えていただけたらうれしいです。

件数は少ないものの“市政だより”について特に【満足】という回答が見受けられ、市民が情報を収集する媒体として評価されていることがうかがえる。

(5)“不満”に関するコメント



[交通][不便][高齢者]は共起関係が強く見受けられる。免許返納後の移動手段を確保することで、高齢者の生活満足度が大幅に向上すると推察される。

- 高齢者の移動手段 高齢の為、自動車免許を返納した場合、公共交通機関が少ないので健康のために利用している施設に通えなくなります。(優遇措置を考えてほしい)
- バスも廃線になったりし、車のない高齢者は不便です。今後の高齢化社会に伴い、車がなくても暮らせる岡崎市になっていくように、企業と市で協力してまちづくりをお願いしたいです。

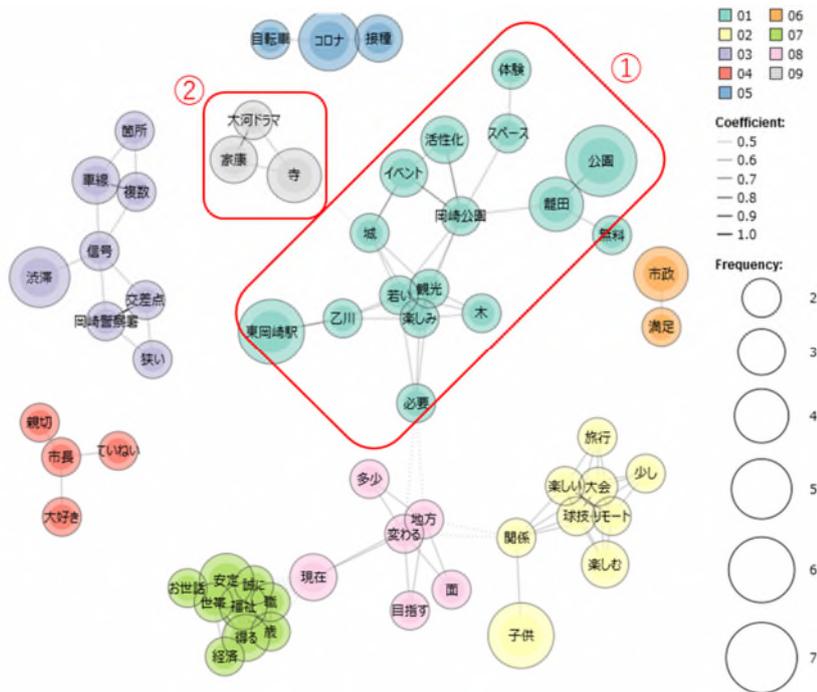
[子育て][支援]は最も強い共起関係が見受けられる。近年共働きの家庭も増えていることから、子育て支援を求める声も多くなっていると推察される。

- 育休はとれるけど、経済不安が大きく、将来設計や子供づくりに希望がもてずになります。子育て世代に優しい岡崎市により進化させてくださることを願っています。
- 子育て支援について、不満があります。大学生の子供に対する支援を行って欲しい。自分の経験では、定年までの年数も考え三人目の子供をあきらめたことがあり、一番お金がかかる期間の支援を考えて欲しい。

[商業][観光][施設][少ない]に共起関係が見受けられる。岡崎市民の生活インフラとなる商業施設の更なる充実や市外から人を呼び込むための観光事業の整備を希望する声が多いと推察される。

- 三河岡崎市には、徳川家康の生誕の地、歴史的にも古い物があるが十分に生かされてない、文化施設等、古い物の生かす事も重要だと思います。観光地区として岡崎市内の観光めぐりができる様なイベントを考えてほしい。
- 岡崎市は他市に比べても駅前が寂しすぎる。特に JR 岡崎駅は商業施設も少なく銀行 ATM もない。東岡崎駅より利用客も多いのに買い物やお茶をする場所もなくすごくもったいないと思います。

(6)“満足”に関するコメント



“満足”に分類された回答件数は44件と少なく、出現頻度の高い単語も他のグラフと比べ少ない。また、円が重なっている箇所は同一人物の回答にて複数回出現した単語となっている為、考察の対象外とする。

[籠田][公園]に共起関係が見受けられる。

きれいに整備された公園は子育てや市民交流の場として市民の満足度向上につながる大きな要素となっていると推察される。また、公園整備は市の取組みとしても目立ちやすく、公園で開催される**[イベント]**も若者を中心に魅力に感じていることがうかがえる。

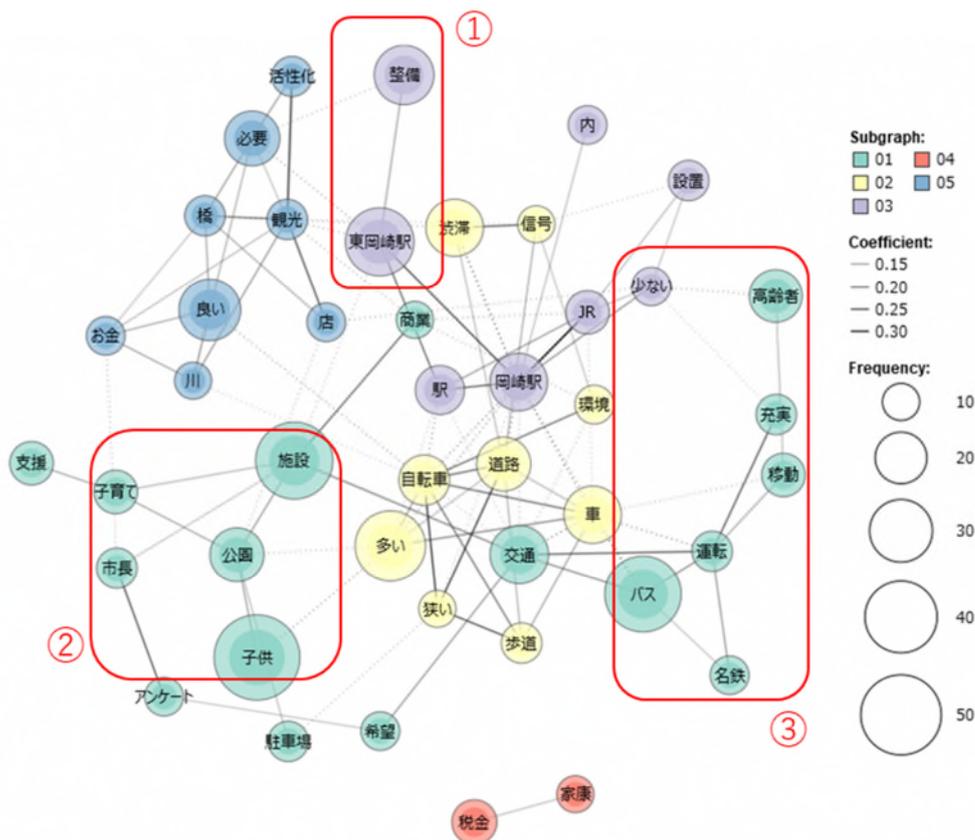
- 籠田公園や、岡崎公園でのイベントの取組みはとても良いと思います。スペースやランドスケープを活用して、仮設的空間をつくり、文化に触れる体験をどんどんできると嬉しいです。特にあの周辺は岡崎市の顔となるスペースのため、どんどん活性化していただければと思います。
- 籠田公園もきれいで子育てしやすいです。

[大河ドラマ][家康]に共起関係が見受けられる。

岡崎市の魅力を発信する新たな機会として、市民からの期待がうかがえる。

- 家康、および戦国ファンにとって岡崎市は聖地であり、垂涎の地でもある。最高のチャンス到来であり、全市あげてまちづくりをしていけたらと考えている。
- 大河ドラマ(どうする家康)たのしみにしている。

(7)“提案”に関するコメント



[東岡崎駅][岡崎駅][整備]に共起関係が見受けられる。公共交通機関によるアクセスでよく利用される**[東岡崎駅]**と**[岡崎駅]**の駅舎や周辺環境の整備を望む声が多い。観光客を受け入れる岡崎市の玄関口を整備することで、観光客の満足度を上げることや日常的に使用する市民の生活満足度を向上させる大きな要素として推察される。

- 東岡崎駅に商業施設が欲しい。服飾などの専門店が入るものがあれば駅がもっと活気付くと思います。
- JR岡崎駅周辺が寂しい。せっかく人が集まるのに飲食、買い物する場所が少ない。岡崎公園～東岡崎駅～JR岡崎を機能的に整備して欲しい。愛環鉄道をもっとうまく活用すれば都市機能も充実すると思う。

[子ども][公園][施設]に共起関係が見受けられる。“不満”や“満足”にも共通して出現した単語だが、子育て環境の充実や市民交流促進の大きな要素として公園整備が関連していると推察される。

- レジャー施設や公園のように訪れやすい屋内施設があれば、雨の日や寒い日でも小さな子供を運動させられて、お母さんの安らぎタイムにつながるのではないかと思います。
- 車を使わないと公園に行けないし、地域の子供同士が全く接点を持ってない。

[バス]の出現頻度はとても高い結果となった。直接共起関係のある**[運転]**と間接的に共起関係のある**[高齢者]**に関しては“不満”と同様に免許返納後の移動手段としてバスの増便や路線拡大、コミュニティバスを望む声が多い。

- 1日に数便で良いのでくるくるバスを配備してほしいと思う。
- こまめに回るコミュニティバスがあると助かる。

令和3年度市民意識調査

—あなたの声をお寄せください—

日頃は、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび郵送いたしました市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さまからご意見やご助言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施するもので、市内にお住いの18歳以上の方から無作為に選定しました5,000人の方にご協力をお願いしています。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月吉日

岡崎市長 中根 康浩

ご記入にあたって

◎原則、宛名のご本人にてご回答くださいますようお願いいたします。

宛名のご本人が回答できない場合は、ご家族がお答えいただいても問題ございません。

◎本調査への回答方法は2種類ございます。いずれか1つの方法で回答ください。

A) 回答を郵送にて返送いただく場合

調査票に回答を直接ご記入ください。ご記入が済みましたら調査票を同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに郵便ポストへ投函ください。

B) QRコードにてオンラインで回答いただく場合

下記のQRコードをお持ちのスマートフォンやタブレット端末で読み取っていただき、画面の案内情報にそって回答ください。



*オンライン回答時の通信料金・パケット料金は、ご本人様の負担となりますので、あらかじめご了承ください。

◎調査の結果は、統計的に処理しますので、ご回答いただきました方にご迷惑をお掛けすることはございません。

◎本アンケート調査は、誠に勝手ながら、10月24日（日）までに、回答いただきますようお願いいたします。

本調査の問合せ先

岡崎市役所 企画課 企画2係 電話番号 (0564) 23-6032

調査票

こちらに、直接ご記入いただき、同封の返信封筒でご返送ください。

A あなた自身のことについて、お聞かせください。

問1. 性別 (○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問2. 年齢 (○は1つ)

1. 10歳代	3. 30歳代	5. 50歳代	7. 70歳代
2. 20歳代	4. 40歳代	6. 60歳代	8. 80歳以上

問3. 職業 (○は1つ)

1. 勤め人	4. パート・アルバイト	7. その他
2. 学生	5. 専業主婦・主夫	[]
3. 自営業・フリーランス・家業	6. 無職	

問4. 岡崎市に住み始めて、何年になりますか。
※一時的に岡崎市を離れた方は、通算の年数をお答えください。(○は1つ)

1. 5年未満	3. 10年～19年	5. 30年以上
2. 5年～9年	4. 20年～29年	

問5. 同居している方の家族構成を1つお選びください。 (○は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 子どもと同居	7. 3世代で同居
2. 配偶者と同居(夫婦のみ)	5. 親・配偶者と同居	8. その他()
3. 配偶者・子どもと同居	6. 親と同居	

※前問で「1.ひとり暮らし」とお答えいただいた方以外
問6. あなたと一緒に住んでいる方(家族等)の年齢をお聞かせください。(あなた自身は含めないでください)
当てはまるもの全てをお選びください。(○はいくつでも)

1. 未就学児(6歳以下)	3. 中学生(12～15歳)	5. 19～64歳	7. 75歳以上
2. 小学生(6～12歳)	4. 高校生(15～18歳程度)	6. 65～74歳	

問7. あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください。
次ページに掲載している地図を参考にしてください。(○は1つ)

1. 中央地域	3. 大平地域	5. 岩津地域	7. 六ツ美地域
2. 岡崎地域	4. 東部地域	6. 矢作地域	8. 額田地域

※お住まいの地域名がわからない場合は、町名をご記入ください。(町)



B 岡崎のまちについて、お聞かせください。

問8. あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。

(○は1つ)

1. 住みよい 2. まあ住みよい 3. やや住みにくい 4. 住みにくい

C 市の取組みへの関心度・関与度について、お聞かせください。

問9. 岡崎市の市政情報の収集・確認の状況は、下記のうちどれに当てはまりますか。

(○は1つ)

1. 様々な情報を自ら積極的に入手している
2. 自身に関係のある情報は、自ら情報を収集する
3. 市政だよりや回覧板など、手元に届いた情報には目を通して
4. 市からのダイレクトメール(本人宛の情報)のみ目を通す
5. 特に情報収集していない・目を通してない

問10. 岡崎市や地域が主催するイベントや、市民活動に対して積極的に参加していますか。

(○は1つ)

1. 参加するだけでなく、自身の意見を積極的に発言している
2. 積極的に参加している
3. たまに参加している
4. 参加したことはあるが、あまり参加しない
5. 参加したことがない

D 市の取組みについて、お聞かせください。

① 都市インフラ

岡崎市は市内外通勤者の住宅需要に対応しつつ、暮らしの質を高める都市基盤が充実していくまちを目指しています。

◆近年行ってきた取組み（例）

- ・ 東岡崎駅周辺整備事業（オトリバーサイドテラス・東岡崎ペDESTリアンデッキ）
- ・ 岡崎駅南土地区画整理事業
- ・ 岡崎阿知和スマートインターチェンジ整備事業
- ・ 六ツ美中部学区事前予約型乗り合いタクシー実証運行事業
- ・ 矢作川右岸南北道路整備事業

問11. 岡崎市が近年行ってきた都市インフラの整備の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)	満足度 重要度	←----->										
		低い										高い
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問12. 日常生活（通勤・通学・買い物・通院など）で利用する交通手段の利用頻度をお知らせください。

(○は1つずつ)	ほぼ毎日 利用	1週間に 数回	1か月に 数回	2～3か月に 1回程度	ほとんど 利用しない
自動車・バイク (送迎してもらう場合を含む)	1	2	3	4	5
バス	1	2	3	4	5
鉄道	1	2	3	4	5
タクシー	1	2	3	4	5
自転車	1	2	3	4	5
徒歩	1	2	3	4	5

問13. 近年、自動車の利用形態が「所有」から、シェアサービスなどによる「利用」への移行が進むのではないかと注目されています。そのような時代背景を踏まえ、あなたご自身が、日常生活の移動で料金を払って利用したいと思う移動手段をすべてお選びください（自家用車以外）。
※今すぐだけでなく、将来的な利用の可能性を含めてお答えください。

(○はいくつでも)

1. 路線バス(名鉄バス等)
2. タクシー
3. デマンド型乗り合いタクシー …… 希望する時間・場所から乗車でき、他人と乗り合いでそれぞれの行き先に移動する
4. カーシェア …… 自家用車を所有しないで、登録を行った会員間で車を共同で使用する
5. その他()
6. 特になし

② 防災・強靱化

岡崎市は周辺都市を含む公民連携や都市基盤の老朽化対策と運動して、災害に強いまち、被災時もスピード感を持った復旧・復興ができるまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 伊賀川・鹿乗川・広田川・占部川・砂川床上浸水対策特別緊急事業
- ・ 耐震診断・耐震改修補助事業
- ・ 民間企業・自治体との連携促進事業（協定締結・訓練等）
- ・ 岡崎防災情報システム構築事業（登録制メール配信・気象情報提供等）
- ・ 道路・橋梁ストック点検修繕事業

問14. 岡崎市が近年行ってきた防災関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 低い ←—————→ 高い										
		満足度 重要度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問15. きめ細かな災害情報を得る方法として、スマートフォンやタブレット端末などのデジタル機器での受信が考えられますが、あなたの今の状況を教えてください。

(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. とても使いこなしている | 3. あまり使いこなしていない |
| 2. まあ使いこなしている | 4. ほぼ使いこなしていない |
| 5. スマートフォンやタブレット端末は所有していない | |

問16. 被災した際の備えとして、ご家庭において「備蓄」「準備」している防災用品はありますか。また、現在ご準備済みの防災用品以外で、必要だと思うものは何ですか。

① 現在、既に備蓄・準備されている防災用品

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 太陽光発電設備 | 6. 簡易トイレ |
| 2. 蓄電設備(電気自動車のバッテリーを含む) | 7. 乾電池・携帯電話のバッテリー |
| 3. 食料・水(____日分) | 8. 感染症対策用品(マスク、消毒剤等) |
| 4. 分散避難グッズ(車中、テント泊等) | 9. その他(____) |
| 5. 世帯に応じた備蓄品(生理用品、粉ミルク・哺乳瓶、医療品等) | 10. 特になし |

② 現在、準備していないが、必要だと思う防災用品

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 太陽光発電設備 | 6. 簡易トイレ |
| 2. 蓄電設備(電気自動車のバッテリーを含む) | 7. 乾電池・携帯電話のバッテリー |
| 3. 食料・水(____日分) | 8. 感染症対策用品(マスク、消毒剤等) |
| 4. 分散避難グッズ(車中、テント泊等) | 9. その他(____) |
| 5. 世帯に応じた備蓄品(生理用品、粉ミルク・哺乳瓶、医療品等) | 10. 特になし |

③ 環境・農山村

岡崎市は排出CO2の削減、生物の多様性確保、健全な水環境、森林資源や農地の保全・活用がなされる持続可能なまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 新エネルギーシステム設置等補助事業（太陽光発電システム・次世代自動車等）
- ・ ゼロカーボンシティ推進本部設立
- ・ エネルギー地産地消推進事業（地域電力小売会社設立）
- ・ 産直施設運営事業（農遊館・ふれあいドーム・道の駅藤川宿）
- ・ 岡崎市産材住宅建設事業費補助事業

問17. 岡崎市が近年行ってきた環境関連の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 低い ← → 高い										
		重要度										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問18. 岡崎市では、持続可能な循環型の都市づくりの観点から、森林の持つ多面的な機能に注目しています。あなた自身のお考えとして、森林の機能として特に重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 生物多様性の保全	5. 木材供給機能
2. 二酸化炭素の吸収	6. レジャー
3. 土砂災害の防止	7. その他()
4. 安定した水源の確保	8. 特になし

問19. 脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向けて、あなたはどのような手段で貢献していきたいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 太陽光発電設備を導入
2. 蓄電設備(電気自動車のバッテリーを含む)を利用
3. 次世代自動車(電気自動車、燃料電池自動車など)を利用
4. 省エネ家電の購入(LED照明、エアコン、他)
5. コージェネレーションシステム※の利用 ※ガス・石油などで発電し、排熱も回収するシステム(熱電供給)
6. 住宅の断熱性の向上(二重サッシ、断熱材等)
7. プラスチック製品の使用削減
8. 住宅用エネルギー管理システム(HEMS)の導入・活用
9. 低炭素(再生可能)エネルギーの購入
10. その他()
11. 特になし(貢献したいとは思わない・意識しない)

④ 地域社会

岡崎市は担い手不足に負けない町内会の持続的な活動を、新技術導入などにより支援しつつ、多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 町内会活動研修会実施事業
- ・ 地域協働推進事業費補助事業（地域課題解決補助）
- ・ 地区集会施設整備事業費補助事業
- ・ 街頭防犯カメラ設置拡充事業
- ・ 学区市民ホーム運営事業

問20. 岡崎市が近年行ってきた地域社会の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 低い ←—————→ 高い										
		重要度										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問21. 町内会、子ども会、消防団など地域の活動に対する関わり方について、あなたのお気持ちをお選びください。

(○は1つ)

1. 積極的に参加・貢献したいと考えており、実際に参加している
2. 積極的に参加・貢献したいと考えているが、あまり参加できていない
3. 積極的ではないが、可能な限り参加しなければいけないものだと考えている(可能な限り参加)
4. あまり参加したくはないため、どうしても必要な活動のみ参加するようにしている
5. あまり参加したいとは考えておらず、実際にほとんど参加していない
6. 加入していない
7. 存在を知らない

問22. 町内会など、地域の活動に参加することで感じるメリットはありますか。

現在、地域の活動に参加していない方は、参加すると仮定した場合のメリットをお選びください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 困ったときに近所の人に相談しやすくなる | 7. 世代間交流ができる(地域の人と交流が持てる) |
| 2. 子育てがしやすくなる | 8. 公民館等の集会施設を利用できる |
| 3. 災害時に助け合える | 9. 地元愛が育まれる |
| 4. 治安が良くなる | 10. その他() |
| 5. まちがきれいになる | 11. 特にメリットは感じない |
| 6. お祭りなどの行事が楽しめる | |

⑤ 保健・医療・福祉

岡崎市は後期高齢者の急激な増加を迎えても、保健・医療・福祉・地域が一体となって取組むことで、誰もが生きがいや役割を持って活躍できるまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ・ 藤田医科大学岡崎医療センター誘致事業
- ・ ども発達センター運営事業
- ・ クアオルト健康ウォーキング教室開催事業
- ・ 福祉総合相談窓口設置事業

問23. 岡崎市が近年行ってきた保健・医療・福祉の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 重要度										
		低い ←—————→ 高い										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問24. あなたは昨年よりも健康になったと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. とてもそう感じる(とても健康になった) | 4. あまりそうは感じない |
| 2. まあそう感じる(まあ健康になった) | 5. 全くそうは感じない(悪化した) |
| 3. どちらともいえない | |

問25. 病気になったときに相談できる医療機関(かかりつけ医)はありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1. かかりつけ医がいる(徒歩で行ける場所) |
| 2. かかりつけ医がいる(公共交通機関で行ける場所) |
| 3. かかりつけ医がいる(徒歩・公共交通機関では行けない場所) |
| 4. かかりつけ医はいない(探しているが見つからない) |
| 5. かかりつけ医はいない(特に探していない) |

⑥ 子育て・男女共同参画

岡崎市は子育て世代の就労をはじめとする社会での活躍を支援することで、安心して楽しみながら子育てできるまち、子どもがのびのびと育つまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 不妊治療助成事業
- ・ 産前産後家庭支援事業
- ・ 保育園・こども園定員拡充事業
- ・ 放課後児童の居場所拡充事業
- ・ すくすく赤ちゃん特別支援金給付事業

問26. 岡崎市が近年行ってきた子育て・男女共同参画の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 重要度										
		低い ←—————→ 高い										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問27. 「子育て」において、祖父・祖母のサポートがあると助かるという声も聞かれます。

特に、子育てする人（親）にとって、祖父・祖母と、同居したり、近くに住むことで頼りになると思われることはありますか。子どもがいない方、祖父・祖母に当たる方についても、ご自身の経験や想像でお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 子どもの世話を頼める(用事があった際) | 6. 近くで寄り添ってもらえる |
| 2. 保育園などの送り迎えを頼める | 7. 子どもにとって多世代の交流ができる |
| 3. 家事の手伝いを頼める | 8. その他() |
| 4. 気軽に話せる相手ができる | 9. 祖父・祖母と同居・近くに住むメリットは感じない |
| 5. 困ったときに相談にのってもらえる | |

問28. 少子化対策で有効だと思う取組みは何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1. 男女の出会いの場の創出(婚活支援) | |
| 2. 妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減(医療費補助、住宅、育児用品などの費用負担、他) | |
| 3. 子育て支援サービスの充実(保育園・ベビーシッター等) | |
| 4. 共働きでの就労環境の充実(産休・育休の促進など、働き方改革) | |
| 5. 若い世代への将来設計教育の充実(将来設計を先送りしないような啓発) | |
| 6. 経済状況や雇用環境の不安の解消(所得の向上、将来の雇用に対する不安) | |
| 7. その他() | |
| 8. 特になし | |

⑦ 教育・文化

岡崎市は市民それぞれが思い描く幸せや活躍を実現できるまちを目指すとともに、学校教育・社会生活の中でおかげさまで育まれていくまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み (例)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・ 小中学校エアコン整備事業 | ・ 龍北総合運動場整備事業 |
| ・ GIGAスクール構想推進事業 | ・ 市民会館・せきれいホール改修事業 |
| ・ 校内フリースクール（適応教室）設置事業 | |

問29. 岡崎市が近年行ってきた教育・文化の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)	満足度 低い ← → 高い											
	満足度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問30. "地元愛"が育まれたと思うきっかけはありますか。最も当てはまるものを1つお選びください。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 信頼できる友人ができた | 5. お気に入りの場所・イベントがある |
| 2. 頑張って熱中する体験ができた | 6. 文化・歴史に誇りがもてる |
| 3. 地元出身の有名人や地元企業が活躍している | 7. その他() |
| 4. 地元の食材・料理が美味しい | |

問31. 近年、公立図書館が駅や百貨店などに併設されるなど、そのあり方が多様化しています。今後「図書館（りふら）」に対して求められる役割・機能も変化していくことが予想されますが、本の貸出以外に「図書館（りふら）」に期待することはありますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 子育て交流の場 | 5. 郷土資料の保存・活用 |
| 2. 体験学習の場 | 6. レファレンスサービス;調べもの支援 |
| 3. 仲間づくりの場 | 7. 特に期待する役割はない |
| 4. ビジネス支援の場 | 8. 図書館は利用しない |

⑧ 商業・観光

岡崎市はまちを楽しむ人が集う将来を見据え、観光と商業機能が運動した観光産業都市にふさわしい誘客資源が充実したまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み (例)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 東部のまちづくり (アウトレット関連) 事業 ・ 世界ラリー選手権誘致事業 ・ どうする家康活用推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡崎ビジネスサポートセンター運営事業 ・ キャッシュレス決済ポイント還元事業 |
|--|---|

問32. 岡崎市が近年行ってきた商業・観光の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(〇は1ずつ)		満足度 低い ← → 高い										
		重要度										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問33. 近年、オンラインショッピングが拡大していますが、一方で、市として、商業・観光の活性化には、実店舗の充実も重要だと考えております。あなたご自身として、実店舗で購入するメリットは何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 実物を見て選べる(見た目・質感・サイズ等) | 7. セキュリティの不安がない・現金が使える |
| 2. 地元の商品が多く選べる | 8. ネット注文など煩わしい操作がない |
| 3. すぐ手に入る | 9. その他() |
| 4. 店員に相談できる(店員とのコミュニケーション) | 10. 特に実店舗で購入するメリットは感じない |
| 5. 特売品が安く買える | |
| 6. 家族や友人・知人と外出機会が楽しめる | |

問34. 大河ドラマで『どうする家康』の舞台として岡崎市が活用されて観光客が増加する見込みですが、観光客を迎えるにあたり清掃、警備、案内などボランティアとしての関わりに参加したいと思いますか。

(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 参加したい | 3. どちらともいえない |
| 2. 内容によっては参加したい | 4. 参加したくない |

⑨ 工業

岡崎市は国内屈指の製造業拠点の一角を担うものづくり産業が科学や新技術と連携して地域経済の柱であり続けるまち、企業立地を促進するまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

- ・ 阿知和地区工業団地造成事業
- ・ 民間開発型企業誘致事業
- ・ 中小企業・勤労者支援センター設置事業
- ・ 就労サポートセンター運営事業（就労支援・生活支援）
- ・ 伝統産業支援事業（石工・三河仏壇・花火・ろうそく等）

問35. 岡崎市が近年行ってきた工業の取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 低い ←—————→ 高い										
		重要度										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問36. 西三河エリアでは、朝夕の通勤渋滞が多発していますが、あなたは通勤渋滞をどう感じていますか。

(通学や外出で通勤渋滞に巻き込まれた場合も含まず)

(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 非常に困っている(とても気になる) | 3. あまり困っていない(多少気になる程度) |
| 2. 困っている(気になる) | 4. 困っていない(気にならない) |
| | 5. 自分の日常生活には影響しない |

問37. 社会環境の変化に伴い、特に最近は新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけにテレワークが急速に普及するなど、多様な働き方が広がっていますが、あなたが希望する働き方はどれですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 1. 在宅勤務 | 6. 週休3日制 |
| 2. サテライトオフィス、コワーキングスペースでの勤務 | 7. 個人事業主 |
| 3. 時短勤務 | 8. その他() |
| 4. フレックスタイム制 | 9. 特になし |
| 5. 副業・兼業 | |

⑩ 行政・パートナーシップ

岡崎市は公民連携、行政のスマート化、広域防災などをきっかけに周辺都市との連携体制構築を図り、中枢中核都市として周辺都市を含めた地域全体の支えとなるまちを目指しています。

◆ 近年行ってきた取組み（例）

<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs 未来都市推進事業 ・ 災害被害予測シミュレーションシステム構築実証事業 ・ 矢作川避難計画策定事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加型市政推進事業 ・ まちづくりほっとミーティング開催事業
--	---

問38. 岡崎市が近年行ってきた行政・パートナーシップの取組みについて、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

(○は1つずつ)		満足度 低い ←—————→ 高い										
		重要度										
①	満足度 (評価できる取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
②	重要度 (重要度が高い取組みだと思うか)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問39. 岡崎市が発信する市政情報について、情報提供のタイミングはどのように思いますか。 (○は1つ)

1. よい(タイミングは適切)	4. よくない(欲しい時に情報が得られない)
2. まあよい	5. わからない
3. あまりよくない	6. 特に入手・確認したいと思わない

問40. 市政情報を得る場合、どのような方法で入手・確認したいですか。 (○はいくつでも)

1. ホームページ	6. ケーブルテレビ
2. LINE等対話型アプリ	7. 回覧板
3. SNS	8. その他()
4. メールマガジン	9. 特に入手・確認したいと思わない
5. 広報紙	

問41. 岡崎市の行政施策に対するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒(切手不要)にて、10月24日(日)までにご投函いただきますようお願いいたします。

岡崎市市民意識調査 報告書

令和 4 年 3 月発行

岡崎市総合政策部企画課

岡崎市十王町 2 丁目 9 番地

TEL 0564-23-6032